

Houbigant
最高の品質
ウビガン

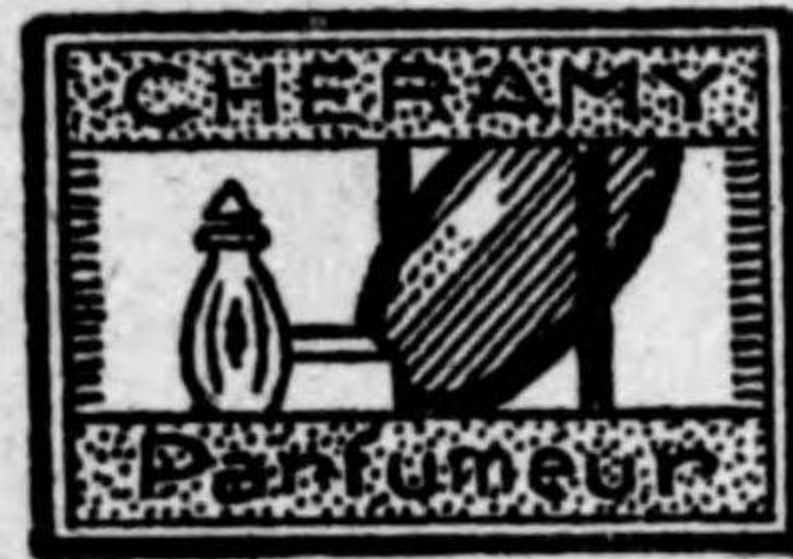


すべて巴里特製品

香水
ケルク・フラワー



ーピッカ
粉白粉
Cappi



CHERAMY
テールベ
粉白粉
VELOUTEE



巴里セラミイ化粧品會社

東京市日本橋區本石町三丁目
關東代理店 高橋林三郎商店

大阪市東區博愛町三丁目
關西代理店 大浦彌商店

販賣店の店頭は

我々自らの賣場であります
卸業者たる自分達も常に
ほへえみを以て直接
需要者に接してゐるのです

販賣店の繁榮は

結局こうした需要者への
絶對的奉仕觀念を抱ける
我々卸業者との融合によつてのみ
齎らされるのではないでせうか

各一流小賣店様取引

婦人頭飾品
婦人服飾品
子供用品、流行雜貨

東和會
加盟店 丸治商店

東京市日本橋區馬喰町三丁目
電話浪花二七〇七・振替東京四二六七

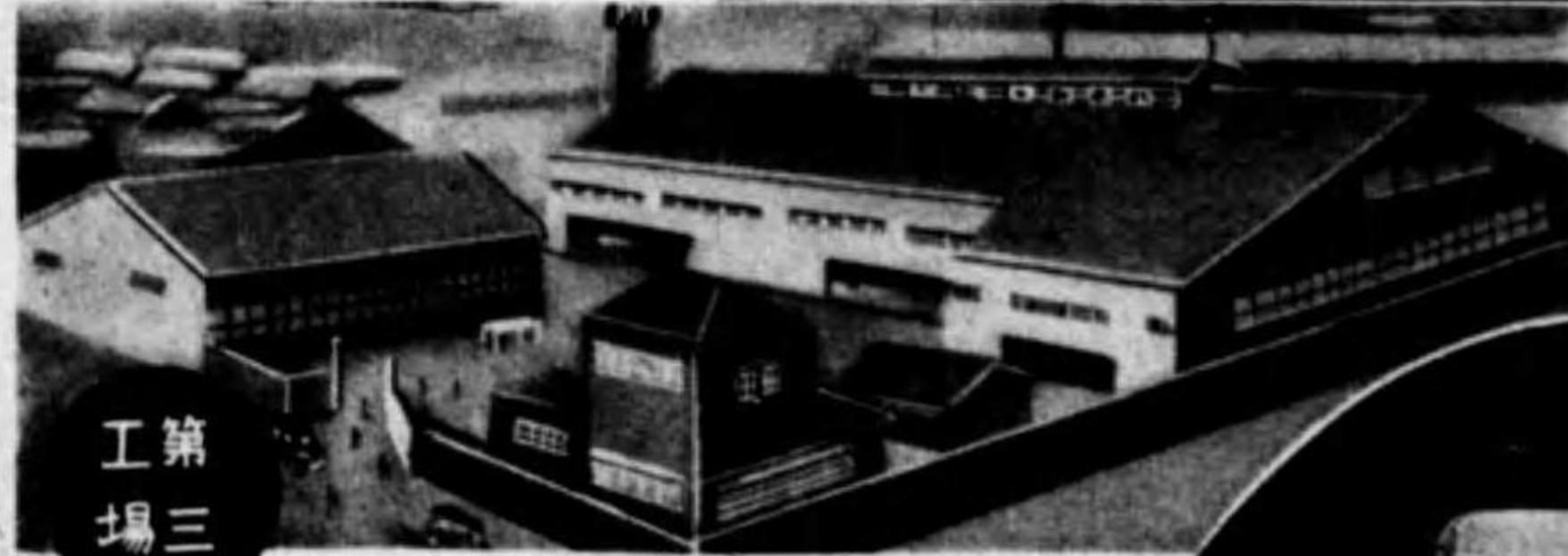
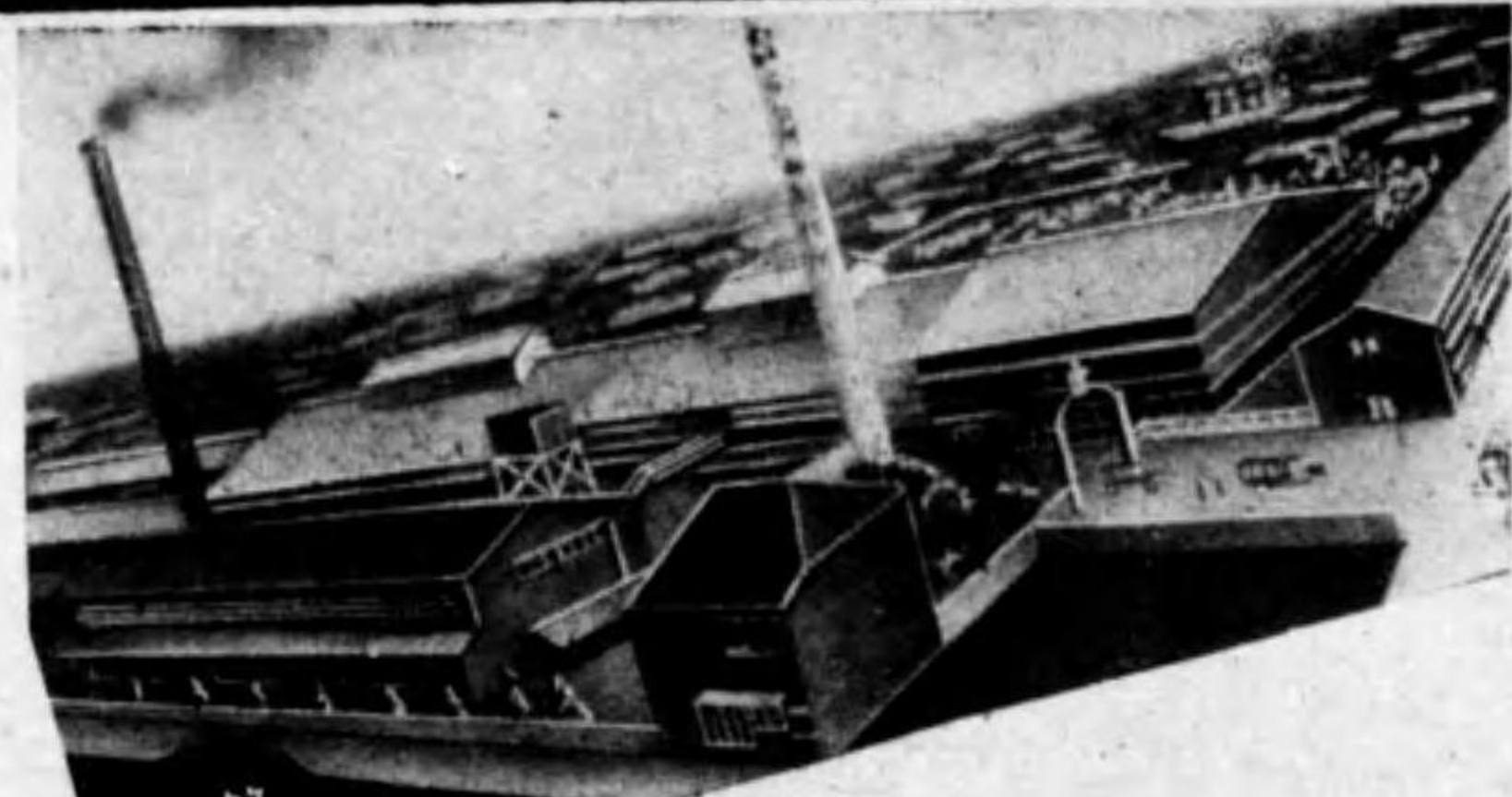
結髮實用具
服裝實用品
其他婦人身邊細貨類
各一流百貨店様取引

瓶粧化の本橋

製造家より直接需要家へ

完備せる工場！

比類なき品質！

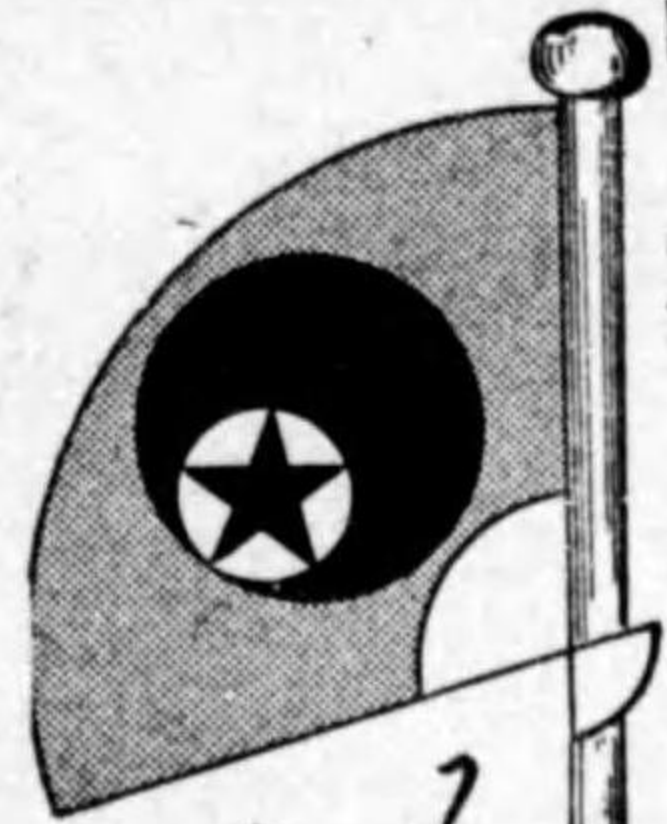


富
 造製子硝種各・瓶粧化
所作製子硝本橋 合資
 五五一ノ四町戸龜區東城市京東
 番七五七五・一二〇-(74)田墨話電
 番五七六五一一京東座日替振
HASHIMOTO GLASS MFG. CO.
 155, 4-CHOME, KAMEIDO-MACHI
 JOTO-KU, TOKYO
 Cables: "Tomiglas," Tokyo

略大目品業營

- 美術セルロイド製 裁縫箱 各種
- 一開張掛付 裁縫箱 各種
- ニツケル折立鏡 五寸ヨリ一尺寸法迄
- 右進物用御名印入ノ御注文ニ應ズ
- 實用新案 扇印毛絲編棒
- 其他 一般裁縫用具雜貨
- 流行手藝材料一式

新案意匠ノ新包裝、下ノ寫眞ノ通り「ケース」ノ封ヲ破ラズニ現品質ノ觀識ガ出來マス



この子ノ存不問
 手離しす
 今一歩
 其ノ心を
 竹編棒販賣店ノ大
 商利ハ此ノ一扇ニ
 アリマス。
 即子品質最上下
 新案ノ包裝

若し運送有
 於ける必
 常品百貨
 遠近効力
 為様様
 圓滑

東京縫針卸商業組合員
 同 手藝裁縫用品卸商業組合員
 同 婦人子供洋裝附屬品卸商業組合員
 同 卸卸商業組合員

上記品目以外ニ季節及新學期女子
 教材品ハ勿論、ガロンレース、衛
 生用マスク550印スナップ釦等々。

不二印竹編棒發賣元
 扇印竹製編棒發賣元
 巴花ゴト印待針發賣元

總 關口次朗商店

東京市日本橋區横山町七
 電話浪花(67)一三六〇番
 振替口座東京五一九〇番

(小店員集集店則待邊方書送ル)



香料



高砂化學工業株式會社東京支店

東京市日本橋區本町四丁目一番地
電話 日本橋 三六七二、三六七三、一七五五

本社、臺北工場 臺北市大安字龍安坡十
東京工場 東京市蒲田區本蒲田四ノ二
大阪支店 大阪市東區南久太郎町一ノ二四
日高工場 和歌山縣日高郡矢田村

廣島縣	山口縣	德島縣	香川縣	福岡縣	七福會
廣島縣 廣島市南段原町本通、岡崎方 岡崎喜一 同市 同市橫町、大津屋化粧品店內 同市	山口縣 山口縣北九州カッパホーネツト會 山口縣北九州テルミー會 山口縣ラブミー會 山口縣ラブオン會 山口縣ラブイオン會 山口縣ラブイオン會 山口縣ラブイオン會	德島縣 大久保義夫 同町、町役場內 同町、三間百貨店內	香川縣 高松市南新町、國友方 同市南新町、土居化粧品店內 丸龜市霞屋町二七 同市本町一三三、高木商店內 多度津町南町、西岡芳助方	福岡縣 山口途三郎 井上與吉 吉川卯三郎 輪番幹事制	七福會 福岡市 同市行町五三、九州商報社內 同市東本町一丁目、吉井號內 同市東川端町二丁目、吉川方 同市東本町一丁目、吉井號內 小倉市魚町四丁目、西村幸三郎方
昭一〇・二一・二六 昭三・一一・二五 大正一五・四月	昭三・五月 昭一〇・七・二五 昭一〇・九・一 昭一二・九月 昭一二・一〇月 昭六・五・一〇 昭七・五月	昭五・六・五 大正一〇・六月	昭五・一・一 昭九・四・一九 昭六・八・二 昭一〇・二・月 昭五・四・一	昭五・四 昭九・一・一七 昭九・六・五 昭一〇・七月	昭五・四 昭九・一・一七 昭九・六・五 昭一〇・七月
一〇〇 九	三〇 九〇 一五 八五 八〇 一〇 二〇	四〇〇 一八三	七 二一 九 二〇 一五	七 一三 一〇 一八 四〇 三五	七 一三 一〇 一八 四〇 三五

聞らなければならぬと謂ふことは何人も反對を許さないものであるが、單に、中小企業の振興を圖ると言ふことのみから考へても中小企業従事者の教育を向上發展せしめなければならぬのであつて、その教育を振興して中小企業従事者の能率を高めて行くことは、組合自體の利益のみならず、國家的に又極めて重要な問題である。故に、同業組合が從來採り來つた教育的施設を擴充普遍化し、一段とその教育的使命の遂行に邁進すべき必要が生ずるのである。勿論、同業組合は現代産業經濟機構の裡に在つて種々の使命を負荷してゐるのであるが、就中この教育的使命は、今や青年教育と言ふ課題の下に於いて、新しい時代の脚光を浴びて登場して來たのである。

併しながら、固より徒弟の教育は青年學校教育の全部と見るべきではなく、寧ろ青年學校教育の殻を脱して一段と高度のものでなければならぬのであるが、年少徒弟の職業教育上の問題に關して、その解決實行の衝に當るべき最も手近なところに在る機關は謂ふ迄もなく青年學校であらう。即ち、今年より實施せらるる青年學校義務制は、昭和十四年度は差當り普通科第一學年入學該當者に對して實施し、次年度以降普通科第二學年本科第一學年と順次學年を追つて、昭和二十年を以て完成せらるゝ計畫であるから、昭和二十年の完成の曉に於ては、十二歳

組合團體

Table listing various associations and their details. Columns include location (e.g., 九州, 長崎, 佐賀), association name (e.g., 九州九人九日會, 長崎市化粧品卸商會), dates (e.g., 昭一・五・九), and members (e.g., 福岡市町五三, 九州商報社).

より十九歳に至る男子青年中、中學校、實業學校その他の學校に入學し得ない所謂勤勞青年全部が青年學校に就學せしめらるゝこととなるからである。而して、義務制の建前からして、雇傭主に對しては、その使用する就學該當者に就學するに足るべき時間を與へ且つその就學を督促する義務を課してゐるから、雇傭主は自己の好むと好まざるに拘らず、徒弟を順次何れかの青年學校に送り込まなければならぬ譯である。従つて、事業主は新に國家に依つて提供せらるる青年教育機關に於て、所屬の徒弟に教育を施す好機會に恵まれてゐるのであるから、此の新しき教育制度の下に於て、徒弟教育の完成を期することが同業組合の當面の課題である。先づ、従来の公立青年學校に於ける勤勞青年に對する教育の實際を檢討しなければならぬ。昭和十年に始めて青年學校制度が生れたのであるが、それは従来の實業補習學校と青年訓練所とが統合せられたもので、従つて、その實施する教育は軍事教練と實業補習教育の二つであつた。然るに、上述の如く、實業教育の方面は比較的等閑視せられ、専ら軍事教練に重點が置かれて来たことは否定出来ぬ事實であつた。即ち、軍事教練に對しては、その成果を考查する爲の嚴格なる査閲制度が實施せられたにも拘らず、その餘の教育に對しては何等之に比較する方法が採られなかつた爲

Table listing regional associations and their details. Columns include location (e.g., 滿洲, 朝鮮, 臺灣, 南洋), association name (e.g., 釜山卸商同盟會, 大正八年七月), and members (e.g., 同府、釜山商會議所内, 大連市浪速町一二五).

組合役員

追補

- List of association members and officers. Includes names like 長 飛川源吉, 長 岩崎與作, 長 岩崎與作, 長 岩崎與作, etc., and their respective roles in various industry groups.

に、従来の青年學校教育は教練中心主義の觀を呈するに至り、教育の實際に携はるる方面から教育全般に對する査閲制度實施の要望が少なくなつた。斯る情況の下に於いて、職業其他實際生活に須要なる知識技能を青年に與へると謂ふ青年學校教育の本旨は充分に貫徹し得なかつたと謂ひ得べく、職業陶冶こそ青年大衆の環境乃至日常生活に即應して考慮せられなければならないのであるが、動もすれば、抽象的且詰進主義に流れ、劃一的教育の弊に墮してゐたと云ふが、従来の公立青年學校の短所である。斯る教育の弊は又動もすれば、勤勞青年に對して、勤勞の行はるる、仕事場の現場に於いて、教育が破壊せられる虞を充分に包蔵し、延いて青年の失望を招くのみならず、青年學校教育義務化の意義も甚だしく減殺されるのであるから、青年學校と仕事場とは常に、極めて密接不離の關係に在つて、相互に協同補佐してゆか

組合團體

工業小組合に關する 勅令・訓令・省令

勅令

昭和十四年七月二十五日
内閣總理大臣 男爵 平沼騷一郎
商工大臣 八田嘉明
大藏大臣 石渡謙太郎

勅令第四百九十四號
昭和十四年法律第六十五號ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
朕工業組合法第三十三條ノ第二項ノ規定ニ依リ小工業者ノ範圍ヲ定ムルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
御名御璽
昭和十四年七月二十五日
内閣總理大臣 男爵 平沼騷一郎
商工大臣 八田嘉明

勅令第四百九十五號
工業組合法第三十三條ノ二ノ小工業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當する者ヲ謂フ
一 資本金二萬圓を超えざる工業者
二 商工大臣ノ指定する種類ノ工業者にして其ノ資本金額商工大臣ノ指定する金額を超えざるもの
前項ノ規定ニ依リ工業小組合ノ組合員たる者ト營業上特に密接なる關係ある同種ノ工業者にして商工大臣ノ指定するものは前項ノ規定に拘らず當該工業小組合に付之を工業組合法第三十三條ノ二ノ小工業者トす
〔附則〕 本令は昭和十四年法律第六十五號施行の日より之を施行す

訓令第三號
昭和十二年商工省訓令第五號中左ノ通り改正し昭和十四年八月一日より之を施行す
昭和十四年七月二十六日
商工大臣 八田嘉明

省令

商工省令第三十九號
工業組合法施行規則中左ノ通改正す
昭和十四年七月二十六日
商工大臣 八田嘉明

第一條を第一條の二とす
本訓令に於て組合聯合會又は小組合と稱するは工業組合、工業組合聯合會又は工業小組合を謂ふ
第二條に左の一號を加ふ
四 工業組合法施行規則第二十二條ノ五ノ許可申請書
五 工業組合法施行規則第二十二條ノ四條中「遅滞なく」を「直に」に改む
第六條中「遅滞なく」を「直に」に改む
第十一條中「第五條の二」を削る
第十一條の二 小組合の設立又は解散の認可を爲したるときは設立の場合に在りては定款、解散の場合に在りては總會の決議録の謄本、財産目録及貸借對照表を添附し直に之を商工大臣に報告すべし
第十一條の三 小組合に付ては毎年三月三十一日現在に依り四月三十日迄に左ノ事項を別記様式に依り商工大臣に報告すべし
一 名稱
二 組合員たる資格
三 組合員の總數
四 出資總額
五 最近一箇年間に於ける小組合の販賣數量及價格（組合員原材料の全部）

〔別記様式〕
昭和 年三月三十一日現在
一 組合員總數
二 出資總額
三 最近一箇年間の販賣數量及價格
四 組合員原材料の全部
五 最近一箇年間の販賣數量及價格
本報告用紙の寸法は商工省告示日本標準規格第九十號別表第五番（JIS X 5105）に依るものとす

又は一部の支給を受け製造又は加工を爲す者なる場合に於ては其の請負數量及金額）
六 加入したる工業組合名

第五條の二第三項を削る
第七條の二「理事」を「理事又は監事」に改む
第十九條の二 工業組合法第二十八條ノ二項の規定に依り處分ありたるときは組合は遅滞なく變更ありたる定款又は規程及年月日を各組合員に通知すべし
第二十二條の四中「第五條の二」を削り同條を第二十二條の六とす
第二十二條の四 工業組合法第八條の四の規定に依る命令ありたる工業組合の区域内に於て新に當該工業を營業する者及當該工業に屬する設備の擴張を爲さんとする者は商工大臣の許可を受けしむる場合、組合の地區及期間を指定し之を告示す
第二十二條の五 工業組合法第八條の四の規定に依る許可申請書に添附すべし
第二十二條の五 工業組合法第八條の四の規定に依る許可申請書に添附すべし
一 法人に在りては定款、登記簿の謄本、財産目録、貸借對照表、損益計算書及業務執行の役員名簿、履歷書其の他の者に在りては履歷書及資産調査書
二 當該工業を營業する事由又は當該工業を記録したる書面を爲さんとする事由を記載したる書面を爲さんとす
三 工場、設備の概要及生産能力を記載したる書面（設備の擴張を爲さんとすの場合に在りては既設のものも併記したもの）を區別して記載すべし
四 操業開始の豫定期間を記載したる書面
五 當該工業以外の事業を營業する場合に在りては其の營業事業の概要を記載したる書面

載したる書面
第二十五條中「第五條及第六條」を「第二十五條第六條、第二十二條の四及第二十二條の五」に改む
第二十五條の二を第二十五條の五とし第二十五條の三を第二十五條の六とす
第二十五條の二 工業小組合を設立せんとするときは設立者全員より設立認可申請書に定款及左に掲げた事項を記載したる書面を添附すべし
一 事業計畫書
二 組合の負擔に歸すべき創立費及其償却方法
三 引受ありたる出資の總口數
四 理事及監事の氏名及住所
五 組合員の總數十人を超ゆる組合に在りては其の事由
第二十五條の三 工業小組合に於ける剰餘金の配當は配當すべき金額の三分の一以内の金額に付ては拂込みたる出資額に依り、餘金の金額に付ては取扱ひたる物の數量、價額又は事業の分量に依り之を爲すべし
第二十五條の四 第五條の二第一項、第八條、第九條第一項、第十三條、第十四條、第十七條、第十九條、第二十二條、第二十三條、第二十四條、第二十五條（第二十二條を除く）の規定は工業小組合に付之を準用す
第二十六條第一項中「第十二條第二項」を「第六條第四項」「第十二條第二項」に改む
同條第四項中「第七條」の下に「第二十二條の三」を加へ「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第二十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第三十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第四十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第五十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第六十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第七十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第八十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十一項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十二項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十三項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十四項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十五項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十六項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十七項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十八項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第九十九項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む
同條第一百項中「第七條」を「第二十二條の三」に改む

〔附則〕 本令は昭和十四年法律第六十五號施行の日より之を施行す

生産 販賣

生産・販賣界の 一年

支那事變第三年目、近衛、平沼の歴代戰時内閣が、事變處理をその政策の第一目標として必死邁進の態勢を示しながらも、未だその効果の渺々しからず、今年の期待は一に繋つて汪和平政権の樹立にあつたが、今やその實現を見ざる中に昭和十四年も終らうとして居る。國內情勢を顧みれば生産力擴充が奏でるインフレーションは、政府の消費節約の宣傳、貯蓄の奨励にも拘らず、次第に國民各階層に滲み込み、購買力の増進は近來にない販賣界に於ける活況をもたらした。しかしながらその一面に於いて時局産業を活性化ならしめるための平和産業抑制方針は徐々にその影響を一般市民の生活に及ぼして銑後生活に於ける消耗品の不足を目のあたりに描き出した。それは勿論政府の低物價政策の綻び目につけて利益を擧げようとする中間業者の賣惜み、買溜め等もあらうが、その根本は消費の増大に反比例する生産力の減退若くは停滞がその有力な原因でなければならぬ。同じ平和産業の文化部門を興る業界にも、この嘆きは如實に現れて註文に追はれ通しの製造界の一年であつた。それには賣行きの旺盛もあつたが、主として原料の不足に加ふるに人手及び動力の不足がその要因をなして居た。

支那事變第三年目、近衛、平沼の歴代戰時内閣が、事變處理をその政策の第一目標として必死邁進の態勢を示しながらも、未だその効果の渺々しからず、今年の期待は一に繋つて汪和平政権の樹立にあつたが、今やその實現を見ざる中に昭和十四年も終らうとして居る。國內情勢を顧みれば生産力擴充が奏でるインフレーションは、政府の消費節約の宣傳、貯蓄の奨励にも拘らず、次第に國民各階層に滲み込み、購買力の増進は近來にない販賣界に於ける活況をもたらした。しかしながらその一面に於いて時局産業を活性化ならしめるための平和産業抑制方針は徐々にその影響を一般市民の生活に及ぼして銑後生活に於ける消耗品の不足を目のあたりに描き出した。それは勿論政府の低物價政策の綻び目につけて利益を擧げようとする中間業者の賣惜み、買溜め等もあらうが、その根本は消費の増大に反比例する生産力の減退若くは停滞がその有力な原因でなければならぬ。同じ平和産業の文化部門を興る業界にも、この嘆きは如實に現れて註文に追はれ通しの製造界の一年であつた。それには賣行きの旺盛もあつたが、主として原料の不足に加ふるに人手及び動力の不足がその要因をなして居た。

ふまでもなく、副原料から包装材、荷造用の材料までも統制を受け、制當順位の地位にある業界に廻つて來る分量は、本當の申譯の程度に留まり、そのみに頼つて居たのでは物の用に立つべくは見えないのが、八、九月から十月頃の實情であつた。幸ひ今日あるを期してこれに備へた手持品のある向は、何とか當面を糊塗しつつ今年を送ることが出來たもの、かやうな情勢であるから、業界の行事として聞えた特賣なども、一部小範圍のものに局限せられ、特賣たる所以を發揮するやうな大掛りな魅惑的なものは一向に發表されずに終つた。

これには取締當局がその方針を厳にして、或る可くそのやうなことをないやうに見張つて居たことにもあるが、それだけ荷を揃へて出すことが至難であり、又さうした犠牲的奉仕をしないでも、商品が順調に苦勞なく捌けて行つた事情にもよるのであつた。しかし、表面には出なかつたが特賣類似の賣込みが各方面に行はれたことは事實であつて、別項に於ける特賣表はこの意味で業界特賣の全貌を表示するものではないことをお断はりして置かねばならぬ。

原材料の缺乏は必然的に業界生産部門の肅正を促して適者生存の原則が作用し、小規模業者を著るしく不利な境地に陥れた結果所謂有名品の需要は例外なしに増加せるが如く映つたけれども、今年の狀態が今後進むとすれば、有名品と雖も何時までもその好況に酔つて居ることは出來ないのではないかと推測され

や時局の壓力が猛烈たる勢ひを以つて業界を襲ひ、辛うじて今までの余力を支柱に防禦態勢のまゝ越年することになつたと云へる。しかし滿身創痍の業界が果してよくこれ以上の難戦に耐へ得るかどうか。時局に立脚する營業方針を確立して業界が一致協力、今年の受身から攻勢防禦に轉ずるに非ざればその前途は愈々心細いものになる。

生産市場の商品別考察

小間物

今年の小間物界は只管材料の補給にのみ追はれてその大半を過し、商品賣行きの好況に反して、その裏面の苦境は今まではないものであつた。即ち眞鍮、鐵線、針金、ボール紙等を始め使用材料の一切が日に日に詰つて来るので、その手當對策に奔命の結果、工業組合を結成して業界の對時局態度を合理化せんとする意志が具體化されたのである。

小間物界大觀

を日本橋區横山町五横山町ビル内に置いて八月七日の正式認可以來、必要資材の配給に當つて居るが、當局の解釋では小間物を以て第二次、第三次の商品と目して居るために、十分の統制資材を得ることは困難である。しかしこの僅かな材料でも入手の道が絶えることは業者の死活問題であるから、工業組合に據つたことは結果的に見て最も時宜に適した英斷であつた。その後少し後れて「ハーネット」専門業者の間に同じく工業組合設立の議が起り、これも府下一圓を地區として十月二十五日創立總會を開催、目下正式認可の申請中である。主要目的は勿論原料、憲紙、ゴム紐等主要原料の確保にあるが、業界内部の自衛と云ふことも一つの懸案であつた。價格等統制令の實施以來、當業界に於いても全国的に内部を統一して業者の營業存続を策するの必要から、先づ工業組合を持つことにその方針

が進められたわけである。續いて年末に近づくと小間物卸商間に商業組合を組織すべしと言ふ機運が擡頭し、當局の諒解を得て定款起草までに事は運んだのであつた。同業組合内各専門別の親睦機關によつて業者の利益増進を計つて居た小間物業界に押寄せた時局の重壓は、遂に工業組合や商業組合の結成へと、その態度を時流に對して積極的ならしめるに至つたのである。

かうして在來の原料確保の道を講ずるとともに、代用品の研究に於いても相變らず努力を續けて居るのであるが、何分にも使ひ馴れた原材料が一番使ひよいのでその魅力から逃れることが出来ないのである。チアルミンとかステンレス、或ひはアルマイト等を試用の對象として、これまでの金屬に代用させようとする研究は積まれて居るものの、まだ今後の工夫に俟つ所が多く、今年度内には本格的に商品化しなかつたのである。

原材料方面が斯様な事情にあるから、小間物界一般が品不足であることは云ふまでもないが、しかし、不思議とどうやら需要量だけは間に合つて一年を過すことが出来た。材料がないとすると代用品を採用する前に、今まで廢品として顧みなかつた種類のものまで生じて克明に使ふやうに心掛け、又持越しのものを大切に利かして、ともかく大過ない年を送つて来たのである。材料がそんな状態にあ

るから、従つて流行品の創案に苦心すると言ふやうなことはなく、只代用資材を生して色彩的に軍國調を出すと言ふ程度に留まり、専ら實用的な商品に力を傾けて居つた。

最後に圓プロック向輸出制限による小間物界の影響を打診して見ると、その當初に於いては根が細い商品であるから制限に入る物と入らない物との判別、何の輸出組合が主管するのか、その見定め方に就いて大混亂を來す等手續上のイザコザで最初に痛めつけられた。實際上の取引に於いては圓域輸出に對する力の入り、消極的に終始して居た店では商品不足の折柄でもあり六七三ヶ月の實績を維持すること不満はないやうである。一番失望を感じたのはこれから進出しようとして準備萬端を整へたその出鼻を抑へられた店である。實績が何を指しても物を言ふ今回の制限はこれ等の向に對して最も苛酷にひびいた。九・一八に物價釘付の價格統制令の場合には、元來がひどい値上りのない商品が多く、大部分高價であつては買れない性質のものであるから、市場は冷靜を持して居たが、原材料よりも加工によつて生ずる謂はば手間賃が主となつて値段が構成されて居るので、外見は同じやうに見えても賣値に凹凸が甚しく、これを協定値段によつて均して行かうとするには、可なりの無理があつて、何よりもこの點が難題とされ行き惜みの種となつた。

化粧品製造・販賣高

東京小間物化粧品卸商同業組合調査

種類別	昭和十三年度	昭和十二年度
石鹼	五、五八〇、〇九三	二、九〇〇、〇四二
齒粉	一〇、二九三、八三三	九、八九六、六八八
白粉	五、三三三、四六八	五、〇三二、四四八
洗粉及シャンプー	一、二四四、六一一	一、〇〇三、八三三
化粧水及化粧液	二、五五八、九三三	二、二八八、九三〇
クレンジング	五、九三六、〇〇四	四、九六六、七九八
香油及煉油	六、七三三、三三三	五、三三〇、〇九六
その他化粧品	一、八四九、六八八	二、三三六、八八三
合計	四三、〇六六、〇四六	三九、〇六六、〇四六

服飾雜貨

今年の服飾界は物があふれさへすれば買れると云ふ好調であつた。しかし之は賣ると言ふ面のみを考へての事で製造の側に立つと材料難から四苦八苦で、足りないの言葉が挨拶代りに使ふ程物が揃はないのが當然のことに通用して居た。その中で比較的融通の利いたのはセルロイド製品であるが、之も下半年に入ると素地不足が目立つて来て、柄物やパール地などは當にならないうちになつて了つた。その後十月下旬から十一月に及ぶと材料屋で注文を受付けないと言ふ逼迫振りで、これから先の不安を裏書する好個の材料となりつた。頭飾、服飾全般を通じて今年流行とか新製品とか言ふことは薩張り目立たず、唯何でもないから間に合へば式で終始したのであるが、そこはよくしたもので年末になつて回顧して見るとどうやら間に合つたと言ふ感が深い。仕入する側でも「どうもありません」と言はれるとそれを普通のことと承知して居るので無理を言はず、ともかく間に合せようと云ふ氣持が働いて居たから、両方が寄り合つて事なきを得たと言ふことが出来る。

かうなるが當然從來からの顧客であると言ふことが、問屋から品物を廻して賣ふ際の重要な一因となるわけで、顔馴染でない振りの小賣商が申込んで、思ふやうな荷物を集めることは却々困難であつた。

これはそのまゝ、問屋が生産者の手から荷物を集める場合でも同様であつて、金を以つて買取るのであると言ふ單純な筋道以外に、これまでの恩顧關係とか義理や人情など言ふものが絡んで来て、生産者の手から安く買つて之を販賣してその間に於いて利益を獲ると言ふ簡單なことが思ふやうに運ばなくなつた。昭和十四年度に於ける好況は勿論車需景氣のお蔭で失業者が殆どなく、誰でも小間物雜貨に類する程度のものならば買へると言ふ大衆の購買力増進が興つて力あることに變りはないが、東京の小間物業界にはこの外に關東東北、北海道方面に於ける今年度の豐作及び一般農作物、繭等の高價による農村収入の増大が反映して居ることは明かであつた。

造花の費、ピン類、モダン止め式のものそれに復活の兆を示しつつあるリボン類等、季節の觀念などは蹴飛ばして、先づ物があれば賣れないことはないと言ふ有様であつた。七五三の祝ひに使ふ箱追とか髪飾り品或ひは婚禮用の揃物も毎年賣行は増すばかりであり人が多くなつたと云ふ一面もあるが、景氣が良いのが何よりもかうした品物の賣行を増加せしめて居るのであると見られる。金屬に類する材料は昨年來使用禁止で手持品を使つて造つた各種商品のストックを小出しにするによつて今年は大過なく濟んだと言へる。その他セルロイド、ボール紙等の不足があり、何でも買れる代りに何でも足りないであつた。材料不足に伴行して人手不足も益々募るばかり、仕事

をする材料がないで遊んで居られないから、他の仕事に轉向するのは前に自然の道理で業界でも之は已むを得ないことだと見て居る。そしてその補充をつけて行くことになると、これは猶一層困難であるから、今の調子で進むと、結局昔からの職人だけが残ると言ふことになるのではないかと甚だ悲觀的な意見が有力となつて居る。品物の値上りは平均して一二割と言ふ見當で中にはうんと昂つたものもあるが、そうでないものもあつて昨年のもので間に合せることが叶つた關係から大變な不手際は仕出かさず切抜けて来た。但し場合が場合だけに種々な流言が飛んで業者を惑はし、噂は噂を生んでこれが遂に本當のことと受取られ、そのためにせぬでもない闇取引の助長を導くと云つた風の混亂が間々あつて、良心的な營業を脅かすことが再々あつたのである。

手持材料の缺乏に備へて之に代るもの研究は怠りなく進められて居るが、昨年あたり取敢へず之にしようとも最も手近に選んだセルロイドは、今日既に斯界に於いては代用品ではなくて立派な有力商品であるばかりでなく、素地が不足してその入手に困難になつて来たと言ふことまで、すつかり在來の原材料の資格を具備して了つたかに見える。更に新たな研究の對象としてチアルミン、アルマイト、ステインレス等が登場して試作試用の舞臺に於いて試演の役割を演じて居るけれども、何分にも價格が高つくつ割合に見榮えがせず、使用感も劣るので、

数量	
昭和十三年度	昭和十二年度
一五三、七六六	一五三、七六六
八〇八、六四四	七三三、三六一
六七、四四三	六六〇、九七七
一、一九七、五九〇	一、〇三三、四七七
三三、三〇三、〇七七	三三、一六六、〇六六
合計	
三、四七三、〇七三	三、三三三、〇七三

石鹼製造數量・價格

東京石鹼工業組合調査

数量	
昭和十三年度	昭和十二年度
二、三九六、六〇〇	二、一七三、九〇〇
二、四八八、九〇〇	二、二六二、七〇〇
三、七七一、〇〇〇	三、五九一、〇〇〇
一、〇七九、九〇〇	九八一、九〇〇
三、四七三、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇
合計	
三、四七三、〇〇〇	三、三三三、〇〇〇

難局突破の據所として居る。値段は今年三月東京府の懲罰によつて組合が中心となつて標準價格を作り、力めてそれに準據するやうに同業者を導いて来たから、九・一八の停止令の際も態度は決定して居たわけであつて、今度は標準價格の範圍を廣くし且つ標準價格そのものに再検討を加へて協定價格を決定すべく委員を擧げて研究中である。昨年と比較して二三割の値上げはありながら賣上げを同額にするこゝに骨が折れる、つまり賣行は良いとも悪いとも言ひ切れない點をさまよつて年の瀬に入つた。輸出は圓域向制限規則の六、七、八三ヶ月は実績が少い月廻りであつたがために、その改正に望を馳して他日の發展を待つと言ふ氣持が濃厚である。

セルロイド

昨年度に於ける金屬類、皮革、ゴム等の使用制限から、その後を補ふものとして珍重されて来たセルロイドは、代用品研究の二ヶ年を経過した結果、今年に入つては、家具、文房具、事務用品、娯樂具、美術品、運動具等のあらゆる分野に進出して、大なり小なり首を突込まないところはないと言ふセルロイド時代を現出した。これはセルロイドが加工に易く、而も國産品として豊富である關係から、従つて値段が廉價であつたと云ふ理由の外に、支那事變勃發當初に於ける對日感情の悪化がセルロイド製品の輸出を硬禁せしめたので、そこに生じた餘

力を以つて代用品に振向け物資統制に遇つて戸迷ひの形にあつた各種業界に盛んに誘ひの水を注ぎかけたからであつた。その効果は靨面に現れて代用品として現に實用に供されて居るものは店舗用品、家庭用品に於ける

- ▽洗面器▽入浴用小桶▽釣銭盆▽貸錢立▽メニエー立▽胡椒入の口▽安全剃刀▽西洋剃刀の鞘▽裁縫ヘラ▽靴ペラ▽分度器▽ラオの目盛▽體温計の目盛▽蚊帳の吊手▽蚊帳の環▽畫紙の座▽油差
- ▽服飾雜貨部門に於ける
- ▽毛髪ワエーガ器▽毛髪カール器▽髪オサエ▽シガレットケース▽美鏡▽微章▽腕時計バンド▽フラスナー▽フケ取▽丸藥容器▽化粧能▽化粧セット▽洗粉入▽コンパクト▽懐中鏡用櫛入▽婦人バンド▽子供用カッター▽袋物金具▽ブローチ
- 等の外に文房具醫藥器具等及び
- ▽筆入▽ペン皿▽卓上寫眞枠▽複寫用數板▽文鏡▽鉛筆キヤップ▽自動車ハンドル▽自轉車ニギリ▽電動機用ネームプレート▽醫藥器具▽洗眼器▽紡績用品▽電車の吊環▽同吊皮▽草履▽草履の表▽洗滌器▽電話その他のコードの被覆▽婦人用バンド

を算へ上げることが出来る。しかし今年下半年期に入るや、現在以上にセルロイドを代用品界に進出せしめると本来セルロイドでなければならぬ方面に支障を來す虞れが生じて来たので代用品への乗出しも今年を以つてストップと云ふ空氣に

なつた。又業界としても新規の代用品の考案を發表して、それに對する注文を受取つたにしても生地不足、人手不足で到底その需要に應じ切れないと言ふのが今年の業界の姿であつた。では何故國産品を誇るセルロイドが足りなくなつて来たのかと言ふと外の物資が不足して居るのでこれに需要が集中されたことや、大切な輸出が復活してこの方面に優先的な生地供給が行はれる等のこともあるが、生地原料が心細くなりつつあると云ふ内部的原因を見逃すことは出来ない。即ち主要原料樟腦は臺灣總督府の專賣品であるが、これが勞働力の不足と運送力の不足とで供給減を來して居る上に精製品として賣出される量が多くなつたので、自然セルロイド生地製造用に向つて來る粗製樟腦が減退したのである。また第二の重要原料である綿ポロは純綿製法のスフ時代に入つて俄然恐慌を來し、滿洲北支邊の棉を取つたあとの殼に少し残つたもの(リンターと稱する)を集めては原料に宛てて居る。

それだけでは満足する數字には達して居ないが、大日本セルロイドでは傍系の會社を北支に設置し、その後滿洲にも同様の會社の設立を計畫して居るとのことであるからこれが實現すれば綿ポロ飢饉に緩和の曙光が射すわけであらう。リンター使用のセルロイドには上等品が多く單色色物、透明、と云つた種類に限られて居る。その他硝酸を火藥原料に曳かれるなど原因も手傳つて居らうが、八月以來

石鹼製造數量・價格

大阪石鹼同業組合調査

数量	
昭和十三年度	昭和十二年度
二、八二五、三二五	二、七六四、四〇〇
七、七七一、〇〇〇	七、七七一、〇〇〇
八、〇三三、八三三	七、六八八、〇〇〇
三、七七一、〇〇〇	三、七七一、〇〇〇
合計	
二、〇、九二一、五〇〇	二、〇、九二一、五〇〇

石鹼卸賣業者の販賣數量・價格

大阪石鹼同業組合調査

数量	
昭和十三年度	昭和十二年度
一、〇、三〇八、〇〇〇	一、〇、三〇八、〇〇〇
六、七四二、三三三	七、七七一、〇〇〇
四、四三三、四三三	一、四三三、四三三
三、九四九、四〇〇	一、〇四四、三三〇
三、八八八、八八八	一、〇七三、〇〇〇
九六八、〇〇〇	五、七七一、〇〇〇
合計	
二、六五八、七九七	九、三二一、七〇〇

著るしく昂まつて来た石炭不足と電力制限はセルロイド界に大きな影響を及ぼした。原料手當が出来て居てもこの方面の不足から生産減を免れることが出来ない場合さへあり、生地不足を促進したのであつた。又、大日本の東京工場が六月の火災以來休業して復舊工事に専念しつゝあり、そのために該工場生産量だけ減つて居た勘定になる。

一方、需要の方は如何かと言ふに、前述の如く事變以來急激に増加して瀬戸引洗面器に代るセルロイド洗面器の進出などが大きな刺激となり、金屬の代用品分野に喰込んだ分だけ算へても、従来からのセルロイド消費者に取つては尠からぬ脅威となつた。輸出の方も優先的に生地を取り、海外の需要は百パーセントに之を充足することには官民協力して居るから、歐洲動亂の勃發に遭つて一時的には起伏があつたとしてもアメリカ、南洋、印度方面への積出しが、大阪から依然盛んに行はれて居るのを見ると、内地向生地の不足が年末に近づくに従つて甚しくなつて来たことは當然と首肯されると言ふものである。代用品流行以前から業界に於いてセルロイドと密接な關係を保つて来たセルロイド製襪及び化粧セット類は、戦時體制下第三年目に於ける生地不足時代に如何なる様相を現出したかと言へば、セルロイド櫛の内地向所謂洋櫛では齒の深いタボ櫛と齒の浅いコームの二種が昨秋以來賣行が頗る増加した。それから季節物としては日本髪用の平打、花笄、玉簪等も秋

口から春にかけて期待出来る種類であつた十月十一月にかけての婚禮シーズンに於ける祝儀挿しの賣行も侮り難いもの一つである。これは花嫁を圍む女連の需要を對象とするもので、高級品は勿論甲などの製品であるが、その安物をセルロイドが間に合せて居る。總じてセルロイドの頭飾品は安價であるから、都府を通じて殆ど各階層に亘つて愛用され、加工技術の向上はセルロイドの上に蔦縞を施すなどの擬物を生むに至つて、この種類は益々大衆の味方となりつつある。

化粧セット類は生地の柄によつて目先を變へることが自由であるので、昨年から見ると二割高キス物で打十二三圓から三十圓、皿の上に載せる方も、大體同じ標準で平均に活潑に出て居る。使用生地の中で無地物の色は臙脂系が斷然群を抜き派手な系統の色が勢力を持つて居た。柄物には各店とも苦心を凝して、セルロイドとセルロイドの間に絹地を介在せしめて目先の變つた柄生地を造つて見たり、又太刀魚の鱗を粉末にしてあしらつた眞珠の如き光澤に富む眞珠生地等が、それ〴〵歡迎を受けて居たのであるが原料不足が顯著になつて以來生地會社が、これ等の餘分な工夫を施すほどの餘裕が少くなつたか、加工業者の手持生地を除いては種類の豊富さは次第に窮めなくなつて来た。

ペークライト

ペークライトは容器難の折柄、化粧品業界の注視を浴び、今や業界の前面にクローズアップされて居るが、これが化粧品容器として登場したのは四五年前で、まづクリーム、煉乳の蓋、王冠の代用品が指し當りの用途であつた。それが事變第二年目に於ける金屬蓋の使用禁止から、ペークライトは決定的な地位を業界に確保したのである。事變前は金蓋よりは高價につき敢然之を使用するには採算の上で不利な點があつたが、金屬類の使用禁止以來に代るものとしてはペークライトを採用する外はないことになつた。初めはストックの鉄力によつて頑張つて居た本舗も次第にペークライトに轉向して、今では業界品容器の蓋はペークライト萬能である。ポマーの蓋としては色がある爲めに女の化粧品めくと言つて嫌ふ向があつたが、その地味な色を選擇しつゝ漸次ペークライトに變化しつゝある。また口紅の容器等にも眞鍮の代用として用ひられて来た。

石炭不足、曹達灰缺乏、人手不足等の影響から硝子壺の拂底が甚しくなつて来たのでオール・ペークの容器も考へられて居り、中には既に使用に着手した本舗もあるが、ペーク自体が高價なために硝子の代用としては陶器が先づ優勢と見られ、ペークライトは蓋として利用されることに業界進出の道を見出して居る。ペークライトの主要原料は石炭酸とホルマリンで、何れも石炭からガスを取つた残りの處理から得られる副産物的のものであるから、市民の嚮所にガスが來る

最近五年間業界 関係品生産統計

昭和八年十二月工場統計表に據る

品目	水		油		粉		白	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
化粧品	200,169	588,184	40,204	73,088	220	583,488	185,790	7,920,812
化粧品	166,958	660,547	28,821	121,309	25,047	7,476,477	629,674	1,496,336
化粧品	473,083	713,368	43,993	101,580	1,603	3,584	243,568	1,187,348
化粧品	443,637	854,341	37,269	171,508	2,629	7,101,929	49,562	7,101,929
化粧品	593,197	853,337	66,068	3,732,846	791,463	7,576,549	432,244	2,018,432
化粧品				5,077,588		10,411,238		5,853,100

間は困らないと考へられる。その他の原料アンモニアの使用量は僅かである。窒素は空中窒素があるから安心してゐる。又これ等の原料に混和する各種繊維の粉末は綿屑、高粱殻、玉黍蜀殻、粟、海草屑等の利用から生れるのでこれまで行き詰ることはあるまいと見られる。事實各原料會社の供給量は今のところ過剰な位であるのを見ても、需要範圍が急激に擴大すればともかく、さうでない限りベークの原料難は考へられない。

ベークの特徴とするところは耐酸性、耐アルカリ性で水、酒精に溶解せず殆ど薬品類に犯されることなく、電気絶縁體としては理想的なものである。しかし質は硬いが脆くセルロイドの如き柔軟性がないので細工に不便と云ふ缺點があり、色もセルロイド程には自由でない。最近明るい色が出来たやうになつて来たが、今までは茶、黒、緑、赤等の黴ずんだ色に限られて居たのである。但し光澤の點ではセルロイドの及ばないところがある。

化粧品容器として使用する際に最初懸念されたのは石炭酸臭氣が内容物に移ることであつたが、之は蓋の裏面にコルクや金屬膜を貼つて事なきを得るやうになつた。上質のものは憂へる程の臭氣はないのであるけれども、製造過程に於いて加熱蒸餾する際にプレスガ足りなかつたり、熱が不足したりすると少量の空氣が潜入して匂ひを生ずることになるのである。

ゴム製品

ゴム業界は既に昨年からの戦時體制の身構へを取り、昭和十三年三、四、五の三ヶ月に於ける使用実績を基礎にして各地ゴム組合の聯合會が原料配給の働に當り、各地組合は又それによつて業者に別けることになつて居る。ゴム並びにその使用製品は殆ど全部輸入品であつて、従來大部分が民需用のものであつたが、輸入量が數分の一に減つた上に軍需用、輸出用と差引かれるので業者に配給になる分は毎月〇〇噸程度と云ふことになる。それを前述の平均実績によつて割當てるのであるから、その量は実績の五分一或は十分の一と云ふ所も出来て来る。しかし統制實施當初よりも少量ながら増加して来た。一方、製品は公定價格決定の水枕を除きその他は昨年六月八日公布の商工省令によつて値段は釘付にされ仕入材料が上つても賣値は上げることが出来ないで、材料を他の同業工場から買ひ込んで製品にして出して居た無名品業者は没落して了つた。かやうな事情から業者としては勢ひ利幅の多い商品に力を傾けて行きつつあるので物によつては大いに拂底したものが生じて来るわけになつた。

現在業者が主として生産に従事して居る商品には醫療品及び衛生品が多く、この種類のものは、國民生活と密接な關係があるものであるだけに、需要に對する供給を確保して行かなければならないの

である。例へば乳バンドやコルセットと言ふやうなものは或る程度裝飾の意味を含むものであるから、無くて済ませるが月經帶となると今日既に衛生上の必需品となつて居る關係上、その製造を中止することは出来ないとなる。ゴム製品として製造を禁止されて居るのは運動具、玩具類にわたるもので水枕、おしめかべ、月經帶等は何れも製造して差支へない。

國策の見地に立つて考へる場合、特賣もどうかと言ふので組合の決議によつて之を廢止することを申合せ、サービスもなければ景品もない平靜であつたが九月上旬歐洲第二次動亂の勃發に遇つて原料の輸入が止つたため、これまで一封度六十錢位のもの七十錢から七十五錢にハネ上り、然もその騰貴額は全部製造業者の負擔になつて居るのであるから、業者は頗る不利な状態に陥つて居るわけである。同じ事變下に於ける平和産業と言ひながらゴム製品は以上の點から殊に割の悪い立場にあり、力のある工場は全部軍需注文、或ひは輸出製品に力を入れて居る。

原料ゴムの配給量制限に加へて無名品が市場から一掃された形になり、勢ひ需要は有各品に集中して来るので品物の不足は當然のこととなり、多少の商品出荷の割當は免れ得ないこととなつた。區域向輸出はサツク、水枕、湯タンボ等が制限品目に入つたが月經帶やおしめかべ等は制限を受けないから、進出の餘地は残つて居る。第三國向は國策のことで

石鹼	價額計	その他		洗粉		クリーム		化粧品	
		数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額
15,455,922	35,196,563	8,914,015	872,446	427,537	320,955	1,965,260	1,995	4,656	
5,787,931	37,674,108	2,965,308	5,276,566	564,258	923,694	3,786,984	5,689	751,573	
16,225,812			277,485		54,347	2,290,598		13,379	
5,182,045			3,267,921		1,481,913	6,135,852		1,121,851	
16,482,378	33,110,381	86,091	151,310	475,095	413,631	2,476,596	10,901	37,652	
6,844,320			4,298,423		1,041,425	5,867,649		1,015,056	
17,693,443	43,438,264	794,224	431,487	228,346	74,329	609,872	5,984	15,954	
5,556,538			7,687,844		1,717,083	9,138,421		3,264,219	
20,206,539	49,292,001	42,740	170,654	423,675	721,027	3,421,281	252,097	954,753	
7,023,181			3,766,663		1,795,072	8,796,515		3,730,059	

もありアフリカ、印度、南洋方面に於ける英領植民地を始めとして極力販路開拓に積極的努力を注ぎ、大いに実績を上げて居る。一年を通じて顧客からの注文が常に生産量を越えて居た今年には製造業者の仕事としては必要品の仕入れが何よりも大切であつて、以前の販賣手腕に對して今度は仕入手腕が最重要視されたのも、つまりは戦時下に於ける特異性であつた。

腕革・リボン

時計の腕革、リボン等も雜貨の一部として取扱はれて居るものであるが、就中腕革は統制品を材料とする關係から種々の部面に於いて時局の影響を蒙つて居る。昨年の十月まではそれでも不自由なく手に入つたが、値段は次第に上昇歩調を辿つて居たので、先高を見越した小賣店方面が、思惑氣味で多量に仕入れ始めその爲荷動きが多くなるに従つて後が續かなくなり、原料は手薄になる、注文は相續いて来ると言つた具合で、氣分的には可なり忙しい年であつた。それにも拘らず低物價政策のために賣値は甚だしく上げることが出来ず、使用人の手間は相當にしてやらねばならず、品物の賣れるのは有り難いが、忙しい割合に収入が之に伴はない憾みがあつた。

小間物雜貨部門に於ける腕革は女物が主であるから、流行に就いての考案を幾ろに出来ず、赤色系統の幅八分見當と言ふ細いものが一年の主流をなして居た。次にリボンは鉢巻用のリボンで無地系統

が多く出て居た。これはこの四年來の傾向であるが、賣行は都鄙を通じて益々よくなりつつある。だが、これも絹の値上りで商賣は仕難く上物は輸出品として外國に出て、その餘りが内地に廻つて来ると言ふことから、輸出萬能主義の今日では、その出廻りは勿論十分とは行かない。都會の風を眞似たがる地方の風習が事變以來一段とこの種リボンに對する要求を驅り立てて居るので、賣行はよく間に合ない、而も比較的上物を希望する傾きが強いのである。序でに男物の腕革に觸れて置くがこの方は出征軍人が用意のために上等品を二三本餘計に買込んで大陸に渡つて行つたその後を承けて、之を補給すべく上物に對する需要が盛になり、金高の張る高級品が比較的好く賣れたのであつた。この種商品の輸出は圓ブロック向或ひは第三國向を問はず東京の商人が直接手を下すことと少く、大阪の商人の手を通じて輸出して居るのであるが、圓ブロック向輸出制限實施後に於ける輸出の標準となつた六、七八の三ヶ月の実績は、それが業界の閑散時に該當するだけに、今後の進展を阻害することが尠くないとする見方が有力に働いて居た。

造花

服飾界の新興勢力と言はれて婦人の洋裝の普及とともに需要漸増の傾向にあつた布帛製造花は、事變以來時局産業の均

外にある關係から、今年に賣れるには賣れても、やり難い商賣の部に編入せらるべき傾向が強かつた。東亞再建の國策推進のための消費節約宣傳が利いて来た四月から五月にかけてその現象が事實となつて現はれて来たのは言ふ迄もない。その端的な顯現の一つは、去年からの持越品が賣れないからと云ふので返品となつて来たり、或ひは又改造を申込んで来るのが目立つたことである。造花の世界では今までこんなことがなかつただけに、矢張り時局の影響と云ふ感じが一層ピンと來たらしい。

つまり向く品物と向かない品物とが明瞭に區別されて了つて、何んな物でも客足が着いた一頃から見ると、需要層の層加に停滞の氣配が見えて來たのである。それでも地方方向となると品柄と同時に値段と言ふことが大きく作用して來るが、都會殊にデパート向の場合は趣味が斬新であることを絶対的條件とし新物新物と漁つて來る。目新しい面白いものであれば賣れるが、極上物となると時局の關係から騰張り駄目である。これが同じ景氣にしても世相が明るければ、上流社會に於ける園遊會や夜會等が盛大に催される都度高級品が捌けて行くのであるけれども、現在ではそんなことは到底望めさうもないので、従つて新味を感つた中所に主力を置くこととなつて居る。

昨年の暮から今春にかけては、衣裳の色調と一致調和させることを主眼に、新グリーン色のものが賣れたが、秋になると本紫系統のものが主流を占めるやうに

その他	粉石鹼		洗濯石鹼		薬用石鹼		工業用石鹼		化粧	
	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額	数量	価額
1,118,112	12,239,914	2,461,455	46,442,355	8,051,255	97,523	107,891	6,612,267	1,707,827	18,026,552	
2,037,024	15,364,493	531,255	61,760,606	1,533,141	229,932	86,393	6,323,989	850,397	20,303,056	
3,491,252	15,538,683	1,138,571	70,833,474	2,079,620	578,444	134,774	10,425,642	1,348,308	19,701,131	
2,915,031	14,681,900	3,489,759	91,132,376	3,400,517	337,825	333,697	28,330,273	2,519,853	20,732,405	
594,003	17,171,154	638,716	104,644,618	2,370,687	329,143	144,287	12,854,031	775,503	27,660,483	
		269,135		852,730		162,443		408,368		
		302,155		306,485		338,577		902,233		

轉じて来た。それは衣服その他の持物と調和を取るためにさうなるのであつて造花が反対色となつて居る場合には、何となく見た目に大人味がなく感ぜられる缺點が伴ふ。しかし燕脂、赤、ピンク等は常に間違ひのない色彩として喜ばれ、それ等の諸系統から成り立つた新味のある色が、所謂その時の流行色となることになる。

春や秋の散策に洋装を常とする婦人連がその胸元に飾る一輪は造花界に取つて却々の刺戟となるもので、昨今のハイキング熱全盛は造花の需要を活潑ならしめる一要因をなして居る。

一番消費者が取つき易い値段は地方向で三四十錢、都會地で七八十錢から一圓と言ふところである。花の組合せが自由でセルロイドや金屬製のものに比し柔軟味があり、色彩が艶麗であるのが布帛製造花の魅力である。

型は小型及び中型がその大部分を占め、舶來材料の杜絶以來今年に入つては、全部國産品を以て間に合せることに努めて来た。

良質の造花の使用材料は朱子で裏は艶消しになつてゐる朱子チリメンとペルベットとである。朱子チリメンの方は鏡紡あたりの製品で間に合ふやうになつて来たが、裏につける木綿の統制で、之がス・フに變つて来たので仕事の能率上打撃となつた。造花に關する限り今年は窮屈ながら間に合つて居たが、枝物になつると心の線金が不自由でどうにも困つた。しかしながらこの方は時局柄賣行が

ずつと鈍つて室内裝飾等のことが遠慮されて居たので、これが反つて材料の不足に幸して居ると言つた調子である。

次に輸出關係に觸れて見ると、前はチエツコから輸入して居た米國が、チエツコ崩壊後その注文先を日本に轉じて、種々と注文が入り、こちらからも見本品を送つて折衝を重ねたが、値段の點で折合はず結局大口の商談が成立するまでには至らなかつた。何分にも造花は家庭工業が殆ど全部を占めて居る關係上、今日の工賃高でその生産費が割高になり、海外から要求して来るやうな安價では賣れないことが輸出を不成立に陥らせた原因であつた。

枝物や極く安價品はそれでも輸出が成立して材料も特別扱ひで取れるのであるが、それはよいとして今度はそれを引き受手が無いと云ふ困難が生じて来たのである。

一昨年頃はまだ遣り手があつたが、その後海外からの注文が杜絶したので、その間に業者は何れも他の職業に轉向してしまひ、さて輸出が復活した今日になるとそれを仕事とする働手がないと言ふ結果になつたのである。上等品は商談が圓まらず、安物は引受手が無い。どちらにしても第三國向輸出は不振の一年であつた。

滿洲を主とする圓プロツク向はどうかと言へば、相當見るべき業績を挙げつたあつた矢先に輸出の制限令に出遇つて一區切と言ふことになつてしまつた。新京邊の希望では内地よりもずつと上等の物

を要求して来て値段の高いものが比較的好調に捌けて行つた。自然の花が少いので造花を珍重する傾向が強まつて居るものと想像されたが、材料の變化が激しい本年の内地事情では、それ等異なつた注文に對する應接に惶しい時を送つたものである。

化粧品

クリーム

特賣のなかつたクリーム界、これが昭和十四年度に於けるクリームの動きの結果である。秋の實需期の賣込を前にして六月下旬から七月にかけて特賣發表やら開屋の會合やら本舗を主體とする事前工作が華々しく行はれるのがクリーム界の特色であつた。ところが今年には「特賣發表はともかくとして何か集合位ありさうなものだが、それも無い。分らない年だ」と問屋側を駭かせる程今までにない行き方を迎つてシーズンを迎へた。そして今日か明日かと待たれた發表も、遂ひに例年のやうな派手な出方ではその姿を見せなかつた。

尤も四月に於いて五分の課税増徴を受けたが、低物價政策に協調する意味で自廉値段を強制せられ、一方原材料の値段は騰貴する人手は足りなくなる、女工を募集するのにも今までの賃金では難しいとなれば、最品附の特賣で税金負擔の荷物を押出すことは出来ないし、又さうする必要もなくなつたのである。早きを

子油	大豆油		落花生油		棉實油		椿油		油脂・その他	價額計
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額		
3,182,399	42,742,968	12,790,731	994,564	362,636	9,632,179	2,579,428	47,190	37,175	37,691,579	
2,939,685	52,568,325	13,341,245	1,178,062	457,328	10,154,910	3,012,687	68,931	58,805	42,843,210	
4,823,270	43,769,300	15,561,070	1,139,546	569,023	19,423,297	6,589,024	80,953	57,876	50,258,003	
6,534,397	50,699,011	20,015,698	1,028,498	551,299	20,586,401	7,828,788	47,108	41,812	51,908,502	
6,632,636	65,455,395	26,480,287	7,643,378	4,219,475	23,154,010	10,879,899	752,376	368,740	55,087,921	

競ふことを以て特色とした業界名物クリム戦も事變二年目の昨年に於いて稍冷靜さを取戻し、三年目の今年では過去の狂躁振りは何處へやら、平常に變らぬ平靜さを以つて秋の需要季を迎へたほどの變り方であつた。それほど事變が今年度に入つて業界にもたらした物心兩面への影響は深刻であつた。

今までの成行から見ると本舗間の競争の激化が勢ひの赴くところ制し切れず、その非を覺りながらも早期の特賣發表を續けて居たのであつた。

ところが、この時局によりさうした奔放な商策に走ることは許されなくなつたので、四圍の狀勢が謂はば業界を元の安定場所に戻して呉れたのである。

特賣の競争と言つても、事實はAの本舗が賣込まない先にBの本舗が歩率や景品で販賣店を誘ひ、中間業者がそれに乘つて契約をし荷物が来れば、それを一時も早く小賣店へ持込ませようとする。その同じ手順をやるのに機先を制して能率を上げようとするところから、自然早く早くとなつたのである。それが昭和十三年度からは出荷と同時に税金を納付すると言ふ負擔が本舗にかかつてその時期か運くなり、今年になると税金が増した上に原材料の不足で荷物を派手に動かすことに不安を感じて来たので、三ヶ月或ひは半年後の回収と引換へに商品を買付けて歩くことは不可能となつた。他面需要の方は生産部門の活況が購買力の上昇をもたらすし、インフレ氣構へが作用して、先づ物を持つて居れば間違ひなしと云ふ考へか

ら、何商品によらず賣行は良く、買はうとする意志の總和が賣らうとする意志を凌ぐ優勢を持続する實情にあり、その間に於いて當局は物資節約の建前から消費を奨励するが如き、種類の行爲は遠慮すべしと言ふ取締方針を明かにし、内外とも市場の肅正が行はれなければならぬ條件は揃つて居た。従つて販賣業者の側では景品の無い荷物となれば何を急いで買ふ必要もなく、間に合せだけに終始しようと思ふ氣持が働くのに無理はなく増税後の値上當込みの荷物も未だ残つて居たから、氣持は落ちついたものであつた。

要するに、出るにも退くにも受身一方の中間業者はあくまで本舗の方針に追隨して穩健に傾き、騒がずに確實な儲けを保証されたいと考へて居た。

しかし、表面に現はれないながら本舗の賣込は潛行的に進められ、決して競争がなかつたわけではなく、時局に遠慮しようとする一致した氣持が商策を堅實化したものであつた。

消費者を對象とする商品の賣行について見れば、コールド、クレンジングの二種は高級品としこの性質を帯びて居るので、パニング程に大衆受けがせず、衛生必需品として牢固たる地盤を持つパニングが大眾の需要に根を卸して居る強味から、賣行が漸増の勢ひにあるのとは比べる時局柄弱い立場にあつた。粉白粉を主とする化粧のためにパニングが賣れるのであると云ふ觀念から進んで昨今では皮膚衛生の點から、クリームが男女を問はぬ衛生品となりつつあること

は、消費量が増して行く重大な要素であり、多のものとされて居つたにも拘らず、四季を通じて賣れるやうになつたことは、以上の成行を説明する十分な証據である。

かように消費状態は先づ心配のない域にあるが、購つて原料方面を顧みて見ると、第一のグリセリンは一兩年前のストック過剩時代の如き現象は解消し終つたが共販會社を通じて特約店に廻る量は八月頃までは他の諸原料に比較すると緩やかであつた。昨年八月以降は、それまで局方建値一疋一圓九十四錢であつたものが、一圓七十錢と値下げとなつて今年下半年まで續いて居た。硬化油を原料とする油脂工業の隆盛を母體として居るグリセリンは、全部が國産で間に合ひ、化學工業方面に用途の多い脂肪酸を造るために硬化油の如水分解の遺伴れとなつて出来るから、業界品の需要を満し得ない程の品薄時代が来るとは考へられないと頗る樂觀され、特約店に廻る割當量は徐々に減少の傾向を辿つて行くので、先行懸念する向もあつたが、他の原料に比べて先づ無難の類であると思はれて居た。ところが十四年も末に近づいた十月となるや、共販會社の理事會に於いて、グリセリンを化粧用品として配給することとは禁止すると云ふ申合せが成立し、その旨各特約店へ通達されたので業界では内々ながら大恐慌を來し、年内のことは不自由はないとしてもこれからのことを思ひ、業界の有力商品の主要原料であるだけに、その打撃は一入大きかつ

場	硬化蠟		イロシ油		硬化油		牛脂		椰
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	
5,001,746	1,689,347	513,571	3,309,228	449,925	61,459,940	13,563,868	2,543,673	789,306	12,053,473
408,882				6,827		30,160		70,000	
3,811,722	1,050,512	404,608	3,794,471	599,987	63,252,226	13,043,601	1,880,250	630,051	14,774,987
1,283,763				2,829		180,000			
4,006,966	885,778	254,064	6,244,040	828,588	83,086,957	19,173,264	6,544,166	2,656,335	17,598,562
1,194,922				850				39,777	
5,961,456	1,464,582	440,692	26,596,064	6,036,355	75,663,951	21,849,043	2,378,512	885,539	20,287,150
1,096,391				20,047				58,019	
5,739,177	258,315	101,094	16,026,454	3,512,763	97,131,913	27,540,531	3,972,986	1,495,773	16,112,082
1,511,670				36,658		5,200		12,503	

生産販売

人造香料	ステアリン酸		樟腦油				木蠟		蠟	
	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額		
1,001,758	1,822,048	6,849,520	2,561,848	819,015	418,694	1,185,131	608,265	4,208,131	1,440,017	11,293,996
1,728,746	3,976,215	11,633,538	3,881,885	929,919	566,461	1,188,078	761,031	4,998,324	1,701,743	8,220,616
1,204,770	3,672,881	18,120,001	5,480,962	915,403	659,191	1,392,925	826,486	4,283,426	1,845,215	8,595,896
1,848,655	4,720,619	11,405,034	5,016,241	1,081,730	809,860	1,479,555	832,184	4,884,419	2,462,458	11,118,409
2,035,927	5,039,944	23,331,775	7,191,646	885,952	822,347	773,996	458,899	2,529,682	1,599,591	11,917,784

生産販売

生産力擴充に伴ふ用途の増大の上、硬化油として輸出される量も國策の關係から相當にあるので、その分だけはグリセリン諸共海外に行つて了ふわけであるから、共販會社からの配給が次第に不圓滑になり、例によつて業界は時局柄不急の産業であると言ふ解離から、かうした非常措置の犠牲になつたのであつた。次にステアリンはグリセリンに比べると、前からずつと頼りない有様で牛蠟の内地民需用輸入禁止以來これを原料として採る優秀なものが不足して來た結果、大豆油、パーム油等の植物性油から採るものを第一號のマーケットで代用品として使用する状態、どうしても植物性油のものを使用しなければならなくなり、製造方面の大手筋では原料材料の昂騰を理由に値上げの決意を示して特約店に迫るなど、八月頃から雲行は怪しくなつて新年度の實行期に入りながら品薄は依然として續いた。それから香料は調合の如何によつて融通が利くので變化を表面に現さないやうに見えただけでも、本舗筋のストツクは全く手薄となり、從來使ひ馴れて需要の多かつた業界品向香料は市場に廻つて來ず、進歩した技術に頼らうにも、その基本となる薬品が手に入らない始末で、窮状は日に迫り、所詮は自給出來る香料を基礎にすべくであると言ふ考へが、業界を支配するやうになつた。しかし本年は丁度その過渡期でクリームに使用して澁色なき程の國産香料を揃へることは出來ず、さうかと言つて在來のストツクが全然切れたわけでもない、ので殘つたものを配合して甘く切り抜けて來たと言ふことになつた。之が石鹼の場合でもあるならば勇敢に國産香料に轉向出來るのであるが、多分に匂ひを尊重するクリームにあつては未だ石鹼ほど實用本位にもなれず、そこに本舗としての儲けがあつた。同じクリームと言つてもベニシグは未だ無難な方で、コールドに於けるP・ワックスの缺乏は、それが輸入品であり、特殊部門に於いて多量に使用する性質のものであるために早くから統制組合が成立して業界に對する配給状態は殆ど特異とするに足らず、七月下旬までに來年はどうなることかと危ぶまれて居つた。

以上の諸原料にも増して業界の活動を鈍らせ、その前途を憂慮させたものに、容器瓶の不足があつた。その原因の第一は人手が足りないことである。召集を受けて戦線に赴くために戦場を離れて行つた者、或ひは軍需工場へ轉向して行つて了つたその後釜を補充することが困難で、そのまゝになつて居るための職工不足が招來した生産力減退は直接に一番大きかつた。第二は燃料石炭の配給が不圓滑でその上に炭質が低下して居ることも一つの要因となつて居た。時局産業方面で優先的に必要額だけを確保して了ふので、平和産業に配給になる石炭は分量が少く、質が悪いと來て居るから、火力が舉がらず以前ならば六時に仕事に掛れたものが八時九時まで待ち、それに火が弱いから仕上品に泡が入るなどの失敗が起り

勝ちであり、出來上りの難しい化粧品瓶の製造には一通りならぬ不利な條件が生じて來たのであつた。なほ配給統制の曹達灰は辛うじてその當座を凌ぎ得る程度の配給分量で統制前の七割乃至八割と言ふところであつたから、何れの方面を見ても能率の低下は當然と言ふことになつた。又東京には大きな瓶製造業者が少く、中流所の業者が林立して居ることも瓶拂底をもたらし一因であるとする向もあり、東京の業界から大阪へ向けての瓶注文が相次いで行き、それが成立せず終つたりして容器不足の波紋は各方面に響いた。

九月十八日に諸物價を釘付けにすることを目的とした價格等停止令の實施を契機とする業界品の協定價格設定の問題は、石鹼及び齒磨の公定價格問題と絡んで年末の業界の全視聽を集め、東京組合を中心に審議續行中であつたが、必ずしも業界品價値の根柢たる建値によらず、九・一八當時市場に行はれて居た實際の價値に準據すると言ふ石鹼及び齒磨に關する商工省物價當局の公定價決定方針は、業界が自治的に協定して當局の認可に待つ協定價段の精神にも反映し、その結果如何は原料問題と併せて今後のクリーム市場を支配する重大な鍵となるのではなしかと、その成行は注目されて居つた。また外装サツクの不足も、これはクリームに限つたことではないが、年の押詰まるに従つて甚だしく、今までの包装様式を踏襲し續けることは大分危ぶまれ始めて來た。この際一部には今回の業界

の難航を資料に、化粧品業の何たるかをよく認識して、その課せられつつある任務の正體を知り、形式に拘泥せず、過去に囚はれず、實用的にして良質な製品の發賣に努力して一般需要者に酬ゆるとともに、銃後の美的情操陶冶に邁進して行くべきではないかと言ふ論もあり、戦時下の十字路に彷徨する業界の姿が次第に鮮明に浮び上つて來た。

ポマー

昨年からポマード界を襲つたカストル油難の嵐は、東京髪油同業親油會を中心として之が入手難打開の猛運動を展開せしめ、再三に及び商工省に對する陳情或ひは嘆願となつたが、その効果現れない間に年を越し、今年度に入るや嘗つてカストル栽培の經驗を持つ千葉縣成東町附近を候補地として、親油會が契約主體となり、現地耕作者と遼蕪栽培の取極めをなす計畫を樹て千葉縣農會の斡旋のもとに瀧踏み交渉を行つて見たけれども、これは補償値段の點に就いて到底お話しにならないことが判明したので、團體としての契約はそのまゝお流れとなつた。また一方に於いて繼續中の對商工省との折衝は、業界側より北支に滞貨となつて停滯中のカストル油輸入の件を持出し、一時は大減省からの爲替許可さへあれば物になりさうな形勢であつたが、六月中旬態々輸入實現となると、結局業界には一掃も過つて來ないと言ふことになり、カストル油に關しては全くの八方塞りと言

ふことになつたのである。軍需を除いた餘りの油は、他の工業用カストルとして優先的に配給せられ、辛うじて、業界の入手出來るものは一度潤滑油として使用した後の再生油程度のものに過ぎないのである。しかしかやうな不安が足許に迫つて來たにせよ、ストツクの豊富と言ふことが業界の最大の特色であつたが、それも戦時體制の長期化とともにいづれ枯渇して了ふ時期があるのは判り切つて居たから、手當を怠つて居た向を最初として業界全般が漸次動搖の兆を露し始めたのであつた。これより先、原料油の研究は、カストル油難が高度化するに比例して活況を呈し、製造本舗自身が求めるに先立つて原料商方面が逸早くこれに手を染め、數種の代用油が種々なる名稱に於いて登場して來た。業界品の原料中代用的用途のために出現したものは決して少くないが、カストル油の代用品ほど賑やかに宣傳されそして又全業界の注視を浴びたものはなかつた。然しながらそれ等代用品は殆ど全部が乾燥したり、酸敗による腐敗臭を發したり落ちが惡かつたりして、カストル油の特色とするところまで迫るのには遙かに遠い弱點を露呈して、業界の信用を購ふまでに至らず、或る程度まで我慢すれば強ち使用出來ないほどのものではないと言ふ點まで改良されたけれども、各本舗が敢然代用品を使用するまでの完全さには到らなかつた。その結果無名品、量賣り等の方面には代用油を取り上げて市場に

賣出した向があつたが、有名品を看板にする一流本舗では今なほ研究中と言ふところでの瀬を迎へたのである。代用油に對する本舗の立場は重要以上の通りであるが、カストル油を筆頭とする今年の原料難はその對策を通じて各本舗の營業上の特長をすつかりそのまゝ引き出しにしたかに見えた。即ち香料に主力を注いで割合に高級なポマードを賣出して居た特殊本舗はカストル油難よりも、先に香料難に陥り、これが及んでそのポマードの特殊ポマードたる所以を消滅せしめる結果となり、更にその上にカストル油難が重なつて來たことになる。苦し紛れにさうした場合、代用品に就いたとすれば、それはマーケットの尊嚴を傷けることになるから、どうしても窮通の道を打開することは出來ない。つまるところ「國家が必要とする資材を強いてポマードに流用する必要もあるまい」と言ふ考へから、ポマード製造に對して極端な消極的な策に出て深くポマードの製造を斷念した本舗も二三に止らない。是等は何れも、油粧品専門の本舗ではなく、他に主力とすべき商品を持つて居るだけにポマード用原料の獲得にのみ専心することは不可能であるから、斯様な事態に立ち至るのであつたが、一面には原料手當に關しても、事業的な強靱さが缺けて居るのであつた。

その反對の立場にある本舗、即ち油粧品を主力とし或ひはポマード品を旗印とする本舗では、カストル油市場出廻りの動向に重大關心を寄せつつ前以つて出

苛性曹達		薄荷油		薄荷腦		亞鉛華		鉛白	
数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額	数量	價額
110,953	22,007,028	289,333	1,844,545	280,839	4,729,770	17,763,021	6,244,862	796,555	251,444
177,773	29,135,759	329,478	2,157,242	297,972	5,455,504	16,423,208	5,664,436	795,277	249,868
233,288	34,971,326	438,456	2,981,994	343,276	6,176,206	21,407,203	7,005,156	1,613,246	571,737
284,999	34,026,016	373,193	3,098,506	339,944	6,181,836	22,459,175	6,697,710	2,076,639	341,591
362,141	64,197,379	423,436	3,450,984	398,567	7,698,400	24,992,737	11,208,094	2,085,172	1,181,996

来るだけ手當をしたことは勿論であるが、それを以てなほ足れりとせず、代用品の研究に將來の對策に獅子奮迅の努力を重ね、遂に他方本願は現状打開の道なしと知るや、勇敢にもカストルの自家栽培に乗り出したのであつた。大正八九年頃までは千葉縣に於いて普通に栽培せられ事情に通曉した百姓もあつたのであるが、滿洲方面から安物が輸入され始めてから、その勢ひに壓倒されて自然消滅の形となり、僅かに屋敷の周圍に生垣代用となつて昔日の情を留める程度に過ぎなかつた。

それを復活せしめて原料難を克服しようとするのが即ちボマード本舗の二三の有志であり、前述した團體契約案が水泡に滅するや單獨に栽培に着手したのの人々を督勵したり、或ひは自分の持地に種子を降したりして、ともかく秋の收穫を迎へ何れ程の効果が擧つたか、その判定は區々であるが自分の手によつて獲り入れた蓖麻子は希望通り出来たのである。今年には作らせる例も作る方も無経験の白紙から出發し採算は問はず試作の積りであるとも初めから犠牲は覺悟の上であつたにしても、その原料難打開の意氣込がここまで積極的にならうとは、昨年に於いて誰が豫想し得られたであらうか。この一事から推してボマード業界のカストル油難は業界の受け時局の重壓中に於いてその最高度に位するものであつた一方、代用品の研究に於いては假令満足すべき良質の物は未だ出来上らなかつ

たにせよ、今後長期に亙ると覺悟しなければならぬ、交戦状態繼續の國情に照してカストル油一本槍で突進することは益々自分を苦境に追込むばかりであるから、何とかしてこれを使ひ得るものに仕上げようとする業界の總意は些かもひるむところはなかつた。唯カストル油使用を誘つて居る本舗がある間に、手前は代用品に轉向しましたと言ふのは何かなし敗者になつたやうで後目たいものであるから、公然と代用品の効能を宣言することとを遠慮し有力本舗に於ける代用品へ換へる程度は世人の憶測にのみ委されて居た。しかし、本舗に代るス・フが認められて居る如く、カストル油に代る何物かを取上げなければ、從來のボマード界の繁榮を維持することが困難となるならば、代用品の進出は誰かが當然と認めるところであるが、今年には丁度その過渡期にあつて二三の缺點を攻撃の材料に取られ代用品に取つては苦しい一年であつた。しかし代用品を物にしよといふ熱意は、ストツクのある本舗も自家栽培の本舗も決して捨てたものではなかつた。ここに本舗の擁する技術家の陣容がこれまでになく重要視されて來る所以が潜在する。由來ボマードの製造はクリムなどに比すれば、割合技術的に複雑さがなく永年同じ原料により同じ處方によつて製造されて來たものだけに、一度が原料に變化が起ると、從來の製造方法を公式的に遵奉してゐるわけには行かず、有能な技術家が居れば他の新原料を使ひこなすことも出来ようが、そうでない場合は代

シ			袋物	アルコール		グリセリン		曹達灰	
用	商	用		数量	價額	数量	價額	数量	價額
190,830	3,861,944	2,258,676	191,221	1,489,679	764,550	6,280,941	4,319,668	272,135	26,893,004
207,696	3,988,335	2,477,585	330,469	1,572,478	1,052,306	6,920,829	5,757,323	170,622	14,133,927
32,669	2,904,848	1,426,433	358,917	1,183,653	895,051	8,535,183	8,454,951	364,613	27,345,225
202,432	5,095,778	4,252,662	448,271	5,557,965	2,595,639	8,341,708	10,479,805	367,205	23,145,194
9,932	4,995,991	3,837,310	297,882	8,039,916	3,049,244	12,230,227	23,136,604	377,000	29,132,304
361,130		4,523							95,000
449,982									
1,750									

業者の手に待機して居るボマードは殆どなく、本舗からの出荷は何れも割當制によつて居た實情である。

例年ならば、昨年は段違ひの淋しきであつたが、秋の需要期を迎へれば一齊に特賣の發表があり、業界の話題を賑すのであるが、今年には品物を賣ることを考へる前に原材料の手當に忙しいので、その方にばかり専念して居る形であり、今年ボマード業界は、原料對策の惡夢に追ひかけられ通しの冷汗の一年であつた。

白粉

原料方面から見た白粉は、硫化亞鉛及び亞鉛華の不足で如何にも戦時下の業界らしい様相を示して居たものの、需要の方を見渡すとそこには可なり活潑な消費を認めることが出来た。即ち軍需景氣の浸潤に伴ふ、花柳界方面の好景氣は、その世界に働く女達特有の厚化粧を盛んにすることにになり、これは延いて煉白粉の需要を豊富ならしめると言ふことに歸着したのであつた。日本髪が季節的なものになるにつれてこれと關聯の深い煉白粉は次第に昔日の情を失つて行くのではなかつたか、幾分下り坂の如く見られて居たのであるが、今年には事變下に於ける特異相が反映して昨年に比較しても一向減退の兆なく、活潑な動きを見せるようになった。しかし、原料の配給の不圓滑は折角賣行良好を傳へられたにも拘らず、注文に對して相當量の荷物を送ることが出来ず、殊に硫化亞鉛の徹底的缺乏は、

白粉下を要しないために、特殊社會に働く婦人達に最も歡迎されて居た煉白粉の不足を來し、國産代用品の研究が完成するまでは同種白粉の賣出しを控へると言ふが如き本舗さへあつて、原料が間に合へずばいばいでも賣れることは解つて居ながら、それが出来なればかりに殺到する注文を見逃しにしなければならぬ程の不自由であつた。

次に亞鉛華を原料とする煉白粉は、亞鉛華不足のために先行は甚だ心細く思はれないが、ともかく今年度は十分とは行かないまでも、前からの用意でどうやら間に合せることが出来、賣行増の波に乗つて相當の成績は擧げて來たが、十月商工省からの示唆によつて業界用亞鉛華の實績を申告し今後の割當に與らうとしたその結果が甚だ香ばしくない雲行であつたがために、白粉用亞鉛華の前途に就いては漸次悲觀的に傾き、結局代用品を眞剣に考へなければならぬと云ふ所まで迫込まれて來た。白粉は一番表面について目立ち易く、化粧に於ける最後の仕上げを果すものであるから、各本舗とも賣れるけれども、原料が思ふやうに廻らなかつた今年度は、その製出には今までにない苦心を拂つて居た。一般婦人用として近年引續き好調を持して居る粉白粉に目を轉ずると、ここには依然として薄肌色が全盛で十指に餘る種類の色はあつても肌色、白色、濃肌色の三種が賣行の量に於いて大部を占め、原料不足の折柄次第に多量に賣れる色に統一されさうな氣配さへ動いて居る。原料はこれも亞鉛

華が主であるが、矢張りどうやら間に合つた方で、大勢から見て現状維持、昨年と大差ないか或ひは少し増した程度に留まつて居た。續く水白粉も原料及び賣行の模様は大體粉白粉と同巧異曲と言ふところであるが容器の壞になるとこれは豫想外の困り方であつた。品質の保護上どうしても瓶を必要とする煉白粉にしても、又水白粉の壞にしても、石炭及び曹達灰の不足と思ふやうに製造家方面から出來て來ず、これがため中味は出來て居ても詰めることが不可能であると言ふこともあり、前々から仰山に準備して居たところはそれを小出しにして何とか急場を切抜けて居たが、總體に硝子製容器の不足は業界を不安動搖に陥し、これを本舗の因であつた。更にそれにも増して本舗の頭痛の種となつたものにボール紙及び段ボール等の品薄がある。下半期に入るや急激にボール紙の出廻りが減退して十枚のそれを獲得する爲に自轉車で馳けずり廻らなければならぬといふ始末になり、白粉の外装サツク並びに外部包装が極度に行き詰つてしまつた。商品そのものから見れば大切には違ひないが第二義的に屬するものであるから、それを手當する熱意に於いて主要原料に對するが如くには行かなかつたが、この包装材料の不足、進んでは荷造り用の木箱、釘に至るまで思ふに委せず、あれやこれやが重なり合つて出荷が順調に運ばない結果、市場の品不足を招來し物が揃つて居ればいくらでも押寄せせる需要を目前にして切齒扼腕の態であつたのは、強ち白粉に限

Table with multiple columns listing various goods (e.g., 香粉, 化粧品, 洗剤) and their sales figures for different periods.

香粉にしても潤澤とまでは行かず、今年はやつと一杯一杯と云ふところであらう。切抜けた各本舗も恐らく来年は割當制に出るのではないかと云ふ観測が、年末に近づくと従つて有力化して来たのであつた。これもつまりは原材料獲得の成果如何によつて決まる問題であるが、現在の物資配給統制が緩和されると云ふ見込みが立たない間は、先づ割當が至當と見なければならぬ状態であつた。

来たために九・一八価格は左したる衝撃を受けずに終つたが、その次の協定価格問題については、中間業者の利潤の確保を圖ると言ふやうな建前から、一般に慎重な態度を持って深刻な備前に當面したかに見える。なほ、使つて目立ず健全な誰にも共通する化粧品である云ふ化粧品の水の特徴は宣傳方面にも精々生かされて居るが、擧の不足に勝る包装材料の不足が七八月頃から襲ひかかつて明年の不自由窮屈を思はせ、早くもこれが打開策、結局は包装並びに外装印刷の手を抜くことを眞剣に考へさせるに到つた。

七月の自衛値段で足踏みして居る間に九・一八の停止命令となつて採算點は益々悪化するばかりとなり、従つて本舗の販賣方針も當然自衛型を強請されることになり、二三本舗を除いては特賣等の發表も影を潜めて了つた。その用途から考へて石鹼が課税を受けて居ない以上、シャンプーの割當は當然であり今後萬一豫想の如く石鹼に税金が課せられる場合は、石鹼とともに買ひたいとは業界の願望が達せられるかどうか。シャンプーが三年間税率一割に停滯することは可成り至難と豫想されて居る。それはともかく税金問題が起きてから、無名品の数がずつと減つた上に、今年の原材料の不足及び値段の昂騰で原料屋から資力の薄い無名品に品物を廻すことが難しくなつて来たので、無名品は全く没落の過程にあつて、ここにも有名品の天下が譲はれてゐる。使つて便利で比較的値段が安く、五錢賣りが三、四錢で買へてそれを二回に別けて使用出来たのが、シャンプーの市場に於ける實勢であつたから、この便利さ氣輕さから消費者は次第に増加し、泥の洗粉を使用して居る向もシャンプーに轉向するものが多く賣行はずつと増加の傾向にあり、無名品の減退で今出で居る有名品には賣るための心配が少しもない年であつた。しかし、シャンプーの定價賣りが實行され、種類が少なくなつて今までの安物が消えて行くに伴つて、シャンプー以外の髪洗粉もだん／＼勢力を張り始め、昔からの消費層を基礎

Table with multiple columns listing various goods (e.g., 洗剤, 化粧品, 洗剤) and their sales figures for different periods.

に斯種の良心的な製品は、一般化粧品的好況とその歩調を一にして居る。あらゆる需要が不足の年であつたから生産に對する需要は、例外なしに旺盛に動いて續いて居るシャンプー及び髪洗粉等も結局はこの例に洩れず、好況の一年を送ることが出来た。

石鹼

(化粧・洗濯)

課税問題と同時に十四年の石鹼界を見舞つたものは業界の改組案であつた。これは二月に於ける商工省當局の示唆によつて表面化し、その具體化は全國石鹼製造業聯合會の改組案に始まり、業界側の意圖した規約改正の要請は、一、全國同業者の規程を調理事務上の連絡を保ち、共同の利害に付結束して輿論を喚起すとの第二條の項に物資の配給割當並びに價格統制等共同施設を爲し、同業者の福利を増進するを以つて目的とすとの三、一札を加へたこと二、第五條中に常務理事六名とあるを常務理事若干名と改めたこと三、第七條第三項を専務理事並びに常務理事は正副會長を加へたる常置理事會を組織し本則第五條の役員會に代行して本會の業務執行に當るものとす。但し配給統制に關しては商工省の監督を以てその割當並に條件を決定するものとすとの四、改めたこと

示第八十三號重要輸出品検査標準中左の通告正し昭和十四年十月一日より之を施行す。左の一項を加ふ。石鹼 一、日本標準規格第三百二十號石鹼分析及び試験法第三章又第四章の方法に依り測定したる化學的成分、摩擦溶解度、比表面張力又は比表面張力別表(省略)の標準に該當せざるもの但し豫め検査機關の承認を受けたるものは此の限に在らず。二、泡立不良なもの。三、龜裂を生じ易きもの。四、斑點若しくは色斑著しきもの又は型打不良なるもの。五、化粧石鹼にして悪臭あるもの。六、前各號の一に該當せざるも不良と認められるもの。これによつて輸出組合の行くべき道は決定して、本問題は自然の消滅となり、組合ではその準備に積極的の工作を行ひつたところ、八月九日に至つて左の告示があつて検査の要項が決まつた。即ち 商工省告示第八十七號 重要輸出品取締法施行規則第五條の規定に依り左の通告正す 昭和十四年八月九日 商工大臣 八田嘉明 一、名稱及住所 日本石鹼輸出組合 大阪市東區内本町橋詰町五八の一 二、検査場の名稱及位置

市場に引かれ、内地は益々掃底の形であ
る。
化粧品業界が使用するものは百二十
度、百四十度の硬度もので、事變前は主
としてライオン・グランドのものを使用し
てゐたが、内地に入らなくなると同時に漸
次和製硬度のものに移つて來てゐる。口
紅、チツクのボテイとしてはいくらも
ものであり、コールドクリームにも使
用されボマードに入れられることもあ
る。

何分にも軍需方面の需要莫大だけ
に、低いもの、硬度もの何れも品薄で、
硬度ものは探せば僅かに入手出来る程
と云はれる。値段は事變前よりは四割方
割れ上つてゐる。

流動パラフィン

パラフィン油中に含まれてゐる固形パ
ラフィン及びその他の不純物を去つたの
こりを脱色精製したものが所謂流動パラ
フィンである。

事變前まで業界品が使用してゐたもの
は全部舶來品で、ドイツ、アメリカから
輸入されてゐたが、現在は殆んど入手出
來ない。國産のスピント油を精製したもの
がこれに代らうとして、今年あたりから
賣出されてゐる。

艶出香油は殆んどこの流動パラフィン
である。また最近では樟油等もこれに轉向する傾
きがあつた。植物油が長い間には酸化し
易いの比し、流動パラフィンは酸化し
ないので重寶がられた譯で、採算的にも樟油
に混用されて來たから、香油界にとつて
は最も重要な原料である。

舶來品がなくなつてからは、和製
に轉向せざるを得なくなつてゐるが、和
製のものはアツがなく、濃度が低い。ま
た螢光と云はれて、青色の抜けが悪い
ものが多い。匂も多少ついたまゝのもの
が多い。それでば香油には不向であるか
ら、脱色、脱臭される譯であるが、同時
に腰がなくなり濃度がなくなる始末であ
る。舶來品がなくなれば業者としてはこれ
に就くより外ない。而も値段は以前の舶
來より倍位も上つてゐるのであるから
悪い原料を高く買はなければならぬとい
ふナレンマに陥つてゐる。品物が決し
て豊富でないことも勿論である。現在ま
だ多少舶來を手持してゐる處もあるが、
これが全部國産品に轉向して來た時
に更に逼迫を告げることは明かである。

香油界は以上のやうな有様であるが、
流動パラフィンは又、コールドクリームにも使
はれる。原料としてはパニシングクリーム
に於けるグリセリンにあたるのである
が、こつちでは和製流動パラフィンの代用は利
かない。腰がなく濃度を缺いてゐる爲めて
ある。
今までのところ、まだ舶來品のストック
を持つてゐるところがあるが、なくな
れば打開の道を講ずることには至難であ
らう。コールドは先に述べたビーズ・
ワックス、蝋燭それにこの固形パラフィ
ンに流動パラフィン、次に述べるワセリ
ン等、主要原料たる油脂・蠟に事缺く爲
め、クリームとしてはその將來製造中止
の運命にあるものと見られて居り、本舖
に於ける原料手當の多寡にも依るが、市

場には供給出来るのは今シーズン位のもの
ではあるまいかと見られてゐる所以であ
る。

セレン

セレンも亦石油精製途上の副産物と
して出るので、固形パラフィンよりも
更に溶解點は高い。従つて口紅のボテ
イに主として使用され、コールド、チツ
クに混用されることもある。和製品には
ない原料で、舶來品に據つてゐた
が、現在入手なくなつてゐることは當然
である。しかし、これがなくてもパラフ
インのボテイでも間に合ふ譯であるが、
若し口紅等で熱帯地方にでも輸出され
るとすれば、パラフィンよりは更に硬度
を欲する譯であるから、その際はセレン
が必要となる譯である。日本の温度で
も、これが入れれば夏場口紅の堅さ
を保つことが出来るといふ便利もある
が、輸入杜絶となればそれも望めないこ
とである。

ワセリン

ワセリンも亦石油の副産物で原油を攝
氏三〇〇度以下で蒸留された部分を除い
た残りのものを精製して得られる。しか
しながら國産品としてはない。同じ重油
でも重油の質によつて違ふので、ワセリ
ンは主にアメリカ系統の石油、ペンシル
バニヤあたりのものから採られる。
現在化粧品原料としての輸入は全く望
みなく、薬品としては醫藥統制會で輸入
を許可されて居り、工業用の黄色ワセリ
ンは鐵油輸入聯合會を経て機械油商の手
に入つてゐる。

従つて業會としては、現在絶無ではな
いが入手することは困難である。輸入に
よるものには標準價格が決定されてゐる
が、その他のものは不明である。
ワセリンは口紅、蠟物性ボマードには
なくてはならない原料である。チツクに
も使はれるが、これはなくても痒痒を感
じる程ではない。コールド・クリームに
も大抵使はれてゐるが、中には入れてな
いものもある。またクレンシング・クリ
ームには白粉落しとして必要な原料であ
るから、ワセリンの拂底は化粧品界とし
ては痛痒である。

加工品

ステアリンはグリセリスと一緒になつ
て大抵の動物性脂肪の中にも植物性脂肪
の中にもあるが、大體高級なものには牛
から製られてゐる。植物性脂肪の中にも
あるから、最近では代用として植物性ステ
アリンも賣出されてゐる。
ステアリンは説明するまでもなくパニ
シング・クリームの原料としては重要、
不可缺のものであるだけに、これが供給
の不調滑は業界に打撃が大きい。その他
中性、油性クリーム、化粧乳液、或ひは
ボマード、チツク等にも使用される。
原料的に見るとグリセリンに反して不
安である。第一舶來品のステアリンは従來
一部の高級品に使はれてゐたが、これは
全く入らなくなつてゐる。牛蠟から製ら
れるものは、石鹼原料たる牛脂が輸出
のリンク制によつて許可されてゐる状態
であるから、事變前の數量とは問題にな
らな

らず、當然ステアリンの供給も激減する
譯である。原料會社としては日本油脂、
旭電化、最近では大阪酸素も乗り出し
て來た。大手筋たる日本油脂の製品とし
ては従來「特製」と「一號」の二種類で
あつたが、現在は「一號」の製造を中止
し「特製」のみとなつて僅かに供給され
てゐる。従つて今まで一號を使つてゐた
ところは代替品とも云ふべき「新一號」
に轉向しなければならぬ。有名なクリ
ームは何れも「特製」を使用してゐる。
「新一號」と稱はれるのは前述の植物性
油脂から製られたもので、パーム油、大豆
油等が原料となり、魚油として鯨油から
製造されたものもある。最近日本油脂か
ら賣出されたものは純植物性で、今後相
當の數量は間に合ふ見込みであるが、ま
だ市場に出たばかりであるから製造本舖
としてはどの程度に使用できるものかは判然
としないが、大體使へるものと云はれてゐ
る。その爲めには補助劑なんかも研究さ
れて行くことであらうし、各本舖にはそ
れん、研究家が控へてゐるから、これを
こなして行くには大した不安もあるまい
と見られてゐる。「特製」の逼迫は漸次
この「新一號」に轉向されて行くのでは
あるまいか。そうなつて、多少原料の相
違があつてもクリームの品質には影響し
ないことになるが、それは一に懸つて技
術家の手腕に俟つべきものである。

値段は舊の一號と同じ程度と云はれる
が、まだ公表されてゐない。特製に至
つては事變前一疋一圓そこ／＼のもので
あつたが、この春まで一圓七十銭、春に

三十銭上つて秋は二圓の相場である。
ステアリン酸モノグリ
セライド
獨乙から輸入されてゐるデキシンもこれ
であるが、今は酸味風味で化粧品に使用
されることは少くなつた。乳化力が非常
に強く水と混和するのでパニシングの鹼
化の補助劑であるとか、化粧乳液の乳化
劑に使用されてゐた。
ステアリン酸亜鉛及びス
テアリン酸マグネシウム
白色の細かな粉末で何れも金屬石鹼、
酒精には溶けるが、水には全然溶けず、
また肌に対して附着力が強いので粉白
粉、タルカンパウダーの一部原料に使は
れる。白粉には特に工合がよいので、こ
れ、四、五年來非常に使はれ出したが、品
物には手薄である。
云ふまでもなくステアリンが前述の如
く逼迫して居り片方の金屬類もないから
全然製造は困難である。しかし白粉方面
で歓迎されるので、無理にもホツ／＼製
られてゐるが、それだけに値段は非常に
高く、事變前の一倍半といふ處である。將
來も亦ますます／＼苦しくなる一方である。

薬用石鹼末

局方のものはオリゴ油と豚脂を原料
油として製造された粉末石鹼で、刺戟が
ないから洗粉、粉歯磨、髪洗粉等に使は
れる。局方のものは市場にも品物はあ
る。
トリエタノールアミン
これは有機性鹽基と脂肪酸の結合した
石鹼で、クリームの鹼化劑として最近使

はれ出したものである。油性クリームの
製造上非常に工合がよいと云ふので、全
般ではないが本舖によつては使はれてゐ
る。日本では關西に製造してゐる會社が
あるといふことであるが、在來は殆んど
輸入に俟つてゐたものである。品物は決
して豊富ではなく値段は事變前の倍以上
に出つてゐる。
プロテギン
ワセリンとオキシコレステリンを混合
したもので三、四年前から新乳劑とし
ては油性、クリーム、化粧乳液、練白粉
等に使はれてゐたが、今は殆んどなくな
つて市場には見當らない。然し乳劑とし
ては他に種々あるから困るといふこ
とはない。總じて化粧品原料としては、
十年以上も使はれて來たものなら、この
際になつては支障を來すが、新原料と
して近年に現れたものは、そこに特徴は
あつても必要なくべからざるものとはな
らない。多くは補助的な原料であるから
である。

酒

酒精は再三記述したやうに國産で豊富
にあることは全く化粧品界にとつては有
難い。これがなくなつては堪へない。化粧
品は進退谷まることとなる譯のものであ
らう。
わが國の酒精は主に製糖會社で、砂糖
の副産物である糖蜜を處理して製られて
ゐるが、これ等は徳用アルコールと稱さ
れてゐる。化粧品に使用されるアルコー
ルは甘蔗や大根の澱粉から製造されたも
のであるが、事變以來カサリンに混用さ

れたりまするので各地に増産計畫が進めら
れて居り、業界としても何等入手に困難
を感じず、値段も大體事變前と變らない
状態であるから、化粧品原料中、目下
のところ最も恵まれてゐるものと云へる。
アルコールは、消毒、乾燥、刺戟等の
目的の爲めに化粧水、頭髪香水等に重
用され、又、溶劑としては香水、ロシヨ
ンの製造や、透明石鹼、液體石鹼の製造
に使用され、その範圍極めて廣範であ
る。
⑤糖分・澱粉原料
糖分原料として先づ挙げられるもので
あるが、或種のクリームに嵩ふやしとし
て使はれてゐる。又、リスターが高いの
で單舍利別を入れたりするが、これは需
要の方でクリームにリスターが入つて
あるかどうかを試す爲めに紙めたりする
ので、甘いやうに單舍利別を入れる。
砂糖を溶かして煮つめればいいのであ
るから、まづ無くならない心配もない。
蜂蜜は皮膚に効力があるといふので、
この頃では蜂蜜クリーム等も出て來た。
元來、無糖蜜にあるものではないが、市
場では入手に困らない。値段も大して變
化はないが、全體としてクリームに使は
れるのは少量ですむ譯のものである。
コンスターチ
玉蜀黍の實から製造した澱粉で、肌
に対して附着力が強いので粉白粉、タル
パウダー、天瓜粉、洗粉などに一成分と
して混用される。

るものは以下の如き香料植物で、それらの栽培の事業化が着眼の焦點である。即ちレモングラスはパラオには野生してゐる。これは獨人の占領當時、パイナップルの間作として栽培された關係上、現在も野生してゐる状態に、將來有利に改良される望みがある。次に肉桂はセイロン・シンナモンが最もよいとされてゐるが、パラオにも産し、支那肉桂よりは遙かにセイロンに近いものと云はれ、南洋原産のワニラ、モルツカ原産のワニラを取る丁子、フィリピン原産のワニラ、その外食用香料としてのジャバ原産のスパイス類も將來有望とされるものがあり、これにビメント(蒲桃)胡椒、ジンジャー等があり、白檀、保留樹となるベチバ等がある。

パラオに於ける熱帯産業研究所は、これら香料植物の栽培に協力を惜まず、香料産業の南進に大きな力を貸してゐる。だが、現在パラオ島は眞珠、パイナップル、魚の罐詰等が主な産業で、まだ交通は至便とまで行かず、勢力の不足といふやうな障害もあるが、今後の開發は目に見える躍進を期待することが出来る。

併しながらわが香料界が垂漚してゐるのはどうしても日本統治圏内から更らに南進して關鎖までゆかなければ、日本の香料政策は完成しないと云はれる。南下する海の生命線に伴つてわが香料界も矢の如き視線を赤道直下に放つてゐる。輸入香料の杜絶一度びは屏息するかに見えた香料界は、大省一番逢ひに甦生

の意氣に燃えて立ち上り、國內資源探究を發行する一方では、遠大な計畫の下に南方熱帯方面に於ては、業界將來の基礎を置かうとして居るのである。

讀つて、今日に於いては僅に残された輸入香料の空き門を拾ひ上げると、その第一輸入爲替許可制度實施の方々に於ける唯一の方法即ち一口百圓を限度とする許可を要しない部分の利用によつて些少なりとも補ひをつけて行く方法であるがこれによつて能率を擧げることが金額の少ないために甚だ難しく、到底消費量を追付いて行くだけの輸入は望めない。ところが今年に入ると、この残された道を最大限に利用しようとするところから輸入品を取扱ふあらゆる業界に種々な名義を用ひて百圓の符り集めを策する者があるといふやうな警告的な新聞記事もあつた。五月頃から送金を受付ける手續がなかつて、嚴重になり、残された唯一の買付手段も全くの空き門になつてゐる。

第二は日本輸入香料統制會の手を通じて行はれる輸入である。しかし、これは輸出石鹼のリンク制による輸入香料の扱ひを主として誕生したものであつて、將來はいざ知らず、現在では統制會が輸入する香料は輸出石鹼業者の依頼によるものだけでありその香料は輸出石鹼に限つて使用することを許されて居るに留まり、内地向には假令統制會がどんな大量のものも輸入することが出来たとすても、ちつとも、振向けることは出来な

統制會が輸入許可を受けた額は
第一回分——四萬六千三百三十三圓
第二回分——四萬三千六百六十五圓
第三回分——二萬八千七百八十五圓である。

第三は日本伊太利輸入協會の活動に俟つ伊太利産天然香料の輸入がそれである。この協會は日滿伊三國の經濟協定に基づいて成立し、友邦の誼から伊國の特産物を買入れるのがその目的で、その品目の中に業界關係の香料が入つて居ると云ふわけから、日本伊太利協會の存在が業界にも意義を有つやうになつたのである。既に二月中に柑橘類芳香揮發油の入荷があつたと云ふ業績を持つて居る。なほ、對佛輸入協會と云ふ今年一月成立の機關があるが、これは佛蘭西から輸入する場合、ここを通じて奥書を受けると言ふだけで、それが陣頭に立つて輸入の實際的仕事に携ると云ふのではない。ひと渡り見廻して上に述べた小さな關門は小さいながらも機能を發揮しな

もなかつたのであるが、九月上旬歐洲第二次戰亂勃發後の航行不安から爲替許可を取得ても、適當の便船を求めることが出来ず、事實上海は殆ど機能停止に等しい状態にあつて、輸入實現まではなかなかのことではない有様であつた。

製造界の問題

事變勃發以來爲替管理、原料輸入の禁止、軍需及び輸出資材の優先的確保、國産關係原料品の強制輸出、國內物資の配給、統制、電力、石炭、瓦斯の制限等斯く數へ来るとしてわが業界の製造界を有利に導いたものは見當らないのを考へる時、今年の製造界が如何に苦難に喘ぐ一年を送つたかと言ふことは直ぐ胸に響くのであつた。やがては来るであらうと豫想されて居た非常時の波が、遂に今年下半期に入つて業界の土臺を洗ひ始めたのである。國內物資の減退振りはわれわれの豫想を遙かに飛び越えて業界品原材料は日に日に壓迫を加へられて来た。昭和十二年夏の輸出入臨時措置法による爲替管理公布の際には、業界は唯單に舶來材料の輸入杜絶に脅へた。次いで鐵類、非鐵金屬類の統制が見舞ひ、今年に入ると、釘鐵線の使用制限から電力の制限に及び續いて石炭、ボール紙までも割當制となつた。かやうに直接間接を問はず時局の壓力は容赦なく迫つてわが業界を閉鎖し、昨年末までは多少残存して居た前途に對する樂觀氣分も今年に入ると完全に粉砕されて了つたかの如く見え

販賣界の問題

は嬰ひ来るべき新情勢に對する業界自身の新規身構へに外ならないのであるが、内容の一新を機として内に盛るべき心構への更新こそそれにもまして緊要であらう。朝令暮改が何の變態をも感ぜしめなかつた程の復しさを以つて過ぎた一年を回顧してきて、明年の業界を予見する根據を何處に求むべきであらうか。唯過去に拘泥せず前進せよ。今年度に現れた目覺ましき各本舗の大體發展策は取りもなはずこの進軍譜に外ならなかつたのである。

昨年暮より持越しの物品税の増徴及び石鹼齒磨の新規課税の聲は、新春から販賣界を刺戟して荷動きを旺盛にし、増税後には必ずその分だけの値上げがあるものと見た需要家筋の買氣から、今年の業界市場は季節の慣例をふつとばした活況であつた。その後議會終了も間近に及んで化粧品のみは五分の増税と決定したが、石鹼と齒磨は課税から除外となつたので意氣込んで居た面々には意外の感じを興へ、税金に絡む問題はこれと一段落と思はれたところ、政府公認の課税分だけの値上げが、これは別個の立場から矢張り政府の主張する低物價政策に抵触すると言ふ問題が起り、原材料の騰貴に耐へるだけ耐へて居た際として建値の改正を斷行しようとして、一齊に態度決定に出かけた業界販賣陣を一大混亂裡に陥れたのであつた。政府の言ふところは増税分

給、統制、電力、石炭、瓦斯の制限等斯く數へ来るとしてわが業界の製造界を有利に導いたものは見當らないのを考へる時、今年の製造界が如何に苦難に喘ぐ一年を送つたかと言ふことは直ぐ胸に響くのであつた。やがては来るであらうと豫想されて居た非常時の波が、遂に今年下半期に入つて業界の土臺を洗ひ始めたのである。國內物資の減退振りはわれわれの豫想を遙かに飛び越えて業界品原材料は日に日に壓迫を加へられて来た。昭和十二年夏の輸出入臨時措置法による爲替管理公布の際には、業界は唯單に舶來材料の輸入杜絶に脅へた。次いで鐵類、非鐵金屬類の統制が見舞ひ、今年に入ると、釘鐵線の使用制限から電力の制限に及び續いて石炭、ボール紙までも割當制となつた。かやうに直接間接を問はず時局の壓力は容赦なく迫つてわが業界を閉鎖し、昨年末までは多少残存して居た前途に對する樂觀氣分も今年に入ると完全に粉砕されて了つたかの如く見え

先づ最も直接的に業界に關係する主要原料に就いて云ふならば、ボマード用カストル油の配給が絶望となつたのも今年であり、アラビヤゴム、トラカントゴムの配給組織が完備しそれを通じてのみ今後の配給を受けることが出来るとなつたのも、又亞鉛華の配給制度が整ふて業界の受ける分前が甚だ心細い状態に停滞し剩へグリセリンの配給が禁止になるのではないかと氣遣はれる程、業界が時局の埒外にあるものとして冷遇されつつあ

だけの値上げは認めるけれども、この際低物價國策に協調する意味で應分の自肅をして貰ひたいと言ふ意見があつて、警視廳の經濟警察が第一線に動いて業界にも積極的に働きかけ、自肅を實証するたに業界の自肅值段表を作成して之を當局に提出せよと言ふことになつた。これより先物價問題の喧しき折柄でもあり、輿論を刺戟するのを慮れた業界では、商工當局の意向を汲んで六大都市の代表を交へた組合臨時總會を開催して、値上げ問題の根本方策を決定し必ず増税の範圍に於いて行ふことと申合せたのであつたが、自肅強要の度は更にそれ以上に強力なものであつたがために、上半期は殆ど値上げも自肅を如何に裁量するかと云ふ問題のみに終始し、結局各本舗の意志によつて出来るだけ自肅の精神を披瀝して終つたのである。更にこれと前後して消費抑制の建前から射倂行爲取締りが嚴重になり、これは延いて業界の特賣に對しても各府縣別届出制の頒行とか景品内容の檢討とか云ふ種類の煩瑣事項もたらしく、業界の販賣活動を漸次不明朗化し行く氣配となつた。その後上半期から下半期へ移行する頃から、製造部門の原材料難は追々販賣界にも響いて出荷澁滞を來すやうになり、時局に遠慮するため特賣發表が遅延するのではないかと云はれた七月八月のクリーム特賣も更にその氣色なく、いよいよ原材料難の深刻を思はせ

るばかりであつた。一方消費方面はと見れば、軍需景氣による購買力の増進、東北、北海道方面農地帯の好調から品物

る實情は製造部門に反映してその活動を或る程度減殺したことは疑ひを容れる余地がなかつた。工場設備擴張の困難、労働力の不足は更に業界の苦惱を増加するに餘りあり、香料とか化粧品とかの社名を回避して化學工業會社と改稱するとか或ひは製品の種類を藥品關係に振向けるなど業界の時局突破策は種々なる形に於いて現れて来た。殊に中小工場の従業員減退の兆は余力少き之等業者が時流の壓力に抗し得ず刻々敗退の一途を辿るその動向を物語るものでなく何であらう。

統制經濟の影響は好むと好まざるに拘らずその公式が有する持前の過程をわれ等の前に示して居る。

また轉じてわが業界の一翼を形成する小間物雜貨界では如何なる現象が展開されて居るか、國內資源豊富の故を以つて樂觀されて居たセルロイド素地の手海が加工方面を脅かし始めた。この一事は、これ又小間物界全般の苦痛を代表するに十分であつた。硝子瓶、セルロイド、硬化油と云ふやうな錚々たる國産品が手に入りかねる次第となつては實に致命的の打撃である。また幸ひ容易に入手出来る原材料でも、それ等は一齊に昂騰し品拂底から来る原材料難に加へて價格の昂騰による採算點からの原材料難が加はつた業界がかうした悪材料を背負ひながら、この一年を乗り越えて勇ましく明年の首途に備へることが出来るのは、一つは今までの繁盛によつて内部に蔵して居る實力がなほ無限の活動力を附與して業界自身の成長を大いに促進して居るからであ

の消化は非常に良く、注文殺到に對して荷物が間に合はず、回収難は愚かなること、賣るための苦勞が殆どないと言つても過言ではない有様であつた。従つて景品の特賣に出る必要もなければ、その餘裕もなく、營業成績は可なり見るべきものがあつた。業界名物の愛用者招待及び宣傳隊等の巡回等も例年に比すれば著しく華さを失ひ、時局のもたらした一面もあつたが業界販賣界は、すつかり自肅自戒の冷靜さを保持した。この間にあつて各本舗の大陸進出はいよいよ本格的になり、販賣網の完備、工場敷地の買収など有力本舗は相次いで現地に足溜りを求めることに力をつくし、大陸に於ける將來の發展を基礎づけるのに怠りがなかつた。

續いて九月初旬歐洲の天地に第二次大戰勃發のニュースが傳はるや、市場には忽ちして爆發景氣が起り、諸物品が軒なみに昂騰し始めたので政府の英斷から、ここに九・一八の價格停止令となり國內物資の流出を防ぐプロック向輸出の制限となつた。自由に輸出の出来た業界品の滿洲北支向出荷が六・七・八三ヶ月の實績を基準に今後は所管輸出組合に於いて、所定量だけの輸出を認可して行くと言ふこの制度は、相當業界に衝撃を與へたが油脂、蠟製品が、その制限から除外されて居ると云ふやうな事情から、實際には業界品の進出が阻まれる率は低かつた。小間物雜貨の部では圓プロックに力點を置いた問屋が物によつて伸び行く出鼻を抑へられることになつた。價格等

停止令により九・一八にストップした業界品の價格は今までの成行から凸凹が甚だしく、之を平均線にならすための協定價格設定問題は十月から十一月にかけての全業界を完全に擒にしたのである。最終卸賣價格及び小賣價格をあらゆる商品にわたつて協定し、之を當局の認可を得て公道價格代りに通用せしめると云ふ問題は、實に業界販賣界に於ける劃期的な懸案であり、東京業界では或ひは小賣團體と或ひは大坂始め六大都市の業界と相互に協調連絡を保ちながら、萬全を期すべくその準備研究に全力を挙げ、十一月もギリギリ一杯のところまで組合の原案は纏まつた。

なほ、協定價格問題と併行して商工省物價局の石鹼齒粉齒刷子に關する公道價格設定問題が持上り、業界よりも五人の専門委員を遂つて數次の審議會を重ねた結果、齒刷子及び粉石鹼は一時見合せとなつて齒粉及び化粧石鹼、固型洗濯石鹼の三種をめぐり公道價格原案が出来上り、中央物價委員會に掛けられて後の公表を待つばかりとなつた。商品價格に對する統制並びに販賣方針に對する取締りは日を経るに従つて峻烈となり、恒例の見本市は今年春の開催を見合せたのに始まつて秋も引續きその例に倣ひ、事態の續く限りその開催は不可能ではないかと思はれるに至つた。中元、歳暮賣出の宣傳禁止も同じ趣旨から出た政策であり、消費を助長するが如き行爲は一切慎しまねばならなかつた。

でも自己の營業權を擁護して行かうとする建前から、今まで組織を持たなかつた販賣業者間に於いて商業組合を結成しようとする機運が急激に進み、その具體化せるものは左に掲げる通りであるが、近頃創立總會開催までに運んだものに東京小間物小賣業組合があり、現に設立準備中のものに東京小間物卸商業組合がある。法律的な基礎を持ち、積極的な機能をもつる商業組合に據つて業界を一つの全體主義に結びつける意氣は製造部門に於ける工業組合結成と好一對をなすものである。

化粧品の小賣業界に於いても何でも賣れ行きはよかつた。殊にクリーム、ポマード及びアルコール性のものがよく賣れ、品物は古いものを欲して製造年月を確めてから、最近のものより半年なり一年なり前のものを買ひ求めて行く傾向が一般にあつた。そして香水等では容器の大型なものがよく出たが、これは一度に買つて置いて長く使はうとする心組みの現れであると思はれた。従つて和製品の徳用瓶と言ふやうなものまでがよく出た。高級を目ざす小賣店にはまだ舶來品が一通りは残つて居るが、代表的に名の通つたものは既に出て了つて、今まで餘り親しまれない種類のものだけが残り居ることになり、謂はば文字通りのストップ整理時代に入つたのである。これに對して今まで舶來品にのみ頼つて居た一部需要層の和製品への轉向が漸く本格的になり、ともかく眞面目に使つて見ようと思ふ向が目立つて増加して來た。水油、香

特賣取締の最新方針

業界の特賣に對して取締當局たる警視廳が監督上の新方針を示唆して、今後は特賣區域内の各府縣毎に一々届出でその許可を仰ぐべしと言ふ指示を與へ、今まで黙認の形であつたものを法規通りに取締ると言ふことになつたのでその手續の煩雜に耐へ兼ねた業會の一部には、漸く不安萎縮の兆が見えて來た。これを遺憾とせる業界では、警視廳保安課の大

竹警部に取締上の意圖を聴取したところ、結局當局に於いても、内容堅實なる特賣を許可するに吝かなるものではないが、たゞ時局に鑑み、左の諸點は十分考慮して欲しいと言ふのであつた。即ち

- 一、取引店に對する特賣のうち清遊招待等は極力之を避けて觀劇等に振替へること
- 一、愛用者の演劇映畫招待は日を限つて全館を買切るやうにし、地理的にもそれ／＼行先を區別すること
- 一、景品の場合は質實的なものを選定して或る可く平等にすること
- 一、全國的特賣は一店年三回の程度に止めること

朝鮮の戻入品無税

- ⑤ 賣出廣告を誇大にせざること
- ⑥ 警視廳の届出の部の賣出區域は東京府一圓とすること
- ⑦ 優秀景品は空籤にせざること
- ⑧ 景品は架空の人物に贈與せざること
- ⑨ 知人、故舊、親戚のみに贈與せざること

店内の金製品撤去

朝鮮業界では交換品の戻入無税を無税とせられたしとの希望あるに鑑み、總督府水田財務局長より昭和十三年十月十五日、大藏省主税局長大矢次郎氏に對して左の如き理由書及び取扱方針を披瀝してその諒解を求めて來た。即ち

鮮内消費の化粧品は大部分戻入品であり、之が取引の實情を徴するに一旦移入後破損又は汚損した場合に之を製造元に返送して新品の送還を受ける慣行である。然もその額が相當多額に達する見込であるから税令第四十五條の趣旨に鑑み之等取替品に對する課税關係を調整するため次の如き方法により取扱ひたい。

- 一、移入化粧品破損又は汚損の爲製造元に返送する場合に於ては豫め税關長(税關支署長出張所長を含む)の承認を受け、指定期間内に製造元戻入済證明をなしたる時は返送品引取當時の課税標準額を、その後後に於いて引取る分より控除して申告せしむ
- 二、前項の承認を受けんとする者あるときは一製造場仕向一回の返送品價

興粧會の返品拒絶

東京本舖興粧會では、九月九日の例會

の席上に於いて返品問題を議題として取上げ、種々意見を交換したる結果、要旨左の如き返品拒絶の聲明書を會の名に於いて發表した。

……從來一般の慣習として行はれ居候製品の交換並びに返品の際は、永年に亘る業界の弊風として夙に之が改革肅正を叫ばれ居る次第には御座候へども、未だその實績の見る可きもの無之、遺憾至極に被存居る次第に御座候。然る處、當今戰時統制經濟下に於ける業界の狀態は曩に兩度に亘る化粧品稅の加重あり、又一方原材料の入手難が叫ばれ殊に容器類の拂底は著るしきものあり、化粧品製造界の非常時を叫ばれつゝある狀態に有之候。従つて物資の尊重は國策的にも必須の要件として痛感され居る次第にて、かゝる際未だに交換返品の陋習を繼續されるに於いては、製造業者の蒙る可き影響甚大なるもの有之は、瞭らかに御察賜る處と被存次第に御座候。仍つて東京本舖興粧會に於いては寄々協議の結果左記事項の實施を申合せ候に就いては事情御賢察の上、右主旨に御協賛賜り今後一層商品の御愛護御廣顧上度此段謹告申上候次第に御座候。

一、本會員發賣の化粧品に關しては交換並びに返品の際は勝手乍ら御斷り申上候

但し已むを得ざる破損汚損の品はこの限りに御座無く候

東京本舖 興 粧 會

業界工場一覽

昭和十四年十月一日現在

Table with columns: 工場名 (Factory Name), 代表者氏名 (Representative Name), 所在地 (Location), 設立年月日 (Establishment Date), 主要生産品 (Main Products), 従業員数 (Number of Employees). Lists various industrial companies and their details.

新しい技術者精神

①人間は機械に非ず
技術の技巧に熟練して心身ともにその技術の工夫どほり精確に迅速に働くやうになる...

Table with columns: 工場名 (Factory Name), 代表者氏名 (Representative Name), 所在地 (Location), 設立年月日 (Establishment Date), 主要生産品 (Main Products), 従業員数 (Number of Employees). Lists various industrial companies and their details.

るままに精確に忠實に働いてゐるだけである。自分の働く結果がどうなるか知らず、もともとその働く目的は自分でこれがいいと言つて選んだのではなく、また厭だと言つて拒むやうなこともない。しかし、人間にはそれができる。思ふままに目的を立てて努力して次第にそれに近づくといふ會心のことのできる。そして、何でもその目的の爲に使ひ、爲にならないものは棄てて顧みないことができる。技術もこれらもとも人間が生存の爲のいろいろな役をさせる爲に始めたものなのである。必要だから、都合がいいから、といふことでさういふ手段を考へ出したのである。しかし、この技術だけが取柄な人間が多くなれば、技術を正しく使ふべき地位にあるものが少くなる。使ふ、使はれる。といふ關係は明瞭でなくなり、むしろその主客の位置は顛倒して、技術や機械が人間を使ふと言つてよいやうなことも起つて来る。さうなるわけもいろいろ考へられるが、技術が著しく發達したこともその原因の大きなものと云へよう。糸が入用になれば紡ぎ車を出して廻す、着物が欲しいときは機にかかるといふやうに技術が簡單ならば、必要

Table listing various products and their manufacturers, including items like '石鹸' (soap), '化粧品' (cosmetics), and '医薬品' (medicines).

Table listing various products and their manufacturers, including items like '化粧品' (cosmetics), '医薬品' (medicines), and '日用品' (daily necessities).

Table listing various products and their manufacturers, including items like '化粧品' (cosmetics), '医薬品' (medicines), and '日用品' (daily necessities).

と手段、人間と道具、の主たり従たる間には何の錯りもないが、そのやうな道具が發達して今日見るやうな大で複雑な仕組の機械になればその技術を習ふこともすてに難しく、寧ろ興味や努力はここに吸収されて他を顧みることになり、いきほひその仕事に全精力をこめて考へることができなくなる、ましてそれが人間社會にどんな影響を及ぼしてゐるかといふやうなことは殆んど考へられない。この影響の中にはその技術の目ざす利益だけでなくまた損害もあると考へなければならぬ。つまり、さうして人々はその自分のすることの目的を忘れてしまふ。どんな結果になるかも考へないでゐる。いはばその日その日の賃銀の爲に働いてゐるのである。

Table listing various products and their manufacturers, including items like '石鹸' (soap), '化粧品' (cosmetics), and '医薬品' (medicines).

Table listing various products and their manufacturers, including items like '化粧品' (cosmetics), '医薬品' (medicines), and '日用品' (daily necessities).

Table listing various products and their manufacturers, including items like '化粧品' (cosmetics), '医薬品' (medicines), and '日用品' (daily necessities).

である、しかし、これをただ職業としてすることにすれば、その目的を達したところで誰も意つて努力を止め、醫術の眞の恩恵は人間社會に行き渡らないかも知れない、むしろ弊害が生ずるかも知れない。

Table with multiple columns listing companies, products, and locations. Includes sections for '和歌山' and '兵庫'.

③技術者の新しい心
技術者がそのやうに改まつて行くのにはどうすればいいか。
それは技術者の一人一人がまづそのやうな考へにならなければならぬ。

Table with multiple columns listing companies, products, and locations. Includes sections for '神奈川' and '京都'.

④技術の將來
我國はこれからの何を爲さなければならぬか、何處に何が缺けてゐるか、といふことを考へれば、そのやうな必要は實は私達の前に無数に簇つてゐる。

たるクラブ特定品販賣株式會社は大阪一
縣一單位を以つて全国的に設立完成を見
たので、東京本店では東日本管内の全
販賣會社主任を東京に招致し、七日京橋
明治製菓ビルに於いて主任會議を開催、
制度品としての使命完遂に關し協議を行
つた。上京の出席主任如左。

- ▽千葉三井田正平▽茨城縣西原本雄▽
- 栃木縣笠間杜治▽崎玉縣金井功▽山梨
- ▽ラア化粧品矢島重▽長野縣武田貞夫
- ▽新潟縣西部富田増夫▽群馬縣津孝夫
- ▽山形縣鈴木義夫▽福島縣本橋義助▽
- 宮城縣永谷政次郎▽岩手縣橋本忠相▽
- 青森縣小林榮吉▽秋田縣橋本吉喜市▽
- 札幌關幸朗▽旭川中村正吉▽東京特定
- 品會社湖南配給所鈴木正明

關東政府代表のクラブ訪問

中山太陽堂中山太一氏は八日正午、住
吉區松崎町の本店にて蒲田中の訪日蒙
三自治政府代表徳王一行を迎へ、これを
主賓として池田大阪府知事を始め大阪官
民有力者を午餐會に招待した。當日はこ
れより先、代表一行のうち随員三氏は浪
速區水崎町の本店を訪ね、中山店主の説
明によつて化粧品石鹼工場を視察した。

ライオンの石鹼講習會

ライオン石鹼株式會社では十日から三
日間、全國有力代理店の代表店員を上京
せしめ、第二回ライオン石鹼講習會を開
催。受講者三十五名、會期中は駿河寮の
生活館に宿泊、無事日程を了つた。講師
は竹井専務、日比野技師長、福井文雄、

高橋龜吉、川勝堅一の諸氏。
栃木縣クラブ特定品販賣株式會社

栃木縣クラブ特定品販賣株式會社では
十四日、栃木縣下の特定品販賣店懇談會
を川治温泉に開催した。参加八十有餘名
會社代表者笠間文悟氏の挨拶の後、クラ
ブ本舖太陽堂副店主中山豊三氏起つて現
下業界の諸問題及び今後の業界の動向に
就いての所懐を述べ、左記申合せをなし
た。

申 合

- 一、現下の非常時局に當り益々事業健
全なる經營を行ひ産業報國の實を舉
ぐる事
- 一、産品たるクラブ特定品の推奨販
賣と併行して陽謀クラブ化粧品品の販
賣利益確保に務め益々業界共榮の理
想建設に躍進すること
- 一、支拂期日の短縮は業界の健全なる
發展に資するものにして又該後産業
人の使命遂行の所以たり將來一層短
期取引の實現を期すること
- 一、躍進日本の興隆に伴ひその發展に
資すべく益々業界諸制度の組織化統
制化に努め以て長期建設の國策に順
應すること 以上

昭和十三年一月十四日

兩セル會社三國へ合併

大阪の三國セルロイド株式會社では東
京セルロイド及び堺市日本セルロイドの
兩社を合併してその營業一切を繼承、渡
壁全一氏が社長として今後の進展を期す

ることとなつた。三國の本社所在地は大
阪市東淀川區十八條町五八八。

高橋東洋堂五萬圓獻金

アイデアル化粧品本舖では銃後奉仕の
一端として金五萬圓を獻金することに一
決、組合の廣田理事にこれが方法を一任
されたので、廣田理事は恩賜財團軍人援
護會に寄附することに決定、東洋堂社長
高橋三四郎氏は十七日廣田理事と同道の
上、援護會長陸軍大將男爵奈良武次氏を
訪問、前記の金額を手交した。

ライオン刷子會社株主總會

ライオン刷子會社第一回總會は十日午
後四時半から蒲田の同本社に於いて開催
株主全員並びに小林社長以下各重役出席
の上、配當案その他總て原案通り可決。

クモ印本舖の新築移轉

クモ印クセ毛直し本舖では發祥の地た
る松山市南江戸町八代町筋に本社々屋を
新築移轉、左記に大阪出張所を設置し
た。

大阪市東區兩替町一ノ二四
電話東四〇三三番

長瀬商會の花王祭

花王石鹼本舖長瀬商會では十七日恒例
の花王祭を舉行、吾郷工場内稻荷神社前
において社長始め長瀬商會、大日本油脂
兩社重役參列のもとに全社員列席、今年
は祭典に先立ち職技社員の慰靈祭も行
つた。



自昭和十三年十一月一日
至同 十四年十月三十日

- 一、廣告、宣傳、清遊視察に關するも
のを除く。
- 一、商品を中心とする團體主催の總會
等は除く。
- 一、此の日記に除外したる以上の項目
は、「廣告宣傳」「清遊視察旅行」及
び別冊の「人名辭典」等それらの
部門を参照せられたい。

十一月 (十三日)

伊東胡蝶園、店員慰安遠足會を武藏嵐
山に舉行 二日
モンゴ洗粉本舖、余丁町より杉並區
高圓寺四ノ六〇一移轉。
中山太陽堂大阪本店では國民精神作興
週間に當り全社員實施要綱を實施
七日
日本石鹼株式會社創立一周年の社員慰
安觀劇會を北野劇場に開催 八日
柳橋笹川善商店、電話淺草八五六一番
開通。
株式會社中南商店代表取締役中南定太
郎氏は左記へ事務所を設置。
京橋區入舟町二ノ一(電)三〇八
福島縣東部四郡聯合の共榮クラブ會は
平市公會堂に開く 十一日
函館十全堂株式會社東京出張所を麹町
區富士見町一の七の九に設置。
長崎縣クラブ特定品會社では長崎會館
に經營研究懇談會を開催 十五日

用藥

モノコ洗粉



用藥

モノコ

ムーリク

色白 専用

新發賣

ジュジュク
クリーム
ム

定 價

- モノココ洗粉 〇・四五 〇・六〇
- 〇・九五 一・八〇
- モノココクリーム 一・三〇
- ジュジュククリーム 〇・八〇

峯乃華化粧料
 藥用モンココ洗粉
 ジュジュクリーム
 レオン洗顔クリーム
 ハリウッド化粧料
 藥用クレームアモンパヤ
 伊豆椿化粧料
 シヤベトニツク化粧料
 蜂研クラーム
 イオス洗顔クリーム
 粧素フレツクルぬか
 三共サポイド石鹼
 毛生美髮液加美乃素
 ユゼ洗粉
 パーマン活性硼酸石鹼
 丸善藥齒磨

東日本 關東及大東京發賣元

有名化粧品問屋

「ホーケン」蜂研「蜂蜜石鹼總發賣元

塚田合名會社

東京市本郷區湯島天神町三ノ十一
 電話 下谷 (83) 二七二五 六五番
 振替 東京 七九一四 四番

玉仙香

家庭的燐寸
日本櫻印



三祐香



東京 千歳

千歳元結



火持よ 中途消せぬ



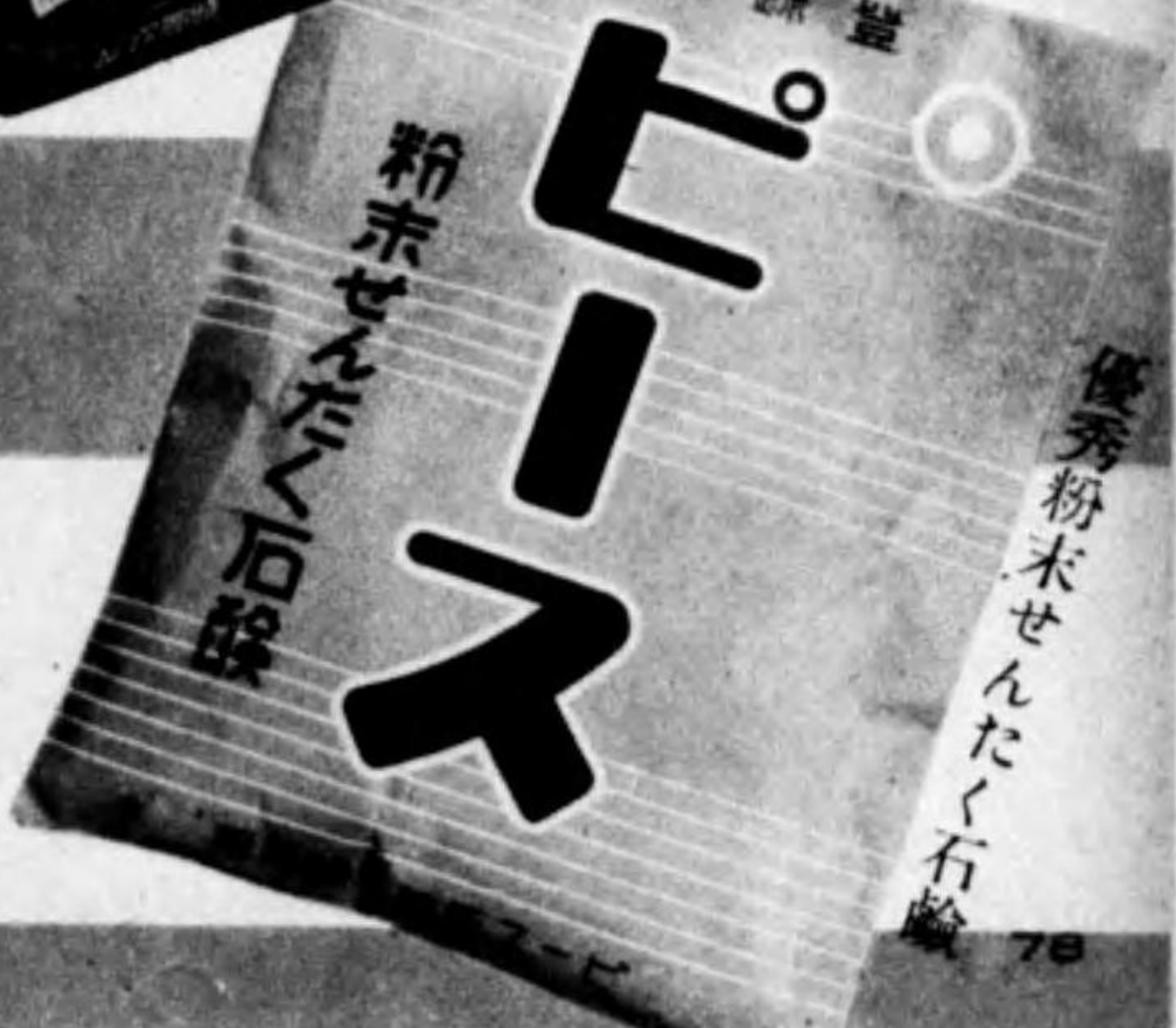
御好評なる白蠟

線燐寸香石製造 燐寸香石製問屋

三勇商店

株式會社

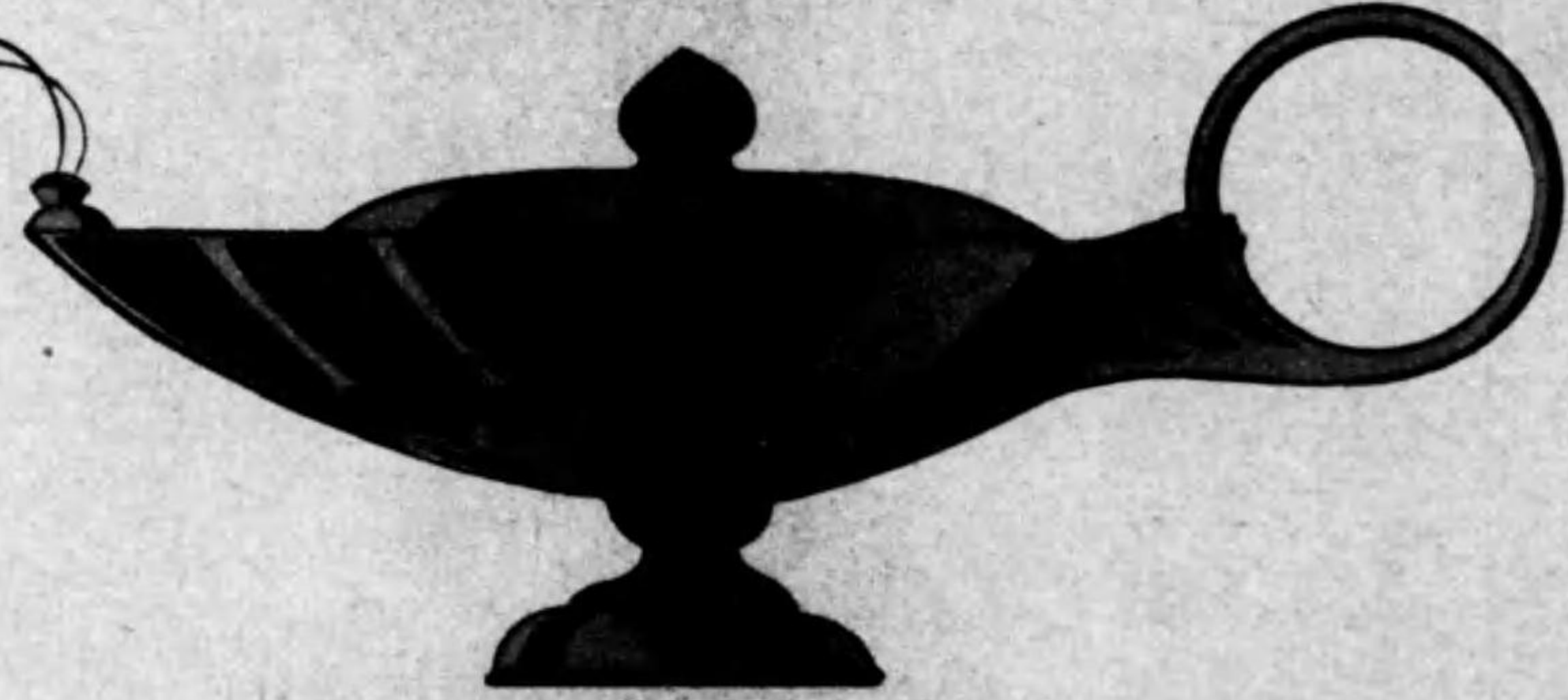
東京市青島山五丁目
 電話 青島 九一八番
 電話 原住 一〇八番
 電話 坂口 七四二番



優秀粉末せんたく石鹼

料香

Cikodo & Co



店本堂廣永

目丁一通橋寺堂安區南市阪大

堂廣永

目丁二町本區橋本市京東

會社名

會社名



効薬るな著顯
感用使るな適快

☆萬能皮膚薬でお化粧料になる
 マーシレットクス 八十五〇(徳用瓶)
 ☆齒と齒ぐきを丈夫にする専門家の推奨の
 マー・煉齒磨 八十五〇
 ☆マー・煉齒磨の姉妹品
 マー・準煉齒磨 二十三〇
 ☆齒と口中を清潔にし聲をよくする(吸入にもよし)
 マー・ローション 八十五〇
 ☆髪を毛をしつとりしなやかにする洋髪用液体シャンプー
 マー・セーモイ 五十五〇



マーの五大製品!!

會商屋守 社會式株 舖本

ボーマポマ

油性物植純

本舗経営の鹿麻栽培農園の一部にしてボーマポマの主要原料となるものであります。



ヌメ

料髮美級高



有含素毛養



が場工門專油煉の一唯邦本
品良優最る誇を正純の質品

本店 東京市本所區豎川二丁目
支店 大阪市東區備後町五ノ五

井田京榮堂

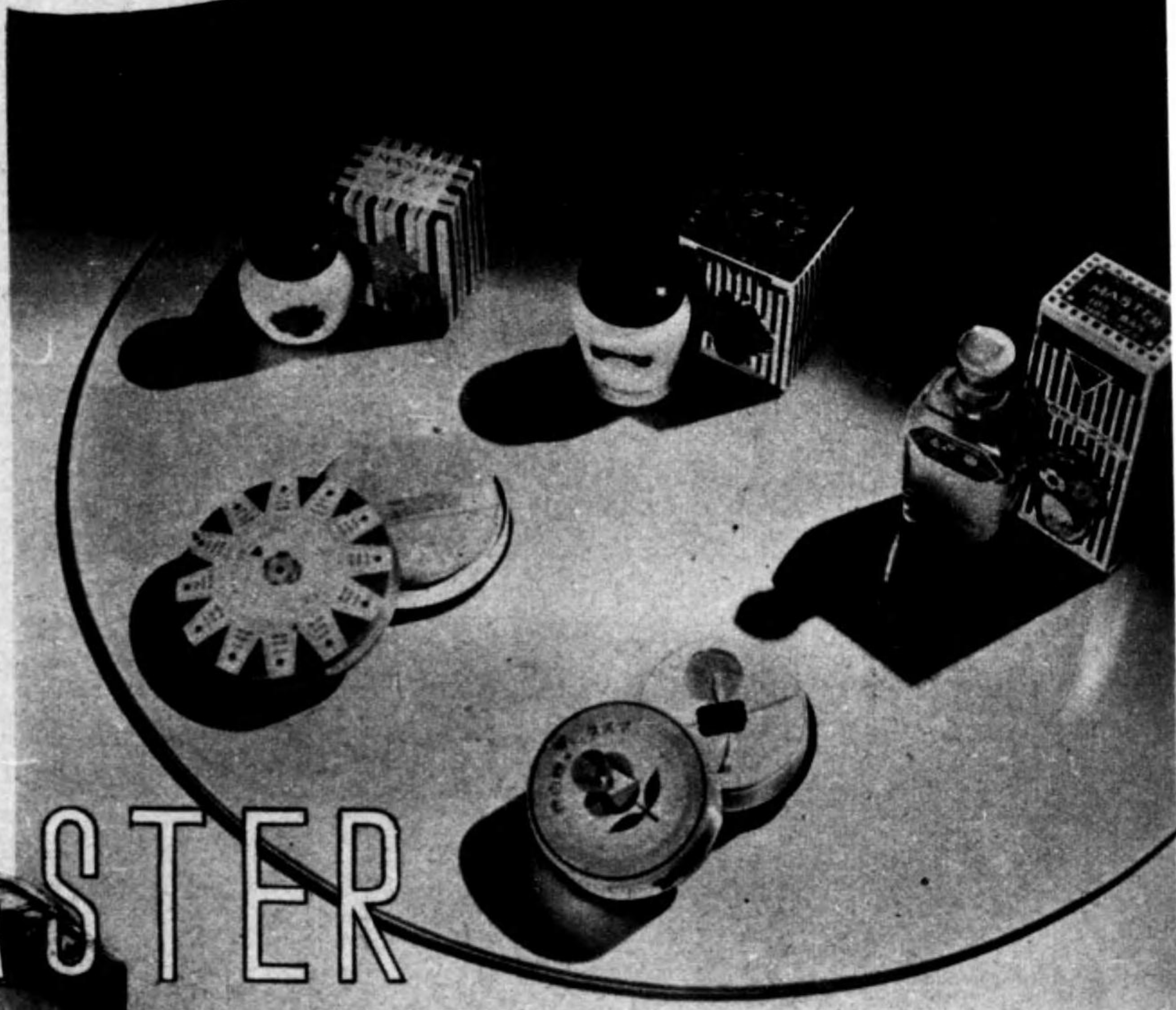


アサキニキレ・水虫・田中

ミル
明透
果砂糖石鹸

吉田石鹸株式会社

マスター化粧品



MASTER



新製發表！
白粉下いらす
マスターエリ白粉

ムーリク グンシニバ ータスマ
ムーリク フルコー ータスマ
粉白粉 香 千 ータスマ
粉白水 香 百 ータスマ
粉白粉 香 百五 ータスマ
トクバム ホー ータスマ

電話代表番
番〇〇六四版水

堂美尙社會式株品粧化一タスマ

一町區區布麻市京東

ツユキシャンプー粉

シャンプー界の最高峰
洗髮料

ホーサン入り純良品



ツユキシャンプー
マホキローソク

製造本舗
露木助藏商店

洗髪工場

川崎市京濱區
電話川崎二七二三番
郵便東京五九二四七番
川崎市具原七番地



香料

東京市日本橋區本町四丁目三番地

小林鍵次郎商店

電話日本橋(24)三九〇一六番

工場

東京市世田ヶ谷區若林町三四八
電話世田ヶ谷二七九六番

合資
會社

ヤマキ商會

婦人小間物裝身具
セルロイド化粧雜貨
問屋

東京市日本橋區橫山町七番地
電話浪花(67)二三二四〇番
振替東京六六二七番

"POPPY"

モダンパ
ラ



ポッピー
コムパ
クト

意匠
登録



コムパクト用入り
純無鉛
まきめ白粉
内務省衛生
試験所検査済

大政市天王寺區高津南之町二番地
村岸商店

業界第一の
信用と賣行

品質保證

ゴサマー印ヘアネット

ゴサマー印
孔雀印
一枚手編

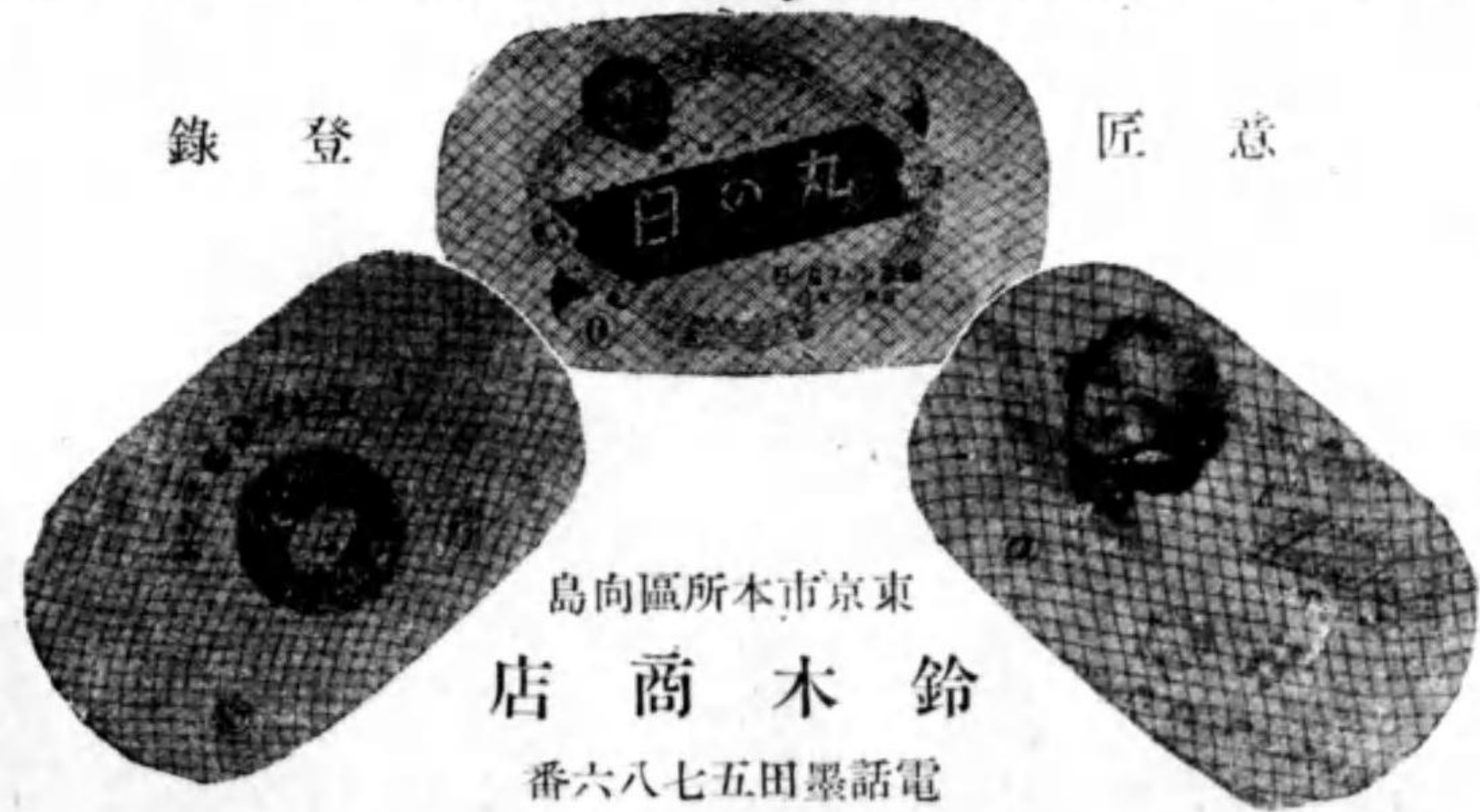
束髪まげネット

東京・大阪

ゴサマー本舗

登録

意匠



東京市本所區向島
鈴木本商店
電話墨田五七八六番

ウツマキ石鹸



若肌・柔肌
もこの一品
洗顔に入浴
に是非……



石 鹼 問 屋
本 舖 近 磯 商 店
東 京 日 本 橋 區 横 山 町



東 京 名 所 清 洲 橋



紳 士 淑 女 も……
赤 ち ゃ ん も……

純 質 キヨス化粧石鹼
植 物 性 キヨスホマード
止 荒 め れ キヨスクリーム
女 冬 の キヨス 入 草 藥 懷 爐 灰



石 鹼 化 粧 品 雜 貨 問 屋
川 野 立 志 堂

東 京 日 本 橋 區 清 澄 一 丁 目
電 話 本 所 (73) 一 四 六 七 番

牛乳石鹼

東 京 ・ 深 川 ・ 清 澄 町 一 丁 目
關 東 代 理 店 川 野 立 志 堂

本 舖 ・ 大 阪

共 進 舍 石 鹼 株 式 會 社

國産最高級品と定評を頂く

オカオカ化粧料



體質別に高貴薬を配合した!

- アレ止めに・お肌の栄養に・ビタミン配合
オカッパ ナリシダクリーム
- ニキビ・吹出物一掃
オカッパ アストリンセント
- お化粧染えする最高質の
オカッパ 粉 白 粉
- アラ顔の方の理想的洗顔剤
オカッパ 洗顔 クリーム
- アレルギーの方のお肌淨化と若返り
オカッパ クリンシダクリーム

オカッパ化粧料本舗
平尾喜三郎商店
大阪市東淀川区中津本通
電話豊崎二〇九(代表)番
東京市日本橋區矢ノ倉町四
電話浪花五一二二番



(姉妹品)

ヨウモトニツク

(標商録登)

毛を傷めず何んでも落ちる

ヨウモト洗髪液

発毛促進の南洋髪香油

ヨウモト香油

パイン酵素入薬効的新化粧水

パバパコロン

Y .45 Y .60 Y .60

(三共直系)
總販賣元 泰昌製藥株式会社



素肌が白く美しくなる(コロイド硫黄配合)

サポイド石鹸

實質本位の

オレインヂ石鹸

養毛料の開祖……医療的性能豊かな「正しい養毛料」

製造發賣元 東京室町 三共株式会社

新時代の室内篇

登録商標
HOMARE

みかど箒の姉妹品
ほまれ箒

丈夫で
使ひよき
座敷箒の
王座



ミカド
美加登箒

みかど
かど

原商店

東京都東谷区仲御徒二丁目
電話 谷下(83)三四八番

魅力ある若肌を生む

クロバーレモンクリーム



健康美を増す

クロバーほろ紅

六色 三五セン
七色 五〇セン

クロバー口紅

六色 四〇セン

35 セン
50 セン
75 セン

所給配京東料粧化一バロク

堂眞盛田脇
一地番七町山横區橋本日
番二四〇〇(67)花浪話電
會商業三舖本

販大・東京

石鹼化粧品問屋

皆様の

合資
会社

脇田盛眞堂

東京市日本橋區横山町七番地一
電話浪花(67)〇〇四二番

丸善ボーラム
ボーラムポマード
ボーラムコスメチック
ボーラムヘアクリーム



香木ゴゴヤ
博帯型ブチゴヤ
×ロールドロージョン
×ロールドクリーム



丸善薬歯磨
アテナ歯刷子



丸善株式会社

資元・東京市日本橋區通二丁目

MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN MARUZEN

資生堂の「勤勞號」二機献納

資生堂の本社並にその工場及び全國七十一の販賣會社、七十七の配給所に於ける二千の従業員がその勤勞時間を一日三十分延長して奉仕すること半年間、その汗の集積によつて製り上げられた愛國機二基の献納式は二十三日立川陸軍飛行場に於いてその命名式を舉行した。式場は逓信、陸軍各大臣以下の各來賓、及び帝國飛行協會の役員、資生堂幹部、社員従業員一千名參列、祭官の修祝詞奏上も神威に、九五式三型練習機二機は處女飛行の翼を張つた。

ライオン齒磨の商品陳列會

ライオン齒磨本舖では最初の試みたる商品陳列會を開催、左の現定を發表した。
▽參加販賣店は左記陳列會期間中は常にライオン齒磨、ライオン齒刷子各種取合せ必ず十打以上を賣場の第一線にて最も顧客の目につき易き場所に陳列のこと。なほ同社より提供の陳列臺上には同社製品のみ陳列のこと。
▽參加販賣店に對しては陳列臺一個を本舖より提供し、更に本舖に於いて定めたる内規に基き種々新趣向の興味あるサービスを月々提供する。その他、顧客に對する宣傳材料は時々新案物を提供。

▽陳列期日は左の半年を一期間とする
昭和十三年十二月一日より十四年五月三十日まで
▽右期間の中途に入會希望の向に對し

商 品 商 店

ては又別に御相談のこと
▽右期間中は本舖より時々係員訪問、懇談をなす
▽萬一相違に相違の場合には前記サービスの特點を取消すること無きを保せない

十二月 (一四)

ゼオラの國策器披露會

ゼオラ齒磨本舖丸見屋商店では一日大坂神戸奈良和歌山の各代理店を川口東海樓に招いて國策的硬質陶器による新器の披露會を開催、店主三輪善太郎氏、神島大阪支店長列席して説明を試みた。

角倉商店の創業記念式

株式会社角倉商店では恒例の一日の創業記念日が、今年に創業四十周年、改組十周年、十二軒町の寄宿舎落成等の喜びを兼ねて新築寄宿舎に記念式を舉行。角倉社長出征中のこととして社長夫人、小牧事務、岡部常務始め全社員參集、業界多數の來賓を迎へて盛大を極めた。

ライオンの兒童齒科院開鎖

ライオン齒磨本舖が大正六年わが國最初の小兒齒科相談並びに治療機關とし開設したライオン兒童齒科院はその後着々として、所期の業績を挙げつゝあつたが最近に至つては各學校に學校齒科醫が創設された關係もあり、又第一に同院が既に東京市に於いては爲すべきを爲し遂げた情勢に鑑み、本年限りを以て同院を閉鎖、岡本院長始め全職員は一先づ本店口

腔衛生部に復歸、その陣容を強化し、近く改めて新生面への發足を試みるこゝとなつた。

日本油脂の映畫試寫會

日本油脂株式會社では油脂工業の工程を解説するトリーキー二巻を作成、その試寫會を六日丸の内常盤家に開催した。映畫は大體左の如き内容を感つたもので感銘を興へた。

壯快な鯉の出漁からその加工工程、製品即ち鯉のしぼりから成る肥料、飼料、ミールの栽培肥料、養豚養魚養鶏料に關する效用、大豆からの大豆油及びその製品塗料、グリセリンの火薬への應用、バター、ラード、ヘッドの食料から、ロッキング原料としての特長、化粧洗濯工業用石鹼及び原料

神奈川ライオン會結成

ライオン齒磨の販賣制度改正に伴ひ、神奈川県下卸業者間に於てライオン會結成の議起り、霜田七郎氏主唱のもとに準備を進め、八日規約並に卸値統制規約を發表した。會員は左記十四名、○印は本舖側委嘱の統制委員。

○霜田七郎○金子一眞○露木助藏○新堀廣吉○片野龜吉○細田利三郎○矢部多三郎○古牧與平○並木喜誠 岸三吉 山田義夫 佐藤伊三郎 高木榮之助 高松賢太郎

花王の店頭陳列競技

花王石鹼長瀬商會では例年の如く年末

岐阜縣クラブ特定品會社では大垣クラブ會員懇談會を千歲樓に開催 十七日 戸谷佐治商店百貨店保齊藤安弘氏は退店の上左記に獨立開業。

ハリウッド本舖ハリウッド美容室事務所は左記の如く地番變更

關町區一番町九番地

花王石鹼本舖の京城駐在所は大連支店新設の爲め閉鎖、今井主任は大連支店に引上ぐ。

金鷲香水株式會社では東京丹頂ベルト

ライオン懇談會を濱町の日本橋俱樂部に開催 十九日

島根縣クラブ特定品會社では松江公會堂に販賣店懇談會を開催 二十日

ライオン齒磨本舖では同社講堂に十一月社員講習會を開催 廿一日

モンド化粧園では憲田清氏を所長として左記に大阪出張所を開設

南區大曾寺町西之町一三

朝日堂クラブ商事株式會社、賣場毒樓

府下有力販賣店懇談會を開催 廿二日

大阪かすみや石鹼本舖では尼崎市湖江

新家一番地に本店工場を新築移轉 十五日

大阪清水忠石鹼株式會社では雜貨部を

新設 新湯部西部クラブ特定品販賣株式會社

主任佐藤勝太郎氏應召の爲富田増大氏京都より赴任

十二月 (十三)

大阪奥如商店營業部では歳末の店頭賣

出しを舉行 十三日

ライオン本舖十二月の社員講習會開催

十六日

田中善株式會社では南洲園に有力代理

店懇談會を開催 二十日

歳暮の時期に向つて花王石鹼店頭陳列競
技會を開催、市内販賣店の参加数も前年
に倍するものあり、盛況裡に十二日締切
を告げ、商報社員立會のもとに審査を開
始した。

ニード東京出張所新設

ニード洗粉本舗田中善株式會社では、
東京市内の販賣網擴張を期して元田中花
王堂勤務の清水岩次郎氏を東京駐在囑託
に任じ、神田區美土代町七に出張所を設
けた。

マーガレット・チェン成立

マーガレット化粧品本舗では市内有力
問屋井田、大山、武孝、塚田、鈴木、芹
田等各商店の参加を得て、問屋マーガレ
ット・チェンを結成することに成功、
これに本舗を加へ七軒を配品所とし、各
市内小賣店への配給に當るとともに、協
定値段の嚴守に努力することになった。

L・A・S・チェンの結成

ライオン齒磨本舗では十九日から、東
京寶塚劇場に於いて十二月興行劇團を兼
るL・A・S・チェン發會式を開催し
た。參するもの京濱有力販賣店實に二百
九十六名、ライオン齒磨及びライオン齒
刷子を繞る賣上促進・協調機關たる「L・
A・S・チェン」はこゝに芽出度く誕生
を見るに至つた。

クラブ功勞者の遺品を埋納

中山太陽堂店主中山太一氏は太陽堂の

事業經營に拔群の功勞ありし店員にして
不幸故人となりたる者に對し、その功勞
を偲び、故人の靈を慰めん志のもとに、
阿部野津村別院中山家墓所の一劃に俱會
一處の墓碑を建て、故人の遺品を埋納さ
れた。故案谷定造は既に遺品を納められ、
今回は北川榮熊、松本勉、兒玉勝一三氏
の遺品を埋納、十九日店主並に同夫人、
功勞者遺族、幹部店員參列のもとに、津
村別院輪番藤谷師嚴修の下に埋納式を執
行、中山店主は故人の功勞を顯彰する烈
々の追弔文を朗讀した。

一月

ライオンの勤續店員表彰

ライオン齒磨本舗並ライオン石鹼株式
會社の恒例新年宴會は、時局に鑑み前年
通り取止めのこととなつたが、十三年度
勤續店員表彰式は七日午後五時から、日
本橋俱樂部に於て開催された。兩社の精
勤表彰者並びに重役以下全社員併せて三
百四十六名の他、來賓として小林商店顧
問たる醫學博士奥村鶴吉、同寺田正中及
び同安井作太郎の三氏、兩社出身の古參
退職社員並びにわが社の廣田主幹、日南
田編輯長等諸氏出席、階下ホールに於い
て皆勤賞授與式は嚴肅に舉行された。齒
磨側は本支店併せて八十六名、石鹼側は
四十七名へ授賞、終つて階上食堂に於
ける晩餐會に移つた。

クラブの京濱卸店懇談會

クラブ化粧品本舗ではクラブ式新々陽

級制度が確立されるところに、一月一日
より實施期に入つた爲、第一販賣株式會
社主催のもとに九日、京濱卸店七十餘名
を内幸町大阪ビルディングのレインボー
ホールに一大懇談會を開催、副店主中山
三氏より非常時乘切りの方針披瀝あり、
何れもこれに賛同、左の決議をなした。

決議

- 一、吾等京濱卸店一同はクラブ化粧品
の取引に關し舊來京濱代理店各位が
クラブ式新々陽販賣系統の諸制度
を一層徹底せしむるため協定せられ
たる誓約の主旨に則り、陽級クラブ
化粧品の暫定的卸賣値段を嚴守勵行
し更に進んでクラブ式新々陽級販
賣系統本格的なる規定値段の實現を
計り、以て相互繁榮の實を擧げんこ
とを期す
- 一、我等京濱クラブ化粧品卸店一同が
代理店及本舗と協力の下に確立した
る販賣系統は、統制ある配給組織に
より販賣市場の摩擦を回避し、以て
誓約の主旨に副はんとするに外なら
ず、吾等京濱卸店はその使命の重大
性を鑑み、克くその取引系統を遵守
し化粧品業界の指針たらんことを期
す
- 一、我等京濱卸店一同は値段統制及び
取引の肅正並に品質の向上に就いて
不斷の努力を拂ひつゝあるクラブ化
粧品・石鹼・齒磨の推獎販賣に協力
し以て京濱中堅卸店たるの責務遂行
を期す

右決議す

二月

大阪永廣堂本店、左記電話を増設
電話二四九番
東京バビリオ會第二次結成懇談會本舗
に開催 十五日
京都クラブ特定品販賣株式會社創立五
十年周年記念販賣店懇談會、京都ホ
テルに開催 十八日

ローレル本舗の組織變更

ローレル化粧品本舗では營業組織を變
更、株式會社太田榮治郎商店を設立した。
取締役社長には店主太田榮治郎氏が就任
重役としては長男時三氏及び東京出張所
長仲西義一氏が取締役に、大阪營業主任
の篠原榮一郎氏監査役に就任した。

カガシの特定品部新設

カガシ化粧品本店では特定品部を新
設、協販販賣店への福利的商品の提供を
目指して、従来の制度商品とは別個に新
たな取引を開始した。その最初の商品と
しては新發賣のカガシ齒刷子を提供、簡
易化された取引によつて販賣店の利益増
進に邁進。

丸見屋商店の企業更新

ミツワ石鹼本舗丸見屋商店では、その
職制を改めて従來販賣、廣告、會計、秘
書四課の外に新しく企劃課を創設、十三
日附、企劃部主任衣笠静夫氏が同課長に
昇任。

神木洋行の南支進出

臺北の神木洋行では皇軍の南支確保と
ともに同地方進出を策し、廣州市一德路
四三五に廣東支店を設置。

東京バビリオ會の結成

バビリオ本舗ではその配給網の確立を
期し相互の親睦協和を計る目的を以てバ
ビリオ化粧品東京市代理店たる井田兩國

各地クラブ特定品會社の總會

關西方面の各クラブ特定品販賣株式會
社は左の如く定時總會を開催した。
▽静岡縣クラブ特定品、二十日同社樓
上▽愛媛縣クラブ特定品、二十日松山
市城戸屋旅館、第五回總會▽滋賀縣ク
ラブ特定品、二十一日石山三日月樓▽
三重縣クラブ特定品、二十二日同社樓
上▽京仁クラブ特定品、二十二日京城
花月別荘▽大阪クラブ特定品、二十四
日電氣旅館▽廣島縣本部クラブ特定
品、二十七日同社樓上

ライオン口腔衛生聯盟の結成

ライオン齒磨口腔衛生部では國民保健
口腔衛生運動に一段の飛躍を試むべく、
同社製品有力販賣店を中心とするライオ
ン口腔衛生聯盟を結成二十六日九の内會
館に市内の小賣組合代表、藥粧組合代表
小賣店の幹々三十餘名を招待して計畫を

發表した。聯盟は一面各販賣店へのライ
オン製品賣上増進サービス運動ともなる
もので事業如左。

伊東胡蝶園の職制改正

バビリオ・御園本舗は業務擴大に鑑み
從來の各部の他新しく商品管理部を創設
販賣部市内主任金子善太郎を同部長に任
命、新販賣部市内主任は北海道出張員た
り山口定藏氏が任命された。

武孝商店の組織變更

化粧品卸問屋武孝商店では業務の擴大
強化を圖る爲その組織を變更して株式會
社に改め、これを機會に日本橋區兩國三
番地合資會社杉山商店を合併した。その
重役は如左。

- 専務取締役武孝次郎、常務取締役杉
山利一、取締役高野憲二、岩澤榮男、
監査役高橋謙治

三共軍人援護會へ十萬圓寄附

三共株式會社並に日本ベークライト株
式會社代表者藤原又策氏は、二日厚生省
に、福本軍事扶助課長を訪問、恩賜財團
軍人援護會に三共社分として十萬圓、日
本ベークライト社分として十五萬圓、總

三月

花王石鹼長瀬商會大阪支店では有力代
理店懇談會を開催 十日
大阪市外大和商會恒例の源好稻荷大明
神の祭禮に陸軍記念日に執行 十日
大分縣並に宮崎縣クラブ特定品販賣株
式會社定時總會はそれ／＼同社樓上
に開催 十日、十五日
大阪林原營業部並に永田美芳園は近火
の類焼に遭つて何れも假營業所に移
轉 廿日
青森クラブ特定品株式會社第三回定時
總會同社樓上に開催 廿二日
高知クラブ特定品並に高知クラブ化粧
品販賣株式會社の定時總會開催
廿五日
ハリウッド化粧品本舗、名古屋美容室
か開店
花王石鹼販賣部長今村強三氏は歸還
とともに大阪支店販賣部長に就任
宮城クラブ特定品販賣株式會社主任永
谷政次郎氏入營の爲、田中勝康氏後
任と決定
ヘチマコロン本舗經營美容院サロンド

計二十五萬圓寄附した。

東京ライオン會理事會

東京ライオン會理事會は、三日帝國ホテルに開催された。理事側から田中理事長以下左記二十理事、又本舖側から小林社長、小林相談役、山崎常務、工藤販賣第一部長、桑原販賣第二部長等の諸氏列席。工藤氏司會の下に田中氏を議長に推薦したる後、社長、常務より交々懇話の挨拶あり、全員ライオン會卸賣協定値段厳守勵行を申合せ、又山崎常務より店頭陳列用人形スタンド附販賣店サービス荷物規定の發表があつて懇談を終り、晚餐に移つた。

山邊侍從武官太陽堂見學

山邊侍從武官は大阪府下十四年度の海軍志願兵徵募状況視察の途次、三日中山太陽堂の本店を訪問、隨員とともに中山店主の説明に全工場を視察された。

京仁エキセリン統制販賣組合

花玉石社長瀨商會では三日京城軒屋敷、夏川支店、三田村商店、藤川商店、新井藥房、辻本商店、仁川南方商店以上の各代理店を招待、本舖側よりは伊藤經理部長、高橋大連支店長、栗原販賣次長、藤森朝鮮主任、今井販賣部長等出席の上、京仁エキセリン統制販賣組合を設立することに決定した。

大阪のライオン衛生齒科院開設

ライオン齒磨本舖では本邦で最初の一般齒科相談機關たるライオン衛生齒科院を大阪南海高島屋二階に開設、四日開院した。治療は爲さるるもレントゲン始め萬般の設備を有し、主として兒童の齒科相談に應ずる。職員は主任岡本清穂氏以下七氏。

第一工業の鹽業部移轉

第一工業製鹽株式會社では大阪木津川工場の經營、四日市工場の操業開始に際し、營業部を大阪市東區大川町二三、中央ビルへ移轉、常務取締役本治郎氏統率のもとに工業品部及び家庭品部を置き販賣、宣傳、購買、經理の各係を以て四日から執務を開始した。兩部長は如左。工業部長柳定雄、家庭品部長折田重彰

橫濱ライオン會理事會

橫濱ライオン會第一回會合は四日ニユウ・グラウンドに於いて開催された。會員側よりは霜田七郎氏外十三名、本舖側よりは小林社長、山崎常務及び栗原販賣第二部長列席。栗原氏司會の下に先づ社長常務より交々東京業界と相呼應して一致結束、大いに統制協定協定實行に邁進せられむことを懇請、霜田氏會員側を代表して挨拶を述べ、全員堅く東京ライオン會協定統制規約をその儘實行に移し業界肅正に邁進すべきを申合せた。

各地クラブ販賣會社の總會

中山太陽堂では西日本各地の販賣會社の總會を左の如く開催。

▽岡山クラブ化粧品販賣株式會社八日同社樓上▽北九州クラブ特定品販賣株式會社九日同社樓上▽岡山縣クラブ特定品販賣株式會社十日同社樓上▽福井縣クラブ特定品販賣株式會社、筑豊クラブ特定品販賣株式會社十一日▽和歌山縣クラブ特定品販賣株式會社、望海樓▽兵庫縣クラブ特定品販賣株式會社何れも十五日開催

會田梅糖工場落成

香料商會田政治商店では昭和十三年九月以來静岡縣由比に敷地をトして、その地方特産の夏蜜柑を原料とするクエン酸製造工場を建設中のところ工事が完了、八日店主始め幹部店員出張、地元有力者を招待して落成式を舉行した。工場は曾田クエン酸製造工場と稱し果汁からはクエン酸、果皮からはオレンジ油の代用品を製造する仕組である。

クラブの京濱代理店懇談會

クラブ化粧品第一販賣株式會社では九日京濱代理店十四氏を丸の内會館に招き中山副店主より市場強化策實施以來の好成績を報告するとともに、歩引は如何なる場合にも建値の五分以下に止むることを申合せた。

名古屋ローヤル・チェイン結成

ローヤル化粧品本舖では十六日、名古屋市外大迎帆樓に名古屋ローヤル・チェインの發會式を舉行、名古屋化粧品株式會社が配給所となつた。

資生堂の室蘭配給所新設

資生堂北海道販賣會社では室蘭市に室蘭配給所を新設、函館販賣會社の配給區域にある同市業界の躍進に備へることとなつた。主任としては函館販賣より八戸六郎氏赴任、所在地如左。室蘭市泉町六八

アイデアルの三販賣所合併

京都地方に於けるアイデアル化粧料の販賣配給機關たる京都、福知山、小濱の三販賣所は統合されてアイデアル京都販賣株式會社となり、本店を京都市寺町通り五條上ルに設置した。

千葉若手クラブ特定品總會

千葉縣のクラブ特定品販賣株式會社第二回定期株主總會は十八日千葉市院内町の同社に開催、營業報告書、貸借對照表、損益計算書、及び利益金處分案等何れも原案通り可決、監査役改選の結果中山豊三氏の就任を見た。

岩手縣クラブ特定品販賣株式會社第二

回定期株主總會は二十二日、盛岡市の同社樓上に開催、同じく營業報告書、貸借對照表、財産目録、損益計算書及び利益金處分案等何れも原案通り可決、同時に定款第二條中一部變更の件も可決確定を見た。

資生堂の京都販賣機構強化

資生堂京都販賣株式會社では京都市内東山區祇園町南側に新營業所敷地を設定

商品商店

工事進捗中であつたが新築落成し十九日移轉を完了、同時に舊營業所並に伏見配給所は第一、第二セールと獨立改稱することとなつた。所在地如左。

資生堂京都販賣株式會社 京都市東山區祇園町南側

資生堂京都第一セール株式会社 京都市下京區駄馬町通五條北入

資生堂京都第二セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第三セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第四セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第五セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第六セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第七セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第八セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第九セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十一セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十二セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十三セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十四セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十五セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十六セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十七セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十八セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第十九セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十一セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十二セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十三セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十四セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十五セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十六セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十七セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十八セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第二十九セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

資生堂京都第三十セール株式会社 京都市伏見區新町十二丁目

四月

ライオン商磨L.A.S.サーピス品として参加店に割差着を配布
資生堂グロートスウェーピング講習會東日會館に開催 五日
金鶴香水株式會社の恒例稻荷祭 八日
角倉商店の月例ハイキング會は阪神沿線コースへ 九日
第一工業製鹽株式會社では大阪淀屋橋角の大阪營業所の新設により新大阪ホテルに披露宴を張る 十日
大東京クローバー會は三百餘名の出席を得て目黒雅叔閣に開催 十一日
ウテナ本舖従業員慰安の日光遠足會決行 十四日
パビリオン十五日會例會、本村町胡蝶園本社に開催 十五日
大阪桃谷順天館の桃谷稻荷大明神祭 十五日
ライオン口腔衛生聯盟主婦の會九段軍人會館に開催 廿二日
大阪二六商會主神島富保氏、郷里滋賀縣多賀村の應召軍人家族を招待 廿三日
ライオン商磨販賣工場は臺灣新民報並に東京英大小組員の見學團を迎へた 廿四日
大阪巴厘化粧品製造部恒例の稻荷祭 廿七日
芳誠舎石鹼製造所では社員慰安の日光東照宮遊藝新願行を舉行 廿八日
東京商事株式會社は桑原花生堂に吸収廠 廿九日
第一工業東京支店の電話茅場町六二二番、六二四番架設
大阪保利新商店勤務の道徳彰三氏は東區紀伊國町九三八に伊東吉商店を創業

五月

ライオン商磨L.A.S.サーピス第二期サーピス品包装用テープ二巻を配布
ライオン石鹼會社では電話城東一一一六番を増設
ヘチマコロン本舖では店舗一部の改造に着手
ライオン店頭裝飾陳列競技會關東四縣下審査發表 十三日
協同油脂株式會社、三砂工場落成祝賀會を大阪吉田屋に開く 十三日
カガシ化粧品本舖京都出張所、下京區佛光寺通河原町西入の新築社屋へ移轉
林政一氏は大槻彩芳園に歸任、販賣部長に就任
大阪の容器製造業高橋製作所では左記電話天王寺七九八四・六三九六に増設
大阪株式會社個化學興業所は個化學興業株式會社と社名變更
神戸クラブ特定品會社は同市今駒亭に定時總會開催 廿六日

六月

ライオン商磨京都代理店懇談會新大阪ホテルに開催 二日
高崎市野村兄弟商會、昭美會懇談會を山中温泉に開催 六日
ライオン商磨販賣工場では春季遠足會を北條館山に舉行 八日
桃谷順天館取締役食満藤吉氏、同社の監査役に就任 十二日
盛岡市化粧品問屋熊谷長七商店では新築店舗落成祝賀會を温泉温泉に開催 十二日
高砂香料株式會社では東京支店長として臺北在勤の重役高倉龜次郎に決定
大阪丹石石鹼本舖長石鹼製造所は電

ライオン口腔衛生聯盟の會合

ライオン口腔衛生聯盟は結成以來三千名の會員を獲得、その第一回事業として「統制上に於ける販賣・經營を聴く會」を二十六日丸の内東日會館に開催した。

①挨拶、小林社長(新)の商標、商標子に就て、ライオン細菌研究所主任藤正政人氏(現)下諸問題、東日副主筆經濟博士阿部賢一氏(統)統制下に於ける醫藥法規に就て警視廳衛生試験所技師竹内甲子二氏(統)統制下に於ける小賣商店經營の見通し、東京府物價調整官地方事務官福富恒樹氏(閉)閉會の辭、山崎常務

大東京給食會の結成

和歌山市の給食美髮料本舗では、東京及び大阪に出張所を設置して、積極的進出を試み、二十六日、丸の内三信ビル八階東洋軒にその發會式を挙げた。市内有力小賣店百二十餘名參集、配給元賜田盛真堂大内田龜藏氏の挨拶の後、本舗田中支配人より大東京給食會の目的及主旨を述べ、絶對的支援を乞ふ旨の挨拶あり、千葉謙氏來賓を代表して謝辭を述べ、發會式を終るや食堂を開いた。

ウテナ化粧品料の献上

ウテナ化粧品本舗では二十八日、本所區役所に開催の滿洲國皇帝陛下御誕辰祝賀會に臨席された博傑中尉の浩子夫人に

三 月

角倉商店恒例の稻荷祭

大阪株式會社角倉商店恒例の稻荷祭は出征中の社長の武運長久を祈願する意味をも兼ねて五日同社屋上角倉大神社前に執行された。社長夫人始め、各重役、幹部店員以下社員家族も出席、業界關係の來賓を迎へて生魂神社宮司祭主のもと厳かに取行はれ、了つて十二軒町の寄宿舎に慰安の懇親會を開催した。

アモレ製品の代理店制定

本舗中澤商店發賣のアモレ製品は配給の圓滑を期する爲、左の如く各代理店を決定した。
東部配給所東京アモレ商會・阪神中國四國代理店大阪二六商會・中京代理店名古屋水谷友吉商店・代理店東京花生堂

東和興業研究所の創設

化粧品製造家安積茂氏は、ナルビー化粧品發賣元鈴木福次郎氏と提携して、在原區戸越町九二八は東和興業研究所を創設した。同研究所は安積氏の業務一切を受け、ナルビー化粧品の製造を擔當するのである。

資生堂の臺灣五配給所の新設

臺北市京町二丁目本社を有する資生

對してウテナ化粧品特選詰合せ二組を獻上した。

堂發賣販賣會社は本島産業の進展ととも

に躍進をつづけ、あるに鑑み、その直轄として従来の臺南配給所の外基隆、臺中、嘉義、高雄、新竹の五ヶ所に新配給所を設置、何れも上旬より開業した。六配給所の所在地如左。
▽基隆市日新町▽臺中一橋町五丁目▽嘉義市榮町五丁目▽臺南市大正町三丁目▽高雄市北野町二丁目▽新竹市表町三丁目

テルミーの新しい化粧の會

テルミー化粧品本舗大東化學工業所では七日、日比谷電氣俱樂部に東京テルミー特約店の御婦人達を招き新しい化粧の會を開催、山本鈴子女士の「簡單な美顔術」「榮養美顔術」「健康化粧法」を公開されるとともに本舗が桂珠子をモデルとして製作した總天然色映畫「新しい化粧法」を披露して、テルミー美顔術と化粧品の關聯を強調。次いで横濱、名古屋にも開催した。

花王石鹼の代理店會議

四月一日より實施の機運にある化粧石鹼の課税を前にして、取引制度改正の意圖の下に鋭意研究中であつた花王本舗では、八日帝都の代理店を帝國ホテルに招待して制度改正に關しての協議會を開いた。江本販賣部長長司會のもとに懇談會に入るや、長瀬社長は、時局下に於ける本舗としての準備並びにその信念を披瀝鯉淵販賣部長は本舗案に就いての説明を行ひ、それより質疑應答を重ねた後、代理店側のみを以つて眞劍なる検討を試

一五〇

話北五六一を増設

パレオ十五日會例會は、紅新作品を統つて本舗に開催 十五日
大日本油脂會社香通工場の脂肪酸蒸溜室は午前八時發火、同一棟を烏有に歸した 廿一日
三丹クラブ特定品會社の定時株主總會同社樓上に開催 廿二日
大阪小川讓一氏を社長とする小川香料製造所は小川化學香料株式會社と改稱 廿二日
大坂化粧品問屋森岡商店は營業所を東區南久寶寺町一ノ三へ移轉 廿八日
新嘉坡南洋行では濟南に支店を開設 廿八日
ハリウッド本舗、名古屋市中區南大津通四ノ十二にハリウッド美容室名古屋店を開業 廿九日
第一工業製藥株式會社大阪營業部の代表電話は北濱五四七八・四四八五番と決定 廿九日

七 月

山形共榮クラブ會は會員六十餘名を温海温泉橋屋旅館に招集して開催 廿三日
華商東京産業視察團一行ライオン商標展工場を參觀 廿三日
ライオン商標本舗第十三回業務講習會を開催 廿三日
ウテナ本舗岡山工場ではホイラー検査の爲め三日より七日迄休業
マスター尚美堂勤務の木村提議氏は麻布區霞町六番地に琳彰堂を開業、附属品加工業を開始
愛知縣クラブ化粧品販賣株式會社定時株主總會開催 廿二日
クラブCS會岐阜縣支部では長谷川ホテルに總會開催 十七日
大阪由利石鹼工場では火災により五棟を焼失 廿一日
北四國クラブ化粧品販賣會社第二回株主總會同社樓上に開催 十七日
滋谷昭和香料製造所では社名を昭和香料化學工業所と改稱
創立準備中の日本コブラ株式會社は京橋區西銀座二ノ三南洋群島コブラ同業聯合會内に事務所を設置
蘭領印度の新日本教師團一行中山太陽堂工場を見學 廿六日
福井市野地正大堂主催クラブ化粧品販賣會同社三秀園に開催 廿六日
門司福井株式會社は福岡市官内町三九に福岡出張所を新設、電東三五六六番
長瀬商會製作の文化映畫「手」の一篇は文部省推薦映畫となつた 十九日
資生堂東京販賣株式會社では夏期社員修養道場を開設、鎌倉建長寺に三十八名參觀 五日
アモンパヤ本舗杉田商店は本舗近接の地に工場家屋二ヶ所を得、工場を擴張 十九日
東京ライオン會第三十三回理事會、湯河原大野屋に開催 十八日
資生堂花椿講習會第一回卒業式は同會講堂に舉行 十日
資生堂天津販賣會社に本害の爲め北京配給所に移轉
大阪クルミ商會では西隣店舗を買収、擴張 廿一日
帝恩商會子本舗大和商會では大和寮に於いて産業報國會を結成 廿二日
大坂化粧品問屋佐々木石松商店廢業 廿一日

クラブ化粧品各地懇談會開催

クラブ化粧品の西日本に於ける各地販賣會社並に代理店關係の販賣店懇談會は三月中に左の如く開催。
▽筑豊クラブ特定品販賣株式會社第三回販賣店懇談會九日別府縣ノ井ホテル
▽福岡クラブ化粧品販賣株式會社販賣店懇談會十二日福岡商工會議所
▽化粧品熊本代理店聯合主催有力販賣店懇談會十三日同市給津花壇▽吉井號株式會社主催福岡六市クラブ化粧品販賣店懇談會十一日小倉商工會議所▽徳島丸新卸商主催クラブ化粧品販賣店懇談會二十一日徳島商工會議所▽兵庫縣クラブ化粧品販賣株式會社販賣店懇談會二十三日明石商工會議所▽高知縣クラブ化粧品販賣株式會社定時株主總會二十五日同社樓上

資生堂東京チェーン總會

都下に於ける資生堂製品の販賣機關たる資生堂東京チェーンストア會の第六回定期總會は十四日歌舞伎會館に開催、終つて懇親懇談會を開催した。定期總會は神保町事務所の上で開催、先づ神保氏の開會の辭、松本顧問の挨拶の後再び神保氏より會務並びに會計報告を行ひ、來賓代表濱田氏の謝辭があつて滞りなく閉會夜の懇親會に移つた。

前田東助商店の改組

山形市香澄町、前田東助商店では業績の躍進に伴ひ、組織を變更して合資會社前田號を設立、同社ではこれが披露とともに非常時業界對策懇談會を兼ねて十八日、上ノ山温泉に縣下有力販賣店六十餘名を招き一夕の宴を張つた。

各地ライオン會理事會

ライオン會理事會は齒磨課税を前にして各地に開催されたが、二十日帝國ホテルに開催中、折柄議會に於いて齒磨石鹼

クラブの三重縣販賣會社設立

クラブ化粧品三重縣販賣株式會社は二十六日創立總會を開催、左の重役陣を決

九 月

ライオン本社では興亞奉公日に當り各

以上の日割を以つて連日本社講堂に於いて午前九時より午後五時まで講習、最終日には證書授與式に臨んで販賣職線に歸つて行つた。講習科目並講師は如左。
▽化粧品化學 十三時間 講師 取締役技師長伊田光男 工場研究部主任伊藤利壽▽科學的販賣 九時間 講師 參事 吉田恒臣▽化粧品正しい使用法 五時間 講師 美容研究部長小幡惠津子夫人

資生堂本並各販賣會社の主催による

資生堂チェーンストア販賣講座は、十二年より移動スクールの形式を以つて各地に開催、短期間を以つて資生堂チェーンストアスタイルの効果を擧げて來たが、昭和十四年度に於ける第一回の販賣講座は東京販賣會社との共同主催により八日より三回に別けて何れも四日間づつ、開講された。聴講者は何れも東京販賣區域内のチェーンストアの店主或は店員で、

資生堂チェーンストア講座

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉は製販兩者の緊密なる協力の下に、新制度の嚴守に邁進す可きを誓ひ、問屋側を代表して桑原啓造氏が希望の挨拶を述べ最後に山崎副社長の挨拶によつて懇談會を閉じ、晚餐會に移つた。

ウテナ化粧品本舗では二十八日、本所

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉は製販兩者の緊密なる協力の下に、新制度の嚴守に邁進す可きを誓ひ、問屋側を代表して桑原啓造氏が希望の挨拶を述べ最後に山崎副社長の挨拶によつて懇談會を閉じ、晚餐會に移つた。

資生堂チェーンストア販賣講座は、十二年

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉は製販兩者の緊密なる協力の下に、新制度の嚴守に邁進す可きを誓ひ、問屋側を代表して桑原啓造氏が希望の挨拶を述べ最後に山崎副社長の挨拶によつて懇談會を閉じ、晚餐會に移つた。

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉は製販兩者の緊密なる協力の下に、新制度の嚴守に邁進す可きを誓ひ、問屋側を代表して桑原啓造氏が希望の挨拶を述べ最後に山崎副社長の挨拶によつて懇談會を閉じ、晚餐會に移つた。

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉

協定の確約を申合せ、改正制度實施の曉は製販兩者の緊密なる協力の下に、新制度の嚴守に邁進す可きを誓ひ、問屋側を代表して桑原啓造氏が希望の挨拶を述べ最後に山崎副社長の挨拶によつて懇談會を閉じ、晚餐會に移つた。

課税免除の報が齎されたので、即座に建
値改正問題を撤回、四月以降の販賣政策
を堅持することとなり、同様横濱は二十
一日、大阪は二十二日、名古屋は二十三
日開催。

ライオン・日産二工場の表彰

東京工場協会は二十三日、日比谷公
會堂に於いて第十回總會を開催、しかし
て都下に於ける優良工場並に二十年以上
の勤続労働者一〇九七名の表彰を行った
が、工場安全と従業員福利増進その他
施設に於いて模範的なる故を以て業界か
ら左記二工場が選り入った。

ライオン商標本舗小林商店販賣工場
日産化学工業王子工場

花王石鹼の代理店會議

花王石鹼本舗では、石鹼課税撤廃を見
た新状況に對處すべき取引制度に就いて
東京各代理店の諒解を得べく、二十五日、
日本橋茅場町の借樂園に有力代理店十二
氏を招いて代理店會議を開催した。山崎
副社長より

石鹼課税の撤廃を見た状態の變化に伴
ひ、この際値上げは見合せることとなつ
たが、しかし原材料の騰貴は著しきも
のあり、今後、従来の建値堅持に協力
を願ひ度い。課税見越の爲め市場には
相當のストックがある見込であるが、
建値堅持を勵行願へば市場には何等
の影響はないものと考へられる。
旨の挨拶あり、伊藤支配人より諸原料
の騰貴状況に就き詳細説明あつた後、代

理店側の自治的協議を求められたる結果
本舗の方策に順應してこれを支持するこ
ととなり、従来の打一間〇五錢の建値を
勵行されることに決定した。

大阪名古屋のライオン口衛聯盟

ライオン口衛衛生聯盟では東京に次い
で左の如く「統制下に於ける販賣・經營
を聴く會」を開催、大阪に於ける同聯盟
加盟員は一千六百餘、名古屋に於いて六
百餘名を算した。

三月二十六日午後一時より大阪縮葉
會館にて——草刈大阪市商工課長、下
田大阪毎日新聞主筆、岡本ライオン商
科衛生院長等四月六日、名古屋市
商工館にて——宇都宮名古屋商工教授
愛知縣商工課長等

クラブ新潟販賣會社の設立

新潟縣下に於ける陽級クラブ化粧品
の專門配給機關設置に就いては、縣下代理
店及び本舗中山太陽堂間に於いて協議中
のところ、これが具體化を見るに至り二
十六日新潟市商工會議所樓上に於いて全
株主及び本舗の庄壽夫氏、中村主任出席
のもとに創立總會を開催、縣下專門配給
機關たるべきクラブ化粧品新潟販賣株式
會社の設立を見るに至つた。新會社の
概要並に重役如左。

▽名稱クラブ化粧品新潟販賣株式會
社▽資本金三萬圓▽營業所新潟市上大
川前通七番町▽事業開始四月一日▽社
長川崎又吉・常務取締役市川茂平治・
同川崎三郎・取締役青山徳信・同今井

して京都本社より常務の小林憲吉氏の赴
任を見た。尚ほ支店昇格とともに従來東
京に於いて直接事務を取扱はなかつた宣
傳部をも新設、大阪より一部移轉した。

各地クラブ化粧品販賣會開催

クラブ化粧品各地販賣會社並に代理
店主催による販賣店懇談會は四月中左の
如く開催。

▽山口縣岩國町戸崎芳雄商店主催クラ
ブ化粧品販賣店懇談會十三日錦帯橋三
原屋▽金澤市島田商事株式會社主催同
懇談會八日片山津温泉矢田屋旅館▽岐
阜縣クラブ特定品販賣株式會社販賣店
懇談會十四日長良川畔長良館▽丸龜市
高木商店主催同懇談會十五日丸龜商工
會議所▽廣島縣西部クラブ特定品販賣
株式會社主催同懇談會二十三日廣島商
工會議所▽北九州クラブ特定品販賣株
式會社主催同懇談會二十四日温田温泉
水野旅館▽東部滋賀縣下クラブ化粧品
卸店懇談會二十八日京都四條八尾政

ウテナの東京横濱代理店會議

ウテナ化粧品本舗では九日伊豆大仁温
泉に大東京横濱有力代理店を招待し代理
店會議を開催、積極的市場統制に乗り出
した。本舗では席上出席代理店にこれが
本舗案を提示せる結果、悉くこれが承認
を得て左の如く市場販賣値段の統一申合
せを爲し、時局對策方針決定に關しては、
時局商策實行委員會を設けてこれに一任
することとなり、委員選任はこれを本舗
に一任「統一申合せ」値段に就いては、

萬吉・同小黑喜三郎・同渡邊輝治・監
査役川浦留吉・同中山豊三

エセックス美爪料本舗移轉

エセックス美爪料本舗美見堂小島屋商
店では従来の店舗を出荷部となし、營業
所を左記へ移轉。

資生堂の空容器回収

資生堂では業界空容器の實狀に鑑み、
愛用者よりの空容器回収に着手、その組
織を利用して花椿會員に呼びかけ、チェ
ーンストア、販賣會社を経て本社工場に
回収、花椿會員に對しては年末に於いて
物資愛護券と引換へに記念品を贈呈する
ことに決定着手した。

レートの臨時政府要人招待

レート化粧品本舗代表取締役板倉安兵
衛氏は三十日、實業視察の目的を以つて
入京せる中華民國臨時政府實業部長王蔭
泰氏、同政府參議北京市商會主席鄒泉蓀
氏等の實業團一行を主賓として五日、東
京寶塚劇場に觀劇晩餐會を開催、陪賓と
して東京商工會議所會頭伍堂卓雄氏を始
め朝野財界の諸名士並に業界の諸名士多
數の出席を見た。同日午後五時よも一
行を丸の内五階の東京婦人會館に案内
し、役員及び會員數百名の歡迎の裡に館
内設備及び機能の實況を視察し、五十餘

丸見屋商店の機構改革

丸見屋商店では積極的の途に邁進すべ
く、左記の如くその機構を改むるとも
に人的配置を更新強化を圖り、副店主三
輪善太郎氏自らその第一線に起つて潑刺
の陣容を構成した。

販賣部長松永宗吉、同次長吉田穰、秘
書部長、經理部長横井順造、同次長
藤原能雄、宣傳部長衣笠靜夫、同次長
加藤晋三

長瀬家事科學の清淨標語

長瀬家事科學研究所並びに國民健康保
險協會主催厚生省保險部後援の國民保健
のための清淨標語懸賞募集を公表した。

分り易き具體的内容を持つ衣食住身體
の何れかの部分に關聯した清淨標語を
官製ハガキ一枚に一句づつ認め、廣告
掲載紙名記入の上五月十五日までに日
本橋區馬喰町二花王石鹼内長瀬家事科
學研究所清淨運動係へ送付すること。

▼賞品 一等一名、朝鮮・滿洲各地
週遊同伴券(又は愛國公債三百圓)一
枚▽二等二名、朝鮮・滿洲各地週遊券
一枚宛(又は愛國公債百五十圓)▽三

種の仕事に實踐 一日
ウテナ化粧品大東京神奈川代理店會議
上野兩月莊に開催 二日
ライオン本舗パラデント發賣披露會
國ホテルに開催 四日
豐玉香料製造所は芝浦工場の擴張を完
了 九日

森本東京支店勤務伊藤齊氏は淺草區藏
前一ノ一三に伊藤齊商店を獨立開店
資生堂の大隈進出は天津青島上海廣東
に販賣會社張家口濟南廈門汕頭海南
島に配給所を設置
福島縣クラブ特定品會社第一回株主總
會を開催 十四日
香料商小川商店は日本橋區本町四ノ一
五ノ三へ移轉 六日
クラブ化粧品札幌販賣會社主任森田見
次氏出征の爲め鶴岡直輝氏後任に決
定 九日
小樽原商事務株式會社では五十年史編
纂に着手
神戸クラブ特定品販賣株式會社第一回
定時總會前山三輪に開催 廿七日
化粧品問屋大山勇次郎商店では橋町同
香地の隣家を買収擴張 廿九日
大東化学工業所では大阪市東區墨江町
四三(ハルミ)美容院を新設
丸見屋商店原材料購買事務は工場より
本店仕入部へ移管
大阪稻垣生美堂は東區南久寶寺町一丁
目十三の新營業所へ移轉
大阪清水忠石鹼株式會社は清水忠商事
株式會社と社名變更、清水信三氏代
表取締役就任
伊東胡蝶園大阪支店宣傳部主任とし本
店より小林玄氏赴任 十日

資生堂に化學研究所の獨立開所と同時に

資生堂に化學研究所の獨立開所と同時
に臺北市に同所香料部を新設、香料
植物の栽培に乗り出した。
ライオン石鹼平井工場では産業報國會
々員が集つてライオンリイドバンド
を結成 七日
國産カッペーパーネット會第四回總會
は東京劇場に開催 十日
大阪桃谷順天館従業員熱田神宮へ參拜
十一日
東賣化粧品本舗は麻布區斧町七五へ工
場を移轉 廿日
寺内喜榮堂主宰共榮共榮會は鹽原温泉
に舉行 十三日
パビリオン十五日會、香取鹿島神社參拜
十五日
神戸クラブ化粧品販賣會社では創立一
周年を迎へて澁川公園勸業館に祝賀
懇談會を開催 十九日
滿洲ライオン商標株式會社創立披露會
を奉天大和ホテルに開催 廿八日

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

資源愛護・容器回収標語

化粧は保健 容器は資源
忘るな化粧 捨てるな容器
先づ化粧 空は資源に御奉公
小さな容器も 大きな資源
生きたお化粧 生かした容器
化粧は自然に 容器は資源に
化粧と容器は生かして光る
化粧品 生かして使へ容器まで
この瓶 この罐 みま資源

等五名、愛國公債五十圓一枚宛▽佳作五十名、花王詰合函一箇宛

▼審査員 厚生省社会保険局長清水玄石原武二▽厚生省豫防局防疫課長醫學博士南滿雄七▽厚生省衛生局醫學博士寺田秀男▽厚生省社会保険局長長瀬中橋幸吉▽花王石鹼長瀬商會社長長瀬富郎

クラブ各地特定品會社總會

クラブ特定品の北海道及び東北地方に於ける四販賣會社はそれ／＼左の如く定時株主總會を開催した。

新潟縣西部クラブ特定品販賣株式會社 第二回定時株主總會
四月十五日同社樓上に開催、昭和十三年度營業報告、損益計算書及び利益金處分案等満場一致決定

山形縣クラブ特定品販賣株式會社第一回定時株主總會
四月十七日同社樓上に開催同様議案を可決

旭川クラブ特定品販賣株式會社第一回株主總會
四月廿日同社樓上に開催同様議案を可決、重役一部變更、主任の變更を見た

宮城縣クラブ特定品販賣株式會社第一回定時株主總會
四月廿五日同社樓上に開催、同様議案を可決確定した。

クラブの京漢代理店懇談會

中山太陽堂では十七日、京漢代理店有志者十數名を芝紅葉館に招待して懇談會を開催した。本館より副店主中山豐三氏以下、代理店よりは十三氏出席。中山副店主より價格問題、原料材料の配給關係等より立論したる市場將來の見通しについて説明するとともに「クラブ本館」は市場の波瀾に依り、販賣業者に累を及ぼす如き政策は絶対に取らざる決心なれば一層代理店各位に於いても援助せられべき旨を懇請、代理店側よりも二三の好意的質問等があった。

ライオン四縣下店頭競技成績

三月中旬より千葉、茨城、群馬、栃木四縣下に於いて開催せる第一回ライオン齒磨店店頭陳列裝飾競技會は左の如くその審査決定を見た。

千葉 總參加店七五店、優良賞四、進歩賞八、佳作賞一七店
茨城 總參加店五〇、名譽賞一、優良賞五、佳作賞一四
群馬 總參加店九四、名譽賞一、優良賞五、佳作賞一九
栃木 總參加店八五、名譽賞一、優良賞五、佳作賞三

柳生會十四年度總會開催
柳生本店を盟主とする柳生會では二十四日、内幸町仁壽講堂に於いて第十五回總會開催、會員六百餘名出席、會長萩長武郎氏の挨拶、森昭信氏の事業報告、伊澤弘芳氏の會計報告及び白井隆三氏の販賣報告あり、引續き議案に入るや

五 月

日本石鹼株式會社では二十七日、大阪心齋橋心交社に於いて定時總會開催、席上定款の規定により役員改選の結果、左の如く決定した。

▽取締役村山威士▽常務取締役奥山喜太郎▽同業津孝太郎▽取締役世戸清▽同業川忠一▽同業久保田四郎▽同業郷幸治▽同業吉田文熊▽同業片川直亮▽監査役大橋退治▽同業長崎茂▽同業石田秀藏

永廣堂本店の新工場竣工
大阪永廣堂本店の東淀川區北大道町七七一に新築中の工場落成、總敷地一千餘坪と最新の機械設備を擁して操業を開始尚、浪速區新川三丁目旧工場は閉鎖した。

清遊日記

一、昭和十四年中全國の業界に於いて行はれたる清遊觀劇及びその他の招待會等を月次的に調査したものである。

一、清遊、觀劇中、愛用者に対する優待サービスは「廣告宣傳」の部門に取扱ひ、此の日記中には一切除外してある。

一、別項の「清遊、觀劇一覽」は、此の日記を統計的に分類したものであり、更らにその清遊の地方別にしたものと及び觀劇を劇場別にしたものと別に掲げてある。

一、調査期間は昭和十三年十一月一日より十四年十月末日に至るまでである。

十一月 (十三年)

津田商店本棧油大阪歌舞伎座觀劇會 二日
三宅堂本棧香油明治座觀劇會 三日
二六商會販賣店招待奈良巡遊會開催 三日
岩谷商會ヘヤネットイスマズバンド明治座觀劇會 六日
鹿兒島大丸商店タマゴシャンプリ露島神宮參拜會 六日
日本石鹼株式會社君が代石鹼大阪歌舞伎座觀劇會 七日
柳屋商店神奈川柳生會橫濱磯子園招待會 八日
日本石鹼株式會社從業員慰安大阪北野劇場觀劇 八日
ロイヤル化粧品株式會社鹽原鬼怒川溫泉清遊 八、九日
木下七左衛門商店萬上香園觀劇會 一〇日
三ツ葉商會東京シャンプリ名古屋歌舞伎座觀劇 一四日
村瀬鐵道商店後藤久次郎商店共催ミコト粉石鹼岐阜金華劇場觀劇 一五日
保利新商店仁徳石鹼大阪中座觀劇 一五日
大丸商店牛乳石鹼東京相模招待 一五日
田中花玉堂タンゴドローン園觀劇會 一七日
大山勇次郎商店ルシア會結成園觀劇會 一七日
某陽商會於國劇子園觀劇會觀劇 一七日
小島屋商店エセックス美瓜料園觀劇會 一七日
橫濱クラブ會發會式鶴聲館に開催 一七日
金鳥香東京販賣會歌舞伎座觀劇 一七日
日本石鹼株式會社創立一周年記念有樂座觀劇 一九日
奉仕堂本店つや妙黒砂糖石鹼中座觀劇 二〇日
杉田宗助商店金ツル園劇子明治座觀劇 二二日
高木美容化學研究所ラビザン白粉寶塚劇場觀劇 二二日
石田佐一商店ラモナト白粉新橋劇場觀劇 二四日
銀座堂商店銀座堂石鹼東京劇場觀劇 二五日

レイト婦人會館の一周年記念

レイト化粧品本館代表取締役板倉安兵衛氏並に小林一三氏を顧問とする日劇五階の東京婦人會館は四月二十四日が宛も創立一周年に當るところから、一日これが自祝の記念會を開催した。出席者は兩顧問始め會館役員、贊助員たる女流名家、及び婦人會會員を埋め、創立以來一周年にして四千の會員を獲得し、銃後の婦人の教養強化に貢献し來れる業績を回顧して、板倉、小林兩顧問の所感あり、續いて贊助員吉岡彌生女史、理事村岡花子女史の挨拶あり、和田織江女史よりは一ヶ年間修業せる音楽舞踊その他の證書を授與、了つて會員出演の舞臺を鑑賞して會を閉じた。

釜山化粧品會社社長の招宴

釜山化粧品株式會社長にして前盟社會理事長たりし富原研二氏は、大阪訪問を機會に大阪化粧品本館十日會、同富莊會及びその他の取引店主二十餘名を五日堀江の二葉に招待、盟社會の組織變更に關する経緯の説明、半島業界に就いての懇談を交へた。

各地クラブ化粧品懇談會

クラブ化粧品品の販賣會社並に代理店主催による懇談會は五月中左の如く開催。

▽三重縣クラブ特定品販賣株式會社主催 販賣店懇談會七日鳥羽待月樓▽和歌山縣クラブ特定品販賣株式會社主催の同懇談會十三日和歌山商會議所▽奈

三縣クラブ特定品會社の總會

群馬、長野、茨城三縣のクラブ特定品販賣株式會社では十日、十七日、二十四日それ／＼總會を開催した。總會に先立ち何れも役員會を開催、總會に提出さるべき營業報告書、貸借対照表、損益計算書、利益金處分案に就いての協議を行ひ、總會に於いて何れも可決確定を見た。

資生堂花椿講習會開催

資生堂では一般婦人の情操教育、美容整容教育を旨として本館内に花椿講習會を開催、第一回を五月十一日より八月十日に至る三ヶ月間とし、主として花椿會員から講習生を募り對外的な美容教育に乗り出した。本社内にはその爲の教室、各種施設を施し、時局の影響なき限り續開されることとなつた。その講習課目如左。

▽衛生學(傳染病學) 警視廳防疫課長醫學博士井口乘海氏▽一般衛生學同衛生部神野博士▽榮養學厚生省衛生局杉本博士▽整容法小橋惠津子・渡邊千代子・佐藤七三子▽家庭的マツサージ渡邊千代子・佐藤七三子▽衣服整理法青

アイデアル會第十四回總會

東京アイデアル會の第十四回定期總會は、恒例の旅行を取止めて十一日午後一時より九段軍人會館に開いた。會する者千餘名、染谷幹事司會の下に總會に入るや、藤田幹事長の開會の辭、染谷氏の會計報告、佐々木氏の業績報告が述べられ、藤田幹事長より緊急動議の提出あり、即ち旅行計畫中止に因る剩餘金中より金壹千圓を東京市の出動將士後援會へ寄贈することを満場一致可決、次に會則修正案たる幹事の選任方法及び市域擴張に伴ふ會員の加入問題の處理、反則防止、事業の圓滿なる進展を圖る爲めの機關として各區に相談役を設ける新會則を承認可決すると役員改選に移り藤田幹事長より豫て申出の老齡の故を以て辭任申出の件は事情已むを得ざるものとして承認、新會則に依る幹事推薦の顧問會議を開くうち、小間物組合名譽顧問松田幸治郎氏の祝辭演説があり、新幹事長佐々木氏新名譽顧問幹事長藤田、平川兩氏の新任挨拶が済むと本館の高橋社長は、統制益々強化、物資いよ／＼窮乏の今日、前途の多難を思はしめるものもあるも、創業の趣旨目的達成の爲め此の難關を打開して共存共榮の實を擧げ度き旨を強調力説、菊地幹事の閉會の辭に依つて滞りなく總會終了、席上選任された新役員如

十二月 (十三年)

吉澤商店コロネット化粧品中座觀劇 二日
宇の達商店納音大阪歌舞伎座觀劇 三日
花王石鹼大阪販賣店招待歌舞伎座觀劇

左。

幹事長佐々木榮次郎、會計寺澤梅雄、幹事菊地泰三、同秋山三郎、同南丈夫、同志知宗三郎、同德重軍治、同名譽顧問岡田久吉、同森昭悟、同山崎塊一、同藤田喜兵衛、同平川退助。

クラブ京城販賣會社の設立

半島に於ける堂級クラブ化粧品は従来主として株式會社軒屋號より配給され、あつたが、その取扱ひを分離して資本三萬圓を以て堂級クラブ化粧品京城販賣株式會社を新設、その披露會を十二日京城南大門通二丁目の千代田ビルに開催、府内有力販賣店四十餘名が出席した。

協同油脂株式會社の三砂工場竣工祝賀會

協同油脂株式會社は朝鮮江原道三砂に、敷地六萬五千坪、鐵筋コンクリート建二十三棟六千七百二十二坪、貯油タンク十五基を備へ、設備の刷新、規模の雄大、機構の多岐を誇つて設備中の三砂工場は此程竣工、一日現地に落成式を挙げ、續いて十三日大阪、越えて十五日東京に於いて披露式を挙げた。

株式會社獅子牙粉公司設立

ライオン齒粉本舖小林商店は大陸への積極策として株式會社獅子牙粉公司を設立、従来同本社輸出部に於いて取扱ひつゝあつた支那事項は、その全部を舉げて新設會社に移管せしめるとともに、小林洋行大阪出張所は之れを改めて獅子牙粉公司大阪支店とし、併せて同洋行代理店事務を取扱はしめ、同出張所全員は新設公司大阪支店員たることとなつた。

株式會社獅子牙粉公司設立

地本舖と折衝せる本舖交渉員より報告あり、左の要綱並に役員を決定した。一、本會社は特殊の官公需消費組合及び會社に對し納品をなし併せて未着手の新販路開拓に従事することとする。一、株主たる業者は前項納品に關する取引一切を會社に移譲する事を欣然承諾せり。一、各代理店と本舖との取引及び販賣は前項納品を除き従前通り變更なきものとす。一、本會社は全滿の業者の發展と強制を主旨とす故に組合員以外の數件の參加申込に對しては欣然これを承諾す。一、會社の資本金は特殊納品のみとなりたるに付金四十萬圓也として最初に四分の一を拂込み、不足の場合に直ちに第二回の拂込みをなすことに一致賛成す。

伊東胡蝶園産業報國會結成

伊東胡蝶園産業報國會結成式は二十一日同園講堂に開催、會員三百を擁して賑々の聲を擧げたが、結成式は鳥居坂署長始め多數來賓を迎へて盛大を極めた。構成の役員は如左。▽會長伊東榮▽副會長北村秀夫▽幹事荒木八郎、内田喜一郎、大塚市郎、草野博志、下山補助、武田榮治、富澤善次郎、廣瀬一九、三浦康司、西田壽吉、今谷キミヨ、後藤アサ▽會計平澤英一郎、由比盛靖▽書記佐々木五百三、矢野政美▽顧問鳥居坂警察署長、胡蝶園總務長谷部小速。

株式會社獅子牙粉公司設立

高橋東洋堂内アイデアル會では一日、佐々木會長、寺澤會計等が東洋堂岡部副社長及び同會川常務と同道して頼母木東京市長を訪問、アイデアル會本年度剩餘金一千圓を東京出征將士後援會に寄附した。

ニッサン石鹼東聯合會式

ニッサン化粧品石鹼及びニッサン洗劑を發賣した日本油脂株式會社は、これが配給機關として各地にニッサン石鹼會を組織、東京に於いては十二日、上野精養軒に東京、千葉、埼玉、神奈川、静岡の四府縣下に於ける有力同業者百五十餘名の參集を求め、新製品發賣披露を兼ねたニッサン石鹼東聯合會式を舉行した。式は高瀬石鹼係主任の司會に始まり、村山事務立つて、戦時下、産業報告の信念に基く日油の業態を述べて挨拶に代へ、久保田常務はニッサン石鹼會設立の趣旨を説明、日油幹部職員紹介に次いで議事に入るや、久保田常務を議長とした會の規約を審議可決、幹事推薦に入るや、相談役に中村茂八氏を推薦、常務理事以下別項の如く決定を見、東京支部長三田東營所長の挨拶あつて散會した。選任の役員は如左。▽相談役中村茂八▽常務理事日油久保田四郎、館野榮吉▽理事大茂吉澤啓三、田中吉兵衛△日油片山直亮、東榮三田秀太郎、日油田村一良▽監事木下七左衛門、日油長崎茂▽主事日油小野勇次郎▽東京支部長東營三田秀太郎▽同主事同。

クラブ化粧品各地懇談會

クラブ化粧品本舖中山太陽堂では十三日以降、群馬、岩手、青森縣各クラブ特

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

ニッサン石鹼東聯合會式

大内太平洋堂主催長岡温泉清遊 一六二
丹頂ベルトライオン東部配給所丹頂石鹼國際劇場觀劇 一七七日
鈴木福次郎商店神戸ナレビー會招待神戶三輪 一八日
藤井庄右衛門商店市内販賣店國技館招待 一八・一九日
久米商店文金シャンブー名古屋歌舞伎座觀劇 一八日
月の友化粧園大阪代理店懇談會南地、るは 一九日
清水忠商會社サンアーク洗濯石鹼賣場劇場觀劇 一九日
小林商店京阪代理店招待大阪歌舞伎座觀劇 二〇日
日本油脂會社關東代理店招待熱海清遊 二二日
丸見屋商店セオラ齒粉中座觀劇 二二日
資生堂京城釜山チエーンストア會員招待東京遊覽 二三日
神戸クラブ特定品會社有馬温泉清遊 二二日
日本油脂會社關西代理店招待白濱清遊 二二・二四日
内外除毒會社名古屋月虎會下呂清遊 二二日

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

右。

社名倉、石鹼浦野の諸氏が幹旋に力め、大島社長より三砂工場竣工披露と向後の指導援助を望み、苦米地氏祝辭を兼ねて硬化脂業各社との協調による國家的重要使命の達成と一層の發展を希望して來賓代表の挨拶を述べた。

伊東胡蝶園産業報國會結成

伊東胡蝶園産業報國會結成式は二十一日同園講堂に開催、會員三百を擁して賑々の聲を擧げたが、結成式は鳥居坂署長始め多數來賓を迎へて盛大を極めた。構成の役員は如左。▽會長伊東榮▽副會長北村秀夫▽幹事荒木八郎、内田喜一郎、大塚市郎、草野博志、下山補助、武田榮治、富澤善次郎、廣瀬一九、三浦康司、西田壽吉、今谷キミヨ、後藤アサ▽會計平澤英一郎、由比盛靖▽書記佐々木五百三、矢野政美▽顧問鳥居坂警察署長、胡蝶園總務長谷部小速。

株式會社獅子牙粉公司設立

ライオン齒粉本舖小林商店は大陸への積極策として株式會社獅子牙粉公司を設立、従来同本社輸出部に於いて取扱ひつゝあつた支那事項は、その全部を舉げて新設會社に移管せしめるとともに、小林洋行大阪出張所は之れを改めて獅子牙粉公司大阪支店とし、併せて同洋行代理店事務を取扱はしめ、同出張所全員は新設公司大阪支店員たることとなつた。

株式會社獅子牙粉公司設立

高橋東洋堂内アイデアル會では一日、佐々木會長、寺澤會計等が東洋堂岡部副社長及び同會川常務と同道して頼母木東京市長を訪問、アイデアル會本年度剩餘金一千圓を東京出征將士後援會に寄附した。

ニッサン石鹼東聯合會式

ニッサン化粧品石鹼及びニッサン洗劑を發賣した日本油脂株式會社は、これが配給機關として各地にニッサン石鹼會を組織、東京に於いては十二日、上野精養軒に東京、千葉、埼玉、神奈川、静岡の四府縣下に於ける有力同業者百五十餘名の參集を求め、新製品發賣披露を兼ねたニッサン石鹼東聯合會式を舉行した。式は高瀬石鹼係主任の司會に始まり、村山事務立つて、戦時下、産業報告の信念に基く日油の業態を述べて挨拶に代へ、久保田常務はニッサン石鹼會設立の趣旨を説明、日油幹部職員紹介に次いで議事に入るや、久保田常務を議長とした會の規約を審議可決、幹事推薦に入るや、相談役に中村茂八氏を推薦、常務理事以下別項の如く決定を見、東京支部長三田東營所長の挨拶あつて散會した。選任の役員は如左。▽相談役中村茂八▽常務理事日油久保田四郎、館野榮吉▽理事大茂吉澤啓三、田中吉兵衛△日油片山直亮、東榮三田秀太郎、日油田村一良▽監事木下七左衛門、日油長崎茂▽主事日油小野勇次郎▽東京支部長東營三田秀太郎▽同主事同。

クラブ化粧品各地懇談會

クラブ化粧品本舖中山太陽堂では十三日以降、群馬、岩手、青森縣各クラブ特

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

ニッサン石鹼東聯合會式

大内太平洋堂主催長岡温泉清遊 一六二
丹頂ベルトライオン東部配給所丹頂石鹼國際劇場觀劇 一七七日
鈴木福次郎商店神戸ナレビー會招待神戶三輪 一八日
藤井庄右衛門商店市内販賣店國技館招待 一八・一九日
久米商店文金シャンブー名古屋歌舞伎座觀劇 一八日
月の友化粧園大阪代理店懇談會南地、るは 一九日
清水忠商會社サンアーク洗濯石鹼賣場劇場觀劇 一九日
小林商店京阪代理店招待大阪歌舞伎座觀劇 二〇日
日本油脂會社關東代理店招待熱海清遊 二二日
丸見屋商店セオラ齒粉中座觀劇 二二日
資生堂京城釜山チエーンストア會員招待東京遊覽 二三日
神戸クラブ特定品會社有馬温泉清遊 二二日
日本油脂會社關西代理店招待白濱清遊 二二・二四日
内外除毒會社名古屋月虎會下呂清遊 二二日

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

ニッサン石鹼東聯合會式

大内太平洋堂主催長岡温泉清遊 一六二
丹頂ベルトライオン東部配給所丹頂石鹼國際劇場觀劇 一七七日
鈴木福次郎商店神戸ナレビー會招待神戶三輪 一八日
藤井庄右衛門商店市内販賣店國技館招待 一八・一九日
久米商店文金シャンブー名古屋歌舞伎座觀劇 一八日
月の友化粧園大阪代理店懇談會南地、るは 一九日
清水忠商會社サンアーク洗濯石鹼賣場劇場觀劇 一九日
小林商店京阪代理店招待大阪歌舞伎座觀劇 二〇日
日本油脂會社關東代理店招待熱海清遊 二二日
丸見屋商店セオラ齒粉中座觀劇 二二日
資生堂京城釜山チエーンストア會員招待東京遊覽 二三日
神戸クラブ特定品會社有馬温泉清遊 二二日
日本油脂會社關西代理店招待白濱清遊 二二・二四日
内外除毒會社名古屋月虎會下呂清遊 二二日

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

ニッサン石鹼東聯合會式

大内太平洋堂主催長岡温泉清遊 一六二
丹頂ベルトライオン東部配給所丹頂石鹼國際劇場觀劇 一七七日
鈴木福次郎商店神戸ナレビー會招待神戶三輪 一八日
藤井庄右衛門商店市内販賣店國技館招待 一八・一九日
久米商店文金シャンブー名古屋歌舞伎座觀劇 一八日
月の友化粧園大阪代理店懇談會南地、るは 一九日
清水忠商會社サンアーク洗濯石鹼賣場劇場觀劇 一九日
小林商店京阪代理店招待大阪歌舞伎座觀劇 二〇日
日本油脂會社關東代理店招待熱海清遊 二二日
丸見屋商店セオラ齒粉中座觀劇 二二日
資生堂京城釜山チエーンストア會員招待東京遊覽 二三日
神戸クラブ特定品會社有馬温泉清遊 二二日
日本油脂會社關西代理店招待白濱清遊 二二・二四日
内外除毒會社名古屋月虎會下呂清遊 二二日

ニッサン石鹼東聯合會式

丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店歌舞伎座觀劇 七日
花王石鹼エキセルン神戸販賣店招待松竹劇場觀劇 八日
日室石鹼大阪懇談會南座觀劇 九日
永田美芳園スロイン、エアン化粧品料賣場觀劇 一二日
丸見屋商店京濱ミツソ石鹼推獎販賣店招待東京劇場觀劇 一三日
ライオン齒粉ASAチエーン發會東京劇場觀劇 一四日
田中善株式會社代理店懇談會南園園 二二日
名古屋クラブ特定品會社御園座觀劇 九日
中村興一商店レコード石鹼成田山參拜 九日
美香園名古屋販賣店招待豊川稻荷參拜 一二日
駒田商店主催ゴコロ整髮料桃山御陵參拜 一三日
ライオン齒粉販賣店招待寶塚劇場觀劇 一四日
仁善堂分店白濱清遊 一五日
月の友化粧園東京代理店懇談會伊東清遊 一八日
三ツ葉會東京シャンブー豊川稻荷參拜 一八日
野村商會金ツル香油宮崎神宮參拜 二二日
森岡商店金鳥化粧品大阪歌舞伎座觀劇 二二日
東京チツソ會東京劇場觀劇 二五日

ニッサン石鹼東聯合會式

定品販賣株式會社及び宮城縣聯合共榮ク
ラブ會主催による懇談會を開催、東京本
社より中山副店主並に庄壽夫氏出張、何
れも契約店及び共榮クラブ會々員を招い
て、非常時業界に對處する本舗の播きな
き所信を披瀝した。開催地は如左。

▽群馬縣クアラ特定品販賣主催特契店
懇談會十三日伊香保本幕旅館▽岩手縣
クアラ特定品販賣同二十日盛岡市外繁
温泉御所閣▽青森縣クアラ特定品販賣
同三十一日青森市坂井屋▽宮城縣聯合
共榮クラブ會同二十二日仙臺市「青葉」

資生堂工場産業報國會結成

資生堂では工場を中心とする資生堂産
業報國會を結成した。會員としては職員
從業員全員を網羅し、福原社長を名譽會
長に、伊藤工場長を會長に伊田技師長
を副會長とした主腦部を結成、各部會に
幹事、委員、會計、書記を置いて機構を
固め、皇國産業の本義に基き事業主從業
員一體産業報國の實を擧げんとするもの
でその事業としては

- 一、産業報國精神の普及徹底並に教養
親和その他意志疎通上有益と認むる
事項。
- 二、能率増進並に消費節約に關する事
項。
- 三、生活刷新並に福利共濟貯蓄に關す
る事項。
- 四、體育並に慰安娛樂に關する事項。
- 五、保險衛生並に災害防止に關する事
項。
- 六、その他必要と認むる事項。

以上の六項目を掲げ、これを五部會に
分つてそれ／＼文書の頒布、講演會、懇
談會の開催、報國貯金會の組織、體育施
設の完備、工場體操の勵行、特設防護團
の活躍等を期してゐる。

ビタオール本舗の商號改稱

ビタオール本舗はその商號を松浦商會
と改稱、同時に販賣部及び廣告部を十八
日より左記へ移轉。
大阪市東區北久寶寺町二ノ五九松浦商
會販賣部

廣東婦女團の太陽堂見學

南支那から來朝した廣東訪日婦女團一
行十二名は十九日、廣東治安維持金副委
員長正春榮氏夫人引率のもとに、クラブ
本舗を訪ひ、貴賓室に中山店主の挨拶を
受けたる後、工場を見學。

花王石鹼店頭陳列競技會

花王石鹼長瀬商會の店頭裝飾陳列競技
會は例年の通り開催。東京、横濱、川崎
三市は六月二十日より七月十五日までの
期間で花王石鹼、花王シャンプー、ビー
ズ、エキセリンの四大製品に就き陳列競
技が行はれた。優等規定、開催方法は全
く従來通りで、入賞店への賞品には多少
變更が加へられた。期間中、東部に於け
る開催都市外の小都市には中元用宣傳物
が郵送され、贈答品としての實質的商品
價值を昂揚した。

守屋合名會社の組織變更

マール磨粉本舗守屋合名會社は大正十五
年以來米國エール・ディー・コーク會社の
總代理店として逐年發展の途を辿りつゝ、
來たが、マール新製品として發賣せるマール
准煉磨粉の好成績による新工場増築等
その事業擴大に伴ひ、従來の組織にては
不適當となつた爲、姉妹會社として新た
に株式會社守屋商會を創立、新會社に於
てマール製品に關する一切の營業を繼承す
ることとなつた。重役如左。

東京ライオン會理事會

東京ライオン會理事會は二十四日、帝
國ホテルに開催、各理事二十名出席、山
崎常務より上半期の業績を報告、値段問
題に就いての懇談ありたる後、栗原第二
販賣部長の大阪支店長赴任に當り理事會
より感謝狀を贈つた。

ノバ化粧品講習懇親會

株式會社武孝商店主催、ノバ化粧品本
舗株式會社精光堂後援の第一回ノバ化粧
品講習並に懇親會は、二十四日、銀座明
治製菓四階に於いて開催された。會する
もの聯盟店百有餘名。武孝商店武井孝次
郎、ノバ本舗太田清兩氏挨拶の後晚餐の
卓を圍み、終つてノバ・ビウティ・ガイ
ド五名を代表する小柴節子嬢の挨拶、星
詩子嬢のノバ製品々質説明、化粧品法の實
演があり、最後には映畫「出世太閤記」
及び「五人の斥候兵」の上映があつて散

會となつた。

ゴコー本舗の經營繼承

ゴコー製髮料本舗昇英堂の經營者村上
幸太郎氏は還曆を迎へたるを機に引退、
後繼者として多年故腕をふるつてゐた橋
崎美鳥氏を推薦、二十八日天滿橋野田屋
に關係先約二十名を招いて披露の宴を張
つた。

七 月

近源商店の職制改革

株式會社近源商店では店內機構の統合
一元化を行ひ、業務運行上の合理化を期
する爲、職制を改正整備中のところ、一
日をもつて發令、部屬の異動が行はれた。
新部屬即ち如左。

▽化粧品本舗部長齋藤壬夫▽同次長近
藤一男▽販賣課長菅田直實▽同次席馬
淵眞佐雄▽廣告課長菅田直實▽同次席
志賀五郎▽工場課長部長兼務▽同次席
大内定雄▽大阪出張所長高米治▽研
究所長山口成一▽雜貨部長飯沼光太郎
▽販賣課長山内清治▽仕入課長永原庄
吉▽經理部長中澤七郎▽同次長天野中
治▽庶務課長部長兼務▽會計課長次
長兼務▽人事課長本舗部長兼務

五縣下ニツサン會聯合會式

日本油脂では一日、上野精養軒に於い
て栃木、茨城、群馬、山梨及び長野の五縣
下に於ける各縣ニツサン石鹼會の發會式
を擧行した。本社側の各重役、市内代理店

三 月

土谷商店主催クアラ化粧品伊勢大廟參
拜 一五日
仙臺小間物雜貨商組合春季總會秋保温
泉 二日
共進會牛乳石鹼大阪歌舞伎座觀劇
二三日
日本油脂會社九州代理店招待別府清遊
二日
銀座堂石鹼本舖國際劇場觀劇 九日
葛原工業所モダンシャンプー中座觀劇
一〇日
青木商店リユーセンヘヤロー国際劇
場觀劇 一〇日
鈴木福次郎商店東京ナルビーチェーン
伊東清遊 一三日
松井傳和商店花井筒石鹼長岡清遊 一
三日
村瀬谷三郎商店シチ化粧品招待らく
榮 一三日
昭和會主催古奈清遊 一四日
三社社スミ洗滌クリム新橋演舞場
觀劇 一四日
井筒屋香油店東京結髮家招待明治座觀
劇 一七日
山口剛生商店エニク香粧品東京劇場
觀劇 一八日
奉仕堂本店つや妙影砂糖石鹼北野劇場
觀劇 一八日
赤松卯藏商店クリム化粧品中座觀劇
一八日
イオス研究所イオス洗滌クリム東京
劇場觀劇 二〇日
井上與吉商店クアラ化粧品名古屋信越
山中温泉清遊 二〇二五日
桑山喜重郎商店コロネット化粧品御園
座觀劇 二二日

謂多角經營を以て廣く化學工業分野に進

出中であるの現狀に鑑み、社發展の意
味から、高砂化學工業株式會社とその名
稱を變更した。

新潟ニツサン石鹼會結成

新潟ニツサン石鹼會結成式は六日、同
市イタリヤ軒に於いて行はれた。本社よ
りは久保田常務、藤田廣告部長、小野東
部主事及び東京營業所の三田高瀬氏等列
席。會員七十有餘名の出席を得、高瀬氏
司會の下に開催。久保田重役ニツサン會
結成に就いての挨拶を試み、三田支店長
を座長とする會議を開いて常任幹事、幹
事の選任を行ひ、その決定發表を待つて
午餐をとらして散會した。役員如左。

▽常任幹事高瀬商店 同石山末松▽幹
事岩下庄十郎 河内屋文吉 本間高次
齋藤榮吉 松永嘉平 緒形翁吉 近藤
米治 山上善四郎 高橋高次 佐藤勝
治 加藤作次郎 小黒喜三郎 清水儀
三郎 五十嵐商店 米瀬商店 高島文
治 桑興商店

日本油脂の飛行機納

日本油脂株式會社では七日の支那事變
勃發記念日に緊急重役會議を開催して戰
將士に對し感謝の黙禱を捧げ、出征勇
士の武運長久を祈願したる後、陸海軍に
對して各一臺宛の飛行機を献納すること
を決議し、八日二社社長自ら陸海軍兩省
に出頭してその手續を了した。

クアラ化粧品各地懇談會

高砂香料株式會社では、事變以來時局
の波に乗つてその營業部門が擴大し、所

四 月

ミコト石鹼製造所名古屋代理店懇談會
西萬梅 二二日
近源商店ヘチマコロン招待歌舞伎座觀
劇 二三日
明和會主催東京劇場觀劇 二四日
芳誠舎石鹼製造所大東京オパール會新
橋演舞場觀劇 二六日
ダイナー本舗販賣店懇親會岐阜岡崎、
半田市に開催 二六二八日
露木商店ツキキシャンプー江の島清遊
二八日

越智商店主催マゴシャンブー東京見
學鬼怒川熱海清遊 三一日
丸見屋商店京阪神代理店中座觀劇 六日
東京ライオン會第九回總會歌舞伎座觀
劇 七日
永田美芳同主催スロリン、エテン化粧
料北野劇場觀劇 七日
大阪西岡商店華商招待會川口町大東
樓に開催 八日
高木美容化學研究所ラビザン化粧品笠
置山清遊 八日
霜田七郎商店タンゴドーラン東京劇場
觀劇 一〇日
日本石鹼會社君が代石鹼新橋演舞場觀
劇 一〇日
津川安正堂敷島香發賣三十周年大仁清
遊 一〇日
塚田合名會社加美の素伊豆椿明治座觀
劇 二日
丸八商店クアラ化粧品婦人ヒクニツク
補徳粉荷參拜 一一日
ロイヤル化粧品會社明治座觀劇 一三日
戸崎芳雄商店クアラ化粧品錦帶橋三原
亭招待 一三日
青木商店主催ヘヤロー名古屋歌舞伎
座觀劇 一四日

クラブ化粧品品の西日本各地に於ける本
舗並に代理店主催の販賣店懇談會は七月
中左の如く開催された。
▽中京クラブ化粧品代理店懇談會九日
名古屋ホテル▽高松市同十七日玉藻ホ
テル▽高知市同十八日高知商工會議所
▽大分縣クラブ共榮會同二十二日別府
商工會議所▽同關門地方同二十三日下
關鐵道俱樂部▽廣島市並に吳市同二十
四日

柳下化粧品社の社名改稱

柳下化粧品株式會社は、業務の刷新
擴充を圖り積極的發展に備へるため、資
本の充實及び重役陣の強化を斷行したが
これを機としてその社名を丸共株式會社
と改稱した。重役如左。
取締役社長安藤金平▽専務取締役今村
元一▽常務取締役寺田滋二郎、同中村
梅之介、同關口新平▽取締役安藤滿藏、
同木村武之助、同時田春男、同楠本政
太郎▽監査役安藤福太郎

臺灣香料株式會社の設立

臺灣に於けるシトロネラ油生産業者に
よつて創立された臺灣香料株式會社は同
島斯業者を網羅して積極的に栽培研究を
行ふこととなつた。
新竹州苗栗郡苗栗街▽取締役社長林益
隆▽専務取締役林銘漢

花王の生活刷新講習會

花王青年學校の目的は法令による男女
青年の心身鍛錬、徳性涵養に資すると
ともに職業及び實際生活に必要なる知
識技能を授ける點にあり、課日に修身
及公民科、普通學科、教練科、女子にあ
つては家庭科、體操科あり、花王學校
獨特のものとして本科には職業科とし
て油脂工業に關する教育が附加されて
ゐる。就學年限、男子本科四年、研究科
二年、女子本科三年、研究科一年、現
在生徒數は男子三十三名、女子百二十
九名。職員は秋元學校長以下教頭一名
専任教員二名、兼任教員十九名、教員
補助十名あり、丸山農博、川上理博
以下大體同社幹部社員これに當り、學
校令による資格者を以つてこれを補つ
てゐる。

安藤井筒堂産業報國會結成

オリヂナル本舗安藤井筒堂産業報國會
は二日同社階上に結成式を舉行、新場橋
署長以下多數の來賓を迎へ規約綱領の朗
讀、安藤會長の挨拶、役員の發表等あり
満ちなく式を終へた。役員の名如左。
會長社長安藤福太郎、副會長専務安藤
金平、幹事常務木村武之助、同時田春
男、同木村益市郎、同雪文堂、同鈴木
清

日本油脂の臺灣油脂設立

日本油脂株式會社では、臺北の東光株
式會社と共同出資の下に石鹼會社を設立
すべく計畫中のところ、この程兩者間に

長瀬家事科學研究所主催、厚生省並に
東京日日新聞社後援の富士山夏季大學
生活刷新講習會は、一日から四日間、河
口湖畔の船津村に開催された。長瀬の夏
季大學は既に五回を重ねてゐるが、事變
この方、家事科學に對する一般の認識は
頗に昂まれる如く、殊に國策線に沿うた
生活刷新の必要は、官民靡を併せてその
普及徹底を圖つてゐる時だけに、研究所
では夏季大學のスケールを擴大して厚生
省の贈入りと東日後援の下に會員は全國
からこれを募り、講師陣は前例を見ない
充實ぶりを以つて各女學校、女子青年學
校、小學校の家事科擔任の教師に呼びか
けたもので、申込みの會員は北は秋田縣
から南は鹿児島縣に及び、定員を遙かに
突破して二百十三名の多數に上つた。

丸見屋工場産業報國會結成

丸見屋向島工場産業報國會は十五日、
同工場に結成式を舉行、職員二百五
十餘名出席、多數來賓を迎へて開會、恰
も先代三輪善兵衛氏の百日忌に當るとこ
ろから一入意義深きものがあつた。席上
發表された役員は如左。
▽會長三輪善兵衛▽副會長小平勳▽幹
事長居城新三郎▽幹事須能賢男、大久
保林、須藤九三、内山三次郎、小澤平
八▽委員三十名

名古屋美香園の勝訴

名古屋美香園本舗に於いては、その主
力製品たるタマゴシヤンプー類似の商
品が類出するに鑑み、最初は穏和の手段

をもつてこれが排除に努めつゝありたる
も、當に不正品の跡を絶たざるのみなら
ず、剩へ「タマゴシヤンプー」の文字は
美香園の獨占すべきものに非ずとの惡質
宣傳をさへ試み、更に挑動的態度を改む
るの風なき爲、業界の秩序維持上からも
許す可きに非ずとの決意の下に十二年六
月、敢然起つて法の裁きに訴へ相争ふこ
と三年。大審院第一民事部に於いて吉田
裁判長、中原、箕田、鎌田各判事係りの
下に審理中のところ、三十一日、結審遂
ひに左の如き判定が下された。即ち
玉子商標權侵害禁止請求事件に付名
古屋控訴院が昭和十三年八月二十八日
言渡したる判決に對し上告人より全部
破毀を求むる申立を爲し被告上告人は上
告棄却をなしたり

私立花王青年學校開校

花王石鹼工場では青年學校令によ
る適齡の男女青年從業員百六十名を擁し
て一日同工場に開校式を舉行、長瀬社長
をはじめ長瀬商會、大日本油脂兩社の幹
部社員列席の下に、まづ藤島氏より學校
創立に至るまでの經過と學務報告あり、
學校設立者として會長に推戴された長瀬
社長より、學校創立の意義を強調せる告
辭あり、初代校長に就任せる秋元常務よ
り一場の訓辭を試み、生徒總代川北宗一

桃谷順天館産業報國會結成

大阪桃谷順天館産業報國會は十八日市
岡工場に舉行、大阪府警察部長市岡警察
署長等の來賓を迎へて食滿監査役司會の
もとに嚴肅に執行、了つて勤職店員の表
彰式を行つた。

マスター産業報國會結成

マスター化粧品本舗尚美堂の本社並に
工場産業報國會は二十四日京橋濱町工場
講堂に於いて開催、六本木京橋兩署々長
始め多數の來賓を迎へ社員代表及び工場
從業員百餘名列席、規約綱領の朗讀、役
員の發表、來賓祝辭、阪本會長の訓辭等
あり、閉會後鐵砲洲神社に詣つて宣誓を
行つた。決定の役員如左。
▽會長代表取締役阪本一男▽副會長監
査役根來はま▽幹事八尾正男 同竹内
孝 同中原英一 同菊地美義 同佐藤
進一 同大久保康雄 會計主任坂本利
夫

クラブ太平洋會臨時總會

大東京クラブ太平洋會臨時總會は二日丸
の内會館に於いて開催、出席者は全會員
十六名。本舖側よりは中山副店主以下出
席。庄壽夫氏司會の下に同氏の挨拶に始

友誼會懇親會草津清遊 一五日
帝國除蟲菊會社京都キヤク會發會式招
待京都川新 一五日
安藤井筒堂長崎縣下販賣店招待東京遊
覽歌舞伎座座劇 一五・二〇日
仙臺太鼓會上ノ山温泉清遊 一六日
霜田七郎商店マスター化粧品網島温泉
清遊 一六日
中山太陽堂京濱代理店懇親會芝紅葉館
近源商店京阪神販賣店招待大阪歌舞伎
座座劇 一七日
森下商店仁丹商東京劇場座劇 一七日
伊藤繁次商店ケンア會天の橋立清遊
一七日
津田商店北陸山陰代理店招待城の時温
泉清遊 二〇・二二日
鈴木福次郎商店ナルビーチェーン大阪
歌舞伎座座劇 二二日
ダイナ一本館歌舞伎座座劇 二二日
二六商店アモレ化粧品大阪歌舞伎座座
劇 二二日
並木商店ライオン石鹼東京見學有樂座
座劇 二三日
木村安次郎商店ライオン石鹼東京見學
國際劇場座劇 二二・二六日
柳生會加盟店慰安伊東温泉清遊 二四日
尹世殖商店クラブ化粧品京阪見學 二
五日
小山商會ライオン石鹼東京見學國際劇
場座劇 二六日

五月

大阪丹頂ベレットライン大阪歌舞伎座座
劇 二日
高橋盛大堂レボスキン大阪歌舞伎座座
劇 二日
鈴木藤商店あかのはれ化粧品四條矢尾
政招待 二日
森本商店ヒカリ商劇子御園座座劇 三日

四月

金子香水會社メカポマード御園座座
劇 三日
野村兄弟堂クラブ化粧品東京見學東京
劇場座劇 五日
田嶺七郎商店ユキワシヤンプー網島温
泉清遊 六日
柳屋本店代理店招待箱根清遊 七日
横濱アイアール會平安樓招待 八日
月の友誼會團圓型バックト發賣記念大阪
歌舞伎座座劇 八日
三業商會寶塚劇場座劇 八日
金井五郎兵衛本店スキー商劇子北海道
業者招待大島伊豆温泉清遊 八・二五日
朝日堂テック管双中座座劇 二一日
田中善株式會社ニード洗粉國際劇場座
劇 二一日
福岡クラブ販賣會社別府温泉清遊 一
二・二二日
柳佐吉商店流線型石鹼鹽原温泉清遊
一三・二二日
長瀬商會エキセリン大阪歌舞伎座座劇
一五日
金鶴香水會社東京劇場座劇 一五日
横濱カツヒローポイント會橫濱記念會
館招待 一六日
保利政商店仁徳石鹼大阪歌舞伎座座劇
一七日
古牧與平商店ハゴロモ石鹼高尾山清遊
二〇日
資生堂チェーンストア全國代表出雲大
社參拜 二二・二三日
伊藤良助商店マスター商劇子桑名沙千招
待 二二日
並木仲之助商店ライオン石鹼千葉木内
樓招待 二二日
隅野叙平商店中澤商會共催東京劇場座
劇 二二日

まり、委員長桑原啓造氏より、本舗並に前名譽顧問田中吉兵衛氏に依頼しありたる役員の入選は、全部重任の指名ありたる結果を左の如く發表、又現會員は總計十六名となれる旨の報告あり、次に中山副店主より本舗としての挨拶あり、終つて協議懇談に移るや、臨席の廣田理事より價格問題に關する今後の見通しに就いて説明が試みられた。重任役員如左。
▽委員長桑原啓造▽副委員長長田七郎同岸田林藏▽常任委員井田幸八郎▽同大山勇次郎▽同山田能夫▽同松浦嘉七▽同千本木彌八▽名譽顧問田中吉兵衛顧問廣田嘉一

小川香料店の三萬圓獻金

大阪市東區道修町、株式會社小川香料店では、陸海軍並びに軍人援護會に對して金一萬圓宛合計三萬圓を獻金二日その手續を了した。

安藤井筒堂の容器回収

オリヂナル本舖安藤井筒堂では容器難の折から空瓶の回収に着手すべく準備中であつたが、漸く立案成りクリーム瓶に限り、蓋付大瓶三錢、同小瓶二錢の價格を以つて需要者より買上げられることとなつた。この爲資源愛護の主旨を強調せるポスターを調製し、各販賣店に配布し回収の實績を期待、區域は東京市内に限られてゐる。

ライオン石鹼二十周年祝典

ライオン石鹼株式會社では十日各方面

の來賓並びに全社員列席の上、平井同本社に於いてその創立二十周年記念式を舉げた。小山精一氏の司會にて國旗掲揚場に第一部を舉行、小林副社長の國旗掲揚に次ぎ全員の宮城遙拜、皇軍將士に對する感謝謝辭を行ひたる後、講堂に移りて左記順序による第二部を舉行した。

神戶ルビー會の結成式

ナルビー化粧品品の兵庫縣配給元稻垣商店主唱による市内有力販賣店参加のもとに十六日有馬温泉に開催、鈴木福次郎、稻垣泰三兩氏より今後の協力を希ふところがあつた。

日本石鹼會社産業報國會結成

大阪日本石鹼株式會社産業報國會は二十日大手前國民會館に開催、大阪府知事同警察部長、今福、守口、玉造各警察署長等の來賓を迎へて全従業員千二百名出席のもとに開催、世戸、吉田兩取締役の挨拶、各來賓の挨拶等があつた。

資生堂化學研究所設立

資生堂では向島工場内に併置されてゐた研究部を獨立分離して、本所横綱町七

席のもとに開催、世戸、吉田兩取締役の挨拶、各來賓の挨拶等があつた。

滿洲ライオン總發會設立

ライオン齒磨本舗では同社製品の滿洲方面に於ける進展の著しきものある實情に鑑み奉天に駐在所を設け専らその面に當らしめつゝあつたが、日滿支一體經濟建設下に於ける飛躍的需要激増は遂に従来の機構を以てしてはこれに應じ得ざるの機運に達し、新たに資本金四十八萬圓(半額拂込)の滿洲ライオン齒磨株式會社を設立し奉天に置いて、一路國策に順應してその伸展に邁進することとなつた。同社の首腦部如左。

小賣商許可制綱領

一、新たに物品販賣を営まんとするものは許可を要す。消費組合、購買組合、購買會等も許可を受くるものとす。許可を受くることが要する業態は原則として小賣商とする必要ある場合には商工大臣の指定により卸賣商にもこれを適用す。許可は通信販賣、百貨店にも之を適用する。行商、露店移動商業はこれを除外する。但し必要ある場合は道府縣令を以て許可を受けしむることとするを得る。△法の法令により既に許可を施行し居るものにして更に本法により許可を要するを不適當とするものについては商工大臣の指定により之を除外することを得。二、現に物品販賣業を営み居る者は届出に依り許可を受けたものと見做す。三、許可制施行の區域は市及商工大臣の指定する町村とする。四、許可は商工大臣に於いて地方長官に委任してこれを行使しむ。五、左の場合には新規營業の許可と同一に取扱ふこと。一、營業の譲渡。二、夫婦間の承継。三、之を除く。四、企業組織の変更。五、從來の取扱商品と關聯なき商品の販賣。六、店舗の擴張は許可を要す。七、次の者については地方長官において許可の取消、營業の停止等を爲すことを得。法令に違反したる者。營業不振の爲營業の繼續を不適當と認めたる者。公益を害するが如き行為ありたる者。

資生堂化學研究所設立

資生堂では向島工場内に併置されてゐた研究部を獨立分離して、本所横綱町七

文金化學研究所文金シャンプー熱海清遊 二二日
三宅堂本橋香油治座座觀劇 二二日
久保政吉商店千代田山岸商店ライオン石鹼會社共催秋田代理店東京見學寶塚劇場觀劇 二二、二五日
鱒與商店主催玉造温泉東京見學有樂座觀劇 二四、二五日
壽原商店特別温泉清遊 二五、二六、二六、二七日
岐阜クラブ特定品會社山中温泉清遊 二五日
三友商會八重樫東京劇場觀劇 二五日
橋金治商店テクノ替夏寶塚劇場觀劇 二八日

六月

久保政吉商店新潟代理店招待東京遊覽國技館觀劇 二日
中山太陽堂名古屋販賣店招待御園座觀劇 三日
中松合名會社ビオラクリム登別温泉清遊 三日
村瀬谷三郎商店オリゲナル化粧品字奈月温泉清遊 八、二〇日
石金商店本橋香油同劇場觀劇 九日
酒井藤人商店クラブ化粧品招待東京見學國際劇場觀劇鬼怒川温泉清遊 一〇、二二日
蛭子商店ベザリン化粧品山中温泉清遊 一〇、一四日
クラブ函館販賣會社湯の川招待二日
小林商店名古屋支店御園座觀劇 一八日
石田佐一商店ラモナー化粧品善光寺參拜 二二日
柳佐吉商店エビス商標子明治座觀劇 二二日
橋本秀雄商店パロベック化粧品東京劇場觀劇 二二日
橋金治商店アモレ化粧品石山三明招待

七月

月の友化粧品明治座觀劇 二三日
北村蕭主堂東京時代會榎原神宮參拜奈良清遊 二四、二六日
兩館巴會大沼公園招待 二五日
美香園アマゴシヤンプー伊東温泉清遊 二六日
千代田山岸商店名古屋御園座觀劇 三日
名古屋丹頂ベルトライン御園座觀劇 四日
村瀬谷三郎商店伊豆椿御園座觀劇 四日
日本油脂會社東北ニッサン會花巻温泉招待 八日
北海道卸商聯合會定山溪清遊 九日
日本油脂北海道ニッサン會登別招待 三好梅壽堂花形會大阪歌舞伎座觀劇 一四、一六日
十全堂ゴロ一整髮料大沼公園招待 一八日
三葉商會丹頂商標子寶塚觀劇 二二日
山形クラブ特定品會社温泉湯の濱温泉招待 二三日
加藤石鹼製造所キネマ黒砂糖石鹼歌舞伎座觀劇 二五日
田中花王堂東京丹頂ベルトライン東京劇場觀劇 二七日

八月

安藤井筒堂北海道販賣店定山溪温泉清遊 三四日
十全堂ウテナ化粧品層雲峽清遊 七八日
天津太信號華商卸店東京大阪見學 一五、二六日
中東商店オカッパ化粧品名古屋御園座觀劇 一六日
鏡屋商店ベリタス香水チック知多清遊 一七、一八日

九月

三好梅壽堂花形會大阪歌舞伎座觀劇 一九日
長瀬商會東京ビーズ代理店定山溪登別温泉清遊 二〇、二五日
山口剛生商店ユニーク化粧品有樂座觀劇 二二日
東京協友會歌舞伎座觀劇 二二、二七日

十月

丸見屋商店ミツツ石鹼中元特賣東京劇場觀劇 二日
レッドフェザー化學研究所チエーン設立名古屋千代田館招待 一二日
會陽化學研究所ナリス會發會瀬田川畔廣梅樓招待 二二日
カガシ化粧品本舖神戸チエーン寶塚觀劇 一六日
石田佐一商店ラモナー化粧品明治座觀劇 一六日
橋本秀雄商店パロベック化粧品新橋演舞場觀劇 二二日
丹頂東部配給所東京劇場觀劇 二二日
丸見屋商店セオラ齒磨朝鮮ホテル懇談會 二八日
夏川京城支店アルミ化粧品金剛山招待 三〇日
花王石鹼大連支店花王シャンプー金剛山招待 三〇日

十一月

東京カッペーボーネット會第三回總會東京劇場觀劇 一〇日
寺内喜榮堂共榮會鹽原温泉清遊 一三日
福田號商店伊香保清遊 一八日
東京商會大廣告主熱海招待 一九日
ラモナー白粉中川綱打會 一九日
丸見屋商店セオラ齒磨甲信越代理店本上温泉清遊 二二、二三、二四日

十二月

番地に資生堂化學研究所を設立した。統制下の原材料難に對する國產代用資材の驅使研究に資せんが爲の擴充で、獨立の研究所によつて化粧品各品各般の研究に進むものと見られる。二十三日地元並に業界關係の來賓を招いて開所式を舉行した。研究所は化粧品第一、第二部、洗劑部、原材料第一、第二部、藥品部、香料部(臺北市)の七部から構成され以上の外光學室、秤量室、分拆室等十數の部屋を擁する。研究所長は前研究部長伊與田光男氏の就任を見た。

オリヂナル新藥商の設立

オリヂナル化粧品及び安藤石鹼の關西に於ける代理店藤源之助商店では本舗と協力のもとに新藥商株式會社を設立安藤滿藏氏を専務取締役として配給圓滑を期し今後の飛躍に備へた。新會社の事務所如左。
大阪市南区周防町二一

ライオン石鹼の防空訓練

第三次東都防空訓練の實施に際しライオン石鹼工場では團長竹井俊郎氏顧問小林寅次郎氏以下百餘名の團員出動して特設防護團の訓練振りを發揮、當日池田警視總監は特にその防空訓練の實況を視察した。總監は演習の終了後工場内を隈なく一巡、防護施設を檢閲してから同社特設防護團員に對して講話を行ふこともに、銃後産業人の責務に就いての懇篤なる訓話があつた。

清遊 観劇

十四年清遊 観劇の傾向

清遊観劇は支那事變以來漸減の傾向を辿つて来たが、十四年度に於ける兩者の開催数を過去四ヶ年と比較すれば、次のやうな数字になつた。

観劇	十一年	十二年	十三年	十四年
清遊	一五	一三	一八	一八
観劇	二五	二六	二二	二二

昭和十年は事變勃發の前年であるが、十一年、十二年と稍々少くなつて、昨十三年には観劇の如きは半減するの著さを示したのに對し、十四年度はそれから僅かな減少で踏み止つた。一方清遊の方は十三年の一三二回に對して八五回と近來にない僅

少である。年鑑に於ける調査は全国各地の商報に發表されたものに就いてのみ調査したものであるから實際はこれから洩れてゐるものもある筈であるが、しかし大體の数字に於いては大きな差はないものと見てよからう。

事變以來観劇清遊の行事が減少して行く原因に就いては、今更々するの要もないことである。しかし、十四年度に於いては前年に考へられなかつた原因も介在してゐることは指摘出来るやう。業界の清遊観劇はその大多數が特賣と結びついてゐることを考へれば、既に十三年度に於いて業界の特賣はかなりの制限を受けてゐた。しかし原材料の統制もさしたることなく、一般物資の不足も窮迫した状態には差迫つてゐなかつたが、十四年度に入つては原料は勿論、包装材料瓶等も明かに不足を告げ電力石炭等の不足まで直接に響いて來る状態になつたことは、製造界が直面した非常な異變であつた。これに加へて、東京に於いては警視廳當局の干渉があつたことも見逃せない。

その第一は保安課安寧係による景品付賣出し即ち特賣に關する取締の強化であつた。一般愛用者に対する射倂行為取締は勿

論、業者間の取引に於ける特賣に於いても景品率、景品の種類等に就いて、従来よりは峻厳な手心を加へられ、清遊観劇の如きは、時局柄出来得べくば廢止して貰ふに越したことはない、といふやうな希望の條件も披露されるに及んで、業界の一部ではこれを禁止されたかの如く感じ取つた人も多かつた。

そんな風な他動的な特賣への壓迫が加へられる一方、原材料の逼迫は漸次度を加へ、所謂、特賣どころの騒ぎではない、といふ状態に近よつて來た。かうした事情は製造界、販賣界の状態であるが、これは直ちに清遊観劇の開催に影響して來てゐることは疑ひのない處である。

事變勃發とともに、車中サーブスを伴ふ派手な清遊は遠慮すべきである、華美な観劇に耽る時期ではない、といった風な精神動員の精神からこれを遠慮しようといふ風潮もあつたが、それは團體の總會とか、懇談會に附隨する清遊観劇が廢止された程度で、(尤も舉行されたものもある)特賣に結びついた清遊観劇は仲々に廢止さるべくもなかつた。原材料難を叫ばれてゐる時代にあつても、矢張り競争のある處には競争があり、市場の脆弱性を補はんが爲の特賣

等は廢止され難い點がある爲と解されやう。又、十三年度以來、清遊の名儀を嫌つて——といふよりも遠慮した結果、何々神社参拜、戦捷祈願の類が一さう殖えたことも著しい現れてゐる。事そのものは決して非難するべきことではないが、中には單に表面上の藉口に過ぎないものもあつて微苦笑に値するものもなかつたとは云へない。しかし又中には伊勢の大廟榊原神宮等への眞に意義ある参拜もあつたし、從來の温泉めぐりのな遊樂気分を露骨に出したものは皆無と云つてよからう。

これにつれて車中サーブス等も一般に質素になつた。車中の酒の饗應等は殆んど禁止されたかの觀があり、又、鐵道省當局がこれらの團體客に對する特別仕立の便宜を廢止した理由の爲に、清遊地への任意集合の形式も多くなつたことが擧げられる。清遊の著減に對して観劇數の減らないのは、より安直である點もあり、演劇そのものも前年度の不振に比して、世間一般の好景氣を反映して活況にあつたことも業界の觀劇に關聯してゐるものと見られやう。

總括して見れば、社會の情勢を反映する業界勢は、一年

と窮乏になりつゝあるのであるから、次年度の業界が如何なる歩みを辿るか、遽かに豫斷を許さないものがあるとは云へ、製造界の傾向から察すれば、恐らく更らに逼迫を告げるものと察せられる。従つて業界に於ける特賣等は協定價格の制定等と相俟つて著しい壓迫を受けるであらうことは斷言出来るやう。

観劇・劇場別

劇場名	回數
東京劇場	一八
國際劇場	一二
明治劇場	一一
歌舞伎座	九
新橋演舞場	六
有樂座	四
國技館	三
東京寶塚劇場	二
大阪歌舞伎座	一八
中座	八
寶塚劇場	八
北野劇場	三
名古屋御園座	一〇
名古屋歌舞伎座	三
神戸松竹劇場	二
その他	三
計	一一〇

清遊観劇一覽

店名	清遊	観劇
北海道		
十全堂株式会社	二	二
壽原商會社	二	二
クラブ商會社	二	二
中松合名會社	二	二
北海道商會聯合會	二	二
札幌商會聯合會	二	二
函館商會	二	二
東 北		
山形クラブ特定	二	二
鶴岡商會	二	二
村瀨鐵雄商店	二	二
後藤久次郎商店	二	二
仙臺太鼓會	二	二
仙臺小間物組合	二	二
關 東		
霜田七郎商店	二	二
加藤石炭製造所	二	二
露木商店	二	二
田筑七郎商店	二	二
並木伸之助商店	二	二
古牧興平商店	二	二
小山商會	二	二
野村兄弟會	二	二
東 京		
丸見屋商店	二	二
小林商店	二	二
日本油脂會社	二	二
石田佐一商店	二	二
長瀬商會	二	二
久保政吉商店	二	二
安藤井筒堂	二	二
柳屋本店	二	二
田端豐香園	二	二
鈴木福次郎商店	二	二
橋本秀雄商店	二	二
近 源 商店	二	二
東京チツソ會	二	二
丹頂ベル東京配給	二	二
山口剛生商店	二	二
ローヤル化粧品	二	二
柳 佐吉商店	二	二
グイナール本舖	二	二
銀座堂本舖	二	二
三 宅 堂	二	二
中山太陽堂	二	二
高橋東洋堂	二	二
井筒屋香油店	二	二
千代田山岸商店	二	二
福田號商店	二	二
岩谷商會	二	二
櫻井傳和商店	二	二
三 圭 社	二	二
小 山 商 會	二	二
芳 誠 會	二	二
明 和 會	二	二
三友商會	二	二
大内太洋堂	二	二
友 誼 會	二	二
寺内喜榮堂	二	二
武 孝 商 店	二	二
塚田合名會社	二	二
イオス研究所	二	二
中村興市商店	二	二
吉村安太郎商店	二	二
木下七左衛門商店	二	二
村上晃陽商會	二	二
小島屋商店	二	二
金島香東京販賣	二	二
大山勇次郎商店	二	二
藤井庄右衛門商店	二	二
岡野銀平商店	二	二
中 澤 商 會	二	二
田 中 花 王 堂	二	二
東京協友會	二	二
明 和 會	二	二
あかのぼれ本舖	二	二
葛原工業所	二	二
東京商報社	二	二
名古屋	二	二
月の友化粧品	二	二
美 香 園	二	二
森 本 本 店	二	二
村瀨谷三郎商店	二	二
三ツ葉商會	二	二
酒井義人商店	二	二
名古屋クラブ特定	二	二
岐阜クラブ特定	二	二
文金化學研究所	二	二
伊藤良助商店	二	二
桑山喜重郎商店	二	二
鏡屋商店	二	二
中 東 商 店	二	二
名古屋丹頂ベル	二	二
木村安次郎商店	二	二
久末商店	二	二
青木商店	二	二
ミヨト石炭製造所	二	二
石 金 商 店	二	二
橋金治商店	二	二
青木商店	二	二
伊藤繁次郎商店	二	二
會陽化學研究所	二	二
津 田 商 店	二	二
大 阪 商 會	二	二
日本石炭會社	二	二
三 葉 商 會	二	二
蛭子商店	二	二
三好梅壽堂	二	二
金鶴香水會社	二	二
田中善美式會社	二	二
永田美芳園	二	二
高木美容研究所	二	二
奉仕堂本店	二	二
宇野新商店	二	二
保 利 商 會	二	二
中 六 商 會	二	二
森 下 商 店	二	二
野村商會	二	二
カガシ本舖	二	二
仁壽堂分店	二	二
朝 日 會 堂	二	二
共 進 會	二	二
清水忠商會	二	二
大阪丹頂ベル	二	二
駒 田 商 店	二	二
森 田 商 店	二	二
津 田 商 店	二	二
杉田宗助商店	二	二
高橋盛大商店	二	二
西 岡 商 店	二	二
丸 八 商 店	二	二
金井五郎兵衛本店	二	二
鈴木藏商店	二	二
赤松柳藏商店	二	二
津川安正堂	二	二
北村薫主堂	二	二
帝 國 除 蟲 菊 會 社	二	二
神戶クラブ特定	二	二
戸崎芳雄商店	二	二
林 政 商 店	二	二
池 森 商 店	二	二
九 州 商 會	二	二
大 丸 商 店	二	二
井上興吉商店	二	二
福岡クラブ販賣	二	二
土 谷 商 店	二	二
夏川京支店	二	二
伊 信 支 店	二	二
太 信 支 店	二	二
越 智 支 店	二	二
計	一一三	一一三

清遊地方別

地方	清遊	観劇
北海道	四	四
東北	一	一
関東	一	一
中部	一	一
近畿	一	一
中国	一	一
九州	一	一
計	九〇	九〇

註 清遊一覽と其の合併に於いて一致せざるは一主権店にして二ヶ所以上の地に在るものがある爲である

廣告 宣傳

業界宣傳と 禁制

昭和十四年度に於ける業界宣傳が新聞、雜誌廣告を始め様々な掣肘を受けたことは、既に事實であつたが、更に一步立ち上つた多様な企業による宣傳にも、一様に制限乃至禁止が加へられたことも見逃せない。

愛用者招待會
先づ愛用者招待會であるが、これは今迄もその企業の陳腐さにより、本舖自身も飽きが來てゐる程のものであつたが、招待會の基本となる空函利用といふことがある以上、商品の消化促進には、空函の效力を持つて居り、これに代はる妙案は、各本舖の企画部が一應頭を捻つて來たにも拘らず仲々に發見されるもの

ではなかつた。従つて陳腐舊套とは云へ、依然として招待會は定期的に開催され、たゞそのプログラムの新規模豪華さを競ふ位が落ちてあつた。

しかしながら昭和十四年度に於いては、この招待會も外部的な力によつて休止するの已むなきに至つた。その直接の原因とも見られるものは警視廳保安課安察係による取締の強化であつた。當局は直接これが禁止を命じたのではなかつたが、射撃行爲取締に關する景品賣出の規定範圍に於いて、當業者を招待する招待會に眼を光らせ、また一つには消費節約、購買心誘發を防止する意味から、歌舞演劇を對象とする招待會を利用しての愛用者招待會は、なるべくこれを避けるべく、希望の條件を業者に示したことであつた。

これは一月下旬のことであつたが、その後當局は空函利用の招待會はなるべくこれを許可しない、といふ方針に出たので、二月以降永年業界の行事の如くに見られてゐた有力本舖の愛用者招待會は絶つて至つた。一方原材料難、化粧品課税等の重壓として化粧品をして贅品とせず當局の眼を敬遠する心理も手傳つて、むしろ本舖は自發的にこれを中止するに至つた。

たものと見られる。

空函利用の方法はこれに封じられたが、何らかの大衆的宣傳方法をと志す本舖は、従つて空函を利用しない無料招待會を開催する傾向に向つた。ヘチマコロン、「臺灣紹介の夕」ウテナの「日本女性の會」レイトの「銃後女性慰安會」クラブの「出征軍人遺家族慰安會」、「市民厚生」の夕、ライオンの「健康報國の夕」等がそれであり、業界の招待會は茲に俄然色彩を變へて時局色を盛るに至つたが、その實質的效果に於いては以前の招待會には及ばないものがあつたと見てよからう。尤もクラブ、ライオンの「××の夕」等はこれとは別個の意味のもとに企画されたものであるから、その効果も亦自づから別個のものであつたと云へる。

これらの招待會が、官廳團體等の主催に名を藉り、悉く本舖の後援によつたことも注目し値しやう。この事實は、非常時下に於ける化粧品の大衆宣傳が如何に内輪に、遠慮勝ちに、假面を必要としたかを物語るものであらう。従つて齒磨、石鹸の宣傳のみはこの例外に立つて、堂々と健康運動を試みた。殊にライオンは實に招待會ではないが様々な後援、協賛の催しを開き

宣傳日記

自昭和十三年十一月一日
至同十四年十月三十一日

- 十一月(十三年)
- ライオン商標本舖健康座談會市內小學校に開催 一日三〇日
 - ナルビー化粧品京城各デパート マネキン宣傳 一日一四日
 - 中央化粧品社主催名古屋化粧品藥店ウキンド大會(十三本舖参加) 一日一五日
 - 長瀬家事科學研究所エキセリン講習會東京大阪始め全國重要都市に開催 一日二六日
 - クラブ化粧品愛用者招待會福岡各映画館 一日三〇日
 - ロイヤル化粧品愛用者優待シヤンパン進呈 一日二二日
 - ライオン商標協賛講演と映畫の會市内小學校に開催 一日三一日
 - ミツロウ會開催歌舞伎座 二日
 - カガシ化粧品愛用者招待會藝會名古屋市公會堂に開催 二日
 - ライオン商標本舖主催國民體力講演映畫會國民會館に開催 三日
 - クラブ化粧品愛用者優待新潟湯松竹館招待 三日
 - クラブ化粧品愛用者優待「灰燼」プレミアショウ招待中の島公會堂 四日
 - クラブ化粧品愛用者招待會福島宮城縣下十四ヶ所に開催 六日

- 一六六
- ウテナ化粧品愛用者招待會關東東北甲信越各都市に開催 八日一六日
 - ライオン商標本舖協賛少年航空展京城中井百貨店に開催 一〇日二〇日
 - ライオン商標後援全關東中等學校總大會早實講堂に開催 二二日
 - タマゴシヤンパン愛用者招待會名古屋朝日會館に開催 二七日
 - クラブ化粧品愛用者招待會映畫と實演の會北海道八都市に開催 二〇日二二日
 - カガシ化粧品愛用者招待會名古屋公會堂 二三日
 - クラブ化粧品愛用者招待會鳥取大垣岐阜高知姫路に開催 二三日三一日
 - カリカチ石鹼小樽市愛用者映畫館招待 二九日
- 十二月(十三年)
- ライオン商標年末宣傳賣出し關西中國各デパートに開催 一日三一日
 - パビリオン化粧品マネキン宣傳關西主要都市デパートに開催 一日三一日
 - ライオン商標愛用者優待石井小浪舞踊大會山口市とその附近に開催 三日
 - ライオン商標愛用者招待會國際劇場シバサカス 五日
 - クラブ化粧品愛用者招待會「日本」封切映畫會日比谷公會堂に開催 五日
 - 丸見屋ミツロウ會開催歌舞伎座 五日
 - ライオン商標愛用者招待石井小

花王は清淨運動に厚生省と取組んだ。

マネキン宣傳

化粧品のマネキン宣傳も思はぬ制限に見舞はれた。これも消費節約、購買心誘發の防止に意をそ、いだ當局の取締によるものであつたが、全國一様にこれを禁止されるといふ風ではなかつた。東京の各デパートに於いても、一時遠慮勝ちな時期はあつたが、取締が徹底を缺き、方針を確立されてゐない結果から、下半期に入つては殆んど従前と變らない状態に返つたが、マネキンが賣場に立つてはいけ

ない、あまり派手な様子をしてはいけぬ、といふやうな微温的な掣肘は逃れなかつたところもあるやうである。これに反して一般販賣店に於けるマネキン宣傳は割合容易に行はれた。

又、朝鮮、滿洲へのマネキンの進出は、例年に見ない盛大であつたと云へやう。これは大陸建設の緒に就いた本邦化粧品の前途を暗示するものであり、マネキン宣傳ではないが、ヘチマコロン、北支重要都市に於ける愛用者招待會などは、嚆矢を承る大宣傳であつたと云へやう。各本舖が抱へる專屬のマネキンも亦非常な活躍をなした。ウテナの婦人宣傳班、マスターの

ビュティガイド、パビリオンの專屬マネキン等は従來からのものであるが、花王の婦人宣傳員は家庭を訪問してエキセリンの宣傳に乗出し、ライオンは又、婦人の販賣店訪問係を新設して本舖販賣店間の聯絡を緊密にする等、婦人の利用分野を擴大して來たことも特記される。

海の宣傳

夏期に於ける海水浴場、避暑地等の宣傳施設も亦、化粧品業界が研を競ふもの、一つであつた。しかし今年、關東地方の海の宣傳は、湘南始め房州方面に於いても、一切の派手な宣傳施設を封じられた。管轄の警察によつては獨立した建物は許可をしないとか、色彩も赤を使つてはいけぬといふ風に、國民精神總動員の精神を遷奉されて、著しく活況を殺した。しかし、關東關西ともに既得權益とも云ふべき、例年設備されたサマーハウス、休憩所の如きものは許可され、纒かに海の宣傳の名残を止めた。

關東關西を通じて前年度は夏期天候不順で、何れも避暑地の

人氣は沈滞してゐたが、本年は天候に恵まれてゐた上に、一般好況の餘波を反映して何れの避暑地海水浴場ともに活氣を呈した爲、これを逸すまいとする本舖では「避暑地の夕」等に於いて無料公開の映畫會を開催したが、これも前例のない特異なものであつた。

電飾燈の消燈

本年夏期以後に於ける電力不足と、それから来る東京通信局管内の節電は、警視廳の指示によつてネオンサイン、電飾燈等を自肅消燈せしめるに至つた。一般の電飾燈は一軒一燈主義で帝都の夜空を彩る化粧品の廣告燈は何れも自肅して、九月八日以降、全く消燈されるに至つた。電力不足はいろいろな方面に異變を齎したが、業界廣告界に於けるネオンの消燈などは恐らく本年初めて見られた現象と云つてもよからう。

- ▽ヘチマコロン 淺草橋々畔
- ▽レイト 本舖屋上、日本橋角
- ▽飯田橋角、日劇
- ▽ライオン 鹿橋工場屋上尾張町、大久保
- ▽ミツロウ 本舖側面
- ▽パビリオン 神樂坂に在つたもの

浪舞踊大會朝鮮各地に開催 六日一八日

- エキセリン宣傳婦人宣傳班家庭訪問開始 一〇日一三〇日
- ヘチマコロン愛用者招待「愛染」から「大會日比谷公會堂」に開催 一八日
 - ライオン商標本舖主催東寶コドモデー 二四日
 - ライオン商標本舖寄附後樂園スゴアホール完成 二五日

一月

- 丸見屋ミツロウ會開催歌舞伎座 四日
- ライオン商標本舖新宿三越開催の航空日本飛行機模型展協賛 四日二日
- ライオン商標愛用者招待職業野球九州中國八都市に開催 一日二二日
- ライオン商標本舖主催伸びよ小國民展覽會名古屋松坂屋に開催 二二日二二日
- ライオン商標本舖主催輝く少年少女新年大會大阪中の島中央公會堂に開催 一四日
- ライオン商標愛用者招待浪曲大會日比谷公會堂 一四日
- クラブ化粧品愛用者招待會宮崎市映画館 一五日二二日
- クラブ化粧品愛用者招待映畫と實演の會福島縣下十五ヶ所に開催 一五日二〇日
- クラブ化粧品愛用者招待會東海道八都市に開催 二二日二九日
- ライオン商標本舖主催小學兒童自由畫展覽會銀座三越 二五日一三〇日
- ライオン洗濯科學研究所主催衣

服整理講演會電氣俱樂部 二日

二月

- パビリオン化粧品室東寶劇場に新設長瀬家事講習會群馬長野岐阜縣下小都市に開催 一日二〇日
- 丸見屋ミツロウ會開催歌舞伎座 二日
- 花王石鹼宣傳自動車滿鮮地方へ處女宣傳出發 四日
- クラブ化粧品愛用者招待映畫會名古屋市公會堂 四五日
- 長瀬講座前橋岐阜長野三市に開催 四日二〇日
- クラブ商標愛用者優待國技館買切二萬名招待 六日
- ウテナ化粧品愛用者優待サーカス演藝大會日比谷公會堂 八日
- 長瀬家事科學講習會山口縣下各地 八日一三日
- クラブ化粧品本舖大船女優水戸光子と宣傳契約 一二日
- ライオン商標本舖主催東寶コドモデー開催 一二日
- ライオン商標愛用者招待映畫と爆笑陣の會大阪中の島公會堂 一二日
- エキセリン宣傳家事講習と洗濯相談館小樽札幌デパートに開催 一四日二八日
- レイト化粧品本舖主催出征勇士遺家族慰安大會全國的に開催開始 二〇日
- テルミー化粧品本舖新しい化粧法研究會大阪錦雲會館に開催 二〇日
- ライオン商標愛用者二千五百名

の昨年から自費撤廃

▽花王本社屋上

▽ウチノ販賣部屋上

これにつれて、鐵道構内の電氣廣告、地下鐵構内のものにも波及されるかの如く傳へられたが、これらは大抵一年契約によるものであるから、本年更改期に撤廢されるかも知れない。

又、電氣廣告ではないが、鐵道沿線の廣告も一部風致を害するもの、及び金屬資材を使用せるもの等は取拂はれ非常時國策の影響を、にも反映させた。

廣告資材の不足

最後に、一般物資不足の結果廣告宣傳用の紙、印刷等に支障を來したことも忘れられない。例へば宣傳ちらし、案内書、ポスター等の紙は、全く入手困難とまでは行かなくても、本舖によつては相當に苦心を拂つたものもあり、又、急場の間には合はないといふやうな不便を囂つた。

又、大量に印刷する本舖では印刷所の電動力節約で短期の製作を断念しなければならぬやうな現象も起つた。

それにつれて、本年度製作のポスターは概ね紙質も低下し、色刷の度数は昔の如き原色版の豪華を競ふに至らず、三、四色程度のもので間に合はされたことも、さ、やかてはあるが宣傳

界の異變として指摘出来る。

業界の宣傳

及廣告

事變三年

支那事變の三年目を迎へて業界は殊に嚴肅な新春を迎へた。武漢三鎮は陥ち皇軍の勝利は赫々たるものありとはいへ、物資の供給の圓滑を缺くこと、平和産業たる業界品の前途には決して安んずる豫想を許さなかつたからである。果然、休會明けの議會には化粧品課税の問題が提出される等のがあつて勢ひ宣傳、廣告の方面には重大な影響を與へざるを得なかつた。加ふるに物資不足による新聞雜誌の廣告制限は思はざる方面より昭和十四年度の業界の宣傳政策に當てなき困難の命題を與へた。

然しながら宣傳乃至廣告は産業の進歩發達に對する一種の潤滑油の役目を果たすものである以上、生産活動の行はるところ、殊にその消費者との接觸面の廣い化粧品小間物業界に於いて宣傳は一日も缺くことの出来ない仕事であり、廣告は止むに止まぬ潤滑油の任務を果す爲に「踏まれつゝ根強く忍ぶ道」の如

き進展を遂げつゝあつたのである。

新聞廣告と業界品

嘗て一流の外國品を廣告の對抗目標として獨白の訴求方法を切り開いたパビリオンは今年も功成つて一種のマンネリズムをさへ思はせる程に同じ型の訴求型式をくり返して、何等の新しい味を加へなかつた。

惠まれた時局——といふ言葉が此商品にのみ當てはまるかどうか知らないけれども、外國化粧品品の輸入が絶望的になつた今日、この廣告の型式にもこの一年の儉安が許されたものであらう。

アイデアル、モンココ、ライオン、花王、ミツワ等の商品は互に新機軸をねらひつゝも遂に過去の傳統の殻を脱却し得ず左顧し、右眈しつゝ一年を送つた新商品たるエキセリン、モノゲン、セントックス等の訴求に僅かに新なるものを見出すに過ぎないが、こゝに於いても歴史にこだはりのないモノゲンの廣告作品に新鮮さのより多くを見出すことは争へない事實である。

時局の重壓中であつて、時局の流れに巧みに掉きんとする商品もあつたが、その努力の割合に効果の見るべきものありや否やは甚だ疑はしかつた。レット

の健康美訴求や、他の化粧品同様もろ／＼の銃後の身だしなみを訴求點とした廣告よりもおおよそ商品とは縁もゆかりもない文士の言葉や、短歌の有名な眞蹟を配した意味ない廣告により多くの世評と反響を呼んだことなどは、この事實を裏書きする大きな實證ではないか。

この間にあつて花王石鹼が年來、低調に主張し來つた清淨運動を厚生省と提携し眞向から聲明し、標語募集の企てを發表したことは機宜を得た方法であつた。然し十三萬の反響があつたと云はれる此の出立が標語の發表以外廣告面に表はれる限り何等の後續的發展を見せない事は甚だしく物足りない感がある。

矢が弦を離れた以上それはあくまでも正々堂々力強く標的を射るものでなければならぬ。最も厚生省の保險院などとの他力本願式な廣告方法に計劃上の脆弱性を思はせることは企劃の未熟に原因を歸すべきである。かかる時に於いてこそ此の運動に堂々の陣を張り、最大の効果を齎すべきでありながら何故か再び龍頭蛇尾に終るならば大本舖の企劃として又その商品の牢固たる地盤を築くべき千載一遇の好期に際して甚だ以て遺憾とすと思ふものである。

ライオン齒磨の本舖が「寢る前の齒磨」に一千萬人の協力運動を起したことも同じ意味に於いて多くの期待をかけられるべきであるが此の本舖が他の宣傳機關を動員し、電車内のピラ廣告や得意の學校宣傳にも力を入れて一つのデモンストレーションとして押してゆくところ獨得の味がある。

かゝる時局に於いて全然かゝりもなく商品自身の品質を説いて徳まないものに「ヘチマコロ」がある。下手に時局にこぼる廣告、甚だしきは薬の效能にも似た健康訴求の文案が當局の注意を受けたといはれる程妙な廣告の多いなかに純乎として自身の商品的使命を高調した此の商品の今年の廣告に、敬意を表することに答かでない。

：日本の廣告ではまだ化粧品品の宣傳などで、しんじつ、世人をあつといはせるやうなものを見ることがない。これだけ市場に氾濫してゐる化粧品料クリーム、おしろい、化粧水の廣告がどれを見ても同じやうなことしか書いてないから、廣告文そのものを樂しまといふ餘しきは、まだ私たちに與へられてゐない。僅かにロードボウとかパビリオンとかいふやうなものがかよいと

東寶劇場招待 二二日—二四日

レット化粧品本舖國民精神昂揚

映畫脚本募集發表 二二日

ライオン齒磨本舖主催東京ユド

モーター 二六日

アラ化粧品本舖主催名古屋小

學生の會名古屋新聞會館 二

六日

ローレル化粧品全國マキシン宣

傳開始 二七日

長瀬エキセリン講座名古屋靜岡

千葉水戸市に開催 一日—二

日

ライオン齒磨京都愛用者職業野

球招待 一日

カッピ化粧品北陸京阪九州マ

キシン宣傳開始 一日

アラ化粧品本舖新橋演舞場前

進座公演にパンフレット「觀

劇の手引」を配布 一日

丸見屋ミツワ會開演歌夜座

二日

アラ化粧品愛用者招待映畫と

賞演の會日比谷公會堂 二日

ライオン齒磨本舖帝國劇場へ豫

告看板寄附 四日

エキセリン講習會朝鮮主要都市

に開催 五日

ライオン齒磨本舖主催母を讃へ

る會大阪三越ホール 六日

長瀬家事科學講習會愛知靜岡千

葉北海道茨城縣下各小都市に

開催 八日—十三日

名古屋會堂愛用者招待會名古屋

屋公會堂 九日

アラ化粧品愛用者七千名大阪國

技館招待 一三日—一四日

セオラ齒磨マキシン宣傳朝鮮北

三三

丸見屋ミツワ會歌夜座 二日

ライオン齒磨大阪愛用者二百名

優待飛行機試乗 二三日

ライオン齒磨愛用者千名阪神パ

ーク招待 二三日

ライオン齒磨愛用者四千名阪神

各劇場へ招待 二三日

ライオン齒磨本舖主催新入學兒

童歡迎子供會日比谷公會堂

三日

パビリオン化粧品朝鮮マキシン宣

傳 三日—四日

長瀬家事科學講習會榎木群馬千

葉宮城岩手縣下に開催 六日

五日

ワテナ化粧品愛用者招待踊りと

流行歌の會日比谷公會堂 六

日

ライオン齒磨本舖、出征軍人子

供恩安會名古屋公會堂 六日

長瀬講座宇都宮浦和福井市に開

催 八日—二二日

ワテナ婦人宣傳員名古屋犬山カ

ンツリーアマ撮影會へモデル

出場 九日

ライオン齒磨本舖協賛新資源開

發展大阪三越 一〇日—一七日

スチロマン化粧品滿鮮マキシン

宣傳開始 二一日

マヌービエリナイケイド北陸

主要都市に活躍 二二日—二七日

テルミソライエチイ新化粧の

會協賛會館 一五日

陸地方に開始 一三日

レット化粧品本舖パンフレット

「美の行進曲」配布 一五日

アラ化粧品愛用者招待會茨城

縣下十五ヶ所に開催 一五日

三日

ヘチマコロ愛用者招待演藝大

會滿洲北支十一ヶ所に開催

一八日—二二日

オリガナル・ペーラム愛用者優

待セル標進呈

ライオン齒磨愛用者後樂園職業

野球春のリーグ戦招待 一八日

一九日

ワテナ化粧品愛用者招待會名古屋

屋公會堂 一九日

テクノ替刃宣傳標語當選者發表

一八日

銀座堂石鹼宣傳標語募集發表

二〇日

エキセリン愛用者二百名招待新

橋演舞場前進座觀劇 二三日

アラ化粧品愛用者三千名東京

劇場買切招待 二四日

京都榮屋商店短帶尺帶普及紙芝

居開始 二五日

丸見屋ミツワ「國際劇場開催

二六日

アラ化粧品本舖主催進級お祝

ひ小學生の會中の島公會堂

三一日

ライオン齒磨本舖あやめ池に特

設場設置 二二日

アラ化粧品本舖東京劇場觀客

へ化粧品奉仕 一日

ワテナ化粧品本舖愛知靜岡縣下

工場従業員慰安會開催 一日

レット化粧品本舖小樽東寶劇場

二六日—二七日

ワテナ婦人宣傳員兩毛地方各地

に活躍 一五日—二四日

ライオン齒磨愛用者招待「土」

試寫會日比谷公會堂 一六日

ライオン齒磨本舖主催演藝大

女學校生徒招待軍事講演會野

澤屋 一六—一九日

ライオン齒磨本舖主催東京ヨド

モーター 一六—一三〇日

阪急百貨店光學日本展「ライオ

ン、クラブ、レット」三本舖參

加 一七日

ライオン齒磨愛用者招待日整衛

生と映畫の會北海道主要都市

に開催 二六日

三井百貨店國産品優良化粧品

大會へ十六本舖參加 二二日

九三日

エキセリン愛用者津津演藝館招

待 二二日

テルミソライエチイ映畫の會

名古屋市公會堂 二二日

モノゲン販賣店講習會名實會館

二五日

モノゲン愛用者東京劇場招待

二六日—二七日

長瀬家事科學講習會石川富山新

潟青森秋田山形の各市に開催

一日—三〇日

ライオン齒磨本舖主催ムシ商標

防「協賛事業は左の如く開催

（東京）講演と映畫會市内

各區公會堂小學校に開催（二

日—八日）愛用者招待會日比谷

公會堂後樂園齒磨教練體育大

會（四日）大阪）愛用者招待會

一六九

傍點は本稿筆者) 一人の廣告を讀む女性として、いかにも又多くの聰慧手を相手に話しかける一種の宣傳人としてのラヂオの放送者村岡女史の言葉には傾聴すべき多くのものがある。

なほこの年の新聞や雑誌にそれこそ、つとつと挽まず品質の藥效的訴求を續けて倦まなかつた齒磨ゼオラの廣告を本年中の白眉として推奨するものであるこの廣告の堂々たる押しに對して恐らく相當の效果があつたとであらう、それからあらうかライオン齒磨の本舖がその五十年に近い歴史に嘗てなかつた賣藥巴拉デントの廣告を今年の後四半期から始めた。ゼオラの齒槽膿漏預防の訴求とこの藥品の性質を思ひ合せて興味深いものがある。

一般宣傳

日本の文化的水準の進路に併進しつゝ、若しくは僅かにこれを先導しつゝ、宣傳的努力に終始してゐるライオン齒磨の活動はあらゆる方面に於いて他の追随を決して許さぬものがある。本年度も亦野球に、ムシ齒豫防に、乳幼児審査會に、或ひは又前述の「寢る前の齒磨一千萬人」運動に堂々の陣を進めて鮮かな動きを示してゐる。他のい

ろ／＼な商品いろいろ本舖がこれに類することをやり始めても、いつしか練香花火のやうに後が續かぬのを見ると、ライオンに於ける組織の力と、永く信念を以つて培つて来た經驗の値打をはつきり認識せざるを得ない。東寶の小劇場とタイアップしたライオン子供會は今年始められた新しい試みの一つであつた。花王石鹼本舖の清淨運動は標語募集に大馬力をかけその當選發表と共に「手軽な消毒手近かな石鹼」をテーマに映畫を作成し、東京市や厚生省とのタイアップでデビューした。資生堂の石鹼工場を中心とした文化映畫の「シヤボン」も同じ頃一般に公開されてゐる。花王本舖が富士山麓で催した夏季大學とライオン本舖が東京及び大阪で催した經營販賣講習會、資生堂の販賣講座等によつて業界の宣傳方法が新聞雜誌等による直接的廣告一方から段々に仲業者、若しくは最後の消費者に至る前の有力な媒體を通じて宣傳の効果をねらはうとする傾向が益々強くなつたことが視される。

新聞雜誌の廣告制限の影響を受けてこの傾向は益々盛んになるであらう。丸見屋が店員慰安の夕を開き、資生堂がチェーン代表の出雲大社参拜を企劃した

ことなどもこの一つの現はれと見ることが出来る。この間にあつて業界のお得意先招待の御馳走政策は時局の影響と物資不足による「賣り手の天下」から来る自然の結果として甚だしくその數を減じたことは結構なことだが、北海道視察とか戦勝祈願の好名目の下に相變らず舊い習慣にこだはる本舖も少ししな

軍人會館(二日)及び新女性の集ひ、學校商科醫會講演會等開催、商學教養會大會天王寺(三、四日)京都府廣島岡山靜岡名古屋福岡京都市にも愛用者招待或は講演と映畫會體大會等開催、ライオン齒磨本舖主催「輝く航空展」鹿児島市山形屋に開催、一日一四日、資生堂化粧品「滿鮮」に開催、一日一三〇日、レイト化粧品本舖新聞の短歌廣告を開始、一日、ハリウッド化粧品本舖全鮮マネキン宣傳、一日、ライオン齒磨本舖「寢る前の齒磨」千萬人實行、大運動開始、四日、ウテナ化粧品愛用者優待「忠臣蔵」封切招待會市内封切館、五日、長瀬商會主催清淨標語募集締切、五日、レイト化粧品本舖國策映畫脚本募集締切、五日、ライオン齒磨本舖主催國民厚生展京都大丸、九日一十四日、スチルマンフレックル石鹼銀座松坂屋マネキン宣傳、九日一二十日、カリカチ石鹼愛用者映畫館招待小樽札幌、九日一三〇日、パビリオンマネキン宣傳北海道仙臺滿鮮各地に開催、一日一三〇日、ライオン齒磨本舖主催東寶コードモデー、一日一三〇日、長瀬商會エキセリン愛用者招待小樽市映畫館、一日一三〇日、

以上昭和十四年の業界宣傳、廣告陣を通観し來れば、結局時世の浪に押されつゝ、よく忍び、よく働きつゝ、ある態度を到る處に見ることが出来る。殊に後半期に於いて歐洲第二次大戰の勃發を見たり、物價停止令の施行等があり、直接、間接に業界宣傳陣の受けた打撃は決して少ししな。しかもこの眞の影響は新しき豫算と企劃を樹てる十四年春から十五年の春になつて初めて種々な形に於いて現はれて來ることを覺悟しなければならぬ。

多難の年を迎へ、より質實な宣傳が期待される。(新保民八)

化粧品の新聞廣告

國策に順應して發行頁數を漸減して來た新聞紙は、昨年九月の新聞用紙供給制限令實施から、更にその著減を餘儀なくせられ、これに伴ひ、廣告面を狭められたのと相俟つて、廣告分野の大區域を占むる化粧品廣告の掲載にも、その影響する所渺からぬものがあつた。

Table with 2 columns: 昭和十四年 (1939) and 前年との比較増減 (Comparison with previous year). Rows list months from January to September and a total (計). The table shows a general downward trend in advertising pages for cosmetics, with a significant drop in August and September.

一行數單位千行△印は減少、次に季節的に化粧品廣告の動向を見ると、前年とは全く逆のコースをとつてゐることが目立つて居る。即ち昭和十三年度は一月から四月まで一途減退を續け、五月以降は増進に轉じたが今年の一月は三厘の微減少に踏み止まり、二月には愈々躍進に移つて一割五分の最大増を出現し、三月は二分、四月は四分と増進を辿つて來たが、五月に入ると一割七分の減退に傾き、六月の減少率は二割を超え、八月は一割八分内外減で、下半數を通じて退勢に陥りつゝあるを知ることが出来る。

更に化粧品廣告の分野を千分比に依りて品種別に區分して見ると、その領域を擴大した齒磨は二六・一%を掲げて首位を、クリームは二四・六%を以て第二位を堅持してゐるが、第三位には化粧水が一三・〇%に伸びて躍り込み、石鹼は一〇・四%に縮まつて後轉し、これに續くは一段降るが、進展した洗顔料と減退した白粉の各五八%から、激落の化粧料取合せは三五%、ポマードは三二%、増大せる香油は二一%、微減を示す香水は一八%、跳躍を試みたチツクは一八%、轉落せる洗顔料は一七%と激減して、紅顏は七%と最低に

一七〇 クラ化粧品新潟萬代デパートマネキン宣傳、一日一三〇日、クラ商學愛用者招待「新女性」封切日比谷公會堂、一日、ライオン齒磨本舖主催「伸びよ小國民展」新潟小林デパート、二〇日一六二日、ライオン齒磨本舖主催「荒鷲展覽會」新潟伊勢丹、二〇日一六、四日、京城三越主催化粧品大會(十三本舖參加、二三日一三九日)、クラ商學本舖主催「輝く聖將大橋公展」大阪デパートに開催、二五、一六、四日、ウテナ化粧品愛用者の集ひ南鮮各地に開催、三〇日一六二日、エキセリン愛用者招待會新築地劇團「緩方教室」長野縣下各地に開催、三一日一六二、五日、

落ちるが前年から見ると最大増率を示して居る。進みて前記各品種別の内容に入り、一層詳しく廣告遂行の跡を辿り見るに、**蠟燭**（燭燭）を資源愛護、相撲映画の招待等を採用したクラブは二割八分を、仁丹は一割八分を縮減したが、ゼオラは前年四倍かの跳躍振りを演じ、資生堂は中煉、潤滑等を掲げて八割六分を激増しライオンは刷水性の進出、虫歯豫防デー、千萬人協力大運動等により七分を増行しライオン歯刷子は六割六分増に對して丹頂齒刷子は六割六分増を全増したので結局四十八萬七千行で一割三分を増大した。

クリーム 明色クリンジンは前年のアストリゼン、美顔水併載を以て活躍したのから見ると四割の激減であり、クラブは五月以後記事廣告を採用したが二割一分を、アモンパイヤは二割三分を減少し、ウテナはコールド、パニシング、クレンジン、レモン等を混用して七割三分、パピリオは三割九分、レットは記事廣告を採用して三割の躍進振りを示しヒスタメント薬用は八萬四千行、丹頂パニシングは三萬八千行を輸出して進出したので、大勢は四十五萬四千行で一割三分を増大した。

化粧水 アストリゼンを併

載した美顔水は三分弱、ヘチマコロンは記事廣告を採用して二分強の激減に止まり、アイデアル、スキンコロンは約五倍かの跳躍を試み、ユキワリミンは一倍半を、レットフードは六割六分を激増し、クラブ乳液は六割を加へ、寶製薬會社發賣のミノコロンは七月から九千行を以て出場したので、結局十四萬七千行で七分の増行を示した。

石鹸 牛乳石鹸は二割四分を増大し、ニツサン化粧石鹸は六月から進出して六萬一千行を全増したが、資生堂は五割六分、ミツワは四割八分、花王は二割五分を激減し、安福も四分を激減したので、大勢は六十八萬二千行で二割八分の減退に陥つた。

洗顏料 カテイ洗粉は五分を激減したが、モンココ洗粉は四割九分を激増し、レオン洗顏料は六分を増行、主婦之友社發賣ハトムギ洗粉は十二萬五萬一千行を展開して進出したので、結局二十五萬八千行で三割七分の増大を示した。

白粉 カマシは十四割、明色美顔、クラブは各七割内外の激増を示し、タンゴドイランは一割七分増進したが、レットは四割二分、ウテナは三割九分を著減し、サーワは九萬六千行を全減した。

減したので、大勢は十三萬三千行で一割二分の減退に陥つた。

洗髪料 フレック、シャンブーの一割一分、花王シャンプーの三割減等に依り、洗髪料は三十五萬五千行で六割七分の激減に陥つた。

化粧料取合せ 桃谷美容欄は二十三割、パピリオ化粧料は十三割増の跳躍振りを演じたが、ミツワ文庫、ミツワ會、ミツワデー等は二割を縮減し、堂級化粧、健康生活の必需品、健康美容等を併用したクラブは半減に縮小、花王の會、化粧品デー等を停止した資生堂は八割、美容欄を七月から僅かに開始したウテナは九割二分を激減し、ヘチマ化粧料は八萬四千行、愛用者招待を採用したレット化粧料は二十九萬四千行を全減したので大勢は八十八萬六千行で六割一分といふ大縮減に陥つた。

ホマード メスマは十八割の跳躍にあるが、金鶴の九割一分減を真先に、メデカ、カマシは八割内外、井筒は七割、柳屋は二割と續々退勢に轉じたので、結局二十三萬四千行で三割一分減になり終つた。

香油 ゴコーは八分を減行したが、金鶴は六倍加し、井筒は四割六分、ビタオールは二割四分増進したので、結局十萬九千

減したので、大勢は十三萬三千行で一割二分の減退に陥つた。

洗髪料 フレック、シャンブーの一割一分、花王シャンプーの三割減等に依り、洗髪料は三十五萬五千行で六割七分の激減に陥つた。

化粧料取合せ 桃谷美容欄は二十三割、パピリオ化粧料は十三割増の跳躍振りを演じたが、ミツワ文庫、ミツワ會、ミツワデー等は二割を縮減し、堂級化粧、健康生活の必需品、健康美容等を併用したクラブは半減に縮小、花王の會、化粧品デー等を停止した資生堂は八割、美容欄を七月から僅かに開始したウテナは九割二分を激減し、ヘチマ化粧料は八萬四千行、愛用者招待を採用したレット化粧料は二十九萬四千行を全減したので大勢は八十八萬六千行で六割一分といふ大縮減に陥つた。

ホマード メスマは十八割の跳躍にあるが、金鶴の九割一分減を真先に、メデカ、カマシは八割内外、井筒は七割、柳屋は二割と續々退勢に轉じたので、結局二十三萬四千行で三割一分減になり終つた。

香油 ゴコーは八分を減行したが、金鶴は六倍加し、井筒は四割六分、ビタオールは二割四分増進したので、結局十萬九千

八月

長瀬商會主催「市民の健康と厚生體操の夕」日比谷始め市内小公園に連夜開催 二日

ライオン商會愛用者優待關東地方海岸巡迴映畫會 二六、二八、二九

クラブ商會本館主催「輝く聖路大楠公展」博多松屋鹿兒島山形屋に開催 二六、二八、二九

ライオン商會町通り宣傳滿洲各地に開催 二六、二八、二九

クラブ商會本館主催「市電愛用と市民厚生」市内小公園小学校に連夜開催 二七、二八、二九

テルミー化粧料マキシン宣傳北海道各都府に開催 二八、二九

花王石鹼清淨標語の映畫化「手」完成 二九

八月

長瀬商會主催「夏季生活刷新講習會」河口湖畔に開催 一日

電通主催産業と宣傳と廣告展覽會へ五本舖參加

ウテナ化粧料本館主催關東信越地方主要工場女子従業員慰安會開催

丸見屋ミツワ會開催歌舞伎座

丸見屋ミツワ會開催歌舞伎座

レット化粧料上海北京日本商工館へ陳列出品 五日

レット化粧料本館東東賣劇場へ陳列寄贈 五日

八月

ライオン商會本館東東賣江波和子と宣傳契約 一日

長瀬商會伊勢丹の南洋展へ出品 一日

ライオン商會本館主催後健康映畫會静岡縣下各小学校に開催 四日

丸見屋ミツワ會開催歌舞伎座

丸見屋ミツワ會開催國際劇場

ライオン商會本館主催東賣ヨドモセンター展覽會新宿伊勢丹に開催 一九日

化粧品

雜誌廣告

行で四割七分増になつた。

香水 月の友は六倍加し、金鶴は四割四分を激増したが、オリヂナルが、一割七分を縮減したので、結局一萬六千行で五分の減退に陥つた。

チツク 丹頂が八割二分を激増し、ランラン、井筒等が八千行餘を以て進出したので、チツクは九萬九千行で五割の増行を來した。

紅顏 クロバは三割一分、パピリオは一割八分を擴大し、カマシは三月から進出して一萬五千行を展開したので、結局六萬八千行で十四割の最大増率を示した。

大陸の長期建設に、總國力をあげて邁進した聖戰下の第三年昭和十四年は、産業界に於いては、物資動員計畫の一層の強化により前年までは當に生産者を脅かすのみに留まり、配給機關にまでは及ばなかつた物動計畫の影響も、今年に入ると、ストツクの消費とも相俟つて、物資の不足は次第に急を告げ、配給の不圓滑、統制の強化によつて、長期戦の困難さをいよいよ深刻に示して來るに至つた。随つて雜誌廣告のこの年の記録もまづこの問題から觸れて行かねばなるまい。

五分といふ高率の制限をうけることとなつたのである。

事變前までは、業界品の主要廣告媒體たる有力婦人雜誌に於いては、自由豊富なる紙の供給をうけて、相互の競争から、頁數の増大多種多様な附録の添附によつて讀者の眼を眩らせる程のサービス戦を演じ、遂にその結果の停戦協定として、雜誌組合より本誌の頁數、廣告面の頁數、附録の大きさ、本誌附録合計の目方等に制限を設けねばならぬ程の激烈なる競争をなして來たのであるが、今や、頁數増大の制限をなすどころか、各誌とも従来の體裁を維持することさへも困難な有様となり、紙の獲得に躍氣の努力を拂はねばならなくなつて來たのである。

雜誌用紙の制限

依つてこれを觀るに、本年度の化粧品廣告は、減頁に伴ふ新聞の廣告面が縮小された割合よりも、更に過大な減り方であり化粧品のうちでも石鹼や洗髪料が激減した代りに洗顏料が據頭し、ホマードの著減を追うてチツクや香油が躍進に移り、白粉は減つたが化粧水やクリームは伸張した。なほ齒磨は増進を續けて居り、紅顏は跳躍を演じたが、懸賞や招待その他化粧料の綜合廣告は大縮減を行つたことは現下の實情を反映して居り、注目に値すべきものがある。

〔日本電報通信社專務取締役・光永眞三〕

雜誌用紙は昭和十三年に於いても、既に前年度の使用量に比すれば一割二分減の制限をうけてゐたのであるが、十四年に入るとこの制限の強化は更に必至となり、遂に八月一日附商工省令を以て、十四年一月乃至十二月までの使用量として前年度（十三年）の使用量に對し、五分の強化を見ることとなり、これにより雜誌用紙は、その使用量の多寡により二割一分乃至二割

この雜誌用紙の缺乏が直ちに影響するのは、廣告スペースの減少である。實例をあげれば、主婦之友では、十三年十二月號までは特定面廣告を除き、活版刷廣告面一〇〇頁を収載できたものが、十四年三月號からは九八頁に減じ即ち一割八分の減少となり、更に五月號からは、八四頁になるといふ、實に三割の廣告スペース減となつてゐる。婦人俱樂部に於いても、その廣

告收量の減少したことは略々同様の割合で、爲にウテナ、明色、マスター等の如き活版印刷廣告を多数使用する廣告主にあつては、雑誌社側より割當て的に出稿量の減少を迫られるといふ状態であつた。

十四年度に於ける雑誌用紙制限五分減の省令の未だ決定せぬ前半期に於ては、かゝる有様であつたのだから、後半期に於いてこの状態が如何に強化されたかは蓋し推察に難くないであらう。

雑誌社側としても、その重要な財源たる廣告を斯くも多量犠牲にしなければならぬことは、素よりその本意でないことは云ふまでもないが、雑誌の體裁上、記事と廣告との割合を保持してゆくためには、かかる大きな犠牲をも拂はねばならぬ程に、紙の統制は強度化され、極度に逼迫を告げたのであつた。

雑誌讀者の増加

雑誌そのもの、制作にかゝる困難があつたのであるから、然らば十四年度に於ける雑誌界は一般に萎微沈滞を示したかといふに、實際は寧ろその逆であつた。各雑誌の賣行はいづれもよく、殊に主要婦人雑誌にあつては、事變勃發以來、當初稍々

下降を示した發行部数は、本年は逆に漸増の勢を示して來たのである。

もとより正確なる數字は知るに由もないが、我國の婦人雑誌の總發行部数二〇乃至二三〇萬と推定される中であつて、有力雑誌の部数は、本年新年號に於いて、主婦之友八〇萬、婦人俱樂部六五萬、婦人公論二二萬と、廣告界の一部では推測されてゐるやうである。新年號は一

年を通じて最も發行部数の多い月であるから、これよりも減少した月もあることであらうが、大體に於いて各誌とも本年はその發行部数の漸増を示したことは確かである。

大體、婦人雑誌の消長は、小説の評判の如何によるべき云はれてゐるが、本年度に於ける婦人雑誌の隆昌は、かゝる偶然の結果ではなく、戦時インフレの浸透による労働婦人層の購買

力の増大、並に米價の昂騰、滿鐵の購買力による農村好景氣、農村婦人の購買力の増加等に歸する方が妥當なる観方であらう。

これは當に雑誌のみならずあらゆる商品についても見られる處で、業界品に於いても従來、都會地の購買力に比して甚だ劣つてゐると思はれてゐた農村地方の購買力が、俄に増加して來たことによつても知られるが、雑誌に於いても増大する發行部数旺盛な賣行は、いよ／＼紙の不足の嘆きを深からしめたのであつた。

雑誌廣告の激増

雑誌廣告のスペース難のことは前にも述べた。然し廣告收容量が減少しても、廣告の申込みがこれに伴つて幾分でも減すれば、スペース難の嘆きもそれほど深刻ではないのであらうが、本年度に於ける雑誌廣告の申込みは、廣告面の減少と逆に加へ、その絶対値に於いても寧ろ増加してゐるのである。これは新聞廣告のスペースが制限されたため、自然、雑誌廣告に力を注ぐものが多くなつたためであるが、業界品に於いてもライオン石鹼、ライオン歯磨、ニツザン石鹼、エキセリン、ゼオラ齒磨、エゼ洗粉、資生堂等が、新

裏表紙	表紙	目次	前附	多色刷	オフセツト	二色刷	オフセツト	一色刷	グラビヤ	挿込み
ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ	ウテナ
主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友	主婦之友
婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部	婦人俱樂部
婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論	婦人公論

たに雑誌廣告に大進出を示し、従來からも雑誌廣告を積極的に使用せるレイト、マスター等は更に顯著なる増加を示す等、雑誌廣告の繁榮は寔に目覺しいものであつた。今、有力婦人雑誌三誌の十四年度新年號本誌のみについて見れば

主婦之友 五九四約二〇〇
婦人俱樂部 五五六約一七九
婦人公論 六一四約一五九

即ち、廣告面は雑誌全體の三割乃至三割五分を占め、而もこの多數の廣告の中、業界品廣告は實に全廣告の三割五分の大量を占めてゐるのである。

かく、雑誌の賣行がよく、廣告面の僅少なるに引換へて、廣告の申込みはいよ／＼多いのだから雑誌社廣告部の鼻息が荒くなるのも當然と云はねばならぬ。その結果は、必然的に雑誌廣告料の大幅な上げとなつて現はれたが、各廣告主はそれにも拘らず雑誌廣告の特殊面、廣告スペースの獲得に激しい競争を演ずる有様で、十四年度の雑誌廣告は、深刻なる紙の不足の裡に、非常なる活況を呈したのであつた。【K.T.】

博覽會 見本市

國內博覽會 遂ひに消滅

昭和十四年の博覽會は國內に於いて開催されたものは遂に皆無に終つた。前年度に於いて紀元二千六百年記念萬國博覽會の中止が決定されるとともに、本年度に開催すべき豫定の地方博覽會は悉く無期延期となつたのは、支那事變第三年を迎へ、加ふるに第二次歐洲大戰の勃發もあつて、眞に已むを得ざるものと云はなければならぬ。たゞ海外に於いては紐育萬國博、及び桑港金門灣萬國博の開催が華々しく、日本にもその人氣を傳へたに過ぎなかつた。

次に見本市に就いて見れば、東京商工獎勵館主催の東京商品見本市、東新會、大阪各種團體の商品市及び見本市、名古屋商品見本市及び七五會等、三大商都の官廳主催、團體主催、個人商店開催の見本市展覽會は春秋ともに中止となり、纒かに個人商店の少數が開催したに止つ

た。これによつて所謂、従來の觀念による見本市、展覽會は皆無の状態であつたと云つていい。

その理由とするところは、更めて云ふまでもなく、既に前年度から開催を危ぶまれてゐた如く、原材料の統制と夥しい品不足、及び購買心誘發の抑止、價格吊上げの防止等が挙げられねばならぬ。

従つてそれに代はる代用品工業への進出を物語る發明展覽會に類するものは商工省、發明協會、代用品工業協會等の活動獎勵によつて頻りに開催され、前年度の代用品展覽會が未だ見るべきものがなかつたにも拘らず、本年度に於いては皮革、金屬、その他の分野に代用資材の研究が完成され、それぞれ専門家によつて推奨展示され、何れも産業界に多大の示唆を與へた。

またこれと同時に外貨獲得を目指す國

策に沿ふ輸出獎勵の爲めの展覽會、巡回商品の見本市の北支進出等があつたが、圓プロツクに對する移出に對しては十月制限令が發せられるに至り、多大の困難と疑問を投げ與へられるに至つた。

又、商店經營展、公定價格展示會、包裝展覽會等も前年度秋季より引つゞき開催されたが、これらの意義に關しては更めて贅言を要すまい。

周知の如く本年度に於ける一般商品界は著しい物資不足に悩み始めた第一年度であるから、商品の販路を擴める意味の見本市展覽會は意義を失つたものと云つてもよく、又、従來品の一部にあつては取引價格に曖昧な雲行きもあつて、展覽會の凡ては代用品一品に集中されたかの觀があつたのは已むを得ないところであらう、恐らく本年度の情勢は十五年度にも持越されるものと豫測されやう。

展覽會及見本市

十一月 (十三年)

發明協會主催昭和十三年度發明展覽會は二日より二週間府立商工獎勵館に開催申込み件数は三百八十五件、前年度の四百三十件に比すれば約五十點の減少であつた。出品物は時局を反映して代用品の化學工業關係に屬するものが多かつた。審査の結果は機械、化學、電氣、意匠各部を通じて七百七十九件の入選決定、その中業界關係は如左。

機械部 愛國製糖會、赤木はる
化學部 旭電化工業株式會社、花石石鹼製糖會

東京商工獎勵館主催の東京商品見本市は廿四日より廿八日まで蘇州、南京、杭州、上海、青島の各地で開催、來讀者總計五千四百人、契約高二十三萬三千三百二十七圓、即高五十五萬圓に上つた。各地別

成績並に主要商品は如左。

蘇州 來讀者 五〇〇人、契約高 一〇、三〇〇圓
南京 來讀者 一、〇三一人、契約高 三、〇〇〇圓
杭州 來讀者 二、〇〇六、六三二人、契約高 一、〇〇〇、〇〇〇圓
上海 來讀者 一、〇〇五、〇〇〇人、契約高 一、〇〇〇、〇〇〇圓
青島 來讀者 一、〇〇〇、〇〇〇人、契約高 一、〇〇〇、〇〇〇圓

▲商品 糖、菓子、製茶、茶葉、酒、味噌、醬油、液物、海産物、りんご、コンスターチ、電球、ペンキ等

貿易局主催海外市場調査團募集の見本品展示會は二十八日より三十一日まで丸の内東京商工獎勵館に開催、不振産業輸出品工業轉換促進の爲、適切な施設として期待された。

十一月 (十三年)

京城府主催鮮産見本市は一日より三日間開催、來讀者千五百餘名に上り菓子、五萬四千五百圓を筆頭にコンスターチ三萬五千圓、海産物一萬七千三百圓、林産物二萬五千圓その他約定總額廿萬六千六百圓に達した。

府立東京商工獎勵館主催の貿易組合中央會在外貿易斡旋所募集にかゝる海外競争品見本一般雜貨約二千二百點を借受け二十三日から十五日まで同館大講堂に開催した。

臺北商工會議所主催の代用品展覽會は中旬十二日間臺北公會堂に開催、出品範圍は如左。

一、化粧品原料類代用品
二、皮革代用品
三、ゴム代用品
四、合成樹脂或製品△磁器製品△セルロイド製品△その他製品
五、纖維工業用代用品
六、參考品

一七五

七、その他代用品類
北海道主催、七都市々役所商工會議所後援の公道価格商品展覧會は一般の認識徹底を期すべく左の日程を以て十都市に開催された。

- 札幌市 今井製菓店 二月廿一日、二、三日の三日間
小樽市 今井製菓店 二月廿八、九、三十日の三日間
函館市 今井製菓店 二月廿一日、二、三日の三日間
旭川市 今井製菓店 二月廿五、六、七日の三日間
室蘭市 今井製菓店 二月廿八、九、十日の三日間
釧路市 今井製菓店 二月廿四、五、六日の三日間
帯広市 今井製菓店 二月廿一、二、三日の三日間

二月

東京府共同主催による公道価格商品展覧會は左の日程を以て三ヶ所に開催
△一月十七日 銀座松屋△十五日、廿日、廿一日 王子商店
△廿六日、廿七日、廿八日 王子商店

神戸市 仁商株式会社では東京白粉セロイド工業所の代理部契約成立を期に第一回新製進セルロイド商品陳列見本市を十六日より十八日までの三日間同社樓上に開催代用品分野へのセルロイドの進出を展示した。

大阪玉置伊助商店では十六日より十八日までの三日間、大阪小間物雑貨組合樓上に自産見本市を開催、新興製革グリニム製品は注目を惹いた。

東京文具共益會主催見本市は例年開催の二月上旬か下旬に変更して左の如き要綱を以て開催。

大阪の春の見本市、商品市は例年三月一日よりつきつゝに開催されることに決定準備を進めてきたが、大阪見本市聯合會では二十三日の會合によつてこれを中止することに決定した。理由は原材料難による品薄と買占め防止であり、その代り海外進出見本市は大々的に開催することになった。

大阪見本市聯合會の自發的の中止聲明の當日、廿二、廿三日の二日、七秀會の見本展覧會が大阪實業會館三階ホールに開催された。出品商店は左記六店。

東京市、東京實業組合聯合會主催、商工省、代用品工業協會後援の代用品巡回展覧會は二十四日、二十六日、浅草區公會堂
△三月十一、十三日、深川清澄公園大正記念館
△同十七、十九日、四谷區公會堂
出陣は1.皮革代用品、2.金屬代用品、3.ゴム代用品、4.纖維關係代用品及び5.参考品の諸部に分たれ、頗る貴重な資料に充ちてゐた。内業界關係出品者は大體次の如くであつた。

府立商工獎勵館主催の恒例東京商品見本市は、一般産業界並に經濟界の實情に鑑み、主催者側出品人側協議の結果春の

とに、中支、南洋、印度、濠洲に見本市開催、南支(經濟視察團を派遣すること)に決定を見た。

貿易局主催の輸出品包装展覧會は東京と同様の内容を以て十五日より十九日まで新潟市役所に開催。

大阪市産業部では四月、五、六の三日間中央公會堂に新着海外競争見本展覧會を開催、陳列品はヒリツピン、中米、南滿メキシコ、ジャバ、スマトラ、中米等よりの蒐集にかゝるもの、總數五千點。

東京商工獎勵館では輸出振興の主旨より神戸に出張所を開設。貿易促進の爲十三年度の夏張家口に設立された蒙福公司では日本商品の進出を促す爲め、包頭に日本商品陳列所を新設。

見本市は中止のことに決定。
東京に於ける小間物雑貨問屋の組織する東新會でも大勢に順應して春の見本市開催を中止。

名古屋七五會も名古屋商品見本市に少調を合せて中止。愛知縣主催の時局對症商店振興展覧會は一日から七日まで名古屋市愛知縣商工館に於いて開催。

大阪西岡貞商店では二日より五日まで本店に於いて陳列會を開催、ハンカチーフでは綿製品を禁制によりあらゆる纖維を使用、化粧品部ではスポンジバッグ、セルロイド洗面器、湯のみ等家庭用品に新味を見せた。

名古屋商品見本市及び七五會の集團見本市が休止となつた名古屋では四日から七日まで個人商店の單獨陳列會を開催した。

大阪府主催新興化學工業品展覧會は府立産業會館に於いて十一日から二十五日まで開催、出品の主なるものは如左。

- ① 飲食關係 洋酒、茶類、調味料、煉乳、砂糖、菓子
② 醫藥關係 醫藥、工業藥品、化粧品
③ 化學關係 染料、肥料、填充料、インキ
④ 農産關係 穀類、油類、糖類、皮革、木材

京城商工組合聯合主催第八回京城巡回見本市は六日より順次北鮮地方に開催。
△四月六日 元山府△八日 咸興△十日 咸興△十二日 清津△十四日 咸興△十七日 咸興(開市日午後四時より午後四時)

東日會館では「東日會館優良商品館」を十一日から開館加盟店には大正藥局とライオン商會があつた。
特許局では代用品發明獎勵のため、本年度に於いては前年度より五萬圓増額の豫算十萬圓を以て代用品の發明研究費見本製作費又は試験費に對しこの補助金を

より八日まで五十圓以上現金買上客に粗品を進呈。
横濱市、横濱商工會議所、神奈川縣商工協會主催の市場蒐集競争商品見本展覧會六、七、八の三日間横濱市商工獎勵館に開催。

商工省主催第二回代用品工業振興展覧會は一日より七日まで上野科學博物館に開催、出品は千二百六十五店、品別は左の如きものであつた。

日本土産品協會主催國際觀光局後援の東洋土産品博覽會は七日より十三日まで京都の大丸に開催。
商工省では従來開催して来た工藝展覧會と輸出工藝展覧會を本年度から合併して輸出工藝品振興展覧會として左の如く東西都市に開催、出品物は陶磁器、硝子製品、漆器、金屬製品、染織物、木竹製品の種類に亘り、堅實な大衆必需品に主眼を置かれた。

大阪府立東京商工獎勵館十月十日より十六日、大阪中央公會堂十月廿日、十一月三日、京都美町十一月十四日、十一月十八日、名古屋愛知縣商工館十一月廿日、十二月四日。
大阪南久寶寺町では十四日から四日間名物の蔵ざらへを開催。
日本土産品協會の第一回土産品展覧會廿五日から十一月二日まで新宿伊勢丹。
東京商工獎勵館では南米阿弗利加市場への東京商品の進出に資すべく視察團を結成出發した。期間は四ヶ月参加五店。

三月
大阪見本市聯合會では例年三月五、六、七の三日間恒例時に開催されて来たがこれも中止と決定。
名古屋七五會も名古屋商品見本市に少調を合せて中止。
愛知縣主催の時局對症商店振興展覧會は一日から七日まで名古屋市愛知縣商工館に於いて開催。
大阪西岡貞商店では二日より五日まで本店に於いて陳列會を開催、ハンカチーフでは綿製品の禁制によりあらゆる纖維を使用、化粧品部ではスポンジバッグ、セルロイド洗面器、湯のみ等家庭用品に新味を見せた。
名古屋商品見本市及び七五會の集團見本市が休止となつた名古屋では四日から七日まで個人商店の單獨陳列會を開催した。
大阪府主催新興化學工業品展覧會は府立産業會館に於いて十一日から二十五日まで開催、出品の主なるものは如左。
① 飲食關係 洋酒、茶類、調味料、煉乳、砂糖、菓子
② 醫藥關係 醫藥、工業藥品、化粧品
③ 化學關係 染料、肥料、填充料、インキ
④ 農産關係 穀類、油類、糖類、皮革、木材
京城商工組合聯合主催第八回京城巡回見本市は六日より順次北鮮地方に開催。
△四月六日 元山府△八日 咸興△十日 咸興△十二日 清津△十四日 咸興△十七日 咸興(開市日午後四時より午後四時)
東日會館では「東日會館優良商品館」を十一日から開館加盟店には大正藥局とライオン商會があつた。
特許局では代用品發明獎勵のため、本年度に於いては前年度より五萬圓増額の豫算十萬圓を以て代用品の發明研究費見本製作費又は試験費に對しこの補助金を

四月
京城商工組合聯合主催第八回京城巡回見本市は六日より順次北鮮地方に開催。
△四月六日 元山府△八日 咸興△十日 咸興△十二日 清津△十四日 咸興△十七日 咸興(開市日午後四時より午後四時)
東日會館では「東日會館優良商品館」を十一日から開館加盟店には大正藥局とライオン商會があつた。
特許局では代用品發明獎勵のため、本年度に於いては前年度より五萬圓増額の豫算十萬圓を以て代用品の發明研究費見本製作費又は試験費に對しこの補助金を

より八日まで五十圓以上現金買上客に粗品を進呈。
横濱市、横濱商工會議所、神奈川縣商工協會主催の市場蒐集競争商品見本展覧會六、七、八の三日間横濱市商工獎勵館に開催。

商工省主催第二回代用品工業振興展覧會は一日より七日まで上野科學博物館に開催、出品は千二百六十五店、品別は左の如きものであつた。

日本土産品協會主催國際觀光局後援の東洋土産品博覽會は七日より十三日まで京都の大丸に開催。
商工省では従來開催して来た工藝展覧會と輸出工藝展覧會を本年度から合併して輸出工藝品振興展覧會として左の如く東西都市に開催、出品物は陶磁器、硝子製品、漆器、金屬製品、染織物、木竹製品の種類に亘り、堅實な大衆必需品に主眼を置かれた。

大阪府立東京商工獎勵館十月十日より十六日、大阪中央公會堂十月廿日、十一月三日、京都美町十一月十四日、十一月十八日、名古屋愛知縣商工館十一月廿日、十二月四日。
大阪南久寶寺町では十四日から四日間名物の蔵ざらへを開催。
日本土産品協會の第一回土産品展覧會廿五日から十一月二日まで新宿伊勢丹。
東京商工獎勵館では南米阿弗利加市場への東京商品の進出に資すべく視察團を結成出發した。期間は四ヶ月参加五店。

五月
府立東京商工獎勵館では東京商品の輸出版路開拓の爲、三、四の二日間神戸商工會議所に第八回東京府輸出商品見本展覧會を開催、出品店數六十店、招待客輸出客約一千五百名に上つた。

大阪市産業部の堂ビル内商工相談所陳列所に陳列着の上、滿洲向商品を展示。
京城府主催第二回北支見本市は二日より六月二日まで各地に巡回開催。
五月十一日、十五日、天津△同十六日、廿日、廿一日、北京△同廿二日、廿三日、上海△同廿四日、廿五日、大連△同廿六日、廿七日、長春△同廿八日、廿九日、青島△同三十日、三十一日、奉天△同

貿易局主催の輸出品包装展覧會は東京と同様の内容を以て十五日より十九日まで新潟市役所に開催。
國策代用品普及協會では二十三日より二十七日まで京濱に於ける各デパートで合成皮革製品の展示即賣會を開催。
東京府では府立商工獎勵館の機構を改革、貿易部と企業部の二部を設け、左の如く首脳部を決定。

△新部長 井上貞盛氏▽貿易部長 安本重治氏▽企業部長 松浦誠三氏
△新部長 井上貞盛氏▽貿易部長 安本重治氏▽企業部長 松浦誠三氏

大阪市産業部では四月、五、六の三日間中央公會堂に新着海外競争見本展覧會を開催、陳列品はヒリツピン、中米、南滿メキシコ、ジャバ、スマトラ、中米等よりの蒐集にかゝるもの、總數五千點。

東京商工獎勵館では輸出振興の主旨より神戸に出張所を開設。貿易促進の爲十三年度の夏張家口に設立された蒙福公司では日本商品の進出を促す爲め、包頭に日本商品陳列所を新設。

六月
横濱商工獎勵館、商品陳列所聯合會共同主催の第六回全國特産品見本市は二、三の三日間開催、出品参加地三十一府縣、人員七百餘名、出品は四萬點。名古屋會議所では一日關係者集集のも

七月
大阪市産業部では四月、五、六の三日間中央公會堂に新着海外競争見本展覧會を開催、陳列品はヒリツピン、中米、南滿メキシコ、ジャバ、スマトラ、中米等よりの蒐集にかゝるもの、總數五千點。

業界の著作及

出版

口腔衛生二十五年 (小林商店)

本邦に於ける口腔衛生運動の輝く記録、菊版六〇〇頁、非賣品、小林商店發行。

精神與國民百人一首 (橋本關雪著)

南北朝より明治維新に及ぶ明君、烈士、烈婦、篤學の代表的歌集。仁丹本舖森下博氏複製。非賣品、菊版三四頁。

かん・どころ (杉ノ原英太郎著)

聴く、嗅ぐ、味はふ、觸れるなど五感の「勘」を説く。四六判四七頁、定價十錢、工業報社發行。

Commerce Japan (商工省編)

鮮明なる挿圖と寫眞による本邦商品の海外宣傳カテゴリー。菊版六〇頁、定價一圓五〇錢、商工省發行。

廣告年鑑 (萬年社編)

十四年度に於ける廣告界の全貌鳥瞰。四六判約五〇〇頁、定價二圓、萬年社發行。

ライオン兒童齒科院紀要 (小林商店編)

本邦唯一の兒童齒科診療機關としての齒科院が大正十年の開設より閉鎖に至るまでの業績報告書、菊版四百餘頁、非賣品、小林商店發行。

賣品、小林商店發行。

まかしな象の話 (武井武雄畫) お月様のした話 (同)

ライオンハミガキの繪本、何れも定價十錢、小林商店發行

Tokyo (東京商工獎勵館)

東京商品の海外宣傳を目的とするもの。四六判、六〇餘頁、東京商工獎勵館發行。

私の體験と時局下の小賣業經營 (森清三郎著)

拮据三十餘年の商店經營談、四六判、百餘頁、非賣品、扇屋吳服店企畫部發行。

商品意匠圖彙集 (東京商工獎勵館編)

輸出工芸品の製作指導を目的とするもの。大塚巧藝社印刷の美本、東京商工獎勵館發行

内觀の法 (富士川游著)

精神文化の權威にして中山文化研究所を担當する博士の講話。菊版一六二頁、定價一圓、厚徳書院發行。

商工獎勵館英文型錄 (商工獎勵館)

四六判別アト紙印刷、府立商工獎勵館發行。

最近の店員諸問題 (井關純述)

菊判一八頁、非賣品、名古屋商工會議所内報告協會發行。

自分を語る (小島百藏著)

小島翁八十有餘年の體験を語る。四六判三六二頁、定價二圓、小竹書房發行。

新廣告寫眞コンクール展作品集

〔慶應義塾廣告學研究會〕

アド研究家の廣告心理に訴へた新銳作品集、井深徹氏指導定價八十錢、慶應廣告學研究會發行

化粧品定價表 (東京商報社編)

昭和十四年版、改正新定價を悉く收む、四六判横綴一八六頁、定價五十錢、東京小間物化粧品商報社發行。

美人カレンダー (大阪化粧品商報社)

昭和十四年版、改正新定價を悉く收む、四六判横綴一八六頁、定價五十錢、東京小間物化粧品商報社發行。

化粧品用語辭典 (福山順一編)

大阪化粧品商報社發行。

紀伊國屋文左衛門 (上山勲太郎著)

上山氏が調査多年、巨費を投じて研究したる資料として其獨特の人生觀に貫かれたる紀文實傳。四百八十頁、明治書院發行。

櫛 (高橋重商店)

商品型錄。四六判約二十頁、非賣品、高橋重商店發行。

後方部隊 (徳永凡)

吳淞上陸以來一年間の戰鬥記。機軸輸送の辛苦經驗談、徳永凡とは花玉石嶺宣傳部長徳永嘉壽男氏の筆名。四六判三百頁、輝文館發行。

店員採用法

店員採用の問題は、さつぱらんに申上げれば、どうにも今のところ解決策がないといふのが一般的にお答へが出来ることだ。つまり、長期戦、長期建設、更には来るべき戦争への準備として日本は晝夜を分たず一途生産力の擴充を圖らねばならぬ立場にある。而して現在生産力擴充四ヶ年計畫の第二年度に當つてゐるのです。

この生産力擴充の爲めには、全國小學校卒業生中の全就職希望者を悉く採用しても足りないといふ實情かと察せられます。してみますと商店員志望の少年が激減するの無理からぬことだ。待遇上軍需工場と一般商店では余りにも懸隔があり過ぎるし、商店と軍需工場では少年達に對する魅力が余りに違ひ過ぎるのです。否それよりも國家第一、國防第一、生産力擴充が絕對的に緊要な立場にあるので、すからどうにもならないわけだ。

即ち客觀的條件は、商店の店員採用に對する不利となつてゐるのですから、この不利な條件を排除して天晴れ優秀店員を採用し彼等の協力を得ることには、その店員の主觀的努力以外に考へられないのです。つまり、その店に名聲が高ければ、初めて店員も採用出来ることになり、現に、問屋方面から知人から或ひは故郷から

店員志望申込みが殺到して、店主を面喰はしてゐる洋服店や洋品店の實例を知つて居ります。余りに皮肉な現象ですが、「あの店なら」といふことで、店員志願者が殺到してゐるわけだ。

これ等の店の例から教へられることは、軍需工場の絕對の世の中、百人百色で少年の中には將來立派な商業者たらんとする者も決して尠くないといふことだ。これは當然のことだ。聖なる物資配給業者として社會的に國家的にその使命を果すことは、人間として生甲斐のあることに違ひありません。店員の訓練教育目標も、かうした點にあることは今更申上げるまでもありません。

以上のやうな事情ですから、こゝに詳しく店員採用の具体的方法を例示することは、廢めさせていただきます。

最後に分配法は、利益金の半分は店に、残つた半分即ち四分の一は店主に、残つた四分の一を店員で按分する。按分の仕方は勤続年限、半期乃至一ヶ年間の成績等を考慮すればいい。店への分配は償却費積立金等に當てるわけだ。(半谷眞武氏)

海外業界

歐洲大戰と海外業界

九月一日、ヒトラー總統は獨逸國境面突事件に乗じ、「武力を以て武力に對抗す」と稱し、ポーランド國內に國防軍を進撃せしめ、英佛は九月三日遂に對獨逸戰を布告し、歐洲の天地に再び大戦が勃發した。西部戰線に戰爭らしい戰爭が起らないうちに、獨逸は早くも波蘭の大半を制し、獨逸不可侵條約締結の直後のソ聯邦も亦突如九月十七日國境を越えて赤軍を派し、九月二十九日、獨逸間に波蘭分割の條約が成立した。

獨逸の波蘭完全占領により波蘭國は地圖上から姿を没したが、これによつて歐洲大戰は屏息しないばかりか、ソ聯邦の登場は歐洲の戰局を益々複雑怪奇ならしめ、長期戦を目標に各國は動員に大奮となつてゐる。第二次世界大戰の序幕が漸く切つて落されたばかりで、本年は暮れやうとしてゐるが、何人もこの大戦がこの程度で終熄しやうとは豫期してゐない。必ずや近代科學の粹を盡した近代戰が近く凄烈深刻に展開されるであらうことを信じて疑はない。本年版はこの幕間において締切らなければならぬので、海外業界は遺憾ながら大戦の影響を記録するまでには至らない。が、交戦國から運ばせながらも辛うじて届いた業界雜誌に、大戦の影響らしいものが全くないわけではない。

一

まづ、今次大戦の點火者、獨逸の業界誌を講かう。
Deutsche Parfümerie Zeitung 誌は綠色の表紙の菊倍判、平常二十四頁であるが、九月十日の第十七號から十六頁に減頁した。九月二十五日の第十八號は巻頭に「民族と國家」と題する社説を掲げ、ヒトラーの九月一日國會議演の趣旨を解説し、祖國防衛の爲にあらゆる分野において各人が使命達成に努力せんことを希望し、獨逸の化學者、技術者も各自に課せられた高い使命を自覺し、その知識と技能を祖國に捧げんことを要望し、Allse für Deutschland! と結んでゐる。

Deutsche Seifenhandlcr-Zeitung 誌は黄色の表紙の菊倍判、平常二十頁であるが、九月十五日の第十八號から「Wir und Wirken des deutschen Seifen- und Parfümerie-handlers」の欄四頁が減じて、十六頁となつた。此の雜誌の表紙題字下に寫眞を當に入れたるが、十月一日の第十九號にはガリシアに向つて進撃する獨逸軍をヤロスロオ附近で査閲するヒトラー總統の寫眞を掲げ、八月二十七日獨逸が逸早く行つた石嶺の戰時消費統制について、一頁に互つて詳細な記事が掲載され、業界に直接與へた大戦の影響が顯著に觀取せられる。

二

眼を英佛に轉じ、その業界誌から、戰爭の消息を聴かう。
Soap Perfumery and Cosmetics 誌は九月號の社説に「戰時における石嶺製造」を記載し、戰時における石嶺工業の

二

組織に關するソパ社の世間を發表、謝意を表してゐる。
今手許に届いてゐる業界誌で十月號は、僅かに米國の Soap Gazette and Perfumer 及び Soap and Sanitary Chemicals だけだが、これには相當戰爭の影響が顯著に觀られる。兩誌はいづれも巻頭の社説において大戦が石嶺工業に及ぼした影響も論じてゐる。例へば大戦は油脂方面に既に或る種の混亂を示し、殊にオリウ油の如き外國産の油脂原料が鋭敏に値上りを示し、石嶺價格も微騰を始めやうだ。「石嶺」は歐洲戰爭と石嶺原料市場」と題する長文の論説を掲げてゐる。米國も化學藥品では二十五年前迄は獨逸に依存してゐたが、第一次大戦以來、自給自足の域に達したから、今日では原料不足に悩むやうなことではないといつてゐる。否、逆に、米國では「機會到れり」としてゐる。蓋し大英帝國は獨逸から一千五百萬弗の化學藥品を購入し、その内には藻州の二二二萬弗、印度の六九一萬弗、加奈陀の一九〇萬弗を含んでをり、又英國はラテン・アメリカに九三〇萬弗の化學藥品を賣つてをり、その中にアルゼンチナの四百萬弗、ブラジルの二三〇萬弗、メキシコの三五萬弗を含むからして、前の場合には獨逸の位置に代り後の場合には英國の位置に代つて、大いに商權の伸長を行ひうると説んでゐるからだ。

この大戦は何箇年續くか、何人も豫言はできない。ここに記したやうなことも實は、大戦初期における安易な觀測の二三かもしれない。

業界品輸出入年表

昭和三年比較、價格單位

Table of industry goods export and import data for 1923, 1924, and 1925. Columns include '品名' (Goods Name), '昭和十四年' (1923), '昭和十三年' (1924), and '昭和十二年' (1925). Rows list various goods like '化粧品小計' (Cosmetics Total), '樟腦油' (Camphor Oil), 'サツサフラス油' (Sassafras Oil), etc.

業界品の海外貿易 [昭和十四年]

① 圓域向輸出の躍進
わが對外貿易は、第三、四半期までにおいて、稀にみる出超を記録し、一見素晴らしい躍進振りを示してゐる。

しかしこの事實を以てわれわれは簡単に喜んでゐるわけにもいかない。蓋し出超四億圓の據つて来た原因について深く思ひを致さなければならぬ。

昭和十四年 昭和十五年
輸出 二、七三三、四七三圓
輸入 二、三三〇、二五九圓

に外國貿易を考へる時には、圓域以外の第三國市場の開拓といふことが一層の重要性をもつて出現してくる。即ちわが出超四億圓は、この見地から考へるときにはどうなつてゐるか、これが現下の海外貿易の重大課題なのである。

昭和十四年 昭和十三年
輸出 二、四三三、八六九圓
輸入 二、一八七、八七三圓

② 石油

石油類の輸出は一三三六萬九千圓で、前年同期の五六六萬圓、一昨年の四二〇萬圓に比較すると三倍近い激増を示し、就中洗濯石油の輸出が顯著である。

Table of industry goods export and import data for 1923, 1924, and 1925. Columns include '品名' (Goods Name), '昭和十四年' (1923), '昭和十三年' (1924), and '昭和十二年' (1925). Rows list various goods like '其他的人造香料' (Other Artificial Perfumes), '眞珠' (Pearls), '人造眞珠' (Artificial Pearls), etc.

千圓圓ばかりの入超となつてゐる。勿論昨年の五億圓餘よりは改善されたが、輸出の増進が主として圓域向輸出の躍進にある事實はこれを以て明かに知ることができやう。

昭和十四年 昭和十三年 昭和十二年
石油類の輸出は一三三六萬九千圓で、前年同期の五六六萬圓、一昨年の四二〇萬圓に比較すると三倍近い激増を示し、就中洗濯石油の輸出が顯著である。

Table of international trade statistics for various goods like '造花', '靴下', 'アイロン', etc., with columns for quantity and price for the years 1922, 1923, and 1924.

長を来したのである。ここにおいて石鹼は、圓城向輸出の抑制により、第三國向輸出の振興といふことが具體的に取り上げられることとなつたのである。

化粧品の輸出は七四八萬圓、前年の五四二萬圓に比し四〇%以上の増加であるが、石鹼の輸出増加に對しては遠く及ばないといへる。

輸入の部

Table of import statistics for various goods like '石鹼', '香料', '化粧品', etc., with columns for quantity and price for the years 1922, 1923, and 1924.

註 大蔵省編「外國貿易年表」に據る。但、十四年度は九月末迄

その資材の統制と仕向國の關係から昨年減少したが、本年に入り稍々恢復したにすぎず、未だ昭和十二年のレベルにまで達してゐないといへる。

⑤ プラツシュユ類 プラツシュユ類の輸出は、本年第三四半期までにおいて三三四萬圓、昨年同期の二八八萬圓に比較して五割の増加であるが、十二年の五〇六萬圓に遙かに及ばない。

Summary table for 'プラツシュユ類' showing export values for 1922, 1923, and 1924 across different regions like '滿洲國', '支那', etc.

米國化粧品石鹼生産額

(米國內務省國勢調査局調査)

化粧品工業概要		一九三七年	一九三五年
製造業者数		四七六	五九八
賃銀労働者数		一〇、一五六	九、六六二
賃銀		九、三二一、五三三	八、五八五、七三三
原料費		五三、九〇三、四三三	四四、五三三、三〇五
生産費		一三三、三三六、八八一	一三九、五九一、一三三
製造ニヨル増価額		七六、三二一、三九九	七四、九六六、八六七
化粧品生産額			
化粧品工業總生産額		一三三、三三六、八八一	一三九、五九一、一三三
化粧品工業以外の化粧品		一〇、九〇九、三三三	九、九四三、五〇五
斯業に普通屬せざる生産品		三三、四七三、七一九	一九、八八五、六六七
他の工業の副次的生産化粧品		三三、〇九三、〇五一	二九、七九四、一四七
總計		一六七、三三九、九四一	一六九、三二九、七八五
化粧品製品別生産額			
香水		八、四八〇、二七〇	八、一三三、八三六
化粧水		四、一五五、〇一九	三、三三〇、四四四
化粧粉		一七、五七三、二六六	一四、四三〇、〇〇四
紅粉		四、四一七、九七七	四、七四一、三三〇
紅毛粉		二、五九一、六五〇	二、五七四、七三三
紅油		三、五五九、一三四	二、九七三、〇三三
紅膏		四、七七一、七七一	五、七三三、九一一
除汗剤		三、五五九、四一九	二、九七三、〇三三
石鹼		一、九八二、三三三	二、九七三、〇三三
石鹼含有物		一、九八二、三三三	二、九七三、〇三三

世界化粧品工業概観

① カナダ
カナダの化粧品の製造高について、統計局の統計によれば一九三七年において、前年の七四二萬弗に對し八一〇萬弗となつてゐる。化粧品製造を専業としてゐる經營體の生産額が五七一萬弗、製粉工業での生産額が一七七萬弗、石鹼洗劑工業での生産額が五八萬四千弗となつてゐる。化粧品製造高中主要なものは、前年同様歯磨一六〇萬弗(前年一一〇萬弗)クリーム一一〇萬弗(前年一一〇萬弗)である。以下詳細な内容を示す。

化粧品工業	一九三七年	一九三五年
化粧品工業	八、四八〇、二七〇	八、一三三、八三六
化粧品工業以外の化粧品	一〇、九〇九、三三三	九、九四三、五〇五
斯業に普通屬せざる生産品	三三、四七三、七一九	一九、八八五、六六七
他の工業の副次的生産化粧品	三三、〇九三、〇五一	二九、七九四、一四七
總計	一六七、三三九、九四一	一六九、三二九、七八五

② 芬蘭
芬蘭の化粧品製造は極めて僅少であつたが、人口の増加に伴ひ化粧品の使用も次第に増加した。一九三七年の化粧品製造及輸入總額(化粧石鹼を除く)は、前年の二〇乃至二百萬馬ーク(Mark)に對して、二七乃至二百九萬馬ークに上つた。その約四分の三は國內において生産せられるに至つたのである。この他統計上に現れぬ小經營の生産も存在したわけである。一九三七年において、大經營の化粧品製造は、三七%の増加を示し實に一、三三四萬馬ークより一、八〇三萬馬ークに増加した。殊にクリーム、頭髪香水の増加著しく、一九三八年には國內産業保護のため關稅を引上げるに至つた。

生産額	一九三六年	一九三七年
水	六、一三〇、〇九〇	六、五三三、二四九
煉及粉商	八、八〇二、八一	二、三三三、九三三
頭髪香水	二、四六六、三二七	一、五七一、八四七
クリーム	一、七九一、六四三	四、八二二、四七三
生産額の増加にも拘らず、化粧品の輸入も三六萬馬ークより四六二萬馬ークに増加した。		
輸入額	一九三六年	一九三七年
香水(酒類)	千馬ーク	千馬ーク
香水(不含)	三、四	四、五
香水及化粧水	二、〇	三、四

石鹼工業概要		一九三七年	一九三五年
工場数		一四〇八	一三六
労働者数		一四、〇〇八	一三、九一一
賃銀		一、九〇七、四七五	一、五三三、〇四九
原料費		一、五九一、七九九	一、三九一、〇四八
生産費		三、〇〇九、二七四	二、九二四、〇九七
製造による増価額		二六、三二一、七五八	九九、七九一、〇三二

石鹼生産高		一九三七年	一九三五年
棒石鹼		六、〇〇〇、〇〇〇	五、三三三、三三三
化粧石鹼		四、八〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
粒状、粉末、石鹼		六、三三三、三三三	七、三三三、三三三
ナツプ、フレイク		七、四四四、四四四	八、四四四、四四四
洗滌粉		一、二二二、二二二	一、三三三、三三三
剃石		一、三三三、三三三	一、四四四、四四四

③ 羅馬尼亞
ルーマニアの化粧品工業は近年著しい發展を示した。佛系の大化粧品會社支店が設置せられ、生産を開始したため、化粧品の輸入は著しく減少した。化粧品の生産額は一九三四年の四百萬馬ークより三五年には四百五十萬馬ークに増加したに反し、輸入額は一九三四年の三七萬馬ークより、一萬馬ーク、三六年には五萬馬ークと激減を示した。これに反し化粧品の主要原料たる香料は一九三六年に八九萬馬ークの輸入を見、前年の八九萬、前々年の一二三萬と大差なしといへる。羅馬尼亞の化粧品輸入状態は次の如し。

一九三五年	一九三六年	
香料	千馬ーク	千馬ーク
香水	二、八	三、九
水	四、八	五、九
化粧水	二、二	三、三
煉商	一、一	二、二
頭髪香水	一、一	二、二
白粉	一、一	二、二
ボマード類	一、一	二、二
染料	一、一	二、二
口紅	一、一	二、二
計	二七、〇一一、八三三	二七、六六五、三三〇

④ 瑞典
近來瑞典の生活水準の向上に伴ひ化粧品の使用が著しい増加を示した。化粧品の製造及輸入額に基いて化粧消費額

輸入	輸出	
香水	一九三一年	一九三二年
香水	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
香水	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
香水	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

モザンビーク	1,600.0	1,600.0	1,600.0
ザンシバル	218	146	133
世界計(其他共)	1,818.0	1,746.0	1,733.0

世界天然樹脂産額

松	600	520	520
セ	300	300	300
コ	200	200	200
マ	100	100	100
カ	100	100	100
ダ	100	100	100
ア	100	100	100
其	100	100	100
計	600	520	520

主に米國(五二〇)
主に印度(三〇〇)

世界蓖麻子輸出入

輸入	一九三八年	一九三七年	一九三六年
日本(内地)	27,813	28,666	25,066
英	3,800	3,800	3,800
佛	3,800	3,800	3,800
獨逸	3,800	3,800	3,800
伊	3,800	3,800	3,800
白	3,800	3,800	3,800
米	3,800	3,800	3,800
輸出	1,600	2,700	2,000

アラビヤ	110,000	110,000	110,000
英領印度	90,000	90,000	90,000
蘭領印度	60,000	60,000	60,000
マダガスカル	10,000	10,000	10,000
世界計(其他共)	170,000	170,000	170,000

世界苛性曹達産額

日本	1937年	1936年	1935年
日	2,000	2,000	2,000
米	1,500	1,500	1,500
英	1,000	1,000	1,000
獨逸	1,000	1,000	1,000
伊	1,000	1,000	1,000
佛	1,000	1,000	1,000
和	1,000	1,000	1,000
世界計(其他共)	1,700	1,700	1,700

世界アルミニウム産額

日本(内地)	1938年	1937年	1936年
日	1,000	1,000	1,000
米	1,000	1,000	1,000
加	1,000	1,000	1,000
ソ	1,000	1,000	1,000
獨逸	1,000	1,000	1,000
佛	1,000	1,000	1,000
瑞	1,000	1,000	1,000
諾	1,000	1,000	1,000
伊	1,000	1,000	1,000
太	1,000	1,000	1,000
英	1,000	1,000	1,000
世界計(其他共)	1,700	1,700	1,700

増加したと発表してゐる。

諸威の石鹼及燐燐工業は次第に發達したが、就中化粧及粉石鹼の増加が著しい。最近の統計によると

大工場数	1936年	1937年
労働者数	57,000	60,000
従業員数	3,000	3,000
製造価格	1,000	1,000
生産高	1,000	1,000
軟石鹼	1,000	1,000
洗濯石鹼	1,000	1,000
粉石鹼	1,000	1,000
切片石鹼	1,000	1,000
化粧石鹼	1,000	1,000
燐燐	1,000	1,000

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

一九三六年 一九三七年

クリーニング・パウダア 六、八〇三
下水管洗剤等 六四六
その他クリーニング剤 一〇、二七五
次にカナダの石鹼輸入額は、三五年の
一、二五六、八一五、三六六年の九四八、
八一九、八二五、七七八と減少した。輸出は化粧石鹼七、一五三噸、
一、二四〇、八七二噸、主に英國、和蘭
向て、その他の石鹼は一〇一噸、一五、
九四三噸主に英國及び西印度諸島向け
であった。

③ 和 蘭
統計局の發表によると、和蘭の石鹼工
場は一九三八年において四五、前年の四
六に比し一の減少であるが、これは原料
消費量五萬担以上の工場に限定したため
である。昨年の統計は原料消費量一萬担
を基礎としたもので、この點比較に當つ
ては十分の考慮を要する。石鹼工場の油
脂原料消費量は四四、六〇〇噸、(前年
四二、一〇〇噸)であった。國內販賣高は
一九三八年 一九三七年
軟石鹼 四七、八〇〇 四七、八〇〇
化粧薬用石鹼 三、三〇〇 三、三〇〇
硬家庭用石鹼等 一、四〇〇 一、四〇〇
粉石鹼 一、七〇〇 一、七〇〇
洗濯粉 四、一〇〇 四、一〇〇
この總生産額の生産費は一三、七〇〇、
〇〇〇ギルダー(前年一五、一〇〇、〇
〇〇ギルダー)、販賣収入額二四、〇〇、
〇〇〇ギルダー(前年一五、四〇〇、
〇〇〇ギルダー)である。統計局はこの
統計により國民一人當りの石鹼消費量が
一九三七年の一〇・六担より一一・一担

⑤ グワテマラ
中米のグワテマラ共和国の總石鹼需要
額は八五%の増加を示し、一九三八年石
鹼輸入量は二二・四噸に達した。

⑥ 白領コソゴ
白領コソゴの化粧品類輸入状況は一
九三七年において次の如し。
洗濯石鹼 六三三 千フラン
白耳義 四四 一夫
フランス 七 一夫
ポルトガル 五 一夫
粉石鹼 六〇六 夫
白耳義 三三 夫
獨逸 七 夫
液體石鹼(主に英國)より 四 夫
其 他 二八 夫
ベルギー 一五〇 夫
日本 四三 夫
英國 三 夫
獨逸 三 夫

石鹼製造用植物油

英國の石鹼製造に用ゐられる油脂の割 合を示してみよう。	一九三六年	一九三七年
一九三六年	九、〇五八	九、〇五八
一九三七年	一一、八八一	一一、八八一
一九三八年	九、二六三	九、二六三
比	100	100
1933	25	25
1934	24	24
1935	23	23
1936	22	22
1937	21	21
1938	20	20
1939	19	19
1940	18	18
1941	17	17
1942	16	16
1943	15	15
1944	14	14
1945	13	13
1946	12	12
1947	11	11
1948	10	10
1949	9	9
1950	8	8
1951	7	7
1952	6	6
1953	5	5
1954	4	4
1955	3	3
1956	2	2
1957	1	1
1958	0	0
1959	0	0
1960	0	0

海外業界組合一覽

- 英國**
 Association of British Chemical Manufacturers. 166 Piccadilly, London, W. I.
 Association of Manufacturing Chemists. 14 Holborn Viaduct, E. C. I.
 British Chemical Plant Manufacturers' Association. 166 Piccadilly, W. 1.
 British Launderers' Research Association, Laboratory, Hillview Gardens, London, N. W. 4.
 Federation of British Industries. 21. Tothill St. London, S.W.1.
 Federation of Grocers' Associations. Federation House, 4 Endsleigh St. London, W.C.1.
 Hairdresser's Wholesalers' Association. 33 Great Queen Street, London W. C. 2.
 National Federation of Hairdressers, 20 Cranbourne Gardens, London, N.W. 11.
 National Union of Manufacturers, 6 Holborn Viaduct, London, E. C. 1.
 Oil and Colour Chemists' Association, 30 Russel Square. London. W.C.1.
 Perfumery and Toilet Preparations Mfr's Section, London Chamber of Commerce Inc., 69 Cannon Street, London, E.C.4.
 Pharmaceutical Society of Great Britain, 17 Bloomsbury Square, London, W. C. 1.
 Proprietary Articles Trade Association, 43 Gordon Square, London, W.C.1.
 Soap Makers' Association. (S.M.A.) 6 Holborn Viaduct, London. E.C.1.
 Soap and Candle Trades' Federation. Toilet Soap Makers' Association. Wholesale Chemists & Allied Trades Protection Association, 90 Queen Street, E.C. 4.
英領印度
 All-India Soapmakers' Assn. (Pres.) S.G. Sastry, B.A., M.Sc.
- 米國**
 American Cosmetics National Association.
 American Drug Manufacturers' Association. (Pres.) Dr. John F. Anderson, E.P.
 American Medecine Association. (Pres.) F.M. Bailey, Ph. D.
 American Pharmaceutical Association. (Pres.) Robert P. Eishelis.
 American Pharmaceutical Manufacturers' Association. (Pres.) George R. Flint.
 Association of American Soap & Glycerine Producers, 381 Fourth Ave., New York. (Pres.) F.A. Countway
 Committee of the Toilet Goods Industry, 30 Rockefeller Plaza, New York, N.Y.
 Flavoring Extract Manufactures Association of the United States, Inc. (F.E.M.A.) (Pres.) L. P. Symmes
 Federal Wholesale Druggists' Association (Pres.) H.Z. Kropp.
 National Wholesale Druggists' Association (Pres.) A. Kiefer Mayer.
 National Assn of Insecticide and Disinfectant Mfrs. 110 East 42nd St., New York (Pres.) J. I. Brenn.
 National Sanitary Supper Assn. 234 East Lexington Milwaukee, Wis. (Pres.) R. L. Johnson.
 Package Medecine Association, Inc. (Pres.) Dr. Jos, V. Sterba.
 Proprietary Association. (Pres.) George H. Miller.
 Toilet Goods Association (T.G.A.) 30 Rockefeller Plaga, New York. (Pres.) Herman L. Books.
 United Medical Manufacturers of America. (Pres.) Chas. L. Huisking.
 U.S. Pharmacopœia XI (Pres.) W. A. Basteo.
 Southern Toilet Goods Association (Chairman) T. E. Williams.
- 佛國**
 Union des Syndicats Français de la Parfumerie, 19 Rue Cambon Paris, (Pres.) Jacques Porte.
 Syndicat de la Parfumerie Française. (Pres.) Jacques Porte.
 Syndicat de la Parfumerie de Lyon et de la Région Lyonnaise, 26 Place Tolozan, Lyon. (Pres.) Abel Pitiot.
 Syndicat central des Huiles Essentielles et Matiees Premières Aromatiques. 19 Rue Ste-Croix-Bretonnerre, Paris. (Pres.) E. B. Baube.
 Syndicat des Parfumeurs Distillateurs de Grasse et des Alpes-Maritimes (Pres.) Honoré Guichard.
 Syndicat Général des Fabricants Fourpisseurs de France pour Coiffeurs et Parfumeurs. (Pres.) Henri Desprez
 Syndicat des Fabricants Français de Produits Synthétiques pour la Parfumerie, 44 Rue la Boetre, Paris. (Pres.) Louis Roure
 Syndicat de l'Industrie des Matières Premières pour la Parfumerie. (Pres.) H. Guichard
- 加奈陀**
 Association of Canadian Perfumers and Toilet Goods Manufacturers. (Pres.) C. G. Carmichael.
 Canadian Pharmaceutical Association.
 British Columbia Pharmaceutical Association.
 Nova Scotia Pharmaceutical Assn.
 Ontario Retail Druggists' Association. (Pres.) W. E. Dunlop.
- 海外業界**
 Synthetic Organic Chemical Manufacturers' Association. (Pres.) August Merz
 Allied Drug & Cosmetic Association of Michigan. (Pres.) J. M. Wolff,
 California Cosmetic Association. (Pres.) Andrew Norman.
 Chicago Perfumery, Soap & Extract Association. (Pres.) T. E. Hanshaw.

滿洲及支那

日・滿・支一體

その面積と人口

建國以來八箇年躍進途上の滿洲帝國と戰塵の中から果立たんとする新生中華帝國とは、わが業界にとつても、最早單なる外國ではなく、互助連環の密接なる關係の上にある。日・滿・支一體は、五族の共通の希望であり、血縁のみがしる親和の聲であり、又業界の指標でもある。今日、わが業界の抱く苦惱は、寧ろこの一體化の具現の途上に存する戦時なるが故の矛盾の發現であると稱しても過言ではない。しかしこの苦惱は東亞新秩序の生みの痛みであり、母の喜びのみが知る陣痛なのである。

海外業界

近代的技术と整備せる生産設備とを有しながら、狭い地域に踞せねばならず、徒らに脾肉の嘆を抱いてゐた業界に新しい窓が開かれようとしてゐるのである。この業界の待望と憧憬と情熱とは必然に本年版の年鑑誌上に具現化しなければならぬ。しかし今は戦塵について業界人の聲音が大陸に足を集め始めてから時がたつてはるまい。新しい統計が、新しい企畫はその聲音の後から生れるべきものであるとすれば、本年版においては、僅かにその片鱗を傳へるにとどめなければならぬ。展けゆく新市場は、年鑑が版を重ねるにつれて、形式上にも、實質上にも具現しうるものと編者は信じて疑はぬ。

この大陸市場を総観する、しかもあらゆる産業の基礎たる圓城市場の面積及び人口はどうか。本編の序説として最近の統計についてこれを見ておこう。

大日本帝國 六六、三三三 平方里 一〇一、四四四 千人
 滿洲帝國 一、三三三、四四四 平方里 一〇一、四四四 千人
 中華民國 九、八八八、四九九 平方里 四三、〇七七 千人
 わが國の二倍の面積を有する滿洲帝國は人口においてわが國の三分の一強にすぎない。又中華民國はわが國の約十五倍の面積を有するに、人口は僅か四倍にすぎない。かくてわが國が日滿支一體を主唱し、ここに大なる發展を期しつつある物的基礎があると稱しても過言ではあるまい。既に滿洲帝國において働きつつある同胞は約五十萬人、未だまだ十分と

はいへないであらう。別項に滿洲帝國及び中華民國の人口及面積について詳密な統計を掲載した。特に滿洲國の分については、日本内地人の省別人口を掲記したが、これは又業界の發展策上の一資料とも考へられたからだ。なほ滿洲帝國に在住する朝鮮人は約百萬人に達してゐる。

次に滿洲帝國の基本的數字となるものを次に摘記しておこう。(康德五年) 歲出豫算總計 一、六九一、六六九 紙幣發行高 四三三、七七七 中央銀行預金 三六八、八四九 同 貸出 四九、九九七 日本對滿投資 四三〇、九九一 輸出貿易額 七、四三、七四七 輸入貿易額 一、七二、一九一 鐵道總軒數 一〇、〇三三

滿洲帝國人口及面積

省別	面積	人口	内地人
新特別市	四、四六	三、七〇、四四四	三、七〇、四四四
吉林省	八、九、六、六六	五、三、五、二〇〇	三、六、四〇〇
龍江省	一〇、九、八、三三	二、七、三、九六六	二、〇、六〇〇
黑龍省	一〇、七、五、四四	一、七、三、八、七二	一、七、三、八、七二
三江省	五、七、二、四四	六、五、九、八〇〇	三、六、八、九七
牧丹江省	八、七、二、〇〇	四、三、八、三三三	四、三、八、三三三
濱江省	二、九、九、五五	六、九、〇、八五〇	一、三、五、四四〇
問島省	三、一、六、四七	八、三、四、七四七	三、四、五、〇〇
通化省	三、六、四、〇三	二、三、三、八、八七	二、三、三、八、八七
奉天省	三、九、四、六二	九、三、三、一、二六	三、三、八、三九
安東省	三、九、四、六二	四、二、三、〇、九二	三、三、八、三九
熱河省	六、六、五、八五	三、九、六、九、九四	七、四、五、八

中華民國面積及人口

省別	面積	人口
安徽省	八〇、四〇〇	五、八、二、四七
安徽省	七九、〇三三	八、六、三、三三
安徽省	一〇六、三五一	一、三、七、七六
安徽省	一〇六、三五一	八、六、三、三三
合計	一、三三三、四四四	一〇一、四四四

最新の美容術から
生れた最高の化粧品

テレミー化粧品

レモトーン化粧水
ウキルフレッド
色彩化粧品



大東化学工業所
東京銀座西八丁目
大阪東區小橋東ノ町
名古屋 京都 福岡 京城 北京 上海




色が
白くなる



日獨伊英米佛支
世界各國

特許
專賣

ニキビ、あぶら顔に
シミ、そばかす、小じわ取りに

白美液は人體皮膚に大切なヨード物質をロイコプラスト化した
榮養、漂白、美身の三大作用を持つたスピード美身料です。
随つて白美液はツケると浸透してお肌の深部へ漂白作用が働い
て色を白くし、清淨作用はニキビや吹出の原因、化膿毒素を分
解してお肌を美しくするので効果は極めて迅速です。アレルギー、
アララ性、ニキビ吹出、シミやソバカス、色の青黒い方赤黒い
方、小皺に悩む方、白粉のツキよくお化粧をキレイに仕上げた
い方、お肌の若返りにぜひお試しください。

五十三〇 七十五〇

はく
び
えき
白美液

地築・京東 社會式株藥製本橋 館本

HAKUBI

香料

HAYAKAWA
ORIENT ROSE
HAYAKAWA & CO. TOKYO, JAPAN

東京市淺草區淺草橋三丁目
早川香料店

電話淺草 四〇三一
五三六三
五六九三

正確なる3要素

- 1 正確なる 品質規格
- 2 正確なる 収益率
- 3 正確なる 販賣組織

高級化粧用

王子石鹼株式會社

東京

● の評好て合配素毛養・性物植純 ●

ドームポインテラ

● 質品いな の駄無・油香毛養の代時新 ●

油香ンテラ

● 版衆大の油香髪洋・作傑の中作傑 ●

油香髪洋ンテラ



店商號田福 大阪 東京 舖本

良優産國並表代國各水歐

化粧品 原料

(御申越次第化粧品原料商報送呈)

店門專

店商壽宇以和三 會株社式

地番一目丁二橋京區橋京市京東
番七六四三番〇五三三(56)橋京話電
番四七一三三三京東替換

アイデアル化粧品

TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL



TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL TOYODO IDEAL

白粉
クリーム
化粧水
ポマード
香水



株式會社
高橋東洋堂

香料



製飲 一般化粧品用
 香水 洗滌用品用
 化妝油 香水
 白粉 香水
 香水 用
 香水 用

長谷川藤太郎商店



佛國デロン香料會社關東代理店
 東京市日本橋區本町四丁目
 電話日本橋(24)三四八一・三四八三番 總管東京五一三八番

アデカ石鹼 ノール化粧石鹼

アデカ洗石鹼



旭光舎 アデカ石鹼
 東京發賣元

東京市本郷區元町二ノ三

旭電工業株式會社

東京市丸ノ内三丁目

植物性

小柳スマート髪洗粉

小柳香油・小柳石鹼
小柳クリーム・日満蠟燭

本舖

柳佐吉商店


東京市日本橋區小網町
電話茅場町九四一番

龜戸工場 電話墨田九四九番



各種石鹼製皂

型狀・包裝其他共
貴需に應じ申候



創業明治二十五年

芳誠舍

會社名

東京市本區綠町三丁目

電話本番一〇二二



セルロイド製

化粧品用具
文房具
玩具雑貨

東京市浅草区柳橋二丁目一十一番地ノ二

荻村龜太郎商店 合名会社

電話浅草三九四(84) 振替東京一四六一番

東京市東區戸町六丁目八十六番地

荻村セルロイド工場

電話墨田(74) 四五〇番

DUFF

化粧パフ

コットンペロアーパフ各種
シルクスキンパフ
輸出向パフ各種
コンパクト用パフ

元發賣化粧パフヴァーニカ

河合商店

東京市板橋區板橋町二丁目五三八
電話大塚(86) 1165番
振替口座東京 49663番

よい匂いお肌の美を増す
ルキ・カニ石鹸

御名特製石鹸の御用命に應ず

横濱市磯子區根岸馬場町

本舖 成和商會 株式会社

電話本局八八九番

大阪東區淡路町三丁目

名聲品質
共に日本第一

あな知らば

純無鉛



印ワチウ赤

本舖
徳田商店
東京市下谷區清水町五

東京市漢革區駒形一ノ三番地

小間物
雜貨問屋 又 杉田貞治商店

電話漢革(84) 二三八〇番
振替東京 三六一九八番

茶物

乾物



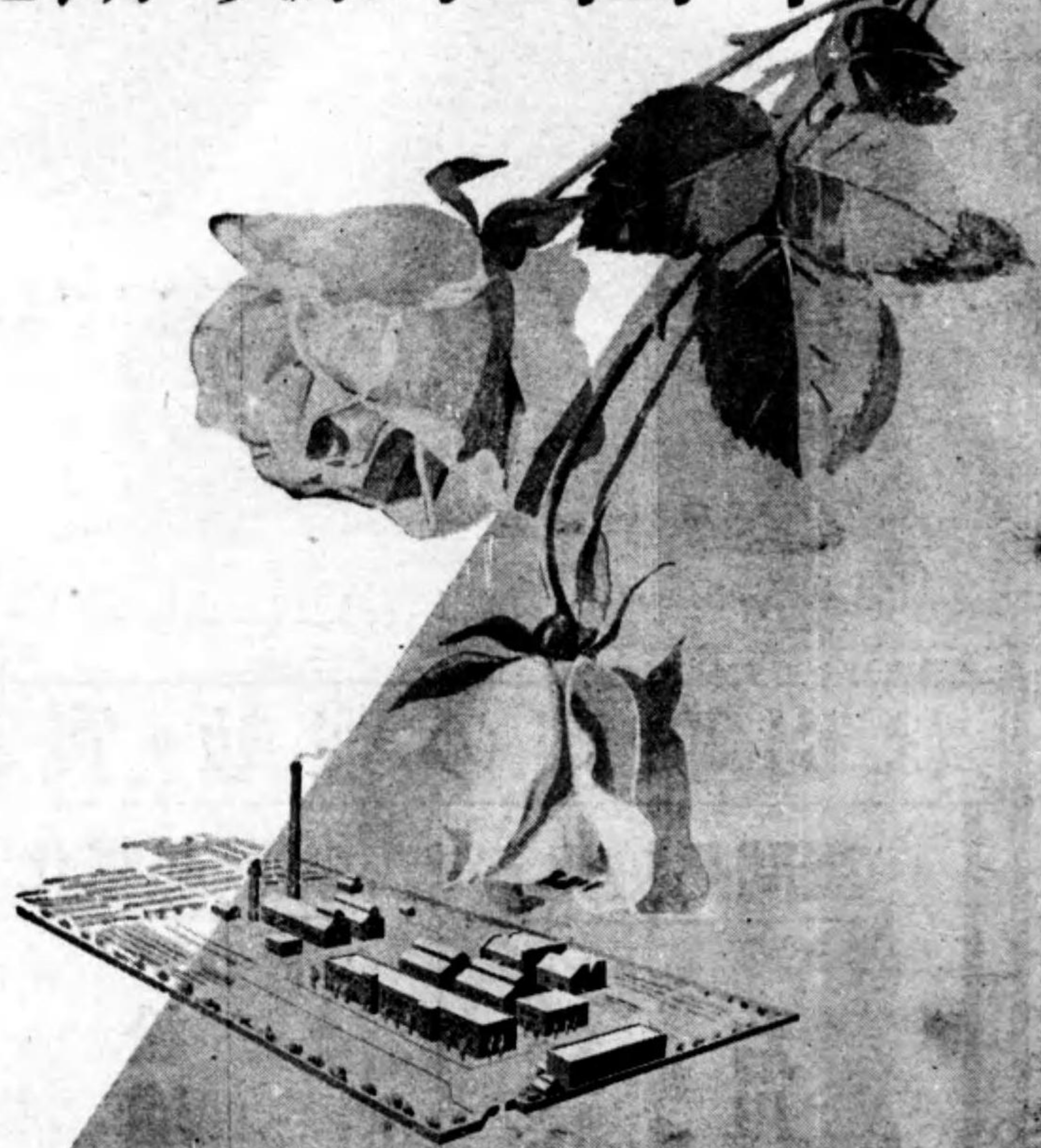
中村茂八商店

東京市日本橋區小網町

電話茅場町(66) 三九九四九

問屋

國産化粧品の 麗朗の源泉 **香料**



塩野香料株式會社

大阪市東區道修町三丁目
電話北漢(23) 3031・3032・1663

東京市芝區田村町 島羽ビル

工場 大阪市東淀川區新高北邊三丁目
電話北漢(23) 2293

臺灣工場 臺灣新竹州竹東街上公館

元給配總料粧化一ィテシ

屋問品粧化



社 會 式 株 共 丸

地 番 九 町 山 横 區 橋 本 日 市 京 東

番 〇 二 二 〇 番 九 七 一 〇 (67) 花 浪 話 電



ベタツカ又肌アレ止め・皮膚榮養血精含有

アレミヤウ

コロイドクリーム

美 人 素

鶯の精洗粉

舖 本

店 商 本 楠

地番一五四一丁目四黒目中區黒日市京東

番九七五一(49)崎大話電

番八三〇三八京東替振



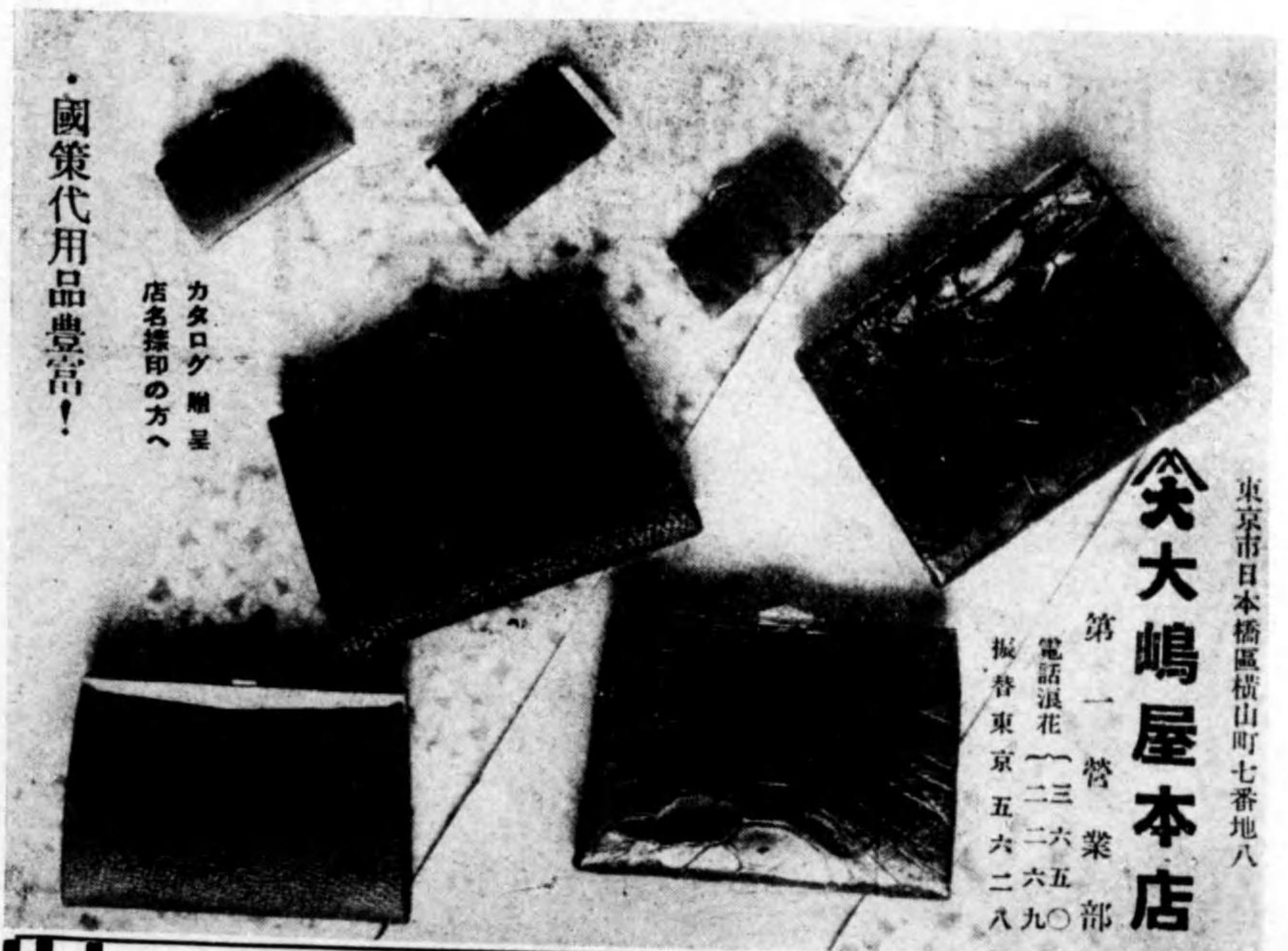
よく賣れる！
 最古の歴史をもち、今、新人の
 絶対支持を誇る ビクトリヤは
 婦人衛生界の明星として
 銃後に 國策の第一線に
 彈丸の如く……賣れる！

新製品	
ビクトリヤズロースバンド 定價	
特製 (ズロースは 黒色、白色の二種)	1.50セン
別製 (ズロースは黒色)	1.50セン
特製掛替ゴム	.40セン
別製掛替ゴム	.35セン
ビクトリヤ月經帶 定價表	
運動用.....1號	.80セン
保潔用.....2號	1.10セン
徳用品.....3號	1.40セン
二重裝置.....花號	1.30セン
ズロース付.....星號	2.40セン

自由自由な月經帶 ヌレジヨ・ズマルユ

ビクトリヤ

東京市浅草区田町一丁目
 大和製薬株式会社
 振替東京一〇三二八番



東京市日本橋區横山町七番地八
大嶋屋本店
 第一營業部
 電話浪花 二二六五〇
 振替東京 五六二八

國策代用品豊富！
 カタログ贈呈
 店名捺印の方へ

は引取御の強勉・實確

化粧品問屋

方 印髮洗粉原料 發賣元
 すみ田川髮洗粉
 尾張屋
石川善三郎商店
 東京市浅草區雷門一ノ六ノ八
 電話浅草(84)一五六四番
 振替東京一〇三二八番

化粧品問屋

越前屋
松浦嘉七商店
 東京市浅草區山谷二丁目五
 電話浅草(84)一三二八番
 振替東京一〇三三六一番

Table with 4 columns: Item Name, Unit, Price, and Percentage. Items include various oils, chemicals, and agricultural products.

とならう。

② 業界関係工場の復興

かうした一般的開張の進行は、又業界関係工場の新設復興を、誘致しつつあるものやうだ。

上海における石油工場は事變前五〇に達し、事變により全滅せる邦人工場は上海石油工業、支那人經營は中央石油廠、無敵香皂廠、裕華皂廠、廣通肥皂公司、亞州皂廠、永和實業公司であり、休業中のもの五州固本、雁中皂廠、福隆皂廠等がある。

上海油脂工業(日) 造、目下ヘット製造 昨年六月より石油製造 五州固本皂廠(支那) 日産 三〇〇箱 南昌燭皂廠(支那) 不詳 第一公司(日) 粉末石鹼及原料 (年三〇〇〇箱) 花玉石鹼(支那) 不詳 瑞寶洋行(日) 不詳

なほ日本油脂は右の内五州固本(支那人經營)を軍委任經營としたのはじめ振華油漆股份有限公司(上海)北資

③ 邦品の進出状況

一般化粧品類の工場新設は北支において具體化したところもあるが、今やその端緒についたものといふべく、建設工作の進捗とともに、邦品の進出も亦著しいものがある。

Table with 4 columns: Item Name, Unit, Price, and Percentage. Items include various chemicals and oils.

Table with 4 columns: Item Name, Unit, Price, and Percentage. Items include various chemicals and oils.

中支の油脂工業

今事變勃發に依つて支那の被つた被害はあらゆる工業部門に亘つて最も深刻であつたが、特に支那で最も工業化された中支の心臓部に當る上海が今回の禍に

豊富な油脂原料

支那に於いて生産される一般油脂は、先づ植物油として桐油を始め、棉實油、豆油、落花生油、菜種油、胡麻油、茶油、亞麻仁油、桂油、柏油、茴香油等があり、殊に桐油は對米輸出品中の大宗として生糸に劣らぬ重要品となつて居る。

然しその搾油方法は殆んどすべて農民の自家工業的工房で、機械製油業の發達の程度は極めて低い。粕が肥料として需要の多い棉實油並びに豆油は漸次工業化されつつあり、菜種と落花生の搾油がこれに次いでる現状である。

事變前の江蘇省主要工場業態 縣別工場工人 資本 年産油 年産粕 上海 三、三六三、一〇七 二、四〇、六六六 無錫 八、三三三、一八三 四、四、五三三

Table with 4 columns: Item Name, Unit, Price, and Percentage. Items include various oils, chemicals, and agricultural products.

Table with 4 columns: Item Name, Unit, Price, and Percentage. Items include various oils, chemicals, and agricultural products.

外装見易き處に荷印及番號を附しあることを要す、但し、麥粉、米、高粱の如き雜穀、砂糖、石油等の如き内容簡單にして大量貨物や木材、竹、引越荷物等は除外荷印並に番號のない貨物は申告書が鑑定課へ廻る前か又は検査に廻される前に十六弗の料金を拂つて海關吏看視の下に荷印番號を附すること、番號は續き番號でなくともよい船積によるか、又は積出日或は注文に依る續き番號でもよい。

この種の番號のない貨物は當然再輸出の特権が與へられない。凡ての輸入貨物には荷印及番號を附しあるを要するは前述の如くである。がその荷印番號はブリキ切抜型を用ひ印刷用インキにて刷毛にて明らかに附しあることを要す、毛筆又はインキにて書かれたる貨物は十六弗の料金を拂つて海關吏立會の下に刷込みのものに附け直さなければならぬ。

以上述べ来た如く荷造不完全、荷印、番號のない貨物は荷主自體が蒙る損害は莫大であるから輸送前に關心が必要である。荷印、番號の外に貨物に荷札を附する事は荷捌上確實な標識となり必要なことである。運送途上落脱の懼れなきよう木札を付ければ一層よい特に引越荷物の行李等にも荷札落ちの爲め荷捌不能となる場合が多い。荷札には他に複雑な文字を記入する必要なく單に受荷主の氏名住所を明記してあれば充分である。

荷札 荷印、番號の外に貨物に荷札を附する事は荷捌上確實な標識となり必要なことである。運送途上落脱の懼れなきよう木札を付ければ一層よい特に引越荷物の行李等にも荷札落ちの爲め荷捌不能となる場合が多い。荷札には他に複雑な文字を記入する必要なく單に受荷主の氏名住所を明記してあれば充分である。

滿・支向商品見本携行上の注意

滿支が圓プロツクの圈内に入つたために、滿支との取引を、一切内地取引の延長と考へ、手輕に考へてゐる例が少なくない。最近の臨時輸出入品措置法による取締が、外貨獲得の見地からみて、第三國向輸出をのみ外國貿易と認めるに至つたため、殊に滿支向輸出入について、内地取引と同様に考へてゐる向もあるやうである。しかしこのために知らず識らず國法に抵觸する場合も考へられるのである。

滿支と雖も、外國爲替管理法上においては、儼然たる外國であつて、同法の支配を受けるのである。即ち、原則として

滿支に貨物を輸出するにも外國爲替の取組が必要

なのである。外國爲替の取組を行はずして貨物を滿支に輸出すれば、原則としては、外國爲替管理法に違反することになるわけである。従つて最近の如く滿支との間の取引が頻繁になり、内地取引と同様に考へるに至ると、輸出貨物に付き爲替を取組まず、信用貸としてやるやうになるが、何らの手續もとらずして、信用貸を行へば、明かに原則上は外國爲替管理法に違反することとなるのである。そこで輸出貨物についてその

C、船荷證券の作成に就て

船荷證券に就いてはその種類と特約事項を後述するも此の項に於いては天州向け輸出業者殊に船積取扱店に於いて船積申込書に漫然と貨名を記入し船荷證券面の貨名もその儘記載され往々明細書の貨名と異なる爲通關運送を來たすことが多い。即ち天津海關に於いてはマニユフェストデスクにて船荷證券面の荷印番號、貨名とマニユフェスト面のそれと申告書面のそれと照合し、三つの記載事項が一致せねば引出許可とならない、若し不一致の場合は貨物は再検査され、その上で實際の貨名の通りマニユフェストの訂正を船會社に依頼し三つの書類面が完全に一致する迄引出を待たなければならぬ。例へば申告書が肉離詰なれば船荷證券面並にマニユフェスト面も肉離詰(Can not Be)にて食料品ではない。

斯る一寸した船積當時に於ける不注意が到着港の天津に於いては數倍の手續を要す損害を蒙ることとなるから注意が必要である。D、貨物明細書の作成仕切書 Invoice 輸出入貨物の通關手續上貨物明細書は不可欠のものである、往々にして貨物明細書は輕視して取扱運送店に全々一任してその作成を命じ甚だしきは低價の貨物には仕切書は無用であるといつた考へが荷主間にあるのは遺憾である。如何なる貨物と雖も船荷證券のみにては税關に提出する申告書は作成出来ない。故に通關手續となり前述の如き過期税とか特別検査料を科せられることに

價格の全部又は一部につき外國爲替を取組まざる場合は大藏大臣の許可を得なければならない

を得なければならない。即ち全部又は一部の無爲替輸出については、輸出者はその輸出品品について、正副二通の許可申請書を作成し、郵便局又は税關を經由、大藏大臣の許可を得なければならない。これによつて、外國貿易の決済方法として、爲替付を勧奨し、無爲替輸出に一定の制限を加へようとしてゐるわけである。ここに「貨物の價格」といふのは取引價格で、輸出申告書のC・I・F價格と必しも一致しないが、兎に角、外國居住者に対する賣價、或ひは見込賣上價格をいふのである。かやうに、原則的に無爲替輸出は大藏大臣の許可を必要とするが、これには、十三箇の場合に限つて例外を認め、大藏大臣の許可なくして無爲替輸出ができることになつてゐる。

- 一、邦貨の強制通用力を有する地域(關東州及舊滿鐵付屬地)へ輸出するとき。
- 二、見本として又は寄贈の爲輸出するとき(見本は販賣を目的とするものを含まぬ)
- 三、委託販賣の爲輸出するとき又は委託販賣の爲輸入したる貨物を外國向輸出若し返送するとき
- 四、貨物輸出前本邦内に於てその代金を外國より受領済むるとき又は本邦内に於いて外國より代金受領済の貨物と取換の爲輸出するとき

なるから、低價の貨物明細書が必要である、特に荷主各位に強調したい。

明細書は申告書の指針となることであるから、これに記載する荷印、番號、個數、貨名、單價、總價格については特に深甚の注意を以つて妥當な税金を納入することを第一と心掛けて欲しい。

- 往々不正數量、不正價格を申告してそれを無理に押通そうとするからトラブルを生じるのである。海關吏も人間である以上、或ひは一度や二度はその不正を見落し思はぬ目前の利を得るかも知れないが、斯ることは決して永續すべきでない。新興亞大理想に着眼し自ら恥ぢざる明細書の作成が望ましいのである。明細書作成上の注意としては
- イ、賣主が作成したものにて責任者の捺印すること
- ロ、正副二通作成すること
- ハ、荷印、番號、個數に相異なきこと
- ニ、出荷主、荷受主の氏名、商號、並に船積港を明記すること
- ホ、包装箱内の荷造明細別に記載のこと
- ヘ、製作材料並に用途を明記すること
- ト、記載價格が何處渡價段か明記すること
- チ、課税價格は、天津沖價段に五分加算したものとされてゐるから何等記載なき價格は全て「F.O.B.」値段と査定され天津迄の船賃、保險料を加算されるのであるから明細書面に必ず「F.O.B.」(大連・大阪)と記入すること
- リ、輸入税從價税、重量税、數量税の三種に分れるからそれに適應した價格重量數量明記のこと(通關簿参照)

止むを得ないことである。華人側六十萬人の消費力を全然無視する譯には行かぬが、大部分の邦人商店は共喰状態にあることは否めない。四月末現在に於ける南京領事館の調査による邦人職業別統計表に據れば如左。

浴場	電氣工業請負	二〇
理髮店	鐵工	一〇
古物店	旅行案内所	一
齒科醫院	自轉車商	七
洋山	鋼鉄力細工商	一
洋服屋	飲料水製造販賣	三
果物商	建築材料商	一
製麵業	裁縫仕立業	三
産婆	醸造	五
看護婦會	圖書新聞取次	九
藥種商	圖書新聞取次	九
藥劑賣藥	計	一〇
按摩	屋	四
代書業	保險	三
雜貨貿易商	病	七
甲種料理店	興	一
乙種料理店	興	六
旅館貸問業	靴	一
菓子製造販賣	製粉	一
土木建築請負	豆腐製造販賣	九
寫眞業	自動車販賣業	二
飲食店	二倉庫	一
貨自動車業	運送	二
自動車修理業	石油ガソリン販賣	四
生魚肉業	度量衡販賣	一
遊藝場	燃料	七
遊樂場	劍	七
興業	刀	五
質屋	扇	二

洗濯業	六
製木業	三
百貨店	一
飲料水	一
印刷業	六
電氣器具商	二
支那銀貨買入商	四
看板製作業	一
計	八五

華人復業狀況 華人側の復興状態は大體良好で、事變前の百萬人に對し現在では六十萬を超過してゐる。

然しこれらは何れも皆中流以下の階級で、労働者が多く地主、資本家等は殆んど復歸を見てゐない。これは戦區一般の傾向であるが、殊に南京は資本家階級が役人なる關係上一層これが激しくなつてゐる。華人側の經濟的復興に關しては、南京總商會籌備會が當局との密接なる連絡の下に、之れに當り相當の効果を擧げて居る。復歸華人の職別は、邦人側同様雜貨商、飲食店旅館等が多く、その他米穀業がこれに匹敵し、全體の1-3を占めてゐる。

交通狀況 南京には津浦、海、南、寧三線が交叉し、一方揚子江岸にも面する等、交通上の要路に當り南京を中心とせる交通網は四方に走つてゐる。水路は日清汽船、内河汽船、陸路は華中鐵道、華中市自動車、此の他空輸方面に日本航空、中華航空兩社がある。

これは許可を要するのである。出張販賣員の携帶する商品見本は第十三號の荷物と認められ、各種の商品見本を携へこれを無償譲渡する他、有償譲渡しても見本そのものを販賣に供する目的のものではないから、大蔵大臣の許可を要しないが、その認定は難かしい、しかし、ここに注意すべきは

無為替でも有為替でも貨物輸出には報告の義務がある

これは無為替輸出の場合において大蔵大臣の許可を要しない前記十三箇の場合のものである。即ち、全部無為替輸出については、その全部無為替輸出報告書を正副二通作成し、輸出申告、郵便差出の際、税關、又は差出郵便局を経て大蔵大臣に提出しなければならない。但し慈善又は救恤の爲の寄贈品、官廳の輸出品、價額百圓以下の物、手荷物、引越荷物、船用品は、この報告も必要でない。したがつて、出張販賣員が満支に見本を携行する場合に、ここで全部無為替輸出報告書を税關に提出する義務があるわけである。かやうに無為替輸出について報告書が必要であるばかりでなく全部有為替についても、一部有為替についても、同様な報告が必要である。

無為替輸出貨物の代金回収の義務

無為替輸出につき報告を求めるのは、その代金の本邦回収を命じてゐるから

て、許可を得て無為替で輸出しても、又は例外規定で許可を必要とせず無為替で輸出しても、凡そ荷荷後五箇月以内にその代金を回収しなければならぬ。その代金を外國で消費し、又は五箇月内に回収できない場合には、それ／＼代金不回収又は回収期間延長に付き大蔵大臣の許可を得なければならぬ。見本の輸出には元來代金回収といふことはない筈であるが有償譲渡の場合にはこの必要を生ずるものである。したがつて輸出取引において、信用貸の場合、貸倒に遭へば一定の手續をとつて大蔵大臣の許可を要すること當然である。

代金回収及び充當の状況も亦報告の義務がある

輸出者は、許可を受けたものでも、又例外規定で受けないものでも、各月正本一通を作成して代金の回収状況及び諸費用への充當状況について直接大蔵大臣に報告しなければならない。その期日は充當又は回収の月の翌月十五日である。なほ代金の回収は現金を以つてせず、必ず銀行又は郵便爲替を通じ、これによつて代金回収の報告を立證しうるやうにしなければならぬのである。凡て輸出はこの代金回収の報告の完了をもつて完了する。そこで、商品見本を携帶した場合に、その持ち歸りに當つても無為替輸入の手續をとつてこれを行はなければならず、商品見本の一部無償譲渡一部有償譲渡についても所定の報告をしなければその手續は完了したことにはならないので

ある。外國爲替管理法の罰則は過重であるから、満支との取引が密接化しただけに、これらの點について、十分にその實務につき研究すべく、大蔵省爲替局又は最密税關について不審の點を匡され、十分御相談に應ずることである。

輸出組合

輸出組合には、地域別の組合と、商品別の組合とがあり、孰れも輸出業者の組合である。地域別の組合は大抵設立されてなり、商品別の組合は、商工大臣の指定した重要輸出品に限られてゐる。化粧品もその指定を受けてゐるが、まだできてゐない。たゞ注意すべきは、輸出業者の組合から最近砂糖の輸出組合を作らうとして、輸出業者をならべたら、砂糖會社で實績のあるのは一軒だけ、結局、商を借して母屋をとられることになりさうで、愚案投首とやら。輸出組合の仕事は、輸出検査とか、市場統制とか、數量統制とかいふ統制事業を主體としてなり、これに必要な共同施設をしなければならぬ。しかしこのために、歐洲大戦當時みないな石の罐詰で日本品の信用を墮すことも防止できるし同時に外國からくる買崩しも防衛できることになる。

物資搬出入

一、搬入 搬入物資は日用雜貨が主で煙草、燐寸、砂糖、罐詰、石鹼、蠟燭、石油、蚊取線香、ビール等である。この他蕪湖方面より米の搬入がある。二、搬出 搬出物資としては南京が消費都市で糧食さへも自給自足困難なる状態にて殊に背後地もないところへ匪賊その他の關係にて出廻りが悪いと、搬出禁止品等より現在僅かに小麦、大豆、卵、牛骨、麻油等が移出されてゐる。物資の移出に關しては當局の許可を得れば邦人華人ともに自由出来る。

金融機關

南京市に流通してゐる通貨は、軍票、法幣、華興券三種であつて、日銀券は旅行者の持込み以外はない。その流通範圍は邦人街方面は軍票一色にして、華人街には法幣、華興券が殆んど占め、邦商と取引ある者のみが決済に軍票を使用する程度である。金融機關としては正金銀行、漢口銀行、上海銀行、華興商業銀行支店がある。正金銀行は主に軍方面の出納事務に従事し、上海漢口兩銀行は一般の預金、貸付、爲替等の業務を取扱つてゐる。華興商業銀行は維新政府の出納に従事する外、一般華人の預金、送金等を取扱つて居る。華人側の金融機關としては、唯一つで、華興券、法幣以外の通貨取扱をしない。南京の將來性は、海軍方面の協力から揚子江上流への碼頭建設計畫があり、實現せば内地、南京間直行航路が開かれ、南京の經濟的地位は一大飛躍を遂げる。

法規法 令法

例言

一、「法規法令」は、昭和十四年度中に制定、或ひは改正公布せられたる業界關係のものを輯録するを以てその建前とする點に於いては例年と變りなきも、昨年中新たに公布せられたるものは戦時立法として非常の多數に上れる爲、その全部を収むるの紙幅に乏しく、唯僅かに電力及物價關係法令の一部を録するに止めた。二、「重要物産同業組合法」「同施行規則」「同準則」等は、業界の基本的法規ともいふべきものなるも、それらは何れも九年、十年、十一年の年鑑に掲載しあるを以て今年もまたその掲載を見合はせることにした。三、「賣薬部外品取締規則」「化粧品規則」等の如き業界に於ける日常の營業に必須の諸規則のみは、前年と同じくこれを採録することにした。但「賣薬部外品取締規則施行細則」は、警視廳令のみを掲げ、全國各府縣の分は既往の年鑑に悉く採録しあるを以て是れを省いた。四、「藥業に關する法規」は浩翰にしてこれを網羅するは素より不可能なるを以て單に「賣薬法」及びこれに附隨する一二のもののみを採録した。五、「諸届書式」等の法定の資料は、前年と同じく、何れも此の欄に併せ收めてある。

價格等統制令

昭和十四年十月十八日 勅令第七百三號

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）に於て南洋群島に於て依る場合を含む以下同じ。第十九條の規定に基き價格、運送賃、保管料、損害保険料、賃賃料又は加工賃（以下價格等と稱す）に關し必要な命令を爲すは別に定むるものを除くの外本令の規定に依る。

第二條 價格等は昭和十四年九月十八日（以下指定期日と稱す）に於ける額を超えて之を契約し支拂ひ又は受領することを得ず但し閣令の定むる所に依り

價格等の支拂者又は受領者に於て行政官廳の許可を受けたる場合及本令施行の際現に存する契約にして其の際左の各號の一に該當するものに付ては此の限に在らず。一、注文生産品の價格に付生産者が生産に著手したるもの。二、其の他の價格に付買主其他の支拂者が目的物の引渡を受けたるもの。三、運送賃又は加工賃に付運送人又は加工者が目的物の引渡を受けたるもの。四、保管料、損害保険料又は賃賃料に付支拂者が履行運滞に在るもの。前項の指定期日に於ける額は價格等の受領者に付ての額に依り受領者別に定

まるものとし指定期日に爲したる契約ある場合は其の契約額（同じ事情の下に於て數種の契約額ありたるときは其の最高額）偶々指定期日に爲したる契約額なりし場合は契約額を爲したるべき額とす。價格等に付前項の規定に依る額なき場合に於ては閣令の定むるものを以て指定期日に於ける額とす。第三條 商工業業者等の組合其他之に準ずるもの閣令の定むる所に依り前條第二項又は第三項の額に代るべき額を定め行政官廳の認可を受けたるときは其の組合其他之に準ずるもの及其の構成員（構成員が組合其他之に準ずるものなる場合は其の構成員をも含む、第二項の場合亦同じ）に付ては其の額を以て指定期日に於ける額と看做す行政官廳必要ありと認むるときは閣令の定むる所に依り商工業業者等の組合其他之に準ずるもの地區内に於て其の構成員たる資格を有する者にして其の構成員に非ざるものに付ても前項の規定に依る額を以て指定期日に於ける額と看做すことを得。前項の規定に依る處分ありたる場合に於て第一項の規定に依る額の變更ありたるときは前項の額は當該變更額に變更せられたるものとす。第一項の規定に依る認可又は第二項の規定に依る處分は此等の處分實施の際現に存する契約にして其の際第二條第一項但書各號の一に該當するものに對しては影響を及ぼすことなし。第四條 行政官廳は指定期日に於ける額（前條第一項若しくは第二項又は第二十條の規定に依り看做さるるもの）を除く（閣令の定むる所に依り其の額を引下ぐることを得、但し其の引下げ實施の際現に存する契約にして其の際第二條第

前項の認可申請書には左の書類を添付すべし。
(一) 定款又は規約の寫
(二) 統制令第二條第二項又は第三項の類に代るべき額を定むるを必要とする事由及其の額の算定基礎を明かにする書面
(三) 前條の申請を爲すべき旨の決議書又は同意書の寫
第六條 統制令第二條第一項但書若し第七條第一項但書の許可又は同令第三條第一項の認可には制限又は條件を付することあるべし
第七條 主務大臣又は地方長官統制令第三條第一項の認可を爲したるときは左の事項を公示す
一、組合其他之に準ずるものの名稱及地區
二、構成員たる資格
三、統制令第二條第二項又は第三項の額に代るべき額及其實施の日
四、認可に付したる制限又は條件
第八條 統制令第三條第二項の處分は同條第一項の認可を爲したる主務大臣又は地方長官處分の旨及前條各號に掲ぐる事項を公示することにより之をなす
第九條 統制令第四條の規定により處分は主務大臣又は地方長官價格等の受領者に對し左の事項を通知することにより之をなす
一、價格等の引下後の額
二、引下實施の日
第十條 統制令第二條乃至第四條の規定は左に掲ぐる價格等には之を適用せず
一、財團 營業及無體財產權の價格及賃賃料
二、書畫骨董の價格
三、鮮魚介類(冷凍魚介類及鱈を除く) 生蔬菜及生果實の價格
四、家畜の價格及賃賃料並に家畜及立

五、輸出品たる綿絲及輸出品の原料若しは材料に用ふる綿絲(關東州、滿洲及支那のものを除く)の價格
六、生絲(玉絲及野蠶絲を除く)及繭(玉繭及野繭を除く)の價格
第十一條 統制令第六條第二項の規定により法令を定むること左の如し
アルコール專賣法
阿片法
遠洋航海補助法
家畜保險法
瓦斯事業法
漁船保險法
軌道法
輕金屬製造事業法
工作機械製造事業法
航路統制法
航空法
航空機製造事業法
小運送事業規則(昭和二年通信省令第三十六號)
重要肥料統制法
鹽賣規則
飼料配給統制法
重要肥料國營保險法
人造石油製造事業法
自動車製造事業法
自動車交通事業法
石油事業法
製鐵事業法
組製煉鋼煉油專賣法
倉庫專賣法
煙草專賣法
中央卸賣市場法
地方鐵道法
電力管理法
電氣事業法

賃 金 臨 時 措 置 令

昭和十四年十月十三日
勅令第七百五號

保管料及賃賃料に關する事項に付ては第四條第一項第一號の場合を除くの外地方鐵道事業、軌道事業(人力又は馬力を動力とするものを除く)及自動車運輸事業に在りては鐵道大臣、人力又は馬力を動力とする軌道事業に在りては起點所在地を管轄する地方長官、小運送事業に在りては所管鐵道局長其他の陸上運送事業に在りては主たる事業地を管轄する地方長官(東京府に於ては警視總監但し索道事業に在りては東京府知事及警視總監)とす但し第十四條の場合に在りては地方鐵道事業、軌道事業(人力又は馬力を動力とするものを除く)及自動車運輸事業を除くの外鐵道大臣小運送事業に在りては當該鐵道局長、其他の陸上運送事業に在りては當該地方長官(東京府に於ては人力又は馬力を動力とする軌道事業を除くの外警視總監但し索道事業に在りては東京府知事及警視總監)とす
本令に於て主務大臣、主務大臣又は地方長官、地方長官とあるは船舶の價格、賃賃料及水上運送賃賃料に關する事項に付ては總トン數百トン以上の汽船以外の船舶の買買價格、賃賃料及運送賃賃並に長さ五十米未満の船舶の製造價格に在りては所管通信局長、其他に在りては通信大臣とす但し専ら湖川を航行する船舶及總トン數百トン未満の船舶(浮船、曳船及總トン數百トン以上の運送船を除く)の買買價格、賃賃料及運送賃賃並に總トン數五トン未満の船舶の製造價格に在りては地方長官(東京府に於ては運送賃賃に在りては東京府知事及警視總監)とす
本令に於て地方長官とあるは醫藥品の價格に關する事項に付ては東京府に於ては東京府知事及警視總監とす
附則
本令は昭和十四年十月十日より之を施

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百七十七條)に於て依る場合を含む以下(同)第六條の規定に基き労働者の賃金に關する臨時措置に付ては本令の規定に依る
第二條 本令に於て労働者と稱するは船員として又は左の各號の一に該當する事業に従事する爲に雇傭せられ賃金を受くる者を謂ふ但し命令を以て定むる者を除く
(一) 鑛業、砂鑛業、石切業其他礦物採取の事業
(二) 物の製造、加工、淨洗、選別、包装、修理又は解體の事業(電氣、瓦斯又は各種動力の發生、變更又は傳導を爲す事業及水道の事業を含む)
(三) 土木、建築其他工作物の建設、改造、保存修理、變更、破壊又は其準備の事業
(四) 道路、鐵道、軌道又は索道に依る旅客又は貨物の運送の事業
(五) 船渠、船舶、岸壁、波止場、停車場又は倉庫に於ける貨物の取扱の事業
(六) 土地の耕作若し開墾又は植物の栽植、栽培、採取若し伐採の事業
其他の農業又は林業
(七) 動物の飼育又は水産動物の採捕若し養殖の事業其他の畜産業、養蠶業又は水産業
(八) 其他命令を以て定むる事業
第三條 本令に於て賃金と稱するは賃金、給料、手当、賞與其他名稱の如何を問はず雇傭者が労働の對價として

支給する金、物其他の利益を謂ふ
本令に於て基本給と稱するは定額賃金に於ける定額給又は賃賃金制に於ける保證給若しは賃賃金制に於ける賃賃率と稱するは獎勵加給、手当、賞與若しは命令を以て定むる賞與以外の賞與の基準又は賃賃金制に於ける賃賃率、賃賃時間、歩合若しは算定方法を謂ふ
第四條 事業の爲に労働者を雇傭する者(以下雇傭主と稱す)は其の雇傭する労働者の全部又は一部の賃金を引上げる目的を以て指定期日の基本給を變更したる場合に於ては變更したる基本給に依り賃金を支給することを要す
前二項の規定は命令を以て定むる場合には之を適用せず
第五條 指定期日後雇傭する労働者に付ては其の雇傭の際の基本給を以て指定期日の基本給と看做す
第六條 雇傭主は指定期日を超えざる試の雇傭期間を定めたる労働者に於て指定期日後其の試の雇傭期間を終りたるものに関し本令の適用に付ては其の試の雇傭期間を終りたる後に基本給を定めたる時に於て雇傭ありたるものと看做す
第七條 雇傭主は命令の定むる所に依り國家總動員法第一條の規定に基き指定期日後雇傭する労働者の雇傭の際の基本給を地方長官(東京府に在りては警視總監以下同)に報告すべし但し第八條第一項の規定に依り報告したる限内に依り雇傭する場合には此の限内に在らざる
地方長官前項の基本給を指定期日に於ける賃金に關する實情に鑑み不適當と

認むるときは第四條の規定の適用に付雇傭の際の基本給に代るべきものを定むることを得此の場合に於ては地方長官の定むるものを以て指定期日の基本給と看做す
第八條 雇傭主は労働者の雇傭の際の基本給に關する内規を地方長官に報告することを得
地方長官前項の規定に依り報告したる内規を指定期日に於ける賃金に關する實情に鑑み不適當と認むるときは前條第一項但書の規定の適用に付ては代るべきものを定むることを得、此の場合に於ては地方長官の定むるものを以て第一項の規定に依り報告したる内規と見做す
第九條 雇傭主は其の雇傭する労働者の全部又は一部の賃金を引上げる目的を以て指定期日の賃賃率を變更することを要す
雇傭主本令施行前其の雇傭する労働者の全部又は一部の賃金を引上げる目的を以て指定期日の賃賃率を變更したる場合に於ては變更したる賃賃率に依り賃金を支給することを要す
前二項の規定は命令を以て定むる場合には之を適用せず
第十條 雇傭主は命令の定むる所に依り國家總動員法第一條の規定に基き指定期日の賃賃率を地方長官に報告すべし
第十一條 同一の工場、事業場、事務所其他の場所に於て指定期日に賃賃率の定なき作業にして同種又は類似の作業に付賃賃率の定あるものに關しては其の賃賃率を以て指定期日の賃賃率と看做す
指定期日に賃賃率の定なき作業にして前項の規定の適用なきものに付指定期日後に賃賃率を定むる場合に於ては其の賃賃率を以て指定期日の賃賃

電力調整令
鐵道運輸規程
農業保險法
農業倉庫事業法
米穀統制法
米穀配給統制法
酪農業調整法
臨時肥料配給統制法
硫酸アンモニア増産及配給統制法
臨時船舶管理法
昭和十二年法律第九十二號(輸出入品等に關する臨時措置に關する法律)
第十二條 統制令第七條の規定に依る額の指定は主務大臣之を爲すものとす但し主務大臣に於て地方長官が額の指定を爲すべき旨を定めたるものに付ては地方長官額の指定を爲すものとす
第十三條 統制令第七條の規定による額の指定は告示によりて之を爲す但し軍機保護上告示を不適當とするものに付ては價格等の受領者に対する通知を以て之に代ふることを得
第十四條 統制令第十一條第一項の行政官廳は主務大臣又は地方長官とす、同條第二項の證票は別記様式に依る
第十五條 統制令第十二條第三號に掲ぐる價格等は左に掲ぐるものとす
一、私設保稅工場設置の特許を受けたる者にして明治卅三年勅令第九十九號第一條第三項の規定の適用を受けたるものが同項に規定する事由に因り當該保稅工場の作業に使用する物品の買入價格
二、金地金、金の合金、金を主たる材料とする物及産金法の含金産物の價格並に金資金特別會計法に依り金を運用する場合の物の價格
三、國營の鐵道、軌道及自動車並に其の附帶の業務に關する運送賃、賃賃

料及保管料
四、統制令施行地以外の地相互間(關東州、滿洲及支那の各地相互間を除く)に於ける運送の運送賃
五、統制令施行地以外の地より受領する保險料(統制令施行地と關東州、滿洲又は支那との間の運送に對する貨物の保險料を除く)及統制令施行地以外の地(關東州、滿洲及支那を除く)相互間の運送に對する貨物の保險料又は航海に對する船舶の保險の保險料
六、再保險料
七、日本船舶に非ざる船舶の賃賃料
第十六條 第二條第一項又は第五條の規定により提出すべき申請書及之に添付すべき書類は各二通を提出すべし
第十七條 主務大臣又は地方長官必要ありと認むるときは價格等の支拂者若しは受領者又は組合其他之に準ずるものを指定し其の第二條第一項又は第五條の規定に依り提出すべき申請書及之に添付すべき書類に關し別段の指示を爲すことを得、主務大臣必要ありと認むるときは價格等の支拂者若しは受領者又は組合其他之に準ずるものを指定し本令に定むるもの外必要なる書類の提出を命ずることを得
第十八條 統制令第十五條第五號の加工賃を定むること左の如し
一、米穀其他の穀物の穀摺賃及乾燥賃
二、炭燒賃
三、生糸挽賃
四、肥料の加工賃
第十九條 本令に於て主務大臣、主務大臣又は地方長官、地方長官とあるは陸上運送賃並に陸上運送に直接關聯する

基準と看做す

第十四條 前條に規定する雇傭主以外の雇傭主は命令の定むる所に依り其の雇傭する労働者の昇給内規を地方長官に報告することを前條第二項の規定は前項の規定に依る報告ありたる場合に之を準用す

第十五條 雇傭主相互間に於て又は厚生大臣の指定する組合若しくは團體に於て労働者の基本給、賃金基準又は昇給内規の定むる地方長官の許可を受けたるときは其の雇傭主又は其の組合員若しくは團體員(組合又は團體を組織する組合又は團體の組合員又は團體員を含む)たる雇傭主の爲す雇傭に於ては其の定に依るべし但し命令を以て定むる場合に於ては此の限りに在らず

第十六條 日々雇入れらるる者の賃金に付必要ある場合は命令を以て定むる場合に於ては地方長官は道府縣賃金委員会に諮問して労働者の基本給、賃金基準又は昇給内規の定むることを得前項の場合に於ては雇傭主は地方長官の爲したる定に依ることを要す但し命令を以て定むる場合に於ては此の限りに在らず

第十七條 前二條の規定に依る定にして労働者の雇入れの際の基本給以外の基本給に關するものなるとき、雇入れの際の基本給に關するものなるとき、賃金基準に關するものなるとき又は昇給内規に關するものなるときは其の定を爲したる事項に付各第四條の規定、第七條及び第八條の規定、第九條乃至第十一條の規定又は第十三條及第十四條の規定は之を適用せず

第十八條 雇傭主第三條第二項の規定に依り命令を以て定むる賞與に關し前年支給せざりし時期に之を支給せんとするときは又は其の賞與率を前年同期に支給したる賞與の賞與率より増加して之を支給せんとするときは命令の定むる所を以て之を適用せず

第二十五條 内地に於いて船員に關するものを除くの外籍業及砂礦業に付ては本令中地方長官とあるは鑛山監督局長とし道府縣賃金委員会とあるは鑛山賃金委員会とす

第二十六條 本令中逓信局長又は管海官廳の職權に屬する事項は船員法第一條第一項各款に掲ぐる船舶に乗込む船員に付ては地方長官之を行ふ

第二十七條 本令中厚生大臣とあるは朝鮮、臺灣、樺太又は南洋群島に在りては各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長又は南洋廳長官とし地方長官とあるは朝鮮に在りては州知事又は廳長、臺灣に在りては州知事又は廳長、樺太に在りては樺太廳長官、南洋群島に在りては南洋廳長官とし道府縣とあるは朝鮮に在りては道、臺灣に在りては州又は廳、南洋群島に在りては南洋群島地方費とす

賃金臨時措置令 施行規則

昭和十四年十月十九日 厚生省令第三十四號

府交通局長又は管海官廳とす

第二十八條 第十六條中道府縣賃金委員会に關する規定及第廿一條の規定は朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島には之を適用せず

附則 本令は昭和十四年十月二十日より之を施行す但し朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島に在りては昭和十四年十月廿七日より之を施行す

本令は昭和十五年十月十九日迄其の効力を有す但し同日以前に爲したる行為に關する罰則の適用に就ては同日後とも雖も仍其の効力を有す

第一條 賃金臨時措置令(以下令と稱す) 條二條第八號の事業を定むること左の如し (一) 物品販賣業(料理店業、飲食店業を除く) (二) 銀行業 (三) 信託業 (四) 保険業 (五) 無盡業 (六) 倉庫業

其の雇傭する労働者の基本給を變更し令第九條第三項の規定に依り賃金基準を變更し又は令第十五條但書若しくは第六條第二項但書の規定に依り令第十五條若しくは第十六條第一項の規定に依る定に依らざることを得 (一) 天災事變に際し必要あるとき (二) 労働時間其の他労働條件に著しき變更ありたる時 (三) 其の他已むを得ざる理由ある時

第六條 雇傭主は同一の工場、事業場、事務所其の他の場所に於て當時雇傭する労働者が五人以上なるときは令第七條第一項の規定に依り前月中に基本給を定めたる労働者を雇入れの際の基本給を様式第一號に依り毎月十五日迄に地方長官に報告すべし但し日雇入れらるる労働者を雇入れる場合に於ては此の限りに在らず

給の額若は率及算定方法 作業又は製品の種類多敷なるときは前項各款の事項に關する記載は主要なる作業又は製品に付爲すを以て足る 第一項の規定に依る報告に於て手當、賞與給與又は賞與に關するもの、在りては其の報告書には左の事項を記載す (一) 事業の種類、従業場所の名稱及所在地 (二) 手当の種類並に其の種類毎に額若は率及給與條件 (三) 賞與給與の種類並に其の種類毎に額若は率及給與條件 (四) 賞與の種類並に其の種類毎に額若は率及給與條件

第十三條 主務大臣必要ありと認むるときは前條の定に加盟せざる會社に付ても船員給料委員會に諮問して前條の定を以て第五條の規定の適用に付其の會社の指定期日に於ける船員に關する給料手當の準則と看做すことを得

第十四條 前二條の場合に於ては第六條の規定に依る報告又は第七條若しくは第八條の規定に依る許可ありたるものと看做す

第十五條 會社は何等の名義を以てするを問はず第五條、第九條及第十一條の規定に依る制限を免るる目的を以て職員に對し給與を支給することを得ず

第十六條 主務大臣は職員に對する給與に關し國家總動員法第三十一條の規定に依り報告を徴し又は當該官吏をして事務所、工場、事業場、船舶其の他の場所を臨檢し業務の状況若しくは帳簿書類其の他の物件を検査せしむることを得

第十七條 本令施行に關する重要事項に付主務大臣の諮問に應ずる爲職員給與臨時措置調査委員會を置く

第十八條 本令は會社利益配當及資金融通令第七條の規定の適用を妨げず

第十九條 本令は裁判所が決定を以て定めたる報酬には之を適用せず

第二十條 本令に於て主務大臣とあるは左の各號に該當する場合に於て各其の定むる所に依るの外總て大藏大臣とする

(一) 特別の法令に依り設立せられたる會社に在りては當該會社を監督する所管大臣

事業法、製鐵事業法、輕金屬製造事業法、石油業法、人造石油製造事業法、大正十五年勅令第九號又は産金法第三條の適用を受くる事業のみを營む會社に在りては商工大臣

其の代理官をして同條の規定に依る臨檢検査を爲さしむること

本令は昭和十四年十月二十日より之を施行す但し朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島に在りては昭和十四年十月二十七日より之を施行す

令第七條の規定に依り主務大臣の許可を受けたる準則又は令第八條の規定に依り主務大臣の許可を受け變更したる準則に依らずして増給し又は新に支給せんとする給料手當の種類

可申請書を本令施行前設立したるものに在りては本令施行後三十日以内に、本令施行後設立したるものに在りては設立後三十日以内に主務大臣に提出す

一、役員に對する賞與に關しては百圓に其の賞與の属する事業年度の月數を乗じて得たる金額に當該事業年度末に於ける役員數を乗じたる金額

其の後に於て之を支給したる最初の一月間とす

第九條 國家總動員法第二十七條の規定に基き補償すべき損失は第四條、第五條又は第七條第一項の規定に依る處分に因る通常生ずべき損失とす

電力調整令施行規則

昭和十四年十月十八日 逓信省令第四六號

第一條 新に電力を受電し又は受電電力を増加して電力の消費を爲さんとする者は左の區別に依り逓信大臣又は逓信局長の認可を受けべし

第二條 前條の規定に依り認可を受けんとするときは申請書に左に掲ぐる事項を記載し之を逓信官廳に提出すべし

第三條 電力消費施設の施設場所及概要指定する限度を越ゆる電力消費装置を新設又は増設して電力の消費を爲さんとするものに對し電力を供給せんとす

第一條 關稅定率表輸入稅表に掲ぐる物品にして本令の別表に掲ぐるものは商工大臣の指定したる團體(以下商品別統制團體と稱す)の承認を受けるに非ざれば之を關東州、滿洲國又は中華民國に輸出することを不得

關東州滿洲國及中華民國向輸出調整に關する件

昭和十四年九月二十日 商工省令第三〇號

第一條 本令の施行に關する重要事項に付行政官廳の諮問に應ずる爲電力調整委員會を置く

第二條 逓信大臣は本令に定むる職權の一部を逓信局長又は地方長官(東京府に在りては警視總監)に委任することを得

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

第一條 本令に來遊する外國の元首及其の一族並に其の從者に屬する物品

法規法令

Table of regulations and laws, including categories like 'Fish and Shellfish', 'Wool', 'Leather', 'Textiles', and 'Agriculture'. It lists specific items and their corresponding administrative bodies.

Table of regulations and laws, continuing from the previous page. It includes categories like 'Textiles', 'Leather', and 'Agriculture' with detailed item listings.

二其の他

Table of regulations and laws, including categories like 'Textiles', 'Leather', 'Agriculture', and 'Miscellaneous'. It lists specific items and their corresponding administrative bodies.

法規法令

Table of regulations and laws, including categories like 'Textiles', 'Leather', 'Agriculture', and 'Miscellaneous'. It lists specific items and their corresponding administrative bodies.

第二條の規定に依る指定團體

昭和十四年九月二十三日 商工省告示第二四九號

東京府一圓 神奈川縣一圓 靜岡縣一圓 愛知縣一圓 岐阜縣一圓 新瀉縣一圓 富山縣一圓 大坂府一圓 兵庫縣一圓 德島縣一圓

第四條の規定に依る期間

昭和十四年九月二十三日 商工省告示第二四九號

昭和十四年六月一日より同年八月三十一日に至る期間

輸出石鹼検査

昭和十四年六月十五日 商工省令第二六號

重要輸出品取締法施行規則中左の通改正第一條に左の一號を加ふ

二十三、石鹼(化粧用、洗濯又は機械工業用に供する脂肪酸又はロジン酸のアル

輸出石鹼指定標準

昭和十四年六月十五日 商工省告示第一三三號

昭和十一年十月商工省告示第八十三號重要輸出品検査標準中左の通改正し昭和十四年十月一日より之を施行す

- 一、日本標準規格第三百二十號石鹼分析及び試験方法第三章又は第四章の方法に依り測定したる化學的成分、摩摺溶解度、比表面張力又は比表面張力別表の標準に該當せざるもの但し豫め検査機關の承認を受けたるものは此の限に在らず
- 二、泡立不良なもの
- 三、黴菌を生じ易きもの
- 四、斑點若しくは色斑著しきもの又は型打不良なるもの
- 五、化粧石鹼にして惡臭あるもの
- 六、前各號の一に該當せざるも不良と認められるもの

法規法令

〔別表〕 化學的成分摩解度、比表面張力及比界面張力標準

Table with 4 columns: 化學的成分摩解度, 比表面張力, 比界面張力, and 標準. Rows include items like 水, 酒精, 煤油, etc.

備考

- 一、純石鹼、遊離アルカリ、炭酸アルカリ、中性脂肪及不飽和物、アルコ...

輸出刷子統制令

昭和十三年十一月一日 商工省告示第三二一號

貿易組合法施行規則第三十一條の規定に依り左の通定む

日本刷子輸出組合輸出統制要綱

本年十一月商工省告示第三二一號に依り刷子又は關東州、滿洲國又は中華民...

ツク(以下統制品と移す)を販賣目的を以て輸出を爲す者...

輸出獸毛製刷子取締規則

大正十年八月二十日 農商省令第二十六號

付組合の承認を受くること 三、輸出統制手続料に關する事項...

商店法

昭和十三年三月二十六日 法部第二十八號

第一條 本法は市及び主務大臣の指定する町村(町村に準ずべきものを含む)...

行政官廳は命令の定むる所に依り地域を限り前項の時刻を午後十一時迄繰延ぶることを得

第四條 業務の繁忙なる時期に付行政官廳は必要ありと認むるときは期間又は地域を限り一年を通じて六十日以内前二條の規定を適用せず又は前條の時刻を繰延ぶることを得

前項の外臨時必要ある場合においては店主は行政官廳の許可を受け第一項の就業時間を延長することを得

第八條 前條第一項の店舗に在りては店主は十六歳未満の者及び女子に毎月少くとも二回の休日を取らなければならない

商店法施行令

昭和十三年八月三十一日 勅令第六百十九號

第一條 商店法第一條第一項の物品販賣之を定む

商店法施行規則

昭和十三年八月三十一日 厚生省令第二十五號

第一條 地方長官(東京府に在りては警視總監以下之に同じ)必要ありと認むるときは夜間特別に閉店する地域にして...

適用せざることを必要とする事由
第三條 店主常時五十人以上を使用するに至りたる時は左に掲ぐる事項を十日以内に地方長官に届出づべし

第九條 商店法第十一條第二項の認可の別記様式に依る
第十條 商店法第十二條第三項の認可の申請は左に掲ぐる事項を具し地方長官に之を爲すべし

附則
本令は昭和十三年十月一日より之を施行す但し商店法第三條及第六條の規定(同法第十七條に於て準用する場合を含む)實施の爲に豫め必要なる範圍内に於ては昭和十三年九月一日より之を施行す

附則
本令は昭和十三年十月一日より之を施行す但し商店法第三條及第六條の規定(同法第十七條に於て準用する場合を含む)實施の爲に豫め必要なる範圍内に於ては昭和十三年九月一日より之を施行す

賣藥部外品取締規則

第一條 本令に於いて賣藥部外品と稱するは左の各號の一に該當する效能ありとする藥物及内務大臣の指定する物を謂ふ
一 疾病の豫防又は皮膚障害の豫防若くは除去
二 滋養、強壯、心身爽快又は身體諸機能の増進若くは抑止

第三條 前項の免許を受けた後賣藥部外品の品名、原料品若くはその分量、用法、用量又は效能を變更せんとするときは前條の規定に準じ更に免許を受けなければならない
第四條 賣藥部外品の發賣者その主たる營業所に變更したるときは十日以内に後主たる營業所所在地地方長官に届出づべし

附則
本令は昭和七年九月一日より之を施行す
既に納付したる手数料は如何なる事由あるも之を還付せず
第九條 規則第四條に依る主たる營業所變更届には品名、前營業所及第二條各號の事項を記し免許證を添へ後主たる營業所所在地警察署を経由すべし

化粧品取締規則

第一條 本令に於て化粧品と稱するは左の各號の一に該當し、薬品、賣藥及賣藥部外品に非ざるものを謂ふ
一、白粉、白粉下、化粧水、クリーム
二、紅、眉墨、洗粉、爪磨劑の類
三、頭髮用香水、ポマード、チツク、香油の類
四、齒磨
五、其の他人體の美容衛生に直接關係ありと認むるもの

附則
本令は昭和七年八月二十三日警察廳令第二十四號
昭和十三年七月警察廳令第二十二號改正
本令は昭和七年九月一日より之を施行す

附則
本令は昭和七年九月一日より之を施行す
既に納付したる手数料は如何なる事由あるも之を還付せず
第九條 規則第四條に依る主たる營業所變更届には品名、前營業所及第二條各號の事項を記し免許證を添へ後主たる營業所所在地警察署を経由すべし

賣藥部外品取締規則施行細則

第一條 賣藥部外品取締規則(以下單に規則と稱す)及本令に依り警視總監に提出する申請書及届書は美濃紙を用ひ主たる營業所所在地警察署を経由すべし
第二條 本令に依り申請人及届人にして未成年者又は禁治産者なるときは法定代理人、準禁治産者なるときは保佐人妻なるときは夫の連署を要す

附則
本令は昭和七年九月一日より之を施行す
既に納付したる手数料は如何なる事由あるも之を還付せず
第九條 規則第四條に依る主たる營業所變更届には品名、前營業所及第二條各號の事項を記し免許證を添へ後主たる營業所所在地警察署を経由すべし

賣藥法

大正五年三月三十一日
法律第十四號
大正五年六月改正

二、名稱
三、原料品名及其分量(原料品に於て成分不明なるときは定量分析表を添付すること)
四、用法、用量及效用
前項第二號乃至第四號の事項を變更せむとするときは前項の手續を爲すべし但し第二號の場合には本品の添附を要せず
第五條 削除
第六條 削除
第七條 化粧品には容器又は被包にその名稱及發賣者の氏名(法人に在りては其の名稱)又は商號並營業所を明記すべし
第八條 化粧品の發賣者所在不明三ヶ月に及びたるときは其の届は效力を失ふ
第九條 發賣者左の各號の一に該當するときは十日以内に届出づべし
一、住所、營業所又は氏名(法人に在りては其の名稱、事務所所在地)に異動を生じたるとき
二、發賣者の法定代理人、保佐人又は夫に異動を生じたるとき
三、發賣を廢止したるとき
四、死亡(法人に在りては解散)又は失踪の宣告を受けたるとき
前項第四號の場合には戸籍法の届出義務者(法人に在りては清算人)より其の手續を爲すべし
第十條 化粧品にして衛生上危害を生ずる處ありと認めたるときは發賣者に対し原料品若し其の分量、用法、用量又は効用の變更を命ずることあるべし
第十一條 左の各號の一に該當したるときは其の發賣を停止又は禁止することあるべし
一、化粧品にして衛生上危害を生ずる處ありと認めたるとき
二、本令又は本令に基きて發する命令に違反したるとき

第十二條 本令の執行に關し明治三十三年法律第十五號第二條規定の職權を行使することあるべし
第十三條 第四條第七條及第九條の規定に違反したる者は拘留又は科料に處す
第十四條 化粧品の發賣者が未成年者、禁治産者又は法人なるときは本令の規定は之を法定代理人又は代表者に適用す但しその業務に關し成年者同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず
第十五條 化粧品の發賣者はその代理人、戸主、家族、同居者、雇人其の他の從業者にして其の業務に關し本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るることを得ず
附則
第十六條 本令は昭和七年九月一日より之を施行す
第十七條 大正五年四月警視廳令第四號發賣部外品營業取締規則に依り免許を受けたる發賣部外品にして第一條の各號に該當するものは本令に依り免許を受けたる發賣部外品にして第一條の各號に該當するものは本令に依り免許したるものと看做す
第十八條 第一條に該當する化粧品に關し大正五年四月警視廳令第四號發賣部外品營業取締規則に依り下付したる免許證は本令に依り下付したるものと看做す但し昭和八年十二月三十一日迄に其の書替を申請すべし
附則
第十九條 本令は公布の日より之を施行す
第二十條 昭和七年八月警視廳令第二十號化粧品取締規則に依り免許を受けたる化粧品は本令に依り届出たるものと看做す

第一條 本法に於て賣藥營業者と稱するは賣藥を調製又は輸入若しは移入して販賣する者を謂ふ
原料品に加工せずして賣藥と爲すものは本法の適用に付ては之を賣藥の調製と看做す
第二條 賣藥營業者賣藥を發賣せんとするときは、方名、原料品名及其の分量、調製の方法、用法、用量並効能を記載し主たる營業所所在地の地方長官の免許を受くべし之を變更せむとするときも亦同じ
前項の場合に於て日本藥局方に記載せざる原料品を使用せむとする者は其の見本品を提出すべし
第三條 賣藥營業者二箇所以上の營業所を設けたるときは營業所毎に所在地の地方長官に届出づべし
第四條 賣藥には毒藥、劇藥及其の性状又は配伍の結果に由り危害を生ずるの處ある藥品を使用することを得ず但し毒藥、劇藥は其の用法、用量に依り行政官廳に於て危害を生ずるの處なしと認めたるものは此限に在らず
第五條 賣藥の原料品は日本藥局方に記載するものは其の所定の性状、品質、之に記載せざるものは第二條第二項の見本品と同様の性状、品質を具備するを要す
第六條 藥劑師、藥劑師を使用する者又は醫師に非ざれば賣藥を調製して販賣することを不得但し獸醫にして家畜用の賣藥を調製販賣するは此限に在らず
第七條 賣藥免許は前條に掲ぐる者に限り之を讓受け又は相續することを不得

第八條 賣藥の効能に關しては文書、言語其の他何等の方法を以てするを問はず免許を得たる事項を證明するの外之を誇張して公示することを不得
第九條 賣藥に關する廣告、賣藥の容器若しは被包又は賣藥に添附し若しは添附せずして頒布する文書には左記の事項を記載することを不得
一、獨製に涉る記事又は圖畫
二、遊説又は腹胎を暗示する記事
三、虚偽誇大の證明若しは醫師其の他の者が効能を保證したるものと世人をして誤解せしむるの處ある記事
四、醫治の無効を暗示し或は暗に醫師を誹謗するが如き記事
第十條 地方長官は衛生上危害を生ずるの處ありと認むるときは賣藥營業者に對し其の免許を得たる事項の變更を命ずることを得
第十一條 賣藥營業者にして本法若しは本法に基きて發する命令に違反し又は本法若しは本法に基きて發する命令に依る處分に違反したる者に付地方長官は其の免許を取消すことを得
第十二條 行政官廳は當該官吏をして賣藥を調製し若しは販賣する場所を臨檢せしめ又は賣藥の檢査を爲さしむることを得
第十三條 行政官廳は試験の用に供する爲必要な分量に限り當該官吏をして賣藥又は其の原料品を無償にて收去せしむることを得
第十四條 第二條第一項若しは第五條の規定又は第十條の處分に違反する賣藥は地方長官其の所有者をして之を廢棄せしめ又は直接に廢棄し其の他必要なる處分を爲すことを得但し所有者又は所持者に於て衛生上危害を生ずる處なき方法に依り處置せむことを請ふときは之を許可することを不得
第十五條 第二條第一項、第五條若しは第

六條の規定又は第十條の處分に違反したる者は五百圓以下の罰金に處す
第十六條 第八條若しは第八條の規定に違反したる者又は當該官吏の臨檢若しは檢査を拒みたる者は二百圓以下の罰金に處す
第十七條 第三條又は第二十條第二項の規定に違反したる者は科料に處す
第十八條 賣藥營業者又は賣藥請賣營業者未成年者又は禁治産者なるときは本法又は本法に基きて發する命令に依り之に適用すべき罰則は之を法定代理人に適用す但し其の營業に關し成年者同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず
賣藥營業者又は賣藥請賣營業者其の代理人、戸主、家族、同居者、雇人其の他の從業者にして其の業務に關し本法又は本法に基きて發する命令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るることを得ず
第十九條 明治三十三年法律第五十二號は本法又は本法に基きて發する命令に依り犯罪に準用す
第二十條 輸出又は移出する賣藥に付ては第二條乃至第十一條、第十四條及第十五條の規定を適用せず其の取締上必要なる規定は勅令を以て之を定む
前項の賣藥を調製せむとする者は營業所毎に之を地方長官に届出づべし
附則
第二十一條 本法施行の期日は勅令を以て之を定む(大正三年八月勅令第六百六十號を以て同年十月一日より施行)
第二十二條 賣藥規則は之を廢止す
他の法令中賣藥規則とあるは本法を指したるものと看做す
第二十三條 從前の規定に依りて受けたる賣藥免許は之を本法に依り受けたる賣藥免許と看做す
第二十四條 本法公布の際現に賣藥營業

者たる者は第六條又は第七條の規定に拘らず賣藥を調製して販賣し又は賣藥免許を讓受け若しは相續することを得但し賣藥を輸入若しは移入して販賣する者又は法人は此の限に在らず
第二十五條 本法公布前免許を受けたる賣藥にして毒藥、劇藥又は藥品營業並藥品取扱規則の指定藥品を含有せざるものに付ては第六條及第七條の規定を適用せず
第二十六條 第三條及第二十條の届出は賣藥稅法の適用に付ては之を免許と看做す
附則
大正三年八月十三日
內務省令第十六號
昭和五年九月内務省令第九號、七年七月第二八號、一〇年七月第四三號、一二年三月第六號改正

賣藥法施行規則

第一條 賣藥發賣免許の申請書には賣藥法第二條第一項に掲げた事項の外氏名、生年月日又は法人の名稱、住所及營業所(調製又は販賣の場所を云ふ)を記載し賣藥法第六條又は第二十四條の規定の資格を證する書面を添附すべし
第二條 地方長官賣藥法第二條の規定に依り賣藥發賣免許證を與ふるときは別記雛形の賣藥免許證を下附す
第三條 免許事項變更の申請書には變更せむとする事項、方名、氏名又は法人の名稱及住所を記すべし但し方名を變更せむとする場合に於ては免許證を添附すべし
方名變更の免許を與ふるときは免許證を書換下付す
第四條 前條第二項規定の場合を除くの外賣藥免許證の記載事項に變更を生じたるときは其の事由を記し免許證を添へ三十日以内に主たる營業所所在地の地

方長官に其の書換を申請すべし但し賣藥法第二十五條規定の賣藥を除くの外賣藥免許證を讓受け又は相續したる場合に於ては賣藥法第六條又は第二十四條の規定の資格を證する書面を添附すべし
第五條 賣藥に關し左の手續料を徴收す
一、發賣免許手續料
一方に付 金參圓
二、變更免許手續料
一方に付 金壹圓
三、免許證再下付又は書換手續料
一方に付 金五十圓
第三條第二項規定の書換に付ては前項第二號規定の手續料を徴收し前項第三號規定の書換手續料は之を徴收せず
行政官廳、字若しは其の名稱又は地番の變更ありたる場合に於ける免許證の書換に付ては第一項第三號規定の書換手續料は之を徴收せず
第六條 地方長官は賣藥法第二條第二項の規定に依り賣藥營業者の提出したる見本品の性状品質を記し保存すべし
第七條 賣藥法第三條規定の届出は其の事由の發生したる日より十日以内に之を爲すべし
賣藥發賣免許申請書に記載せる營業所に主たる營業所所在地の道府縣と同一區域内に在るものに付ては其の申請書に於ける營業所の記載を以て賣藥法第三條規定の届出と看做す
賣藥營業者其の營業所を變更し又は廢止したるときは十日以内に營業所所在地の地方長官に届出づべし
第八條 賣藥營業所二箇所以上の調製所を設けたるときは藥劑師若しは醫師たる營業者又は賣藥法第二十四條規定の營業者が自ら管理する一箇所を除くの外調製所毎に藥劑師を置き管理を爲さしむべし但し調製所所在地地方長官の許可を受けたるときは賣藥法第二十五條規定の賣藥に付ては此の限に在らず

賣藥營業者前項規定の藥劑師を置きたるときは其の氏名を營業所所在地の地方長官に届出づべし
第九條 賣藥營業者は賣藥法第六條又は本令第八條第一項の規定に依り使用する藥劑師は之を讓受ける資格に伴ふ業務に従事せざる者たることを要す但し地方長官の許可を得たるときは此の限に在らず
第十一條 賣藥免許證を毀損し又は亡失したるときは其の事由を記し三十日以内に主たる營業所所在地の地方長官に再下付を申請すべし但し毀損の場合には毀損したる免許證を附添すべし
亡失したる免許證を發見したるときは直に之を主たる營業所所在地の地方長官に提出すべし
第十二條 賣藥營業者廢業したるときは三十日以内に免許證を主たる營業所所在地の地方長官に返納すべし
賣藥營業者死亡し又は失踪の宣告を受けたるときは其の營業を承繼する者なきときは戸籍法に依る死亡又は失踪の届出義務者より前項の規定に準し其の手續を爲すべし
第十三條 藥劑師又は藥種商賣藥請賣營業者爲さんとするときは營業所毎に營業所所在地の地方長官に届出づべし
藥劑師又は藥種商に非ざる者賣藥請賣營業者爲さんとするときは營業所毎に營業所所在地の地方長官の許可を受くべし
第十四條 賣藥請賣營業者廢業し又は氏名若しは法人の名稱又は住所を變更したるときは地方長官に届出づべし
第十五條 賣藥營業者並賣藥請賣營業者

自ら行商し又は賣子をして行商せしめむとするときは地方長官に届出づべし其の之を廢止したるとき亦同じ

第十六條 賣業營業者免許を取消されたるときは請賣營業者亦其の賣業を販賣することを不得

第十七條 賣業請賣營業者其の業務に關し犯罪又は不正の行爲ありたるときは地方長官は其の行商(賣業を行商する者賣業營業者又は賣業請賣營業者)を禁止し又は其の賣子に依る行商を含むを禁止し又は其の賣子に依る行商を併せ禁止し又は停止することを不得

第十八條 行政官廳賣業法第十二條の規定に依り賣業營業者をして行商せしむることの届出を爲し本令施行の現行に其の業を繼續する者は之を本令に依り自ら行商し、之は賣子をして行商せしむることの届出を爲したるときと看做す

第二十條 賣業法第十二條の規定に依る臨検又は検査は日出前日没後に於て之を爲すことを不得

第二十二條 本令は賣業法施行の日より之を施行す(大正十三年十月一日より施行) 附則 昭和五年内務省令第二十九號

本令中第五條の改正に關する規定は公布の日より之を施行す 附則 昭和十一年内務省令第四十三號

本令は公布の日より之を施行す 本令施行前従前の規定に依り賣業請賣營業の届出を爲し本令施行の現行に其の業を繼續する者は之を本令に依り賣業請賣營業の届出を爲し又其の許可を受けたるものと看做す

本令施行前従前の規定に依り自ら行商し又は賣子をして行商せしむることの届出を爲し本令施行の現行に其の業を繼續する者は之を本令に依り自ら行商し、之は賣子をして行商せしむることの届出を爲したるときと看做す

廣告物取締法

明治十四年四月七日 法律第七十號

受けたる官廳に届出づべし

一、住所、氏名を變更したるとき(法人たる者、氏名を名稱、事務所所在地、代表者の氏名を變更したるとき) 二、代理人又はその住所、氏名を變更したるとき

三、廣告物その他之に關する物件をその表示又は設置期間内に除却又は廢止したるとき

第七條 廣告物の表示その他之に關する物件の設置者にしてその許可を取消され又は當該事業を廢止したるときは十日以内に廣告物その他之に關する物件を除却すべし

第八條 廣告物その他之に關する物件にして汚染、褪色、剝離若しくは破損したるときは速に改修すべし

第九條 廣告物その他之に關する物件にして本則に依り許可を受けたる場合と雖土地状況の變遷等に因り美觀又は風致を害するに至りたるときは速に除却すべし

第十條 本令に依り監視廳に差出すべき願書は所轄警察官廳を経由すべし

第十一條 廣告物の表示その他之に關する物件の設置に關し他の法令に規定ある場合はその規定に依るの外本令の規定に從ふべし

附則 本令は昭和十三年九月二十日より之を施行す 本令施行の際既に許可を受けたる廣告場は警察署長の許可を受けたるものと見做す

商品券取締法

昭和七年九月七日 法律第二十八號

第一條 行政官廳は美觀又は風致を保存する爲必要なりと認むるときは命令を以て廣告物の表示其の他之に關する物件の設置を禁止し若しくは制限する命令に違反したる物件に對し行政官廳は除却を命じ其の他必要なる處分を爲すことを得

第三條 廣告物、看板その他之に關する物件にして危険の虞あり又は安寧秩序を害し若しくは風俗を紊るの虞ありと認むるものは行政官廳に於いて除却を命じ其の他必要なる處分をなすことを得

第四條 第二條、第三條の規定に依る行政官廳の命令に違反したるときは拘留又は科料に處す

廣告物取締法 施行規則

大正十三年四月十一日 警察廳令第一〇號 昭和十三年九月廳令第四十七號改正

第一條 左の地域内に廣告物の表示その他之に關する物件を設置することを得ず(但の公益の爲にするものにして監視廳の許可を受けたる場合は此の限に在らず) 一、宮城、離宮、東宮御所、青山御所の各附近

二、各皇族邸附近 三、武藏御陵墓地及皇族御墓地附近 四、社寺、佛堂、説教所境内 五、公園地其の附近 六、勝地(荒川堤、小金井等) 七、墓地及其の附近

八、都市計畫法第十條第二項の規定に依り指定せられたる風致地區 九、市街地建築物法第十五條の規定により指定せられたる美觀地區

前項第四條の地域内に於て祭典、法要、說教その他社寺、佛堂、説教所の類がその事務の爲にする場合は前項の規定を適用せず

本條の許可を受けたる後に於て之を移轉、改造、變更し若しくは設置を繼續せむとするときは更に監視廳の許可を受くべし但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日前迄に届出づべし

第二條 左の地域内に廣告物の表示又は之に關する物件(廣告物を除く)の設置をなすむとする者は所轄警察官廳に届出許可を受くべし之を移轉、改造、變更し若しくは設置を繼續せむとするときは亦同但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日前迄に届出づべし

一、東京市 二、八王子市 三、社寺、佛堂、説教所境内より展望し得べき場所 四、公園及勝地より展望し得べき場所

五、鐵道停車場附近 六、鐵道、軌道の沿線及之より展望し得べき場所 七、平地より展望し得べき高臺

八、前各號の外特に告示したる場所 前項に該當せざる場所に設置せむとする廣告物と雖その長さは幅三・六五米(約十二尺)を超え又はその面積六・六〇平方米(約一坪)を超えるもの對しては前項の規定を適用す

第三條 廣告物を設置せむとする時は監視廳に届出許可を受くべし之を移轉、改造、變更し若しくは設置を繼續せむとするときは亦同但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日前迄に届出づべし

第三條之二 第一條乃至第三條の規定に依り廣告物の表示又は之に關する物件の設置の許可を受けたる者はその廣告物の見易箇所自己の住所氏名、許

用すべき罰則はその者が法人なるときは理事、取締役其の他の法人の業務を執行するの役員に、未成年者又は禁治産者なるときはその法定代理人に之を適用し但し營業に關し成年者と同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず

附則

本法施行の期日は勅令を以て之を定む 本法施行の際現に商品券を發行する者は本法施行の日現在に於ける商品券發行額に依り第一條の供託を爲すべし此の場合に於ける供託は命令の定むる所に依り分割して之を爲すことを得

懸賞抽籤附販賣

取締法規

内務省令

懸賞又は富籤類似その他射倖の方法を射倖方法提供の行爲制限

明治四十二年八月十日 内務省令第二〇號

懸賞又は富籤類似その他射倖の方法を用むことを提供し又は投票を募集するの行爲にして公安又は風俗を害するの虞ありと認むる者は府縣長官(東京府に於ては警視廳)に於いて之を禁止し又は制限することを不得

前項禁止又は制限を命ぜられたる場合に於てその命令に違背したる者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金、情を知りてその行爲に附隨して寄贈を申出又は提供を承諾し若しくは投票を行ひ又は投票の結果に依り表物を受けたる者は料りに處す 本令は明治四十二年十月十五日より施行す 明治三十三年内務省令第二十六號は之を

警視廳令

大正十四年六月二十日
總令二十六號

懸賞又は富籤類似その他射倂行爲取締規則

第一條 懸賞又は富籤類似その他射倂の方法を用ゐることを提供し又は投票を募集せむとする者は左の事項を具し施行五日前行所地又は施行所轄警察官署に届出づべし
第二號乃至第五號の事項を變更せむとするとき亦同じ
一、本籍、住所、氏名、生年月日、職業(法人に在りては其の名稱、事務所所在地、代表者の氏名、年齢)

二、目的
三、方法の詳細
四、施行の場所、期間
五、賞品又は景品の種類、數量、金額、賞品に在りては其の單價

第二條 當該警察官署前條の届出に基き營業所事務所等に臨檢し届出に關する事項を調査せむとするときは之を拒むことを得ず
第三條 左の各號の一に該當する者は拘留又は科料に處す
一、第一條の届出を爲さずして懸賞又は富籤類似その他射倂行爲を爲し又は投票を募集したる者
二、第一條の届出を爲さずして富籤の届出をしたる者
三、詐偽其の他不正の方法に依り懸賞又は富籤類似その他射倂行爲又は投票の募集を爲し又は爲さむとしたる者
四、第二條規定に依る臨檢を拒みたる者

第四條 施行者は代理人、戸主、家族、同居人、雇人、その他の従業者にして本令に違反したるときは自己の指揮に處するの故を以てその處罰を免るることを得ず
第五條 未成年者又は禁治産者にして本令に違反したるときは本令の罰則はその法定代理人に之を適用す但しその營業に關し成年者と同一の能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず
第六條 法人の業務に關し法人は代表者その他の従業者にして本令に違反したるときは第三條の罰則は法人者代表者に之を適用す
附則
第七條 本令は大正十四年七月一日より之を施行す

警視廳執行心得

懸賞又は富籤類似その他射倂行爲取締規則執行心得
大正十四年六月二十日
内訓甲第一號

第一條 懸賞又は富籤類似その他射倂行爲取締規則(以下單に規則と稱す)に依り届出を受理したるときはその届出人及施行せむとする行爲の性質内容等を調査し第四條乃至第六條各號標準に照らし居るときは又公安風俗を害し若し他支障ありと認めたるときは諭示の上取止め又は變更を爲さしめ之に應じたるときは請書を徴した上施行せしむべし若し之に應ぜざるるときは一併書類に意見を附し速に保安部に具申すべし
第二條 届出に依り施行せしめたる場合に於いては施行中時警察官吏を派遣しその状況を視察し届出事項に違反せざる様取締を爲すべし

第三條 施行せしめたる後と雖支障ありと認めに至りたるときは第一條に基き處理すべし
第四條 懸賞にして左の各條の一に抵觸するものは之を禁止す
一、字探し、縮探し、費探し、迷解、判じ物等娛樂に關する提案にしてその最高賞金又は賞品の金額若くは價格が自ら贈與すると他人の寄贈に係るものとを問はず合して三十圓を超過するもの
二、當選者を定むる方法が詐欺に類し又は正確ならざるもの
三、懸賞募集の廣告引札その他の宣傳方法及贈與の方法並期日等届出と相違し又は誇大に渉るもの
四、賞品の品質にして届出に明記したる價格と相違し居るもの
五、賞金又は賞品の送料又は荷造費を當選者に負擔せしむる方法あるとき第五條 景品にして左の各號の一に抵觸するものは之を禁止す
一、景品の最高價格が自ら贈與するものと他人の寄贈に係るものとを問はず合して三百圓を超過し又は取引金額又は最低入場料若くは觀覽料等の二十倍を超過するもの
二、景品の品質にして届出の價格に相違し又は誇大に渉るもの
三、全籤に景品を附せざるもの
四、景品贈與の廣告引札その他の宣傳方法にして景品の種類數量價格及贈與の方法並期日届出と相違し又は誇大に渉るとき
五、景品の品質にして届出の價格に相當せず又は時價に相當せざるもの
六、景品の送料又は荷造費を贈與者に於いて負擔せざるもの
七、行商露店又は路傍に於いて施行せむとするもの

第六條 投票募集にして左の各號の一に抵觸するものは之を禁止す
一、投票者の資格又は投票用紙の種類を制限するもの
二、名義の如何を問はず直接間接に他人の名譽又は信用を害し又は害する處あるもの
三、強ひて投票を勧誘し又は他人をして勧誘せしめむとするもの
四、當選者又は投票者に對し表彰として金錢物品を贈與するものは自ら贈與するものと他人の寄贈に係るものとを問はずその金額又は價格を合して百圓を超過するもの
五、募集者その他募集に關與する者に於いて得票を任意に變更し得る方法なるとき
第七條 前三條に該當する特殊の事情に依り施行せしめ支障なしと認むる場合には詳細事由を具し保安部長の指揮を受くべし
第八條 左の場合に於いては施行せしむる前速かに保安部に報告すべし
一、新聞社、通信社、自治團體その他各種の團體に於ける主催なるとき規模大にして特に注意を要するものと認むるもの
附則
明治四十二年九月内訓第九號は之を廢止す

業界關係の諸届書式

願書や届書は、その雛形を見たゞけて用を辨するものあり、又その條文を參照しなければ直ぐに役たないものもある。然し、條文と書式とを合せてこれを掲げるといふことは容易でないから、こゝには日常最も必要多しと思はるゝ化粧品、賣藥、部外品、商標、特許等に關するもの、及び骨牌販賣免許申請に關するもの等を掲げる。條文を必要とせらるゝ場合は、今十五年版及び既往の年鑑を參照せられ度い。

化粧品賣藥部外品關係諸届書式

化粧品發賣届
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、名稱
二、原料品名及其ノ分量
三、用法、用量
四、效能
右化粧品發賣致度候條見本品相添へ此段及御届候也
年月 日 右 氏 名
警視廳監究

法規法令

化粧品名稱變更届
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、新名稱
二、舊名稱
右ノ通化粧品名稱變更致度候條此段及御届候也
年月 日 氏 名
警視廳監究

化粧品發賣廢止届
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、名稱
二、發賣廢止日 昭和 年月 日
右化粧品發賣廢止致度候ニ付此段及御届候也
昭和 年月 日 右 氏 名
警視廳監究

賣藥部外品發賣免許願書
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、品名
二、原料品名及其ノ分量
三、用法、用量
四、效能
右製造發賣致度ニ付御免許相成度見本品相添此段及御願候也(法人ニシテ新タニ免許ヲ受ケル者ハ定款寫添付ノコト)
年月 日 右 氏 名
法人ノ時 氏 名
代表者 氏 名
警視廳監究

賣藥部外品內容變更免許願書
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、品名
二、原料品名及其ノ分量
三、用法、用量
四、效能
右之通免許相受製造發賣致度今般左ノ通り內容變更致度ニ付免許相成度別紙賣藥部外品免許證相添此段及御願候也
年月 日 右 氏 名
警視廳監究

賣藥部外品內容變更免許願書
住所 氏名 年月 日生
營業所 氏名 年月 日生
一、品名
二、原料品名及其ノ分量
三、用法、用量
四、效能
右之通免許相受製造發賣致度今般左ノ通り內容變更致度ニ付免許相成度別紙賣藥部外品免許證相添此段及御願候也
年月 日 右 氏 名
警視廳監究

町名番地改正ニ依リ
免許證書換屆
一、何時何月何日第何號免許何々外
右ハ今般行政區劃ノ變更ニ依リ住所
營業書肩書ノ通變更相成候條免許證
書換下付相成度免許證相添此段及御
屆候也
年 月 日
氏 名
署長 官宛

一、免許證は裏面に訂正を要するに付全
部肩書に添附せらるること
一、ゴム印調製を便宜とするに付
申請書を所轄署へ提出の際左記離形に
よるゴム印を調製の上持参せらるるを
便宜とする
但し十方以下の場合はその必要なし
と思料す

一、本籍
現住所
職業
二、目的
三、方法ノ詳細
(1)發賣方法
イ、發賣 數
ロ、金 額
ハ、特賣品

二、特賣發表方法
ホ、景品ノ價格 別紙ノ通り
ヘ、特賣ノ區域
イ、方法 發行抽籤券ト同課ノ抽籤
札ヲ用テ抽籤シ投入シテ等ヨリ順
次所定ノ本數ヲ抽出シテ各等額ヲ定
ム
ロ、抽籤場所 町 番地
ハ、立 會 立會人氏名
ニ、發表紙 商報或ハ新聞名
ホ、抽籤期日 昭和 年 月 日
ヘ、當籤發表月日 昭和 年 月 日
四、施行場所及期間
東京市 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
但シ期間中ト雖モ賣切ト同時ニ抽
籤スル
五、景品ノ種類 總數
等數 景品 單價 本數
若シ期間中ニ賣切レズシテ抽籤發行スル
モ抽出ノ本數通り一等ヨリ順次抽出ス
上記景品送料ハ主催者之ヲ負擔ス
右警視廳令第二十六號取籍規則ニヨ
リ此段御届申候也
昭和 年 月 日
署長 官宛

均一特賣ノ場合
一、本籍
現住所
職業
二、目的
三、方法ノ詳細、發賣方法
イ、發賣 數

一、本籍
現住所
職業
二、目的
三、方法ノ詳細、發賣方法
イ、發賣 數

ロ、金 額
ハ、發賣品
二、特賣發表方法
ホ、景品ノ價格 別紙ノ通り
ヘ、特賣ノ區域
イ、方法 發行抽籤券ト同課ノ抽籤
札ヲ用テ抽籤シ投入シテ等ヨリ順
次所定ノ本數ヲ抽出シテ各等額ヲ定
ム
ロ、抽籤場所 町 番地
ハ、立 會 立會人氏名
ニ、發表紙 商報或ハ新聞名
ホ、抽籤期日 昭和 年 月 日
ヘ、當籤發表月日 昭和 年 月 日
四、施行場所及期間
東京市 自昭和 年 月 日
至昭和 年 月 日
但シ期間中ト雖モ賣切ト同時ニ抽
籤スル
五、景品ノ種類 總數
等數 景品 單價 本數
上記景品送料ハ主催者之ヲ負擔ス
右警視廳令第二十六號取籍規則ニヨ
リ此段御届申候也
昭和 年 月 日
署長 官宛

製藥商 試驗願
毒劇物營業
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、試驗願ノ詳細
五、試驗願ノ時期
六、試驗願ノ場所
七、試驗願ノ費用
八、試驗願ノ結果
九、試驗願ノ其他事項
十、試驗願ノ其他事項
署長 官宛

製藥商 試驗願
毒劇物營業
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、試驗願ノ詳細
五、試驗願ノ時期
六、試驗願ノ場所
七、試驗願ノ費用
八、試驗願ノ結果
九、試驗願ノ其他事項
十、試驗願ノ其他事項
署長 官宛

履歷書
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、學業 何時何月何學校卒業
二、職業 何時何月何職任
右ノ通相違無之候也
年 月 日
氏 名
署長 官宛

藥種商免許證札下付願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、藥種商免許證取得ノ詳細
五、藥種商免許證取得ノ時期
六、藥種商免許證取得ノ場所
七、藥種商免許證取得ノ費用
八、藥種商免許證取得ノ結果
九、藥種商免許證取得ノ其他事項
十、藥種商免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

藥種商支店設置願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、支店設置願ノ詳細
五、支店設置願ノ時期
六、支店設置願ノ場所
七、支店設置願ノ費用
八、支店設置願ノ結果
九、支店設置願ノ其他事項
十、支店設置願ノ其他事項
署長 官宛

右者何某ヲ管理人ニ定メ何市何郡何
町何番地ニ支店ヲ開設致候ニ付御
免許相成度別紙管理入履歷書相添へ
相願候也
年 月 日
署長 官宛 右何 某

藥種商免許證札再下付申請書
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

藥種商免許證(氏名)變更ニ付
鐵札書換申請書
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

一、舊氏名
一、新氏名(氏名變更ノ場合)
右何年何月何日日本籍(氏名)變更致
候ニ付鐵札書換下付相成度免許證札
並戶籍謄本(又ハ抄本)相添へ此段申
請
署長 官宛

請(届出)候也
年 月 日
署長 官宛 右氏 名

藥種商免許證札再下付申請書
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

藥劑師變更願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、變更願ノ詳細
五、變更願ノ時期
六、變更願ノ場所
七、變更願ノ費用
八、變更願ノ結果
九、變更願ノ其他事項
十、變更願ノ其他事項
署長 官宛

藥種商支店廢止願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、支店廢止願ノ詳細
五、支店廢止願ノ時期
六、支店廢止願ノ場所
七、支店廢止願ノ費用
八、支店廢止願ノ結果
九、支店廢止願ノ其他事項
十、支店廢止願ノ其他事項
署長 官宛

一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

一、本籍
二、現住所
三、職業
四、免許證取得ノ詳細
五、免許證取得ノ時期
六、免許證取得ノ場所
七、免許證取得ノ費用
八、免許證取得ノ結果
九、免許證取得ノ其他事項
十、免許證取得ノ其他事項
署長 官宛

右支店何年何月何日限り廢止致候間
此段届出候也
年 月 日
署長 官宛 氏 名

藥種商廢業(死亡、失踪)
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、廢業願ノ詳細
五、廢業願ノ時期
六、廢業願ノ場所
七、廢業願ノ費用
八、廢業願ノ結果
九、廢業願ノ其他事項
十、廢業願ノ其他事項
署長 官宛

藥種商移轉願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、移轉願ノ詳細
五、移轉願ノ時期
六、移轉願ノ場所
七、移轉願ノ費用
八、移轉願ノ結果
九、移轉願ノ其他事項
十、移轉願ノ其他事項
署長 官宛

毒劇物營業願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、營業願ノ詳細
五、營業願ノ時期
六、營業願ノ場所
七、營業願ノ費用
八、營業願ノ結果
九、營業願ノ其他事項
十、營業願ノ其他事項
署長 官宛

師免許證書(藥種商、製藥者ハ免許
證札寫)相添へ此段及御届候也
年 月 日
署長 官宛 右氏 名

藥劑師試驗願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、試驗願ノ詳細
五、試驗願ノ時期
六、試驗願ノ場所
七、試驗願ノ費用
八、試驗願ノ結果
九、試驗願ノ其他事項
十、試驗願ノ其他事項
署長 官宛

履歷書
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、學業 何時何月何學校(高等女學校)ニ
入學何年何月卒業
二、職業 何時何月何藥學校ニ入學何年何月
卒業
一何年何月藥劑師試驗ヲ受ケ學說試
驗ニ合格
右之通相違無之候也
年 月 日
署長 官宛

賣藥請賣願
本籍 氏 名
住所 氏 名
一、本籍
二、現住所
三、職業
四、賣藥請賣願ノ詳細
五、賣藥請賣願ノ時期
六、賣藥請賣願ノ場所
七、賣藥請賣願ノ費用
八、賣藥請賣願ノ結果
九、賣藥請賣願ノ其他事項
十、賣藥請賣願ノ其他事項
署長 官宛

賣藥行商願

住所 氏名 年 月 日生
 資本金額 氏名 年 月 日生
 代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

一、方名 何々
 營業者ノ營業所及氏名(數方ノ場合此ノ例ニ依リ順次列記)
 右賣藥行商(賣子ヲシテ行商セシムル時ハ其ノ旨) 致候ニ付此段及御願候也

長官宛 右 氏 名 仰

毒物劇物營業願

住所 氏名 年 月 日生
 代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

今般藥劑師何某ヲ管理人トシテ毒物劇物營業開始仕リ度候間御許可相成度管理人ノ藥劑師免許證寫相添へ此段及御願候也

代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

長官宛 藥劑師 氏名 仰

新製劑(又ハ新藥)製造(又ハ輸入)發賣願

住所 氏名 年 月 日生
 代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

製造所 輸入ノ場合ニハ製造者ノ氏名モ併記ノコト

製別 氏名 年 月 日生
 成分 分量 一假又ハ百分中ノ成分成分不明ノ時ハ割法及本質要旨
 右者今般製造(又ハ輸入)發賣致度ニ付別紙製藥者(又ハ藥種商)免許證札寫及(藥劑師免許證寫)見本品相添此段及御願候也

警視總監宛 氏 名 仰

製藥者 毒物劇物營業者 免許證札下附願

住所 氏名 年 月 日生
 代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

右者今般藥劑師何某使用ノ上藥種商(製藥者又ハ毒物劇物營業致度候ニ付御免許相成度別紙定款寫(又ハ限ル)及藥劑師證寫相添連署ヲ以テ此段及御願候也

代表者 氏名 年 月 日生
 出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

警視總監宛 氏 名 仰

商標特許關係諸願

商標登錄願

商標ヲ附スベキ商品 何々
 色ノ限定 何々
 第何類 何々
 色ノ限定ノ場合
 色ノ限定ノ場合

私(私共) 儀前掲商標ニ付登錄相成度此段相願候也

出願人 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

聯合商標登錄願

商標ヲ附スベキ商品 何々
 色ノ限定 何々
 第何類 何々
 色ノ限定ノ場合
 色ノ限定ノ場合

聯合商標登錄書 國書製 許
 私(私共) 儀前掲商標ヲ聯合ノ商標トシテ登錄相成度此段相願候也

出願人 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

商標權存續期間更新登錄願

登録番號 何々
 色ノ限定 何々
 色ノ限定ノ場合
 色ノ限定ノ場合

私(私共) 儀前記商標權ニ付存續期間更新ノ登錄相成度此段相願候也

出願人 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

特許願

發明ノ名稱 何々
 發明者ノ氏名、住所(又ハ居住) 何々
 本項ハ出願人方發明者ナルトキハ記載スルコトヲ要セズ
 私(私共) 儀別紙明細書ニ記載スル發明ニ付特許相成度此段相願候也

出願人(發明者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

追加特許願

發明ノ名稱 何々
 發明者ノ氏名、住所(又ハ居所) 何々
 本項ハ出願人方發明者ナルトキハ記載スルコトヲ要セズ
 私(私共) 儀別紙明細書ニ記載スル發明ニ付特許相成度此段相願候也

出願人(發明者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

實用新案登錄願

實用新案ノ名稱 何々
 考案者ノ氏名、住所(又ハ居所) 何々
 本項ハ出願人方考案者ナルトキハ記載スルコトヲ要セズ
 私(私共) 儀別紙明細書ニ記載スル物品ニ付實用新案登錄相成度此段相願候也

出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

意匠登錄願

意匠ノ名稱 何々
 登錄請求ノ範圍 何々
 考案者ノ氏名、住所、居所 何々
 原意匠ノ登錄番號又ハ願書番號 何々
 私(私共) 儀前記意匠ニ付登錄相成度此段相願候也

出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

類似意匠登錄願

意匠ノ名稱 何々
 登錄請求ノ範圍 何々
 考案者ノ氏名、住所、居所 何々
 原意匠ノ登錄番號又ハ願書番號 何々
 私(私共) 儀前記意匠ニ付類似意匠トシテ登錄相成度此段相願候也

出願人(考案者) 氏名 年 月 日生
 住所 又ハ居所
 國籍 外國人ナルトキ

特許局長官宛 氏 名 仰

營業販賣諸屆

骨牌販賣免許申請

骨牌販賣所 何處何町何番地
 右之場所ニ於テ骨牌販賣致度候ニ付許可相成度申請候也

氏 名 仰

骨牌販賣所移轉申請

骨牌販賣所 何處何町何番地
 右之場所ニ於テ從來免許相成居候處今般都合ニ依リ願書ノ通リ移轉致候度讓受人連署ヲ以テ申請候也

氏 名 仰

骨牌販賣所廢止免許取消申請

骨牌販賣所 何處何町何番地
 右之場所ニ於テ從來免許相成居候處今般都合ニ依リ廢止仕度候條此段及申請候也

氏 名 仰

稅務署長宛

氏 名 仰

懸賞又は景品附販賣の心得

懸賞又は景品附販賣を行ふ場合には、廳府縣令により、豫め所轄署へ届出づることを要する。その書式は前に掲げたがこれに就ての注意すべき事項は左の通りである。

一、懸賞の場合
 字渡し、繪渡し、謎解き、列じ物等娛樂に關する提案はその最高賞金又は賞金の金額、若くは價格が警視廳管下では合計三十圓以内なることを要する。大阪府内では二十圓以内なることを要する。

但し、學術技術を要するものは最高五十圓迄、公共の目的により行はれる時は五百圓迄、新聞紙が能す時は百五十圓以内。

賞金又は商品の送料又は荷造費を當選者に負擔せしめないこと。

二、景品の場合、景品の最高價格が自ら贈與するものと他人の寄贈に係るものとを問はず警視廳管下では合計三百圓以内、又は取引金額の二十倍を超過しないことを要する。大阪府内では百五十圓以内又は取引金額の十倍を超過せぬことを要する。

但商人相互間の取引では取引額の二十倍又は千圓を超過しないことを要する。

送料荷造費に就いてはこれを當選者に負擔せしめざること。

三、イ 東京府内に於て景品付特賣を施行する場合は警視廳管下の所在地の警察署に届出づること。
 ロ 各府縣に亘る場合は各府縣警察部管下の所在地警察署へ届出づること。
 例へば東京にて特賣施行し直接地方

進である。附則を本則に移すことは其だ遺憾なことであるが、附則にあつても本則にあつても事實上何等變り無いのであるし、附則にあつても五十年間撤廃させ得なかつたことを考へればなれない。將來我々が力が出れば本則に移されても之れを除くことが可能であつて、決して之れによつて醫藥分業がストップされたものと思はない。

以上の如く小委員の経過により所謂醫藥制度改善案の成立を見たのであるが、醫師會側は之れに對し更に①藥劑師を使用し調劑を爲す醫師に付いては之を除外すること、②治療上の支障のある場合に於いては之を除外すること、③罰則を附けないこと、④治療上の支障のある場合に於いては之を除外することとしたが、林衛生局長は「それは困難であると思ふ然し篤と考へて見たい」と答へ、此の問題は當局の考慮に一任された。然るに醫師會は此の三つの希望と妥協案を結びつけて、醫師會は未だ妥協案に應じたものではないとの小委員否認の聲明を發し、遂に林衛生局長より公法人團體として適當を欠くものとして戒告處分を受くる挿話さへ生んだが、それ等の詳細は割愛することとする。

③ 日本藥局方臨時大改正

戰時に對する爲め厚生省では日本藥局方の臨時大改正を企圖し、先年來日本藥局方調査會として之れが調査に當らしめてきたが、本年に入るや之れが完了を告げ、八月二十三日改正公布を見るに至つた。(厚生省令第二二七號)

④ 醫藥品の配給問題

醫藥品は一般商品と異つて保健衛生上の立場から、その所管は商工省でなく厚生省に屬してゐるが、配給とか價格とかいふ問題では商工省が主管省となるから、現在の如き時局に際してはその取扱ひが非常に複雑となつて業者自身にすら良く呑み込めない場合が少なくないのである。政府としてもその點に留意し、醫藥品に關する限り成る可く厚生省の方針に委してゐるが、厚生、商工兩省の合議に依る場合も多々あるし、斯る場合に於ける兩者の意見が必ずしも一致しないのであるから甚だ事が面倒である。

先づ醫藥品の輸入に關して大蔵、商工兩省の了解を得ることに努め、軍需資材に次いで優先輸入を圖つてゐたのであるが、物動計劃の強化、爲替管理の強化等に従つて醫藥品も漸次輸入統制強化が必要となり、國內生産無きもの、代用品無きもの、治療上欠く可らざるもの等に限定せざるを得なくなつた。その結果東西藥業者中輸入実績を有する頭株に醫藥品輸入統制會を結成せしめ、之れに必要な醫藥品の實績に依る輸入を行はしめ、その他の者には一切輸入を許さぬこととしたのは他の商品の場合と同様であつた。

本問題に對しては二名の反對のみで大多數を以つて小委員會議案通り可決された。總會開會は第一特別委員の關聯問題もあつて未だ日時も決定して居ないが、委員會議案の可決を見ることは確定的と思はれる。

最後に本問題に對する醫師會、藥劑師會の態度に對して述べるに醫師會は委員會議案に全面的反對を表明して全國運動を起して居り、議會提出を阻止することに全力を擧げてゐるが、藥劑師會も亦附則の本則挿入に絕對反對の聲多く、日藥評議員會、日藥業政審議會等が罰則の必置、實施を全國に及ぼす等を條件に大體賛成を與へてゐるとは云へ、十一月十七、十八兩日の日藥總會を控へ形勢逆路仕難きものがある。斯る状況下にあつて政府が果して來議會に本案の提出を行ふか否かは最も注目される所、提出されるとしても再び醫藥兩界の對立抗争が議會を中心に行はれることは云ふ迄もなくその成行は予斷し能はぬものである。

外國品の輸入を防止するにある。第二の改正の要點は同じ趣旨と同じ見地から醫藥原料に努めて國產原料利用の途を拓いたこと、第三に物資節約を目的として代用品を新たに收載したこと、第四に他の工業用途と競合する爲原料の不足する場合の對策を講じたこと等である。改正内容の主なるものは新規收載品六十四種、一部改正品目一〇六種に達し、その他試薬、定規液の改正、毒劇薬、毒劇物品目の改正、葡萄酒判定標準の改正等を併せれば正に調劑の大改正と稱すべきものである。

戰時に對する爲め厚生省では日本藥局方の臨時大改正を企圖し、先年來日本藥局方調査會として之れが調査に當らしめてきたが、本年に入るや之れが完了を告げ、八月二十三日改正公布を見るに至つた。(厚生省令第二二七號)

此處に實績主義の弊害が叫ばれるに至つてゐるのは已むを得ぬことであるが、皮肉なことには斯る當局の方針に依り配給の圓滑を期せられたかといふと、事實は却つて甚だしい配給不圓滑を來し、全國に不足々々の批難が聳々と起つてゐる。之れは當に輸入藥品に就いてのみならず、國產藥品の場合も同様であつて、生産擴充が意の如く行かない上に製藥會社から小賣藥店への配給に出来るだけ中間業者を排除してゐるのであるから、地域的に不便な所や取引上關係の薄い方面は必然的に配給不圓滑となるのは當然である。

之れが對策として問屋業者を網羅した共販會社の設立その他種々の意見が行れてゐるが、未だ何等の具體策の決定を聞かない状態にある。厚生當局は此の配給不圓滑を醫藥用外への流出、買割め賣惜し、偏在以外に原因無しとして取締の強化を以つて臨んでゐるが、遂に最近に至つて磷酸コデインの輸入並に指定配給、ヒマシ油の日本

- 和歌山藥劑師會 和歌山市元町三丁目二、三
- 徳島藥劑師會 徳島市船場一四八番
- 香川藥劑師會 高松市西の丸香
- 愛媛藥劑師會 松山市一番町六松山商工會
- 高知藥劑師會 高知市本町二丁目
- 福岡藥劑師會 福岡市博多区三丁目
- 大分藥劑師會 大分市電通本町八郎方
- 佐賀藥劑師會 佐賀市本町中ノ小路九三
- 熊本藥劑師會 熊本市花畑町九五
- 宮崎藥劑師會 宮崎市本町一ノ一七
- 鹿児島藥劑師會 鹿児島市山之口町森田方
- 鹿兒島藥劑師會 鹿兒島市上通町一ノ二六長田
- 沖繩藥劑師會 那覇市上通町一ノ二六長田

- ### 各植民地藥劑師會
- 朝鮮藥劑師會 京城府本町三三〇
 - 京城府藥劑師會 同京城府本町六一八
 - 高麗藥劑師會 同京城府本町二二八五
 - 臺灣實業藥劑師會 臺北府本町一三三出張
 - 關東州藥劑師會 大連市大連醫院内
 - 滿洲藥劑師會 奉天市千代田五
 - 大連實業藥劑師會 大連市千代田五
 - 奉天實業藥劑師會 奉天市本町七北村本藥業

- ### 東京大阪藥業關係組合團體役員一覽
- 昭和十三年十一月現在
- 東京藥業同業組合 神田區錦町一〇二
 - 副組長 堀内伊太郎
 - 組長 津村岩吉
 - 津村岩吉 林 徳次
 - 關口彌三郎 林 茂雄
 - 評議員 守田治兵衛、藤井得三郎、山崎榮三郎、喜谷市郎、右衛門、片山利喜松、福島都雄、河野長吉、淺野長次郎、渡邊政治、山田雄三、加藤勝衛、栗原廣三、川名又之輔、淺井政吉、光野宗良三郎、武井武重
 - 書記長 武田重
 - 統制部主任 馬淵重

- ### 和漢藥の配給問題
- 然しながら厚生省は目下のところ根本原則として従来の配給機構に急激な變革を來させない方針であると言明してゐるから、醫師會或は藥劑師會に直接醫藥品の配給を行はすが如きことや、或は商工省が企圖しつゝある商業組合を配給機關として之れに當らしめるが如きことは、萬あるまいと信ぜられてゐる。
- ### ⑤ 和漢藥の配給問題
- 醫藥品の配給に關しては前述の如く根本方針を現機構の存続に置き、その缺陷に對しては應急措置を講ずるに過ぎない状態にあるに反し、製藥業の原料たる和漢生藥の配給は、首尾一貫した統制會社組織に依り整然たる配給統制が行はれ
- 東京藥種貿易同業組合 日本橋區本町三三〇の三八
 - 組長 島居孝一郎
 - 副組長 守隨彦太郎
 - 同 友田貞吉
 - 評議員 田邊金次郎、小西新兵衛
 - 東京製藥同業組合 神田區錦町一〇四三
 - 組長 池田文次
 - 副組長 歌橋憲一
 - 會計主任 岡澤良次
 - 評議員 岡澤良次、守田保太郎、杉田武雄、石倉長三郎、岩垂亨、入江七平、河合龜太郎、三谷桂次郎、友田銈三郎、鹽原又策、原安三郎、五島喜久郎、推具悅郎
 - 書記長 大久保明

てゐるのは注目すべく、将来薬品も亦之れに準じて配給機構の變革を來すのではあるまいかと想像する向きもある。その意味から和漢薬の配給機構は將來の一指針として重大視されるのであるが左にその内容を掲げて見る。

日本生薬株式会社 資本金十九萬圓
漢藥の輸入並に配給の宗主権を有す
此の下に東京、大阪兩生薬株式会社
(未設) が設けられ工業組合その他へ配給する。

國産生薬株式会社 資本金十萬圓
厚生省より指導されてゐる半夏等七生薬の統制に當るもので、之れが集荷の爲に産地各地に國産生薬會を設置し買入れに當らせ、配給に於いては前記東京大阪生薬會社(未設)を利用する。
東邦生薬株式会社 未設、資本金五十萬圓の予定

和藥に關する宗主権を握るもので配給に就いては前記東京大阪生薬會社をして行はせる。

以上の如く會社三本建て株主は大部分同一顔顔となるのである。尙、賣業者は工業組合を組織して前記會社から和漢薬の配給を受けることとなり、工業組合を結成せざるものは配給を受け得ないこととなる。以上完備するのは本年一杯の豫定である。

⑥ 薬價統制に關する問題

醫藥品の卸賣價格は前年來中央醫藥品自治統制委員會に依つて自治的に統制せ

られ、協定品目数は本年に入つて更に前年に倍加し二百數十品目に達してゐたが、最近に至つて價格等統制令の發令に依り一切の物價は九月十八日現在を基準とする事となつた爲、中央自治統制委員會協定の卸賣價格は効力の無いものも自然消滅になつたことは已むを得ない成行であつた。

而して之れに代る可き協定價格は統制令施行規則の命するところに従つて決定されるのであるが、該規則は發令後間も無いことあり且つ實際に當つて種々の疑義も生じ規則だけでは解らぬ點が多々ある。その爲厚生、商工兩省からそれぞれ通牒も發せられてゐるが、醫藥品の卸賣協定價格に就いては大體東京は東京藥種貿易商同業組合、東京製藥同業組合、大阪は大阪藥種卸商組合、大阪製藥同業組合が統制團體に指定されて協定價格の決定に當ることとなる筈だが、既に非公式ながら醫藥品約五百種、和漢藥約八百種の九、一八基準協定價格の作製を了し、之れに從來の中央醫藥品統制會協定價格をその儘採用したものを加へ當局に内閣を求めつゝある。然し目下未だ統制團體として指定の告示も出でないのであるから、正式決定は本年一杯が明年のことと思はれる。尙卸賣價格は東京と大阪のみに設定されその他の地方は必要に應じそれ／＼の事情を參照して東京と大阪の協定價格に準ずることとなるのである。

第一回、第二回の協定を行つたのみで停滯し、今年に入つてから其の缺陷を是正する爲出直しを行ふこととなり、先づ東京に於いては警視廳の斡旋で東京府醫藥品小賣價格自治統制委員會の結成が行はれ方に第一回の協定價格實施に入らんとする時に當つて、前記の如く價格等統制令の發令を見たので卸賣價格の場合と同様に委員會は自然消滅となり、協定價格は一度も實施を見ずして廢棄されて了つた。

今後の小賣價格に關しては各府縣の適格團體が地方長官の指定を受けて統制團體となり、その地方に適當なる小賣價格を協定することとなる譯であるが、東京に於いては府と警視廳が共管し近く適格團體を指定する筈である。目下のところ指定候補に上げられてゐるが東京藥業同業組合と藥種商業組合であるが、同業組合の方は府一團を組合員に持つてゐるので最も有力であるが、定款に藥品取扱を含んでゐない所に難點があり、先づ定款改正が行なはなければならぬので種々協議中であり、藥種商業組合は理論的には最も統制團體として適格性を有してゐるが、組合員數に於いて前者の三分の一といふ點に疑問があり、果して何れに指定が行くか當局の探斷に注目が集められてゐる。

⑦ 藥育機關の増設

文部當局は藥育機關を増設しないことを根本方針としてゐるが、本年は三月に東北藥學專門學校が仙台市に設置され、

中村喜代八郎 岩城市太郎
藤川芳太郎 敬夫

東京賣藥製造組合
副委員長 大木良輔

中田支店 中村信治
山崎嘉太郎 山崎榮次郎
安川榮次郎 松本伊兵衛

東京醫藥器卸商同業會
會長 渡邊忠恕
副會長 石田元武
評議員 福原七郎

三田宇作 日榮市衛
仲谷善之助 西澤寛
松木仁平 今井久作
野平康弘 岡島松治郎
小野昌六郎 石坪房二郎
山田六郎 三橋文津
小野義市 森延次郎

日本藥劑師會
會長 河合龜太郎
副會長 石井綱治郎
理事 柳澤保太郎

竹内稻美 高橋勸次
伊藤常吉 關口彌三郎



商卸品用人婦物間小
店商新万
日丁三町喰馬區橋本市京東
番六一〇二花浪話電
番三五七三京東替振

華のしわ美 トーモの夏
ロマンソコム
らつか菜蓬
一ワラフの春
と品用儀祝御
飾野の月正お
の秋いしら新
品製摘
新商店

品製ルガーリ

るす有を層者用愛と用信き厚
料髪整健保



- | | |
|-----------------|---------------|
| ベジリン香水 | 毛髮肥料 |
| ユーモリンクリーム | 頭髪用 |
| リーガルポマード | 純植物性 |
| リーガルポマード | フラワー |
| リーガルフリランチツク | |
| リーガル(棒状)ポマードチツク | |
| リーガルローション | リーガルトアルカンパウダー |
| リーガル口紅 | リーガル香水 |
| リピロ固煉齒磨 | |

本舗
會商ルガーリ

目了三町石本・橋本日・京東
五六九三(24)橋本日話電

香料



曾田政治商店

本店

東京市日本橋區本町四丁目
電話茅場町(66)六四二四・六四二五番
振替東京二九九六五番

出張所

大阪市南區安堂寺橋通一丁目
電話船場(83)三六八五番
振替大阪六三七六一番
臺北市兒玉町四ノ五
電話臺北二六六八番

工場

臺北市外新莊郡鶯洲庄三重埔
札幌市外琴似村一一二番地
電話札幌五三六番
青森市沖館字篠田二六六番地
電話青森三六二五番
靜岡縣由比町